平成 20 年度自主研究

大学移転に伴う箱崎地区の変容と地域づくりに関する研究Ⅰ
報告書

平成 21 年 3 月

財団法人　福岡アジア都市研究所

目　次

はじめに　…… 1

第１章　箱崎の概観と沿革　…… 3
１．位置、地勢　…… 3
２．歴史と沿革　…… 5
３．箱崎地区の現況　…… 10

第２章　データで見た箱崎地区の特徴と変化　…… 27
１．人口統計、商業統計でみた箱崎地区の特徴　…… 27
２．最近の箱崎地区の変化　…… 51

第３章　九州大学周辺４校区居住者へのアンケート調査について　…… 81
１．アンケート調査の概要　…… 81
２．アンケート調査結果の概要および要点　…… 82

第４章　箱崎地域の新たなビジョン　…… 99
１．跡地活用の方向性及び跡地周辺のまちづくりのあり方について　…… 99
２．九州大学箱崎地区跡地利用の整備方向　…… 101

第５章　大学移転後等の大規模開発の事例　…… 111
１．あすと長町　…… 111
２．広島大学移転跡地　…… 114
３．大阪大学移転跡地　…… 116
４．宮崎大学移転跡地　…… 117
５．東北大学雨宮キャンパス跡地　…… 118

資料　…… 119

はじめに

大学の街として発展してきた箱崎地区は現在九州大学移転の渦中にある。今後大学移転が進むにつれ、広大な大学跡地の処理･利活用、そして大学移転により当地区が受ける大きな変化への対応などの問題について、抜本的な対処が必要となろう。

そこで本研究では、現在大学移転の渦中にある箱崎地区の街の変化について詳細に追求し、大学関係者の転出が箱崎地区にどのような影響を及ぼしつつあるかを解明することとした。今年度は「基礎調査」として、箱崎地区の変遷やこれまでの大学との関係、現在の状況把握等を中心に調査を進め、九州大学移転後のまちのあり方や、大学跡地の利活用のあり方について模索するための基礎的事項の整理を行った。これは、次年度、本格的に跡地利活用の詳細を検討、計画する際の基礎となるものである。

本報告書は、以下のような構成となっている。

第 1 章では、九州大学周辺の 4 小学校区を中心に、箱崎の概観や街の発展の沿革を述べた。具体的には、九州大学や箱崎地区を扱った文献の調査、研究者や地域住民へのヒアリング調査等により、箱崎地区の発展の歴史的経過、最近の地区の動向、各種施設等の配置、4 校区ごとの概観などをまとめている。

第 2 章では、国勢調査や住民基本台帳による人口統計、商業統計、事業所統計等のデータから、箱崎地区の特徴及び最近の変化について述べた。具体的には、九州大学およびその周りの土地利用について、メッシュデータをもとにどのように変化してきたかを明らかにし、箱崎地区の土地利用構造の現状と課題を把握した。また、箱崎地区の土地利用等のデータを入手し、GIS を用いるなどして土地利用構造や利用形態等を分析した。

第 3 章では、将来の魅力あるまちづくりについて今後考察・検討していくための基礎資料を得るため、九州大学箱崎キャンパス周辺の 4 小学校区の居住者に対し実施した、現在の地区についての意見･要望等を尋ねるアンケート調査結果の概要を紹介した。

第 4 章では、箱崎キャンパスの跡地利用に関する検討として、跡地活用の方向性及び跡地周辺のまちづくりのあり方について述べた。

第 5 章では、ケーススタディとして、既に移転が行われた大学跡地や大規模開発地の事例について述べた。具体的には、国内他大学において大学移転後の街の変化、移転後の跡地の利活用の実態を調査し、大学移転が街に及ぼす影響について考察を行った。また、大学移転に関する文献調査、該当事例についての実地調査、研究者へのヒアリング調査などにより実態を把握した。

本報告書が、今後の箱崎地区のまちづくりを考えていくひとつの参考資料になれば、幸いである。

最後に、本研究を進めるにあたり、ご協力をいただいた九州大学新キャンパス移転推進室及び福岡市住宅都市局大学移転対策部の皆様、箱崎校区まちづくり協議会の皆様、アンケート調査にご協力をいただいた住民の皆様、箱崎地区の現状についてヒアリング調査にご協力をいただいた福岡市職員の皆様、大学移転事例に関するヒアリング調査にご協力をいただいた大学及び自治体関係者の皆様に深くお礼申し上げます。

２００９年3月

財団法人　福岡アジア都市研究所

第１章　箱崎の概観と沿革

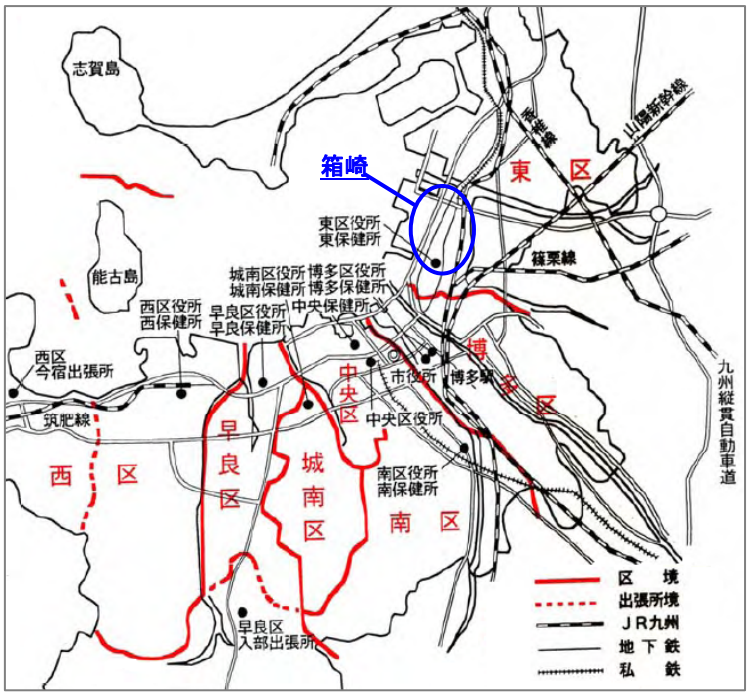
本章では、九州大学周辺の 4 校区（以下「4 校区」と略す。）[1]を中心に、箱崎の概観や街の発展の沿革を述べる。

１．位置、地勢

箱崎は、福岡市東区の南部の、都心とほど近い広域交通の至便地に立地する（図１－１）。九州大学箱崎キャンパスを基準にみると、天神からは北東へ約 4.5km、博多駅からは北へ約 4.0km に位置し、それぞれ鉄道や地下鉄で 5～10 分程度である。また、福岡空港ターミナルから北西へ約 4.0km、九州自動車道福岡 IC から西へ約 6.0km、博多港中央埠頭から北東へ約 3.5km、アイランドシティから南へ約 5.0km と、陸、海、空の交通拠点にも近接している。道路網をみると、西側を国道 3 号線および福岡都市高速道路が、北側を福岡都市高速道路が、東側を国道 3 号線バイパスが囲んでおり、交通アクセスが良好である。

筥崎宮を中心に古くから街が発展し、明治の終わりには九州帝国大学（当時）が設置され、地区の 2 大シンボルとなってきた。平成 17 年度以降の九州大学箱崎キャンパスの移転（2019（平成 31）年度完了予定）は、跡地活用を含め今後の箱崎のまちづくりに大きな影響を与えると予想される。

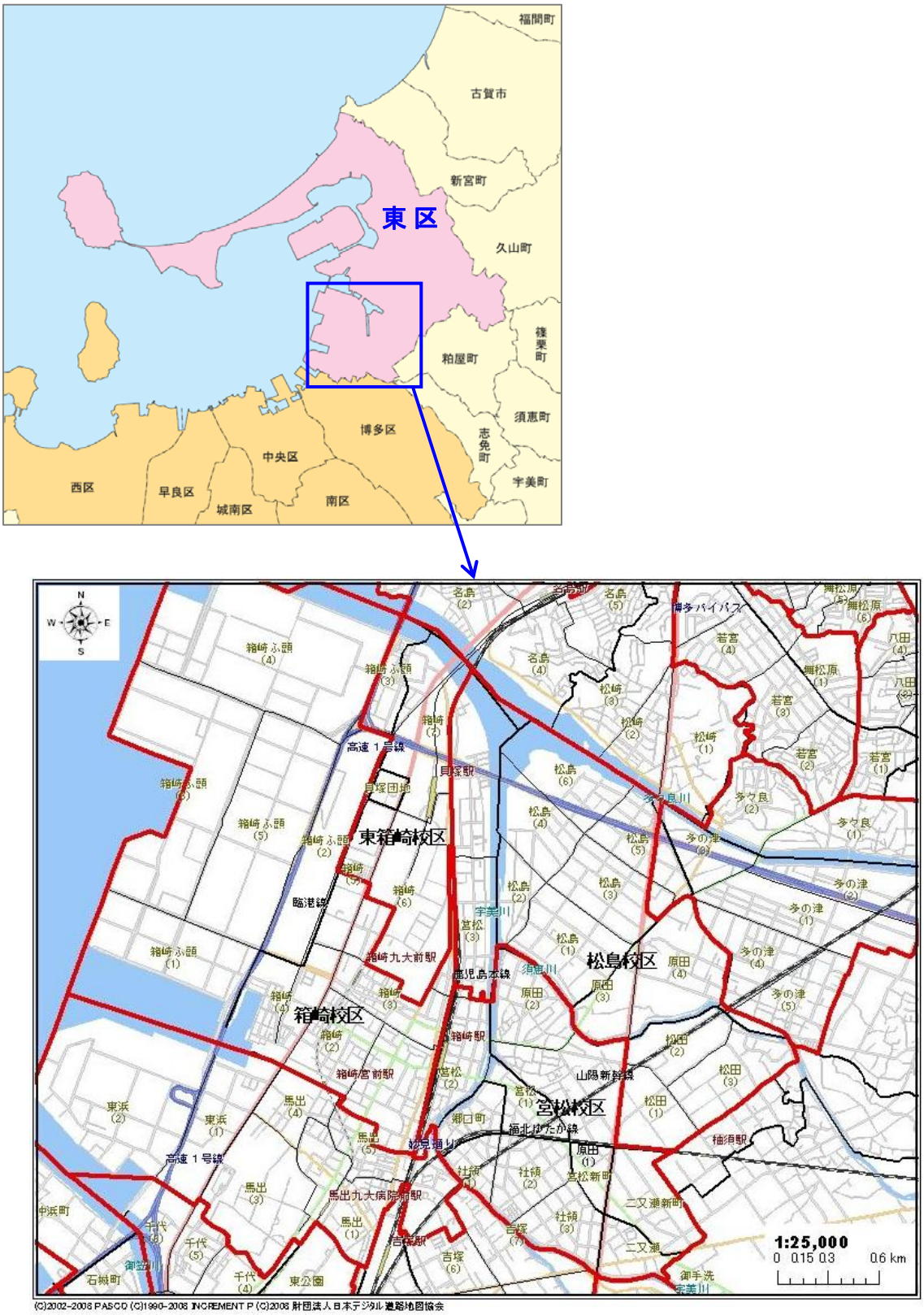
図１－１　福岡市と箱崎の位置



出典：
「平成 20 年度版
福岡市区政概要」
より

[1] 箱崎、東箱崎、筥松、松島。各校区の位置は、次ページ地図を参照。

図１－２　九州大学箱崎キャンパス周辺４小学校区



２．歴史と沿革

（１） 九州大学開設前

① 筥崎宮のまち

4 校区のうち、特に筥崎宮を中心とする地区は、長い歴史を持つ街である（表１－１）。地域のシンボルともいえる筥崎宮（筥崎八幡宮）は宇佐、石清水とともに日本三大八幡宮のひとつであり、その創設は今から 1 世紀以上前の 923 年に遡る。蒙古襲来時、博多湾に沿って築かれた元寇防塁の跡が一部の公園などにみられるが、筥崎宮境内にも蒙古軍船の碇石が残されている。戦国時代の末、博多復興期の 1587 年には、豊臣秀吉が千利休を招き筥崎宮内で茶会を開いたと言われ、また、福岡藩の参勤など、旅のメインルート上の要所となり、唐津街道では博多の次の宿場町「箱崎宿」として発展し、「箱崎千軒」といわれた。年初の「玉せせり」、9 月 12～18 日の「放生会」、山笠の時期のお潮井とりなど、恒例の伝統行事は地元にすっかり定着し、4 校区外の市民にもよく知られている。

表１－１　歴史上の主な出来事

延長元年	923 年	筥崎八幡宮　創設
天正 15 年	1587 年	豊臣秀吉が博多再興
明治 6 年	1873 年	箱崎小学校　開校
明治 14 年	1881 年	箱崎に糟谷郡所設置
明治 22 年	1889 年	箱崎町（695 戸，3,970 人）
明治 23 年	1890 年	九州鉄道　博多～遠賀開通
明治 43 年	1910 年	箱崎水族館　開館（昭和 6 年廃止）
明治 44 年	1911 年	九州帝国大学　設置，同工科大学　開設 福博電気鉄道　箱崎～今川橋　開通
大正 10 年	1921 年	福博電気鉄道　箱崎～工科大学　開通
大正 13 年	1924 年	博多湾鉄道　博多～和白　開通
昭和 8 年	1933 年	箱崎海岸埋立　完成 名島橋　落成
昭和 15 年	1940 年	福岡市に編入
昭和 17 年	1942 年	博多臨海鉄道　香椎～博多港　開通
昭和 20 年	1945 年	福岡大空襲
昭和 28 年	1953 年	市内電車　宮地岳線に乗り入れ
昭和 32 年	1957 年	貝塚団地　完成
昭和 47 年	1972 年	福岡市、政令指定都市へ移行，箱崎に東区役所設置
昭和 48 年	1973 年	箱崎埠頭　完成
昭和 54 年	1979 年	市内電車　廃止
昭和 61 年	1986 年	地下鉄 2 号線　開通

出典：「箱崎まちづくり計画」箱崎まちづくり協議会，18 年 3 月，P1

② 農村、漁村として

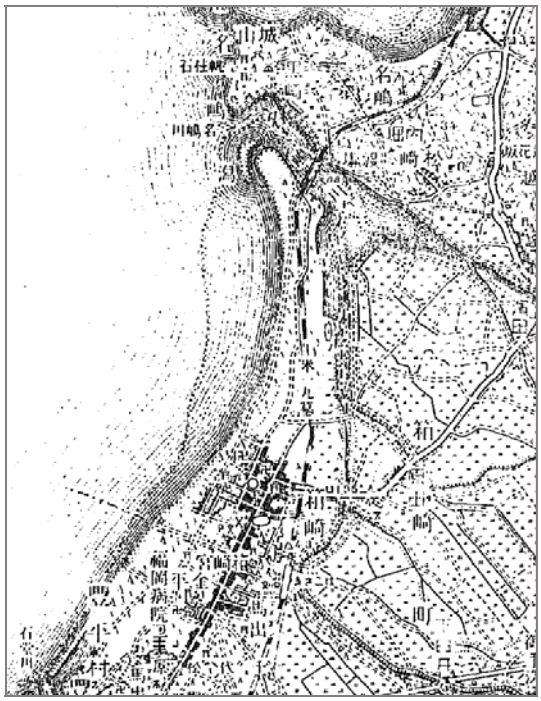
福岡市という大消費地を背後に控え、明治以降しばらくの間、箱崎は日本有数の蔬菜の大産地で、箱崎から堅粕、住吉、千代のあたりには農地が広がっていた。また、古くから漁業も盛んで、おきうとは箱崎が発祥であるし、また箱崎商店街近くの網屋天神境内には鯨塚が残されている。玉せせりでは、農村を意味する「オカ」と漁村を意味する「ハマ」

とで玉を奪い合い、ハマが勝つと豊作、オカが勝つと豊漁になると言われるが、これは過去に農村、漁村双方の性格を持っていた箱崎の名残といえる。

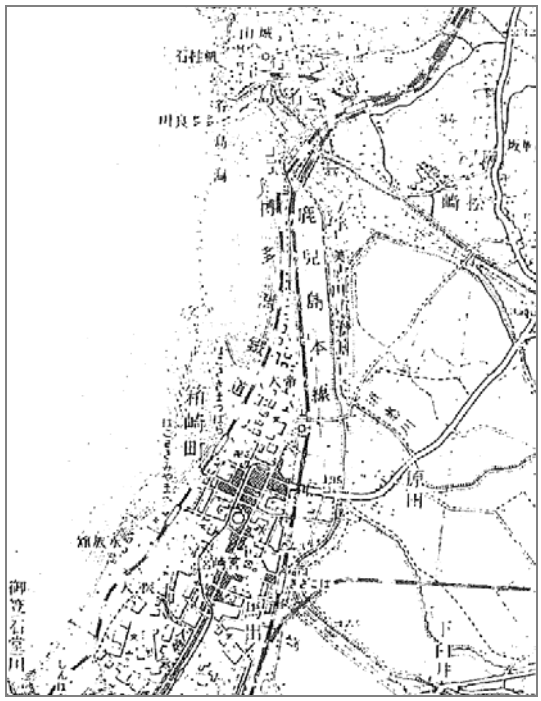
図１－３　箱崎の変遷

出典：「箱崎まちづくり計画」（箱崎まちづくり協議会，平成 18 年 3 月）より

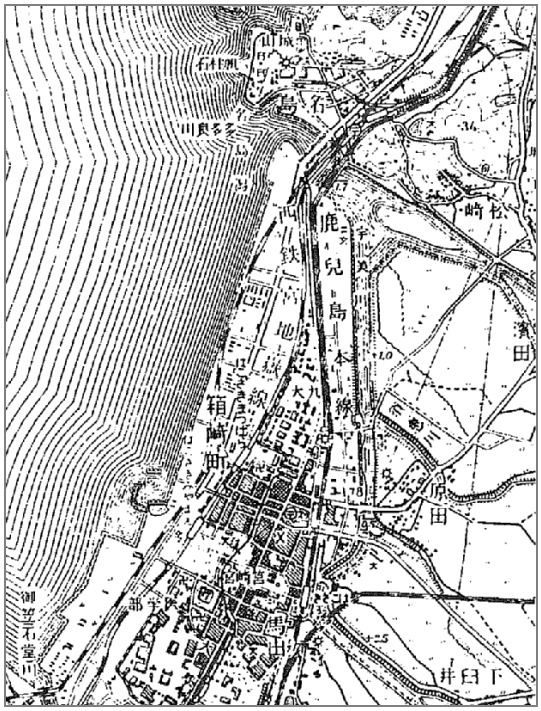
①1900（明治 33）年頃



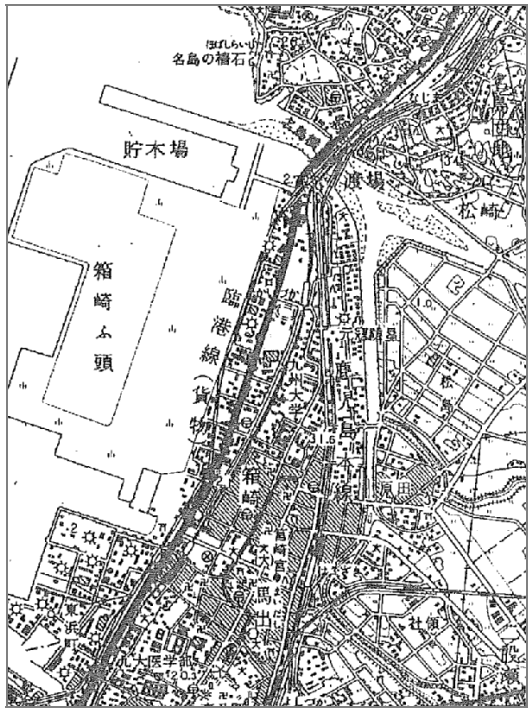
②1930（昭和 5）年頃



③1951（昭和 26）年



④1973（昭和 48）年



（２） 九州大学開設後の街の発展

写真１－１　1963（昭和 38）年頃の箱崎キャンパス

出典：九州大学文書館に展示の写真を複写。

1911（明治 44）年、九州帝国大学（現九州大学）が箱崎地区に開設された。九州大学の誘致には、福岡だけでなく熊本や長崎からも名乗りが上がり、誘致合戦が過熱した。また福岡への設置が決まってからも、福岡市の西部、東部で誘致活動が繰り広げられたが、将来の総合大学化を展望し、1903（明治 36）年に開設されていた京都大学附属福岡医科大学との近接性が考慮され、粕屋郡箱崎町（当時）への設置が決定した。大学予定地は箱崎のなかでも良好な畑地が広がっていたため、地主などによる反対運動も起こり、結局土地収用法が適用されるなどの紆余曲折もあった。なお、大学設置にあたっては、福岡県、福岡市、粕屋郡、箱崎町（当時は粕屋郡の町）が土地や資金を寄附している。

1911（明治 44）年 1 月に開設された九州帝国大学は、当初工科大学のみであったが、その後大学は徐々に拡大した。同年 4 月に京都大学附属福岡医科大学が九州帝国大学医科大学となって加わり、また 1919（大正 8）年には医科大学、工科大学が医学部、工学部に改編されるとともに新たに農学部が設置され、その後も法文学部、理学部、教育学部、法学部、経済学部、文学部、薬学部、歯学部といった学部の新設が進んだ。この間、研究施設の拡充等も進み、九州大学は九州を代表する総合大学として発展してきた。

こうしたなか、箱崎は「筥崎宮の街」としてだけでなく「九州大学の街」としても発展し、学生向けのアパート･下宿、飲食店、商店などが集積し、学生街としてまちを形成してきた。また福岡市中心部と近接していることもあり、国道 3 号線、市内電車や地下鉄 2 号線（現箱崎線）の開通、福岡都市高速道路の建設などの交通アクセスも充実し、同地区の発展に寄与してきた。反面、蔬菜の供給地として広がっていた畑地は、急速な都市化の影響から姿を消していった。また、九州大学開設当時、大学敷地の西側に隣接していた砂浜や松林が並ぶ風景は、埋め立てなどにより陸地となり、現在は箱崎ふ頭として利用されるなど、箱崎の姿は大きく変貌している。

表１－２　九州大学の歴史

明治 44 年	1911 年	九州帝国大学　設置，同工科大学　開設 京都大学附属福岡医科大学　九州帝国大学医科大学となる
大正 8 年	1919 年	医科大学を医学部に、工科大学を工学部に改編 新たに農学部を創設
大正 13 年	1924 年	法文学部を創設
昭和 14 年	1939 年	理学部を創設
昭和 24 年	1949 年	教育学部を創設
昭和 39 年	1964 年	薬学部を創設
昭和 42 年	1967 年	歯学部を創設
平成 15 年	2003 年	九州芸術工科大学を統合
平成 17 年	2005 年	九州大学工学部移転開始
平成 19 年	2007 年	九州大学工学部移転完了
平成 21 年	2009 年	九州大学教養部（六本松地区）移転予定
平成 31 年	2019 年	九州大学移転完了予定

出典：「写真集　九州大学史 1911－1986」九州大学出版会

表１－３　箱崎キャンパスの新キャンパスへの移転スケジュール

- 平成 17～19 年度　工学系地区
- 平成 26 年度　　理学系地区
- 平成 29、30 年度　文系地区
- 平成 31 年度　　農学系地区

出典：九州大学新キャンパスホームページ、資料集「新キャンパス移転順序の変更」
http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/data/move03.pdf

表１－４　九州大学箱崎キャンパスの面積

地区名	敷地面積
工学系地区	約 17.6ha
理学系地区	約 3.7ha
農学系地区	約 10.9ha
文系地区	約 10.4ha
敷地面積　計	約 42.6ha

出典：　福岡市資料「六本松、箱崎地区のまちづくり」

（３） 最近の箱崎地区やその周辺での動き

急速な都市化や、最近の九州大学の移転開始、周辺の土地区画整理事業などを背景に、箱崎地区は最近大きく変貌しつつある。

1986（昭和 61）年、地下鉄 2 号線（現 箱崎線）が貝塚まで延伸された。その後 2000 年頃まで大きな動きはなかったが、この間 90 年代には、鹿児島本線連続立体交差事業の施行決定、九大移転場所の正式決定など、将来の箱崎地区に大きな影響を与える計画の決定が相次いでいる。

これらの計画は、2000（平成 12）年頃から順次着工され、箱崎地区の姿は大きく変化した。また時期を同じくして、周辺に大型商業施設の開設が相次ぎ、箱崎商店街など地区の商業に大きな影響を与えている。

表１－５　最近の箱崎地区関連年表（地区や周辺の大型商業施設開設、主な再開発事業等）

時期(年)	主な再開発事業等	近隣の大型商業施設の開設
1986	地下鉄 2 号線（現 箱崎線）順次開業･･･1 月：馬出九大病院前～箱崎九大前、11 月：箱崎九大前～貝塚	
1991	連続立体交差事業並びに区画整理事業の同時施行が、国の補助事業として採択（3 月）	
1992	連続立体交差事業と区画整理事業の都市計画決定（1 月） 区画整理事業　開始	
1994	IC 着工（7 月）	
1997	連続立体交差　高架橋部分本格着工（2 月） 区画整理事業　仮換地指定，工事着手（4 月）	
2000		ゆめタウン博多（6 月）
2001		楽市街道箱崎店（12 月）
2002	JR 箱崎駅移転（香椎側に約 440m，12 月）	
2003	IC コンテナターミナル一部供用開始（9 月）	
2004	香椎副都心土地区画整備事業　施行開始（1 月，～2015 年）	ダイヤモンドシティ（6 月）
2005	連続立体交差　事業完了（3 月） 九州大学工学部　移転開始（4 月） 主要地方道　箱崎･阿恵線　開通（6 月） IC 住宅入居開始（12 月）	
2006		ボックスタウン箱崎店（4 月）
2007	区画整理事業　完了（3 月）	
2008	九州大学工学部　移転完了（4 月）	

※アイランドシティは「IC」，鹿児島本線連続立体交差事業は「連続立体交差」，筥崎土地区画整理事業は「区画整理事業」とそれぞれ略す。

出典：各社 HP（福岡市交通局，福岡市港湾局，UR 機構（香椎副都心），イオングループ，ボックスタウン，楽市楽座，ダイヤモンドシティ，），
「JR 九州鹿児島本線･篠栗線（箱崎･吉塚地区）連続立体交差事業　事業誌－安全で住みよいまちづくり－」，福岡市･九州旅客鉄道株式会社（2005 年 3 月）

３．箱崎地区の現況

（１） 箱崎地区４校区の概観

本研究の対象エリアは、九州大学箱崎キャンパスの周辺の４小学校区である（図１－２）。広範囲にわたるうえ、各校区ともそれぞれ特徴が異なっているので、ここではまず、主に福岡市東区のホームページに掲載されている校区カルテを参考に、各校区の概観を紹介する。

〔箱崎校区〕[2]

箱崎校区は、筥崎宮および九州大学という、福岡市内外でもよく知られる地域資源を有し、これらとともに発展してきた校区である。寺社や史跡、古くからの街並みや路地が、今なお各所に残っている。校区人口は12,331人（2008年12月末現在、住民基本台帳ベース）で、このところやや増加傾向にある。

公共交通をみると、もともと地下鉄箱崎線が近くを走り、またバス路線も九大前発着便、国道３号線や妙見通りを経由する便など充実している。2004（平成15）年12月にJR箱崎駅が近くに移転したことで、交通の便は一層良くなった。都心部へのアクセスも向上し、最近は至るところで高層マンションが建設され、校区内の人口増加につながっている。もっともこれは、これまで低層中心であった街並みの乱れにもつながっている。

道路についてみると、JR鹿児島本線の連続立体交差事業および筥松土地区画整理事業により、国道３号線バイパスや原田地区と箱崎ふ頭とを直接結ぶ道路（箱崎･阿恵線）の開通、妙見通りの拡幅など、広い道路が整備され自動車交通にとっては便

写真１－２　箱崎校区
(左下)拡幅された妙見通り（JR箱崎駅付近）。
(右上)大型車が行き交う箱崎･阿恵線。
(右中)箱崎商店街「きんしゃい通り」。
(右下)低層住宅と高層マンションが混在。

[2]厳密には箱崎ふ頭も含まれるが、居住者が少なく校区中心部からも離れ、また土地利用も工業地区が中心であるため、検討対象からは外した。

利になった。一方、大型車を含む通過交通は大幅に増えた。

かつて多くの人出で賑わっていた箱崎商店街は、近隣や郊外の大型店との競合、九州大学の移転開始などもあって衰退している。核となっていたスーパーマーケットの撤退も相次ぎ、すでに営業を休止した中小の店舗や飲食店も少なくない。また、箱崎校区や箱崎商店街のメインストリートとして校区の中心を南北に貫く大学通り（箱崎本通り）は、幅 6 m程度の狭い道路の両側に商店や各種施設が建ち並ぶ通りであるにもかかわらず通過交通が非常に多いことから、歩行者にとって安全な環境とは言いがたい。

以上、利便性の高い地区ではあるものの、古くからの歴史的な風景や風情は急速に失われつつあるのが実情である。九州大学に隣接し大学街として発展してきた地区だけに、大学移転の影響を強く受けるものと予想され、今後のまちづくりの動向が注目される。

〔東箱崎校区〕

箱崎校区の北側にあり、1987（昭和 62）年に同校区から分離した。校区の南側には九州大学が位置し、校区面積の大半を占める。上空は福岡空港への航空機の進入路となっており、以前から騒音問題を抱えている。校区人口は 4 校区のなかでもっとも少ない 6,797 人（2008 年 12 月末現在、住民基本台帳ベース）で、このところほぼ横這い傾向にある。

校区の中央を国道 3 号線が南北に貫き、一日中自動車がひっきりなしに行き交っている。国道 3 号線の西側沿道にはマンション、自動車のショールーム、ファミレスなどが並んでいる。県営住宅、市営住宅、UR 都市整備機構住宅等の高層住宅群は国道 3 号線の西側に立地しており、住民の大半もこちらに居住している。一方、国道 3 号線の東側沿道は九州大学文系地区、貝塚公園が接し、商業施設等はファミレスや病院などが数件並ぶ程度である。

公共交通についてみると、国道 3 号線の東側に貝塚駅が立地し、西鉄貝塚線と地下鉄箱崎線の結節点となっているほか、天神や博多駅と香椎地区など郊外と

写真１－３　東箱崎校区
(上)貝塚公園と背後の高層マンション群。
(中)国道 3 号線、貝塚駅入口交差点。
(下)多々良川と名島橋（西鉄）。

を結ぶバス路線も国道 3 号線に数多く設定され、便利である。ただし、西鉄貝塚線の東側を並行して走る JR 鹿児島本線には駅は設置されていない。

道路については、国道 3 号線のほか福岡都市高速道路も走っており、天神や博多駅などの福岡市中心部、九州自動車道福岡 IC などへの自動車でのアクセスはよい。

国道 3 号線沿いに出店していたスーパーマーケットが最近撤退し、ほかに目ぼしい商店街も形成されていないことから、日常の買い物に不便との声も聞かれる。また、交通量の多さ、広い道路による地区の分断などの課題もある。一方で、貝塚公園、校区北側を流れる多々良川や名島橋、その附近に集まる野鳥など、この校区固有の地域資源も見られる。

校区面積の大半を占める九州大学が、2019（平成 31）年までに移転することから、大学跡地の活用方法など、今後まちの様子が大きく変化する可能性もある。

写真１－４　筥松校区
(上)JR 箱崎駅東口の高層マンション群。
(中)筥松小学校上空を飛ぶ航空機。
(下)宇美川と親水空間。

〔筥松校区〕

筥松校区は南側を博多区、東側を粕屋町と接する。国道 3 号線バイパスの開通もあり、田園地帯から工業地帯へ変貌してきた。上空は福岡空港への航空機の進入路となっており、しかも箱崎校区よりも空港に近いことから、騒音問題は 4 校区中最も深刻である。校区人口は 12,166 人（2008 年 12 月末現在、住民基本台帳ベース）で、このところやや増加傾向にある。

公共交通をみると、校区西側、箱崎校区との境界線を走る JR 鹿児島本線上に JR 箱崎駅が設置され、また同駅を経由して天神、博多駅と校区西部、あるいは糟屋郡など内陸部とを結ぶバス路線も設定されている。ただし、それ以外の地区は、校区南東部に JR 柚須駅（JR 福北ゆたか線）や二又瀬経由のバス路線がみられる程度にとどまっている。

道路は、JR 鹿児島本線の連続立体交差事業および筥松土地区画整理事業により、国道 3 号線バイパス、原田地区と箱崎ふ頭とを直接結ぶ箱崎･阿恵線が拡幅・延伸されるなど広い道路が増え、自動車交通にとっては便利になったが、大型車を含む通過交通も増加している。

連続立体交差や区画整理、JR 箱崎駅の移転

などを背景に、駅周辺を中心に商店や病院など各種施設の新設が相次いでいる。連続立体交差、およびJR箱崎駅の高架化は、長年地域の大きな問題となっていた踏切による交通渋滞の発生、地域の分断といった課題の解消につながった。

川に囲まれていることも同校区の特徴で、北側に須恵川、南側に宇美川、中央を綿打川が流れている。

〔松島校区〕

松島校区は、校区内のほとんどが工業系の用途地域であり、住宅は多くの企業や工場に混じって立地している。最近では、都心部への近さや用地確保の容易さ等もあって、箱崎公園の周辺などで高層マンションの立地が相次いでおり、校区人口は 16,185 人（2008 年 12 月末現在、住民基本台帳ベース）で、このところ 4 校区中でもっとも人口の伸びが大きい。

校区の北西端に貝塚駅があり、地下鉄箱崎線、西鉄貝塚線が発着しているほか、バス路線も月見町を発着する便、筥松校区を経由して松島校区南東部を通る便が設定されているが、校区の中央部はバス路線がなく、最寄りのバス停や駅までは距離がある。

道路は、国道 3 号線バイパスや福岡都市高速道路など主要幹線道路に近く便利である。ただし、多くの企業や工場が立地する性格上、幹線道路以外のさほど広くない道路でも大型トラックが頻繁に往来しており、交通安全面で難があるといえる。

筥松地区同様に川が多く、校区の南北端を須恵川、多々良川が、校区西側を宇美川が流れており、また校区西端に元寇防塁跡がある。

写真１－５　松島校区

(左上)箱崎公園と背後の高層マンション群。　(右上)校区中央部の道路。大型車の姿が見える。
(左下)一部に残存する農地。　(右下)須恵川。川の左側が筥松校区、右側が松島校区、中央奥が東箱崎校区。

（２） その他の概況

① 商店や商業施設の分布

箱崎商店街、大学通り（箱崎本通り）沿い、バス道路沿いなど古くから発展した街には、中小の個人商店が集積している。ただし、スーパーマーケットなど核店舗の撤退が相次ぎ、2009（平成 21）1 月のグルメシティ箱崎（ダイエー）の閉店を最後に、箱崎商店街周辺からスーパーマーケットが姿を消した。

次ページの図１－４は、箱崎の歴史を記した冊子「はこのわ」から引用した箱崎商店街の略図である。これをみると、1965（昭和 40）年時点では、現在の大学通り（箱崎本通り）を中心に中小の商店がひしめき合っているが、最近では商店の集積度が以前ほど密でなくなっていることがわかる。実際に箱崎商店街を歩くと、シャッターが閉じられたままの店舗、駐車場やマンションとなってしまった区画も少なくない（写真１－６）。

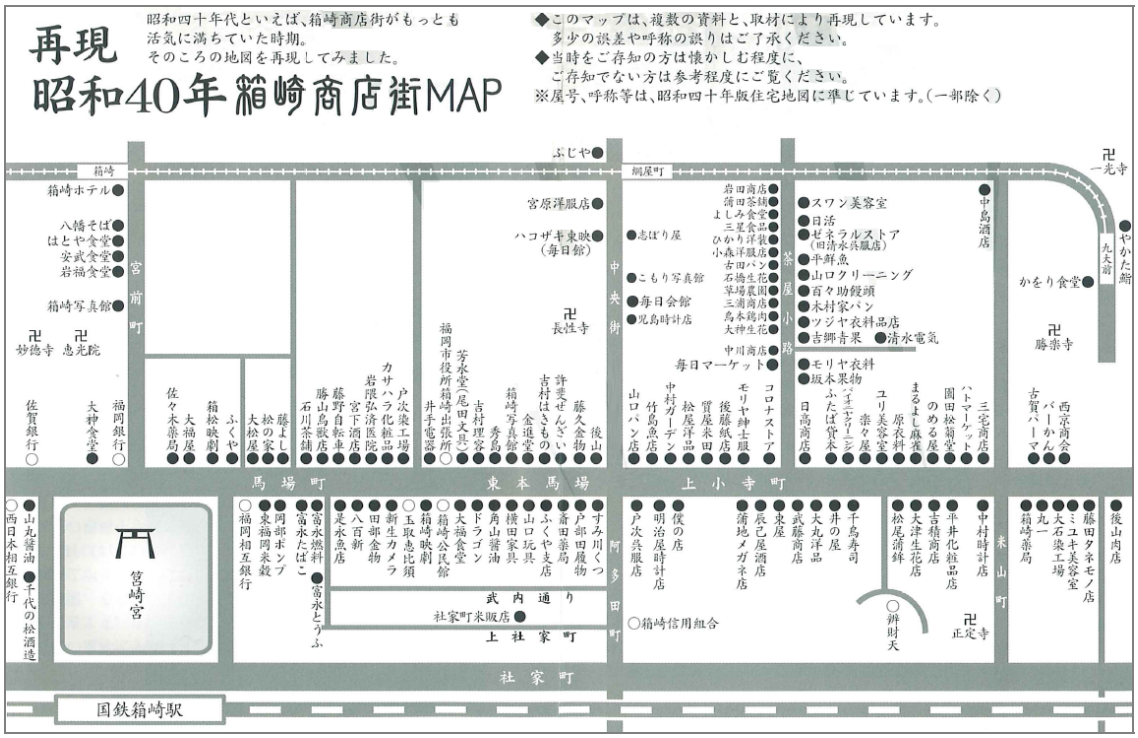
一方、幹線道路沿いでは以前から商業立地が多くみられ、箱崎校区や東箱崎校区のなかを通る国道 3 号線沿道では、ボックスタウン箱崎、楽市街道などの大型商業施設、ファミレスやラーメン店、ガソリンスタンド、病院、オフィスなどが建ち並んでいる。筥松校区、松島校区のなかを通る国道 3 号線バイパスでも同様に、沿道に各種商業施設が並んでいる。

また最近では、連続立体交差や区画整理事業で整備された幹線道路沿いで、商業の集積が進んでいる。特に、JR 箱崎駅附近では、新たに拡幅･延伸された箱崎･阿恵線、妙見通りが交差する辺りを中心に、飲食店、書店などの商業機能や病院、金融機関の集積が進みつつある。

写真１－６　主な商店や商業施設

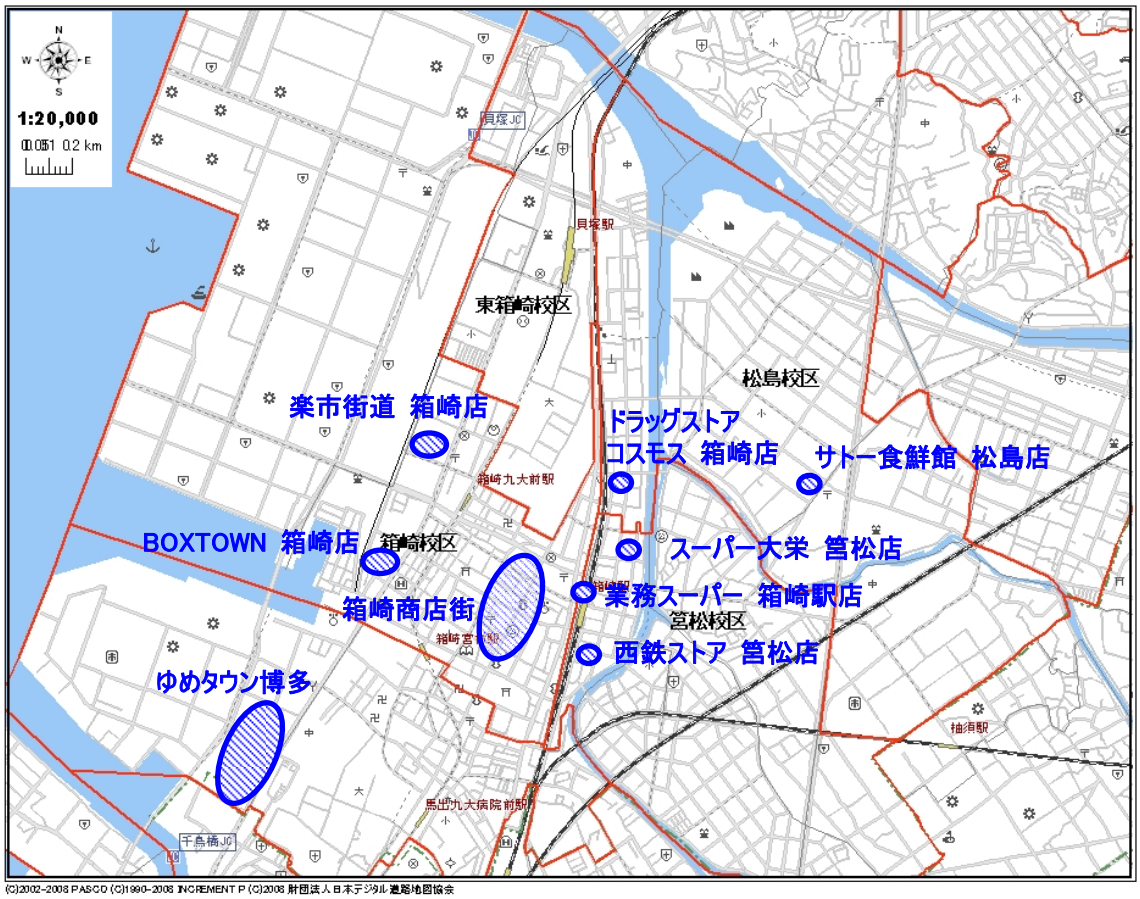
(左上)大学通り、箱崎商店街附近の様子。　(右上)バス通り沿道の店舗（ダイエーは 21 年 1 月に閉店)。
(左下)国道 3 号線沿いのロードサイドショップ。　(右下)JR 箱崎駅周辺のマンション 1F に入居した店舗。

図１－４　箱崎商店街の略図
(上)平成 15 年頃，(下)昭和 40 年　（出典：「はこのわ」（http://hakoshouren.jp））



なお、食料品や日用品を主に扱うスーパーマーケットは、4校区のあちこちにみられるが、東箱崎商店街には立地していない。

図１－５　主な商業施設等

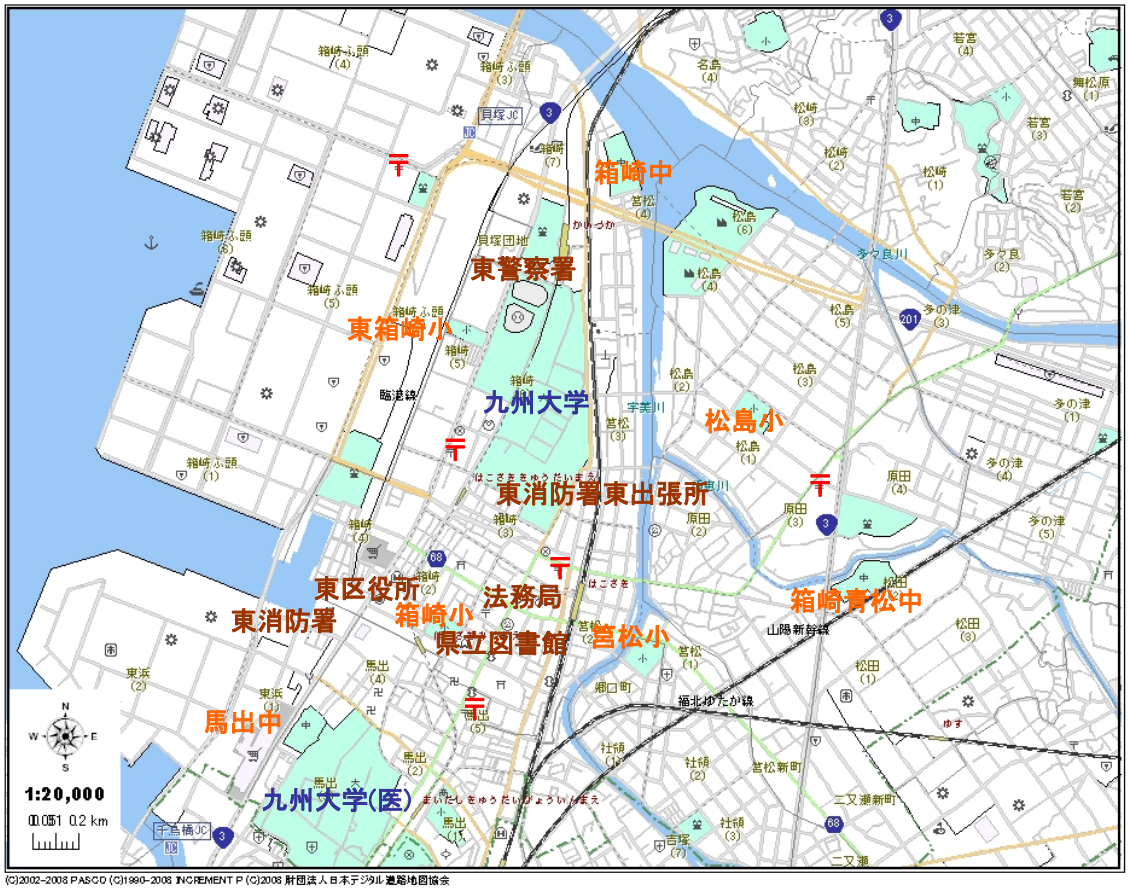


② 公共施設

以下のような特徴がみられる。

- 4 校区のほぼ中心に、九州大学（理系、文系、グラウンド）が広大な敷地を有する。
- 区役所、保健所、法務局などの行政サービス施設は、その多くが箱崎校区内、とくに筥崎宮の北側に立地している。
- 小学校、中学校は、4 校区の各地に分散して配置されている。

図１－６　主な公共施設



(C)2002-2008 PASCO (C)1990-2008 INCREMENT P (C)2008 財団法人日本デジタル道路地図協会

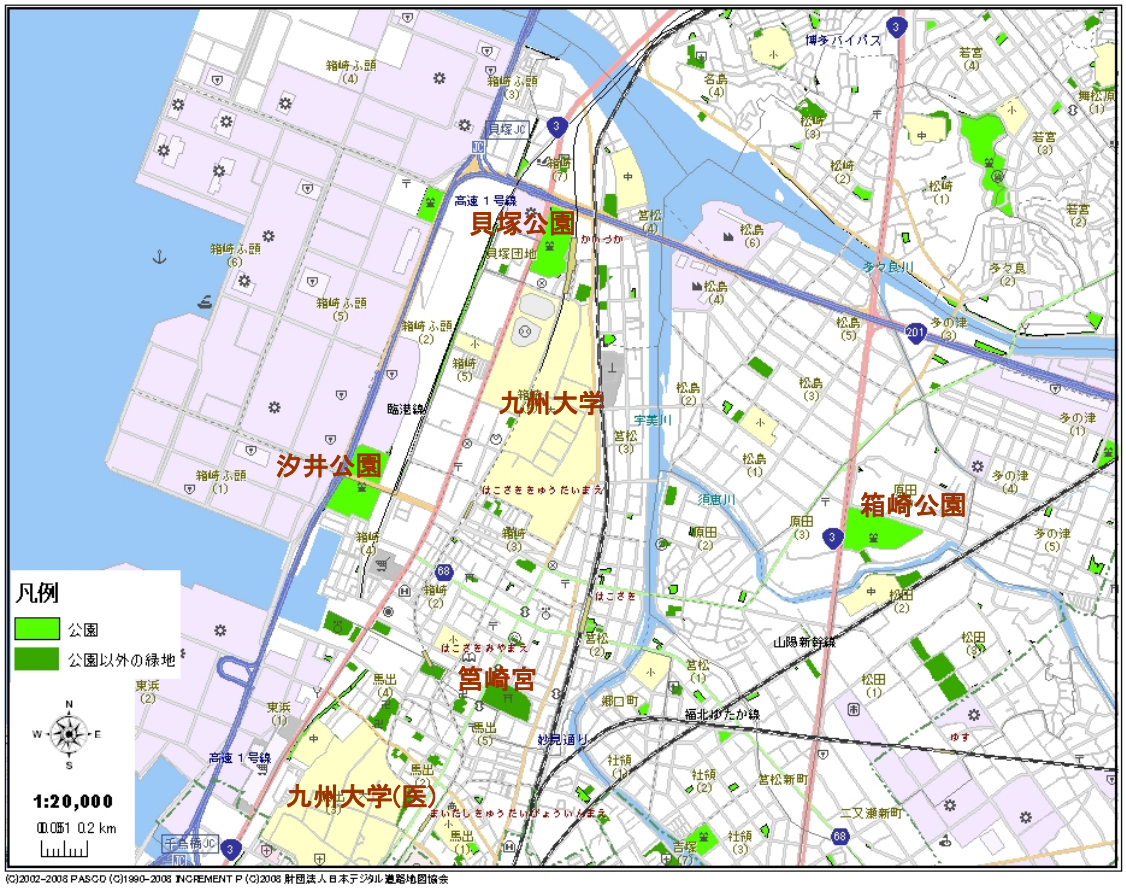
③　公園･緑地等

地区には、散歩やジョギングを楽しめる空間があちこちにみられる。

汐井公園（箱崎校区）、貝塚公園（東箱崎校区）、箱崎公園（松島校区）など広い面積を持つ公園がいくつか設置されているほか、小規模な近隣公園も各所に整備されている。古くからの街並みが残る箱崎商店街附近では、公園の設置はみられないが、植栽や芝生を有する筥崎宮、細い路地と直接つながる宇佐殿など、歩行者にとって安全に歩行できる空間は少なくない。また九州大学も、こうした緑地のひとつに数えることができる。

さらに、多々良川、宇美川、須恵川、綿打川など河川が多いことも地区の特徴で、東箱崎校区、筥松校区、松島校区がこれらの川に接し、一部に親水空間等が設けられ、川沿いでウォーキング等を楽しむ人々の姿もみられる。

図１－７　主な公園、緑地等



④ 建物現況等

4 校区の建物現況を校区別にみると、以下の通りである。

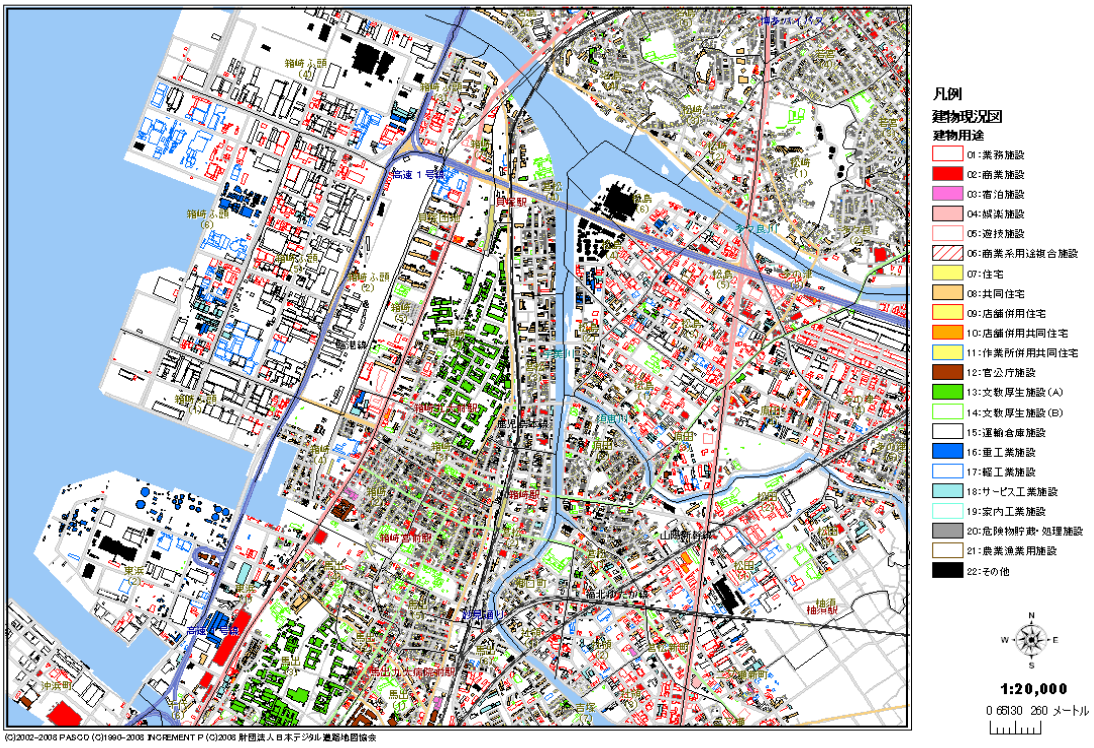
箱崎校区は、国道 3 号線沿いには商業施設や遊戯施設が、国道 3 号線沿い以外では、店舗併用住宅、文教厚生施設（九州大学、筥崎宮など）、官公庁などが立地している。

東箱崎校区は、共同住宅や工業施設などがみられる。

筥松校区は、住宅、共同住宅など住宅の利用が多く、その中に商業施設などが点在している。

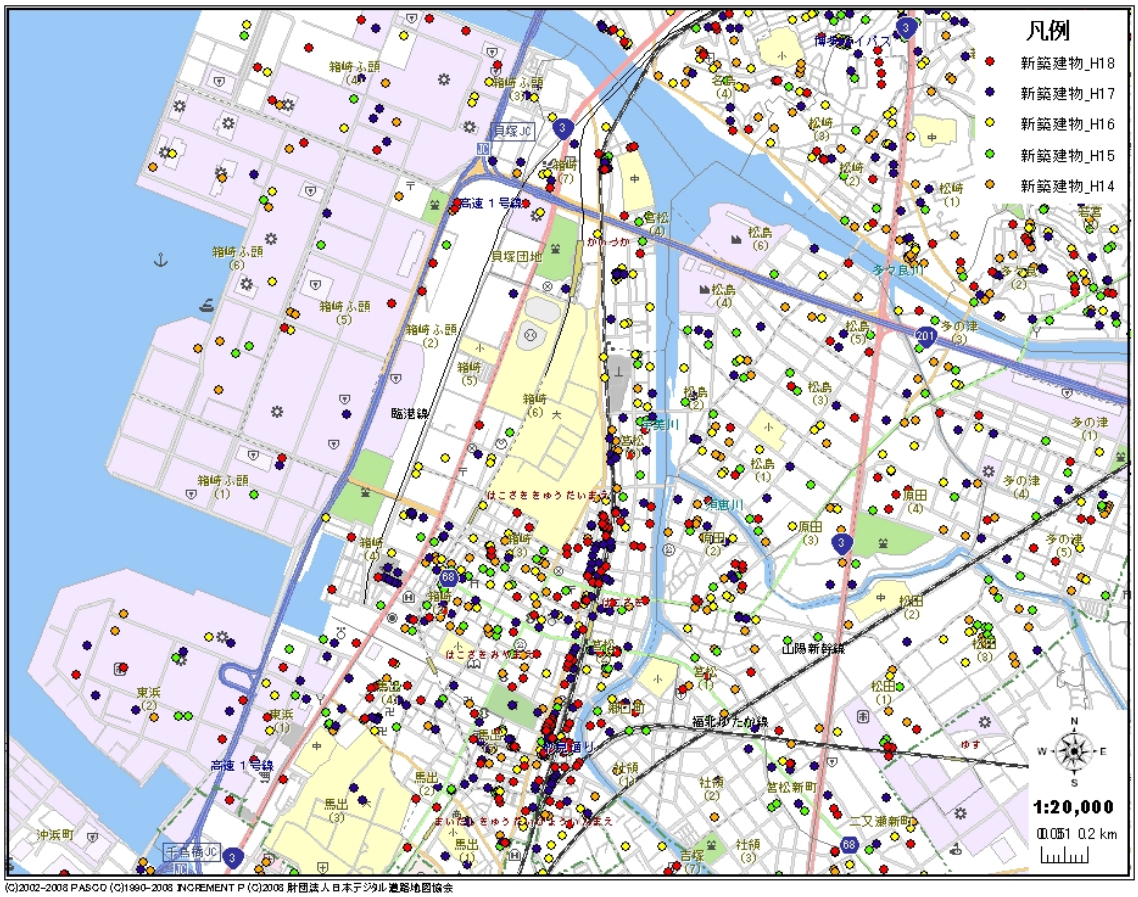
松島校区は、業務施設の多さが目立つが、これらは卸･小売業の事業者の配送センターや倉庫などとみられる。

図１－８　建物現況



最近の新築建物の状況（平成 14～18 年）をみると、箱崎校区、とくに大学通りなど箱崎商店街の周辺、および鹿児島本線の沿線での多さが特に目立っている。このうち、箱崎商店街附近では、平成 14 年から同 16 年にかけての建築が多くみられる。一方、JR 鹿児島本線沿線では、箱崎駅を中心として、直近 2 年間（平成 17、18 年）の建築がほとんどとなっている。

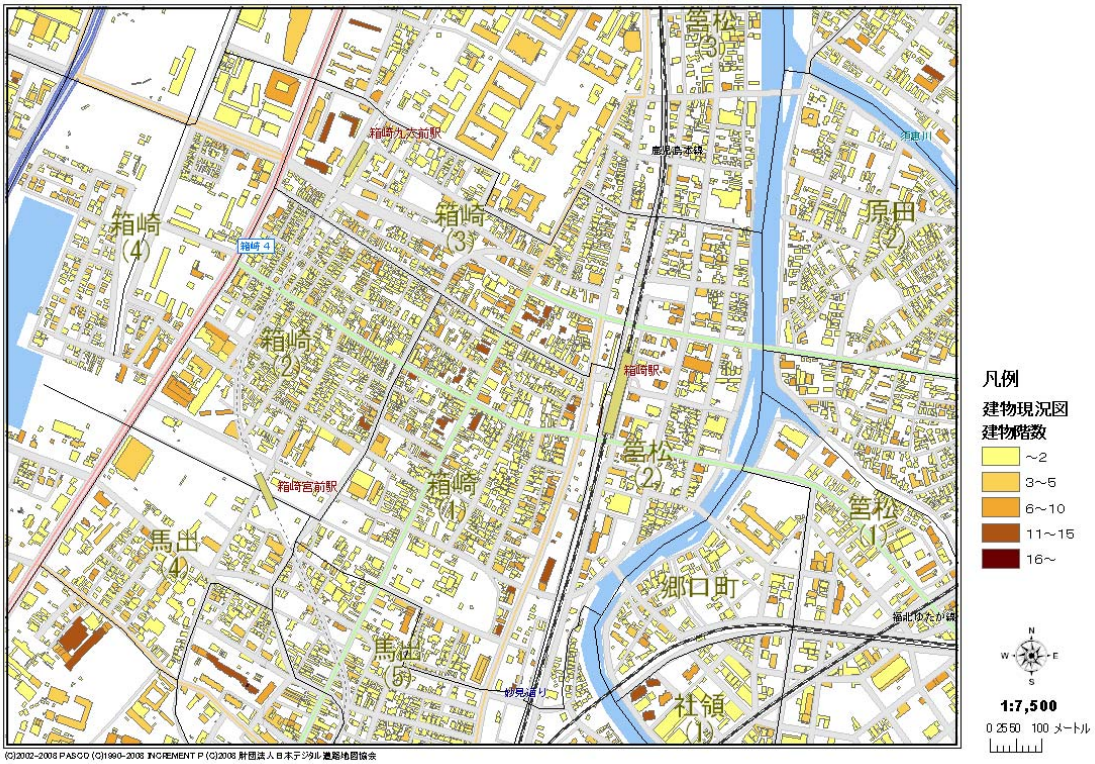
図１－９　新築建物



箱崎校区を中心に建物階数をみると（図１－10)、4 校区全体では、小区画の土地に 5 階建て以下の低層の建物が建っているところが多い。ただし、6 階建て以上の建物も点在しており、なかには 11～15 の高層建築物もみられる。

最近、箱崎商店街などの古くからの街の内部、JR 箱崎駅などでは、あちこちでマンション建設がみられ、低層住宅のなかに高層の建物がみられるようになっている。図１－10 は、こうした状況を裏付けるものといえる。

図１－10　建物階数



⑤ 道路および路地の状況

図１－11 は、4 校区の道路を示している。

12m以上の広い道路は、国道 3 号線、国道 3 号線バイパス、妙見通り、空港通り、都市高速道路下を沿って走る幹線道路などである。

その他の大部分の道路は 4m以上 12m未満の道路であるが、赤線で示したように、幅員 4m未満のいわゆる「路地」も多くみられる。特に、古くからの街並みが残る箱崎校区では、箱崎商店街や筥崎宮などを中心に路地が入り組んでいる様子がわかる。また、宇美川の両岸（筥松 3 丁目、原田 2 丁目など）にもこうした細い道路がみられる。

図１－11　箱崎地区の道路･路地

⑥ 航空機の騒音

附近の上空が福岡空港の航空機の飛行経路となっている 4 校区は、航空機の騒音問題を抱えており、特に飛行高度の低い九州大学正門附近や筥松校区では騒音が大きい。

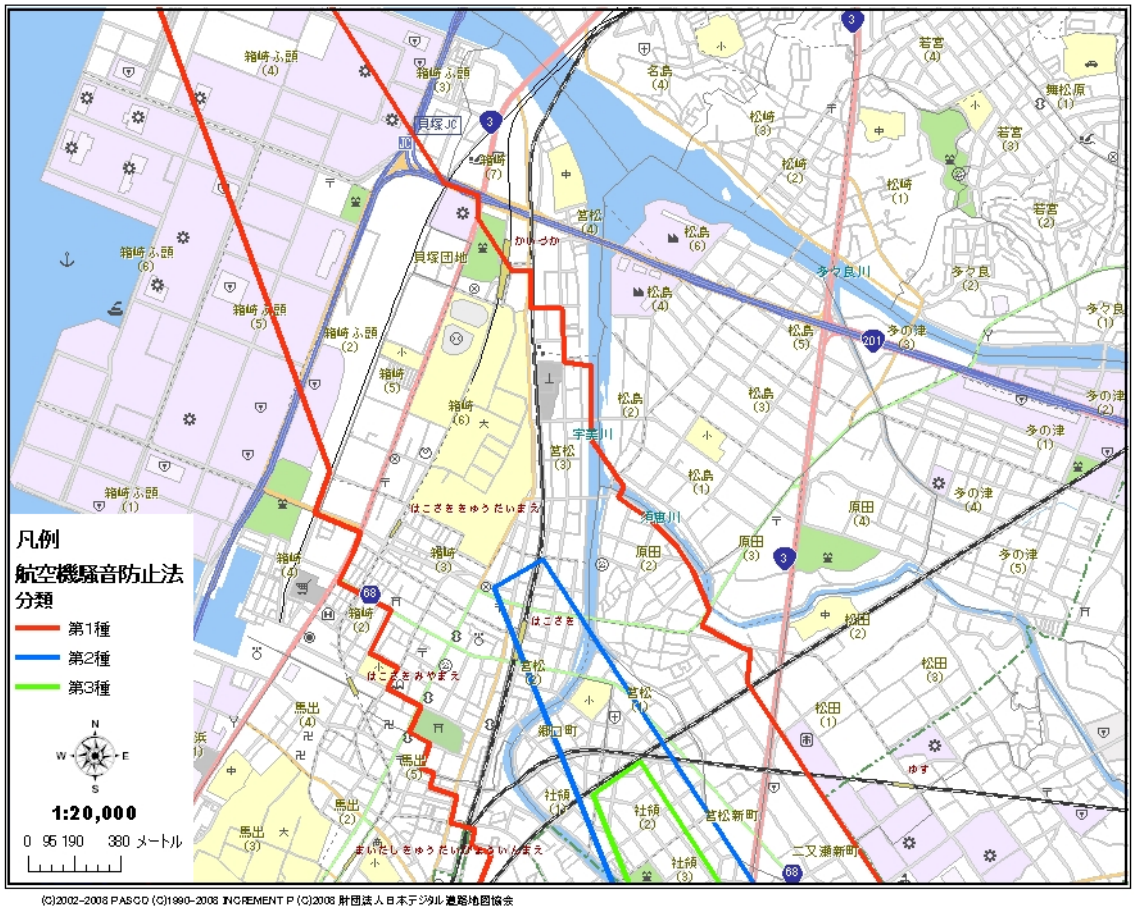
航空機騒音防止法では、下図のように、航空機騒音防止区域を定めており、騒音の小さい順から第 1 種区域、第 2 種区域、第 3 種区域に区分けされている。各区域での対策の概要は、下表のとおりである。

表１－６　航空機騒音に関する区域名と対策

区域名	対策の概要	4 校区における主な指定地区
第 1 種区域	区域内の住宅の防音工事に対する助成。	箱崎校区、東箱崎校区、筥松校区の多く、および松島校区の一部
第 2 種区域	区域内の建物などの所有者が区域外に移転等する場合の補償、および建物が所在する土地の買入れなど。	箱崎校区、筥松校区の一部
第 3 種区域	区域内の土地の買入れ、および緑地帯その他の緩衝地帯としての整備。	筥松校区の一部

出典：「くうこうひろば」HP、環境共生案内（成田空港）：http://airport-community.naa.jp

図１－12　航空機騒音防止区域



(C)2002-2008 PASCO (C)1990-2008 INCREMENT P (C)2008 財団法人日本デジタル道路地図協会

⑦ 行政計画等における位置づけ

〔福岡市　新･基本計画（平成 15 年 3 月)〕

福岡市の新･基本計画では、箱崎を、「副都心」（「香椎･千早」、「大橋」、「西新･藤崎･シーサイドももち」の 3 ヶ所）に準ずる「地域拠点」と位置づけ、「筥崎宮などの歴史･文化的資源や既存商店街の界隈性を活かすとともに、土地区画整理事業や鉄道高架による基盤整備、九州大学移転跡地などを活用した地域の活性化を目ざ」すこととしており、福岡市内の他の地区と比べ、まちの発展の歴史や文化が重視された内容となっている。

〔東区基本計画（平成 16 年 3 月)〕

東区基本計画では、区全体を「すみやすい、あんしんなまち・東区」と位置づけ、そのうえで、箱崎･馬出地区について「筥崎宮など地域の歴史･文化資源と既存の商店街の界隈性を活かすとともに、九州大学移転跡地、筥崎土地区画整理事業などの新しいまちづくりを契機とし、周辺のまちも一体となった活気のあるまちづくり」を進めるとの方針を示し、以下の 3 つの目標を掲げている。

1. 筥崎宮の魅力と多様な施設の集積を活かした文化が香るまち
2. 大学移転を景気とした新たな活力を生み出すまち
3. 安全な住環境の中で安心して暮らせるまち

このうち特に「1」、「2」は、箱崎に固有の地域資源に言及したものであり、今後地区にふさわしい個性豊かなまちづくりを指向するものだといえる。

〔近隣の主な事業〕

箱崎の近辺での主な事業は、下表のとおりである。九州大学の移転（平成 31 年完了予定）後は、約 42.6ha もの面積を有する大学跡地の再開発も着手されることとなるため、東区では現在から近い将来にかけて、大型の事業が相次いでいくこととなる。

表１－７　近隣の区画整理事業、再開発事業等

事業	実施時期	敷地面積
アイランドシティ整備事業	H6.7 月～	約 401ha
香椎副都心地区土地区画整理事業	H5.10 月～H22.3 月	約 66ha
香椎駅周辺地区周辺地区土地区画整理事業	H11.10 月～H26.3 月	約 20ha
青果 3 市場移転跡地整備	H26.4 月～	約 15ha

〔参考文献等〕

・「平成 20 年度版福岡市区政概要」
・「箱崎まちづくり計画」平成 18 年 3 月　箱崎まちづくり協議会
・福岡市東区校区カルテ：
http://www.city.fukuoka.lg.jp/higashiku/kikaku/chiiki-info/001.html　2008.12.12
・箱崎伝統文化保存会ホームページ：http://www1.bbiq.jp/hako-den/　2009.3.3
・筥崎宮ホームページ：http://www.hakozakigu.or.jp/index.php　2009.3.3
・九州大学ホームページ：　http://www.kyushu-u.ac.jp/index.php　2009.3.3
・九州大学文書館ホームページ：http://www.arc.kyushu-u.ac.jp/index.php　2009.3.3
・「くうこうひろば」（成田空港）ホームページ：http://airport-community.naa.jp
2009.3.31

第２章　データで見た箱崎地区の特徴と変化

本章では、国勢調査や住民基本台帳による人口統計、商業統計、事業所統計等のデータから、箱崎地区の特徴及び最近の変化について述べる。

１．人口統計、商業統計でみた箱崎地区の特徴

（１）人口統計

①国勢調査（校区別）

箱崎地区（4 小学校区、38 町丁目）の人口等の総合的な動向について、直近 3 時点（平成 7（1995）年、平成 12（2000）年、平成 17（2005）年）の国勢調査データにより整理したものを、表２－１として 29～30 ページに掲載した。

図２－１～図２－４は、4 校区別に、5 歳階級の人口ピラミッドによる人口構成の 3 時点比較をみたものである。これによると、各校区で人口構成に差異があることがわかる。

○箱崎校区（図２－１）

人口は減少傾向にあり、特に 20～24 歳の人口が減少している。一方、20 歳代、30 歳代の人口構成比率は高まりつつあり、特に 20～24 歳の割合が高くなっている。また、55～59 歳の年齢層の割合も高まっている。

男女比では、男性が女性よりも多く、また、男女ともに 20～24 歳の年齢層が最も多い。

○筥松校区（図２－２）

人口総数は、平成 7（1995）年 → 平成 12（2000）年は減少したが、平成 12（2000）年 → 平成 17（2005）年は増加に転じている。箱崎校区と同様に、20～24 歳の年齢層が最も多いが、年を追うにつれ 20～24 歳の人口が減少しており、特に、20～24 歳の女性人口の減少が目立っている。また、2005 年にかけて、30 歳代の人口構成が増加している。

男女比では、男性が女性よりも多い。

○東箱崎校区（図２－３）

人口総数は、他の 3 校区と比べてかなり少ない。平成 7（1995）年 → 平成 12（2000）年は増加したが、平成 12（2000）年 → 平成 17（2005）年は減少に転じている。高齢者を除くと、各年齢層でほぼ同じ人口規模を擁している。この構成は、他の 3 校区の構成と全く異質である。

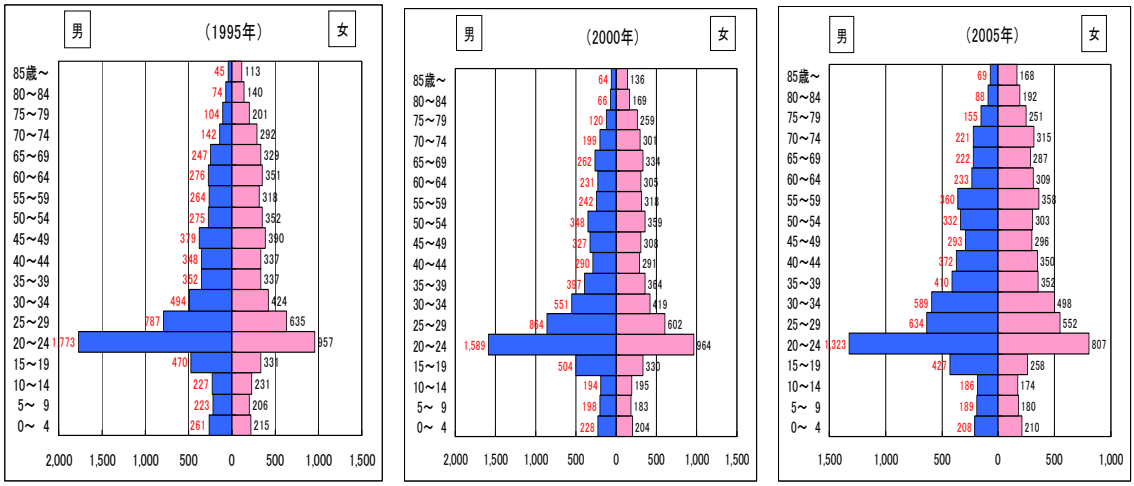
男女比では、女性が男性よりも多い。

○松島校区（図２－４）

人口総数はこのところ大幅に増加している。20～24 歳の年齢層人口が最も多いが、その比率は年を追うにつれ低下している。一方で、ひとつ上の 25～29 歳、および 30～34 歳の年齢層では人口が増えており、箱崎や筥松とはやや違う人口構成ができつつある。

男女比では、男性が女性よりも多い。

図２－1　人口ピラミッド（箱崎校区・国勢調査）



総　数	13,086
男　性	6,867
女　性	6,219

人

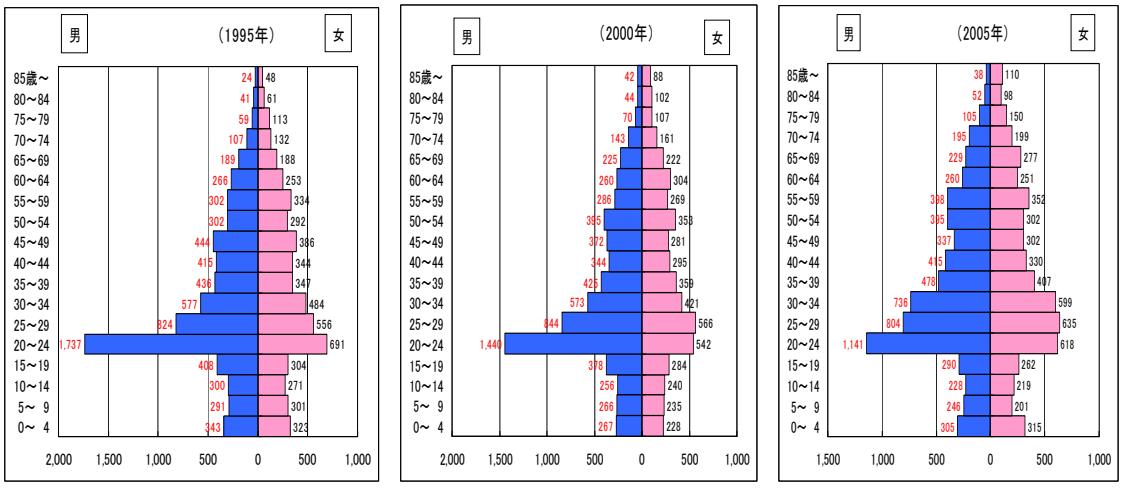
総　数	12,967
男　性	6,844
女　性	6,123

人

総　数	12,542
男　性	6,595
女　性	5,947

人

図２－２　人口ピラミッド（筥松校区・国勢調査）



総　数	12,616
男　性	7,173
女　性	5,443

人

総　数	11,939
男　性	6,840
女　性	5,099

人

総　数	12,681
男　性	6,976
女　性	5,705

人

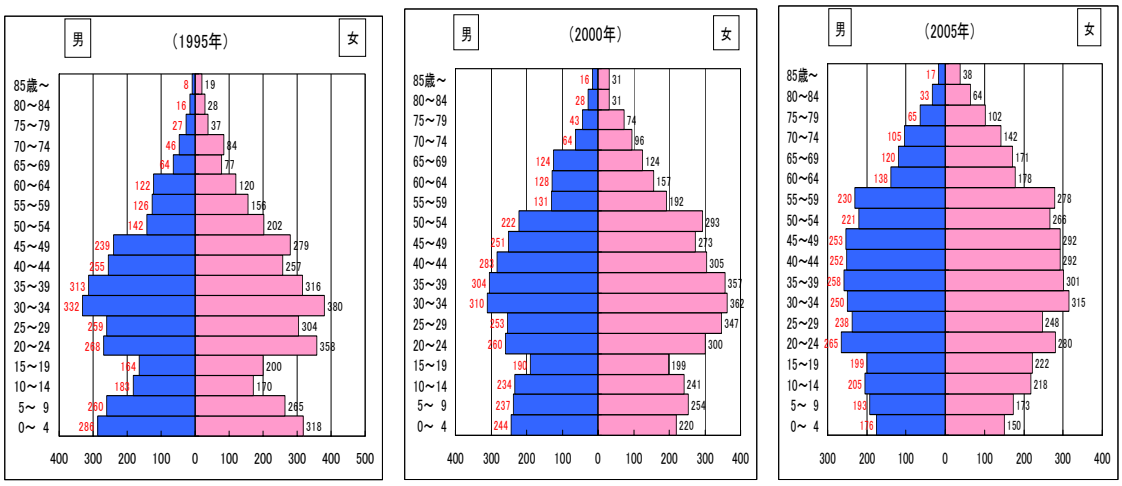
表２－1　３ヶ年の人口統計

町丁目	年	町丁目面積（m2）	人口総数	15歳未満率	15～64歳率	高齢化率	外国人率	人口密度（総数）	85歳以上率	世帯数	1世帯当り人員	1人世帯率	5人以上世帯率	単身者（下宿等）世帯率	高齢者居住世帯率	高齢者のみ居住世帯率	核家族世帯率	夫婦のみ世帯率	夫婦＋子世帯率	3世代世帯率	高齢者単身世帯率	高齢者夫婦世帯率	戸建て世帯率	共同住宅世帯率	共同住宅6階以上世帯率	共同住宅6階～10階世帯率	共同住宅11階以上世帯率	居住階数別世帯数(6階～10階)率	居住階数別世帯数(11階以上)率	居住期間別人口(出生時から)率	居住期間別人口(1年未満)率	居住期間別人口(1―5年)率	居住期間別人口(5―10年)率	居住期間別人口(10―20年)率	居住期間別人口(20年以上)率	大学・大学院生率
箱崎１丁目	1995	270,186	3,520	9.1	72.9	16.0	1.2	12,696.6	1.8	1,973	1.74	66.2	5.4		21.6			8.7			7.2	4.2	26.6	69.3	32.7										
	2000	277,226	3,516	8.3	72.0	18.2	1.2	12,682.8	2.0	2,062	1.68	67.1	4.1	2.1	23.2		25.6	8.7		3.6	9.1	4.7	24.0	72.3		20.7	21.4	17.4	3.5	12.1	14.7	29.0	17.4	15.7	19.4	15.3
	2005	286,204	3,379	7.9	70.6	18.6	2.7	11,806.3	2.1	1,964		64.9	3.3		23.0	14.3	29.4	11.8	12.6	2.6	8.8	5.0	19.4	75.1		19.9	28.6								
箱崎２丁目	1995	212,301	2,839	10.4	72.4	16.8	0.7	13,032.3	1.3	1,447	1.95	57.7	6.6		24.9			10.1			6.9	5.2	37.9	58.3	12.2										
	2000	217,847	2,823	9.0	70.8	18.8	1.1	12,958.7	2.0	1,522	1.83	61.2	5.2	2.3	25.9		29.6	10.1		5.5	8.1	5.7	36.0	61.0		14.5	2.0	7.6	0.4	14.2	10.3	25.3	17.3	20.2	25.1	14.8
	2005	224,333	2,620	8.2	66.6	22.6	2.2	11,679.1	3.2	1,371		58.8	4.4		31.8	16.8	31.7	10.6	14.2	5.4	10.7	5.4	34.5	60.3		19.0	2.1								
箱崎３丁目	1995	184,582	2,772	9.7	77.5	10.7	3.0	14,635.6	1.1	1,617	1.67	66.2	3.7		13.3			9.8			3.6	3.3	19.5	79.0	31.7										
	2000	187,547	2,901	8.2	78.0	13.0	3.8	15,468.1	1.4	1,826	1.57	71.3	3.0	1.9	14.7		22.9	8.1		2.2	5.8	3.2	17.1	79.1		16.3	26.6	17.6	5.3	9.9	14.4	32.2	19.1	15.9	15.0	19.6
	2005	187,979	2,744	9.3	75.8	12.7	4.3	14,597.4	1.7	1,654		67.9	2.6		16.0	9.4	27.0	9.4	13.1	2.0	6.8	2.5	13.2	82.0		19.3	30.9								
箱崎４丁目	1995	293,678	1,846	8.7	82.8	6.8	1.6	6,125.8	0.4	1,184	1.53	75.8	3.8		7.7			5.7			1.4	2.1	12.3	87.2	11.3										
	2000	301,336	1,810	5.1	80.8	8.0	1.0	6,006.6	0.8	1,161	1.46	78.6	3.2	1.3	9.6		16.2	5.4		2.5	2.8	1.8	13.7	84.6		11.9	0.0	3.3	0.0	3.8	19.4	30.4	16.5	31.7	5.9	24.8
	2005	305,144	1,719	4.4	78.1	10.1	3.0	5,633.4	1.0	1,127		78.3	1.7		12.2	7.1	17.3	5.9	7.4	1.7	5.1	1.9	11.8	83.1		13.9	0.0								
箱崎５丁目	1995	140,825	3,594	20.3	73.9	5.5	4.4	24,870.8	0.2	1,480	2.42	30.4	4.6		10.6			18.2			2.8	2.7	0.2	92.0	89.1										
	2000	184,231	3,512	17.1	72.1	9.7	4.3	19,063.0	0.5	1,501	2.31	32.2	4.3	1.9	17.3		63.4	19.4		1.0	6.1	5.3	0.0	98.9		13.6	74.8	33.9	18.1	6.4	9.3	23.9	72.0	57.6	2.4	4.1
	2005	186,990	3,567	14.0	73.6	12.3	5.1	19,075.8	0.9	1,546		32.7	4.5		21.5	11.9	61.3	19.0	31.0	1.8	7.4	4.4	0.2	94.8		18.7	70.3								
箱崎６丁目	1995	573,426	1,265	11.1	74.3	14.5	3.7	2,149.9	1.3	693	1.67	68.3	2.9		19.3			7.9			7.4	4.9	17.6	79.8	0.0										
	2000	550,611	1,071	15.0	70.6	13.1	0.7	1,945.1	1.5	512	1.78	65.6	5.3	1.6	21.1		29.7	8.2		2.0	11.1	4.3	13.9	84.6		0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	24.8	31.4	19.3	18.6	17.6	14.5
	2005	558,761	1,043	14.2	73.5	12.3	2.4	1,866.6	1.1	515		63.5	4.5		19.0	12.6	32.4	10.5	16.7	1.2	8.7	3.5	12.8	84.1		26.4	0.0								
箱崎７丁目	1995	321,640	2,551	27.9	66.6	5.4	4.5	7,729.3	0.5	851	2.86	19.2	10.6		10.7			14.5			2.5	2.7	2.8	94.7	68.9										
	2000	357,947	2,614	24.1	67.3	7.9	10.1	7,302.8	0.7	945	2.65	24.9	7.5	0.2	14.5		69.8	15.9		2.5	3.7	4.6	3.4	94.1		36.9	34.6	27.2	7.2	11.0	10.6	31.5	54.5	62.6	2.3	7.3
	2005	367,943	2,439	18.6	68.4	12.6	14.3	6,628.7	0.6	943		27.5	6.3		20.8	11.8	66.6	16.3	31.2	2.3	5.8	5.6	1.7	96.2		40.6	34.4								
筥松１丁目	1995	108,265	1,036	12.5	76.5	10.0	2.5	9,325.7	1.0	425	1.98	53.9	5.2		9.2			10.6			1.6	2.8	11.1	76.0	29.6										
	2000	111,028	1,106	12.1	74.9	11.8	2.2	9,961.5	1.1	495	1.91	57.6	4.6	0.6	10.5		37.2	11.1		0.8	2.6	3.6	8.9	81.2		41.0	0.0	12.1	0.0	5.4	18.5	29.0	44.4	30.9	9.6	9.0
	2005	116,544	1,109	13.7	69.8	11.3	1.1	9,515.7	1.2	439		48.5	4.8		12.3	7.3	45.3	15.0	23.5	1.4	3.9	3.4	9.6	77.7		48.2	0.0								
筥松２丁目	1995	209,063	1,869	7.0	79.8	12.2	2.4	8,712.2	1.1	1,176	1.57	70.9	2.7		14.6			8.2			5.5	3.5	19.6	74.4	15.0										
	2000	214,583	1,114	4.6	80.9	14.4	2.3	5,191.5	1.7	750	1.49	74.5	2.5	2.1	15.5		21.5	7.5		1.1	5.5	4.4	18.0	75.5		21.2	0.0	7.1	0.0	7.5	15.3	33.4	17.6	15.1	19.1	23.9
	2005	221,801	1,700	7.8	80.8	11.3	2.5	7,664.5	1.4	1,123		70.0	2.2		12.4	7.9	25.0	11.2	10.1	1.2	4.6	3.0	11.6	81.9		40.6	0.0								
筥松３丁目	1995	211,348	1,805	9.7	81.4	8.9	2.3	8,323.1	0.9	1,128	1.60	72.3	3.3		10.5			6.2			3.4	2.3	14.9	80.3	2.3										
	2000	216,887	1,861	12.8	75.2	11.9	2.4	8,580.5	0.8	1,055	1.77	62.7	3.5	1.8	16.0		31.7	9.2		2.4	6.1	3.0	14.2	79.6		17.3	0.0	6.4	0.0	7.0	13.8	39.5	26.6	14.9	12.4	17.9
	2005	226,471	2,012	11.2	69.0	14.5	4.2	8,884.2	1.3	1,077		60.3	4.1		21.1	13.3	34.1	12.1	14.2	2.4	9.5	3.4	13.1	80.6		23.9	0.0								
筥松４丁目	1995	287,779	2,282	10.8	77.6	9.5	0.9	7,728.0	0.7	1,026	1.97	51.9	5.4		16.3			13.4			4.5	3.9	18.3	76.5	17.6										
	2000	295,319	2,615	12.1	76.6	10.2	1.5	8,854.8	0.8	1,195	2.02	51.6	3.8	0.9	17.2		43.9	13.6		2.1	5.7	4.1	15.8	77.7		14.8	8.1	10.3	0.8	6.1	14.3	38.1	27.6	32.2	10.1	18.9
	2005	300,168	2,850	12.0	75.3	11.2	3.5	9,494.7	0.9	1,329		49.2	2.6		17.5	8.9	46.0	16.5	21.5	2.0	5.2	3.3	13.8	80.7		19.0	15.0								
貝塚団地	1995	39,834	523	15.9	75.5	8.6	1.0	12,795.4	0.4	244	2.14	40.2	3.7		16.0			18.0			6.6	3.7	0.0	100.0	91.8										
	2000	40,885	1,318	19.7	72.3	7.1	0.8	32,236.7	0.8	595	2.19	41.8	5.4	0.0	12.4		53.6	16.1		1.0	4.4	3.4	0.0	99.8		16.0	82.7	42.0	15.5	7.5	13.8	56.9	24.4	8.2	4.9	2.1
	2005	42,226	1,270	18.3	70.3	10.6	1.7	30,076.6	0.6	578		41.7	4.5		18.7	11.8	54.5	16.1	29.9	1.0	8.5	2.9	0.0	99.5		15.9	82.5								
箱崎ふ頭１丁目	1995	367,129	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.00	0.0	0.0		0.0			0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
	2000	376,731	2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2005	384,971	5	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0	0		0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0								
箱崎ふ頭２丁目	1995	370,432	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.00	0.0	0.0		0.0			0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
	2000	380,017	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2005	392,420	8	0.0	0.0	0.0	0.0	20.4	0.0	0		0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0								
箱崎ふ頭３丁目	1995	95,682	605	17.7	75.0	7.3	21.2	6,162.3	0.7	275	2.20	45.1	6.2		13.5			13.8			4.0	1.1	9.1	84.0	17.8										
	2000	121,224	622	16.9	72.5	10.0	16.4	5,131.0	1.0	321	1.99	55.1	4.0	0.9	16.8		38.6	10.3		2.2	9.0	3.1	16.5	75.1		0.0	16.2	8.1	1.2	9.0	11.3	22.5	52.6	17.1	14.0	7.6
	2005	113,581	733	15.7	70.4	10.6	13.4	6,453.5	1.0	321		47.4	7.2		15.3	7.2	46.4	13.4	25.2	1.9	0.0	0.0	6.5	86.3		0.0	31.1								
箱崎ふ頭４丁目	1995	593,267	8	0.0	100.0	0.0	0.0	13.1	0.0	5	1.60	60.0	0.0		0.0			20.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
	2000	610,222	11	0.0	72.7	9.1	9.1	18.0	0.0	3	0.00	33.3	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	27.3	133.3	0.0	0.0	0.0
	2005	622,303	4	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	0.0	2		50.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0								
箱崎ふ頭５丁目	1995	660,580	15	0.0	73.3	26.7	0.0	22.1	0.0	9	1.67	66.7	11.1		22.2			22.2			0.0	22.2	11.1	0.0	0.0										
	2000	677,815	10	0.0	80.0	20.0	0.0	14.8	0.0	9	2.00	88.9	0.0	0.0	11.1		11.1	11.1		0.0	0.0	11.1	11.1	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	20.0	11.1	11.1	30.0	0.0
	2005	691,384	9	0.0	100.0	0.0	0.0	13.0	0.0	8		87.5	0.0		0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0								
箱崎ふ頭６丁目	1995	696,767	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.00	0.0	0.0		0.0			0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
	2000	714,992	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2005	731,395	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0		0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0								
郷口町	1995	102,430	492	14.6	76.0	9.3	1.8	4,681.2	0.2	257	1.91	58.4	7.0		14.4			8.2			5.1	2.3	19.1	70.8	12.8										
	2000	105,104	441	9.8	78.9	10.9	1.1	4,195.9	0.9	236	1.86	55.5	4.2	0.8	16.9		35.2	9.7		4.7	5.1	2.1	14.0	83.1		15.3	0.0	3.8	0.0	10.4	12.7	29.3	26.3	23.3	17.7	12.2
	2005	104,187	458	9.4	78.2	12.4	1.7	4,395.9	1.7	271		61.6	1.5		17.3	9.2	33.2	12.2	13.7	2.6	7.7	1.5	10.7	84.9		21.0	0.0								
社領１丁目	1995	96,345	599	25.2	72.5	1.5	0.3	6,059.1	0.5	208	2.86	21.2	11.5		4.3			13.5			1.9	0.5	11.1	84.1	76.0										
	2000	98,645	594	23.1	73.2	3.5	0.5	6,021.6	0.2	237	2.59	30.8	8.9	0.8	8.4		62.0	16.5		3.4	2.1	0.8	8.9	85.2		20.7	47.7	29.1	4.2	7.1	13.6	38.0	56.5	29.5	5.7	3.9
	2005	94,713	682	22.3	69.5	4.5	0.6	7,200.7	0.1	258		26.0	5.0		9.7	3.1	67.1	17.4	41.5	2.3	1.9	1.2	7.4	89.5		32.5	45.6								
社領２丁目	1995	182,161	386	13.2	79.8	7.0	0.3	2,065.1	0.0	203	1.90	56.2	3.9		10.3			12.3			1.5	2.5	15.8	75.4	31.5										
	2000	187,127	382	7.9	77.7	6.3	1.3	2,041.4	0.5	218	1.63	69.7	2.8	1.8	9.6		27.1	8.3		0.9	4.1	0.9	15.1	76.6		35.8	0.0	9.2	0.0	3.4	23.0	23.8	21.1	17.0	16.2	8.9
	2005	196,952	355	6.8	68.5	8.5	0.8	1,802.5	0.8	181		67.4	3.3		12.7	3.9	27.6	7.2	13.3	1.7	2.2	1.7	12.2	82.9		41.1	0.0								
社領３丁目	1995	176,011	38	5.3	89.5	5.3	0.0	210.4	0.0	17	2.24	35.3	0.0		11.8			17.6			5.9	5.9	52.9	5.9	0.0										
	2000	180,601	36	5.6	75.0	16.7	2.8	199.3	0.0	18	2.08	44.4	0.0	0.0	27.8		55.6	22.2		0.0	11.1	11.1	61.1	5.6		0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	2.8	16.7	33.3	44.4	30.6	0.0
	2005	185,465	19	10.5	57.9	31.6	0.0	102.5	0.0	8		25.0	0.0		50.0	25.0	62.5	37.5	25.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0		0.0	0.0								
松田１丁目	1995	170,256	327	25.4	74.0	0.6	0.0	1,871.7	0.0	112	0.00	0.0	0.0		0.0			0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
	2000	174,700	329	22.2	75.1	2.4	0.0	1,883.2	0.0	112	2.96	16.1	12.5	0.0	7.1		76.8	17.9		3.6	0.0	0.9	1.8	96.4		96.4	0.0	41.1	0.0	8.8	5.2	21.3	51.8	133.0	0.0	2.1
	2005	178,151	338	13.9	77.5	6.5	0.9	1,897.3	0.0	138		23.9	4.3		12.3	1.4	70.3	26.1	36.2	1.4	0.7	0.7	0.7	92.8		84.6	0.0								

町丁目	年	町丁目面積（m2）	人口総数	15歳未満率	15～64歳率	高齢化率	外国人率	人口密度（総数）	85歳以上率	世帯数	1世帯当り人員	1人世帯率	5人以上世帯率	単身者（下宿等）世帯率	高齢者居住世帯率	高齢者のみ居住世帯率	核家族世帯率	夫婦のみ世帯率	夫婦＋子世帯率	3世代世帯率	高齢者単身世帯率	高齢者夫婦世帯率	戸建て世帯率	共同住宅世帯率	共同住宅6階以上世帯率	共同住宅6階～10階世帯率	共同住宅11階以上世帯率	居住階数別世帯数(6階～10階)率	居住階数別世帯数(11階以上)率	居住期間別人口(出生時から)率	居住期間別人口(1年未満)率	居住期間別人口(1―5年)率	居住期間別人口(5―10年)率	居住期間別人口(10―20年)率	居住期間別人口(20年以上)率	大学・大学院生率
松田2丁目	1995	166,507	5	60.0	40.0	0.0	0.0	29.3	0.0	1	0.00	0.0	0.0		0.0			0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
	2000	170,854	5	0.0	0.0	0.0	0.0	29.3	0.0	1	0.00	0.0	100.0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2005	176,476	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0		0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0								
松田3丁目	1995	242,523	2,306	21.9	75.7	2.4	0.6	9,266.4	0.1	975	2.37	38.5	5.6		4.3			14.7			0.3	0.7	6.8	91.0	88.2										
	2000	248,882	3,435	23.0	72.4	3.8	0.8	13,801.7	0.2	1,351	2.56	31.8	6.5	0.7	7.2		61.4	14.9		3.3	0.4	1.3	5.6	90.7		55.5	32.7	35.8	5.0	9.2	13.5	36.4	71.4	18.0	1.4	3.3
	2005	254,745	3,662	20.2	74.1	5.3	0.6	14,375.2	0.5	1,440		28.6	6.7		10.1	2.7	64.3	17.5	37.4	2.6	1.1	1.4	4.9	93.1		58.8	29.1								
筥松新町	1995	74,659	560	25.5	71.3	3.0	1.4	7,309.9	0.4	190	2.94	23.7	10.0		6.8			7.4			1.1	0.5	13.7	84.2	57.9										
	2000	76,630	591	19.5	70.1	8.5	0.7	7,712.4	0.7	235	2.59	35.7	7.2	0.0	15.7		56.2	13.2		3.4	3.8	4.7	17.4	73.2		51.9	0.0	17.9	0.0	8.8	6.6	18.8	63.4	70.6	2.7	1.7
	2005	77,670	563	13.5	68.9	14.4	0.9	7,248.6	0.9	219		32.9	4.6		22.4	11.9	59.8	16.9	37.4	2.3	6.8	4.6	12.8	79.0		59.2	0.0								
二又瀬新町	1995	212,406	953	23.3	70.3	4.1	0.9	4,372.6	0.1	368	2.53	33.7	9.8		9.0			15.2			1.4	1.6	7.1	82.1	58.2										
	2000	217,963	1,133	19.2	73.8	6.7	1.1	5,198.1	0.4	500	2.47	41.0	7.2	0.4	11.4		54.2	15.2		2.6	2.4	2.4	6.0	78.2		63.0	0.0	22.6	0.0	9.7	10.9	31.7	34.0	56.6	4.2	0.9
	2005	222,242	1,145	17.3	72.9	8.4	1.3	5,152.0	0.7	486		39.9	8.0		15.0	6.0	53.7	13.6	30.9	4.1	3.5	2.5	4.9	82.1		71.2	0.0								
二又瀬	1995	123,188	320	10.0	79.4	10.6	2.2	2,531.6	0.9	161	1.99	49.7	4.3		16.1			13.0			3.1	5.0	23.6	62.1	13.0										
	2000	126,245	373	10.2	75.6	9.1	2.4	2,954.6	1.9	191	1.91	59.7	4.7	0.5	14.7		33.0	8.4		2.6	5.8	2.6	19.4	69.1		25.1	0.0	5.2	0.0	8.6	10.2	25.5	24.1	23.6	22.3	1.6
	2005	128,069	449	8.0	73.1	10.2	1.1	3,505.9	1.1	221		51.1	4.5		17.6	7.7	37.1	16.3	13.6	3.6	5.0	2.3	12.7	76.9		46.6	0.0								
原田1丁目	1995	306,860	3,601	15.0	79.7	4.5	3.0	11,436.5	0.2	1,923	1.86	59.4	4.7		6.8			9.6			1.4	1.4	8.7	88.5	39.9										
	2000	314,919	3,601	12.5	76.1	8.9	1.8	11,434.7	1.5	1,881	1.85	58.9	3.9	0.9	10.7		35.0	10.3		2.0	2.5	3.1	10.1	85.1		43.9	0.0	13.7	0.0	6.6	12.8	30.7	23.3	42.3	7.6	13.6
	2005	320,886	3,580	10.9	74.1	11.5	3.0	11,156.6	1.5	1,881		57.9	3.2		15.1	7.9	35.7	11.6	17.5	2.3	4.9	2.8	8.3	87.8		46.4	0.0								
原田2丁目	1995	214,712	2,670	13.1	75.2	10.3	3.1	12,118.9	0.9	1,449	1.78	63.2	4.3		14.3			10.0			3.3	3.9	22.3	69.8	13.3										
	2000	220,243	2,495	10.7	73.6	12.6	2.8	11,328.4	0.9	1,375	1.71	64.1	3.2	2.3	17.3		31.0	9.2		2.2	5.5	4.1	23.5	70.4		13.7	0.0	4.1	0.0	7.7	13.2	29.8	19.9	26.4	17.9	15.1
	2005	223,918	2,517	12.0	71.3	14.6	3.2	11,240.7	1.1	1,387		61.5	2.4		19.7	12.3	33.2	11.0	14.2	2.2	7.7	4.4	19.2	72.7		13.4	2.3								
原田3丁目	1995	131,933	206	5.8	83.0	11.2	1.5	1,521.6	0.5	136	1.51	77.2	2.2		13.2			3.7			5.9	2.2	17.6	80.9	27.2										
	2000	135,339	399	16.8	77.9	5.3	1.3	2,948.2	0.5	202	2.02	59.4	5.0	2.0	8.4		36.1	7.9		2.0	2.5	1.5	10.9	84.2		51.0	0.0	18.3	0.0	7.5	11.0	55.6	10.9	10.9	9.5	9.3
	2005	138,763	474	21.5	70.9	7.4	0.0	3,415.9	0.4	215		47.0	4.7		12.6	6.5	49.8	12.1	32.6	1.4	4.2	1.9	10.7	87.0		61.9	0.0								
原田4丁目	1995	311,280	2,241	19.7	76.0	4.3	1.6	7,016.2	0.2	981	2.28	43.6	6.7		7.8			11.0			1.1	0.8	11.0	83.0	75.0										
	2000	319,446	2,290	19.2	75.2	5.5	1.8	7,168.7	0.3	997	2.39	41.1	5.0	1.2	10.0		52.9	12.0		3.3	1.6	2.0	9.2	83.6		58.0	16.2	30.1	1.6	8.8	9.9	23.1	68.1	52.9	1.8	1.3
	2005	326,051	2,738	19.5	72.5	7.7	2.0	8,397.5	0.4	1,172		38.7	5.9		13.7	5.8	54.9	13.4	33.7	3.6	3.3	2.5	8.0	74.9		72.9	5.1								
松島1丁目	1995	279,402	972	14.2	78.5	7.1	0.9	3,390.4	0.4	506	1.92	57.1	5.3		10.5			10.3			2.2	2.8	19.6	72.5	16.2										
	2000	286,736	1,284	17.7	70.2	7.8	1.6	4,478.0	0.6	585	2.12	47.7	6.0	1.4	12.8		47.0	13.5		2.4	2.9	2.4	16.1	77.8		28.9	5.8	13.7	1.5	7.1	11.3	39.6	21.5	34.0	9.4	7.8
	2005	296,405	1,784	19.9	72.6	7.2	1.9	6,018.8	0.5	815		43.8	5.4		12.0	6.1	50.8	13.7	28.6	1.7	3.3	2.7	10.2	85.2		44.3	4.3								
松島2丁目	1995	107,378	744	6.3	88.8	4.6	1.5	6,752.5	0.5	537	1.37	83.6	2.2		4.5			2.4			0.9	0.7	7.8	88.1	9.9										
	2000	110,171	657	9.1	83.4	6.5	2.4	5,963.5	0.9	458	1.42	79.5	2.2	1.3	6.6		17.2	4.1		2.0	1.3	1.1	8.1	86.9		15.1	0.0	2.2	0.0	5.3	19.0	34.6	16.8	13.5	11.6	26.5
	2005	114,321	640	9.5	80.9	8.1	3.8	5,598.3	1.1	427		74.5	1.4		8.9	4.9	21.1	5.9	10.1	1.4	4.0	0.9	8.9	85.5		16.4	0.0								
松島3丁目	1995	241,263	662	17.4	78.9	3.8	0.9	2,674.1	0.3	336	1.97	56.3	5.4		5.7			11.0			0.6	0.9	6.3	89.0	37.5										
	2000	247,578	723	12.9	78.4	4.4	3.0	2,920.3	0.1	366	2.02	57.9	5.2	1.4	7.1		37.7	10.4		1.4	1.4	1.1	4.4	82.0		32.8	0.0	7.1	0.0	6.6	10.4	35.4	29.2	42.6	5.5	7.1
	2005	253,263	838	14.6	79.0	6.1	1.9	3,308.8	0.2	452		57.3	3.5		8.8	2.4	37.4	11.5	19.2	1.3	1.3	1.1	4.2	83.2		48.4	0.0								
松島4丁目	1995	204,036	214	17.3	78.5	2.3	0.5	1,022.1	0.0	105	2.00	57.1	4.8		3.8			9.5			0.0	1.9	17.1	81.0	47.6										
	2000	209,372	271	12.2	80.4	3.3	0.0	1,294.3	0.0	148	1.76	60.8	2.0	1.4	4.1		35.1	13.5		1.4	0.0	3.4	11.5	87.8		52.0	0.0	16.9	0.0	7.4	27.7	26.9	29.1	17.6	8.5	19.2
	2005	213,336	450	21.1	72.9	6.0	0.0	2,109.4	0.4	204		49.0	6.9		8.3	2.9	41.7	8.3	29.4	3.9	0.5	2.5	7.4	89.2		48.3	20.9								
松島5丁目	1995	193,187	100	14.0	85.0	1.0	9.0	504.5	0.0	63	1.59	74.6	4.8		1.6			3.2			0.0	0.0	15.9	55.6	41.3										
	2000	198,234	95	3.2	87.4	5.3	1.1	479.2	0.0	72	1.54	84.7	1.4	9.7	4.2		13.9	5.6		0.0	1.4	1.4	12.5	36.1		31.9	0.0	9.7	0.0	7.4	28.4	28.4	18.1	8.3	9.5	6.3
	2005	204,216	74	4.1	90.5	5.4	9.5	362.4	0.0	51		76.5	3.9		5.9	2.0	17.6	5.9	7.8	2.0	2.0	0.0	15.7	47.1		52.8	0.0								
松島6丁目	1995	278,491	74	6.8	83.8	9.5	4.1	259.0	0.0	53	1.40	77.4	1.9		9.4			9.4			1.9	3.8	7.5	67.9	0.0										
	2000	285,775	67	4.5	83.6	11.9	0.0	234.5	0.0	52	1.44	84.6	3.8	0.0	11.5		13.5	5.8		1.9	1.9	3.8	7.7	53.8		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.9	29.9	32.7	25.0	1.5	7.5
	2005	291,372	61	9.8	73.8	16.4	0.0	209.4	1.6	46		82.6	4.3		17.4	13.0	17.4	4.3	6.5	0.0	8.7	4.3	17.4	41.3		0.0	0.0								
計　平均	1995	9,451,811	44,000	14.5	75.5	8.4	2.5	219,415.2	0.7	22,114	1.99	56.3	5.0		12.5			10.4			3.5	2.8	15.5	79.1	34.8										
	2000	9,751,011	46,107	14.0	74.2	10.2	2.5	237,708.2	1.0	23,187	1.99	55.7	4.5	1.4	14.9		38.5	11.1		2.5	4.8	3.4	14.1	80.8		26.4	16.4	16.3	3.1	8.3	13.3	31.6	32.6	30.1	10.2	11.5
	2005	9,961,819	48,038	13.3	72.9	11.7	3.4	240,927.5	1.1	23,869		53.1	4.0		17.2	9.3	41.0	12.8	20.8	2.3	5.8	3.2	11.5	82.4		32.3	17.0								

国勢調査より

図２－３　人口ピラミッド（東箱崎校区・国勢調査）



総　数	6,681
男　性	3,110
女　性	3,571

人

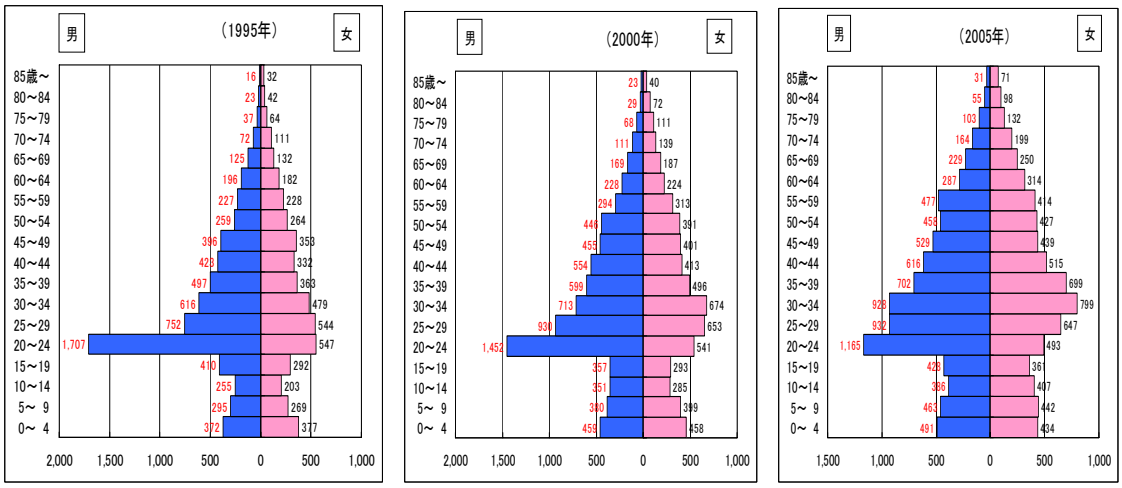
総　数	7,241
男　性	3,363
女　性	3,878

人

総　数	6,998
男　性	3,259
女　性	3,739

人

図２－４　人口ピラミッド（松島校区・国勢調査）



総　数	11,548
男　性	6,721
女　性	4,827

人

総　数	13,879
男　性	7,755
女　性	6,124

人

総　数	15,772
男　性	8,598
女　性	7,174

人

②国勢調査（町丁目）

ここでは、大学移転の影響が、4 校区の中でも特に大きいと考えられる、九州大学箱崎キャンパスの近隣の町丁目に対象を絞り、最近の人口の変化について分析を行った。具体的には、箱崎 1～7 丁目、筥松 1～4 丁目、原田 1～4 丁目、松島 1～6 丁目の 21 町丁目を対象とし（図２－５）、各町丁目の人口について国勢調査データの変化（平成 7（1995）年、平成 12（2000）年、平成 17（2005）年の 3 時点。以下同じ。）をみた。

図２－５　対象町丁目

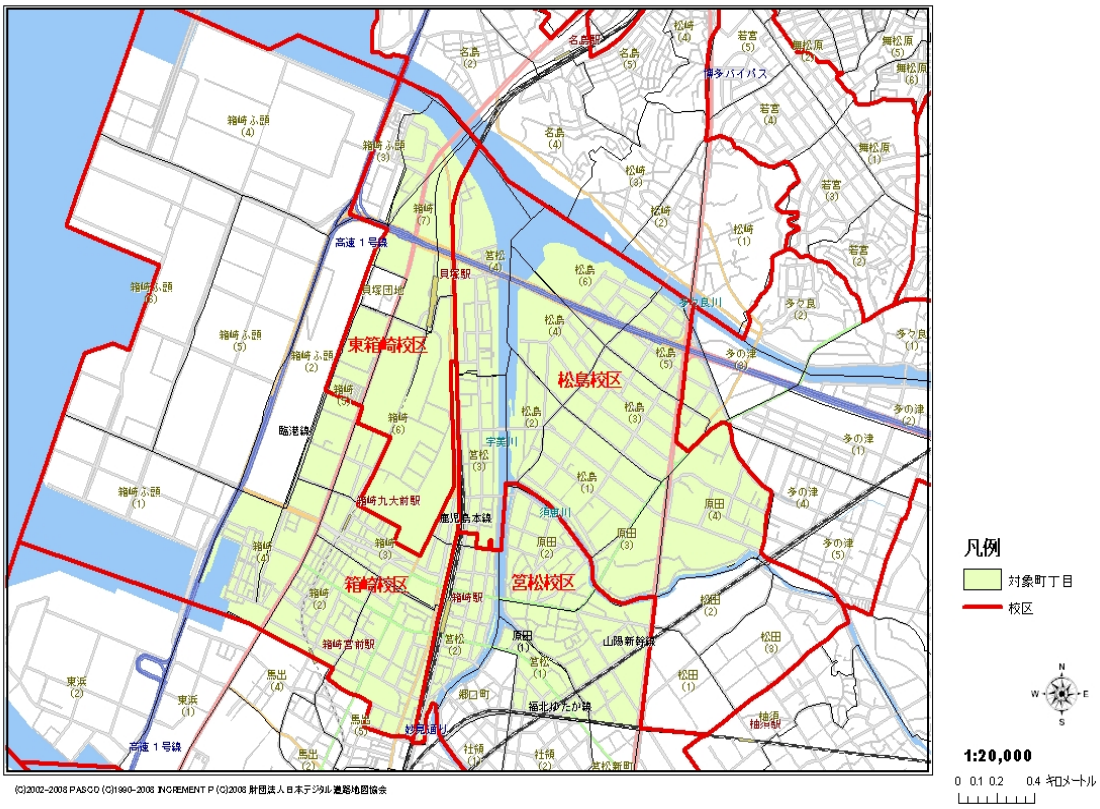


図２－６は、各町丁目の人口総数の変化をみたものである。これによると、町丁目間で大きな差異があることがわかる。

箱崎では、箱崎 5 丁目以外の全ての町丁目で人口が減少している一方、筥松の全ての町丁目、および原田 3、4 丁目、松島 1、3、4 丁目で人口が増加している。特に、筥松 4 丁目、原田 3、4 丁目、松島 1 丁目で増加の伸びが著しい。この間、筥松 2 丁目は他の町丁目と異質な変化を見せており、平成 7（1995）年→平成 12（2000）年では大幅な人口減であったが、平成 12（2000）年→平成 17（2005）年では逆に大幅な人口増となっている。

なお、人口規模では、箱崎 1、5 丁目、原田 1 丁目が、それぞれ 3,500 人近くの大きな人口を擁している。

図２－７は、各町丁目の 15 歳未満人口の変化をみたものである。

箱崎では、箱崎 6 丁目以外の全ての町丁目で減少となっている。特に、箱崎 4、5、7 丁目、および原田 1 丁目で、その減少が著しい。一方で、筥松 3、4 丁目、原田 3、4 丁目、松島 1、2、4 丁目では増加しており、特に、筥松 4 丁目、原田 3、4 丁目、松島 1 丁目で著しい。また、筥松 2 丁目は、15 歳未満の人口変化でも他と比べて異質な動きをしており、平成 7（1995）年→平成 12（2000）年では大幅減、平成 12（2000）年→平成 17（2005）

年では逆に大幅増となっている。

図２－８は、各町丁目の15～64歳人口の変化をみたものである。

箱崎の多くの町丁目や筥松、原田のいくつかの町丁目で、人口が減少している。一方、筥松４丁目、原田3、4丁目、松島１丁目、松島3、4丁目で、人口が増加している。また、筥松２丁目は、15～64歳人口の変化でも他と比べて異質な動きをしており、平成７（1995）年→平成12（2000）年では人口が減少しているが、平成12（2000）年→平成17（2005）年では、逆に人口が増加している。

図２－９は、各町丁目の65歳以上の高齢者人口について、変化をみたものである。

ほとんど全ての町丁目で増加となっており、特に、箱崎２、５、７丁目、筥松３、４丁目、原田１、２、４丁目、松島１～４丁目の各町丁目で、増加が著しい。また、筥松２丁目は、高齢者人口の変化でも他と比べて異質な動きをしており、平成７（1995）年→平成12（2000）年では人口が減少しているが、平成12（2000）年→平成17（2005）年では、逆に人口が増加している。

図２－６　人口総数の変化

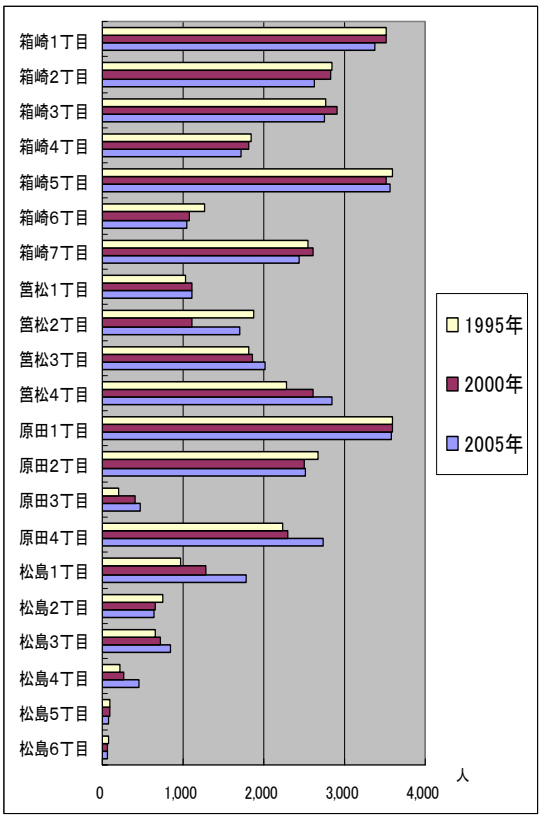


図２－７　15歳未満人口の変化

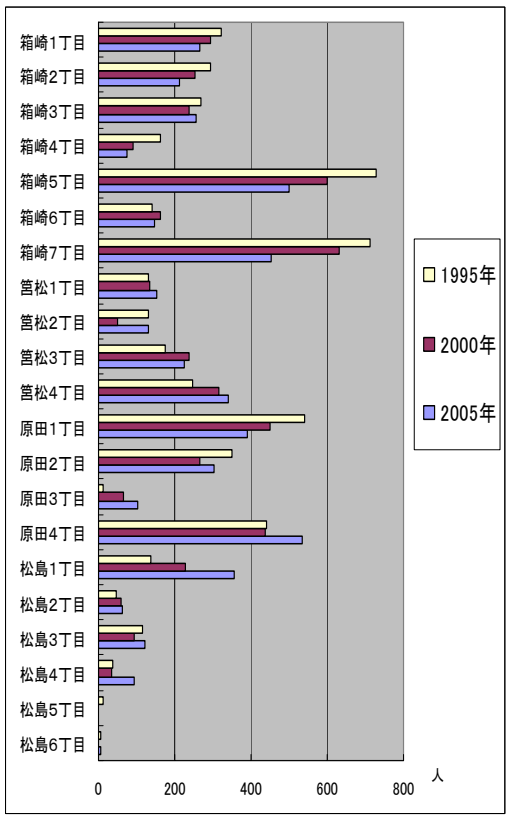


図２－８　15～64 歳人口の変化

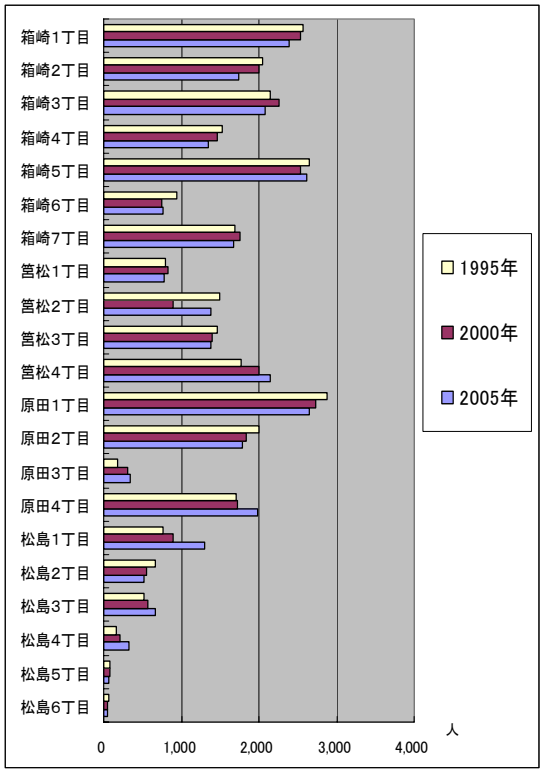
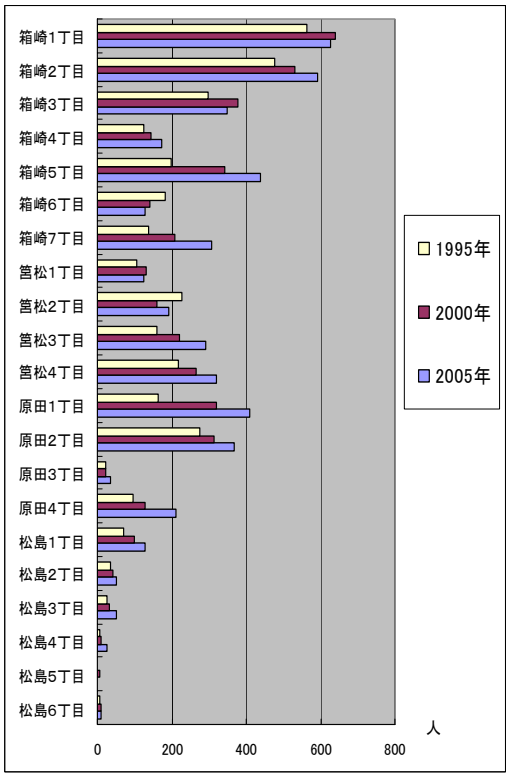


図２－９　高齢者（65 歳以上）人口の変化



以上の結果から、4 校区では全般的に人口減少が進んでいる一方、筥松、原田、松島の 3 校区の一部では人口増加となっていることが明らかとなった。特に、筥松 4 丁目、原田 3、4 丁目、松島 1 丁目で増加が著しいが、これは 15 歳未満の子ども人口や 15～64 歳人口の増加が大きく影響していると考えられ、まさしく若い家族世帯が増加しているものと推測される。これについては、松島小学校が市内でも有数の児童数を誇る大規模学校であることからも、理解できる。

一方で、箱崎校区は、昔からの古い家屋が残っており、高齢者人口が多く、子ども人口が減少している。平成 17（2005）年の九州大学の移転開始は、国勢調査データには織り込まれていないため、これらの人口増減の変化は大学移転では説明がつかず、他の理由によるものと推測されるが、明らかな根拠となるものがここでは不明である。

また、筥松 2 丁目の人口変化の動きが、非常に特徴的である。平成 7（1995）年から平成 12（2000）年にかけては人口が減少しているが、平成 12（2000）年から平成 17（2005）年にかけては、逆に人口が増加している。この理由も定かではないが、JR 鹿児島本線沿いに以前立地していた学生向けの低層アパート等が、最近、高層集合住宅へ変わってきている現状から推測すると、最近の人口増加も理解できる。

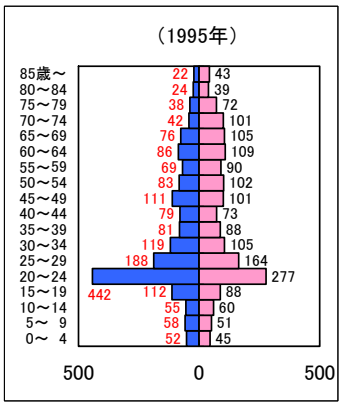
箱崎地区の中心地区である箱崎及び筥松について、いくつかの町丁目ごとに、5 齢階ごとの人口ピラミッドを示した。

図２－10 は、箱崎 1～3 丁目の人口ピラミッドをまとめたものである。これによると、20～24 歳の人口の変化が明らかである。3 時点（平成 7（1995）年、平成 12（2000）年、平成 17（2005）年）の変化をみると、箱崎 1～2 丁目は順に減少しているが、箱崎 3 丁目は、平成 7（1995）年→平成 12（2000）年では人口が増加し、平成 12（2000）年→平成 17（2005）年では逆に人口が減少している。また、人口の男女比をみると、全市および東区全体で、女性が男性より多いにも関わらず、箱崎 3 丁目は、男性が女性より多い。

同様に、筥松 2～4 丁目の人口ピラミッドを図２－11 に示した。これによると、筥松 3～4 丁目は、順に増加しているが、筥松 2 丁目の 20～24 歳人口の変化をみると、平成 7（1995）年→平成 12（2000）年では人口が激減（1,850 人→1,112 人、39.9%減）し、平成 12（2000）年→平成 17（2005）年では、逆に人口が激増（1,112 人→1,698 人、52.7%増）している。このような急激な変化は極めて異質である。この筥松 2 丁目の変化は、前述したように、非常に限られた地区のまちとしての大きな変貌によるものと推測されるが、確証はない。また、人口の男女比をみると、筥松 2～4 丁目で男性が女性より多く、特に、最も人口が多い 20～24 歳の年齢層で顕著である。

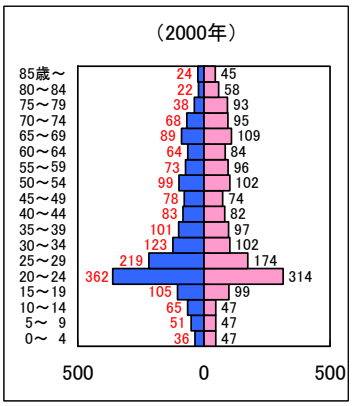
図２－10　人口ピラミッド（箱崎 1～3 丁目）

箱崎1丁目



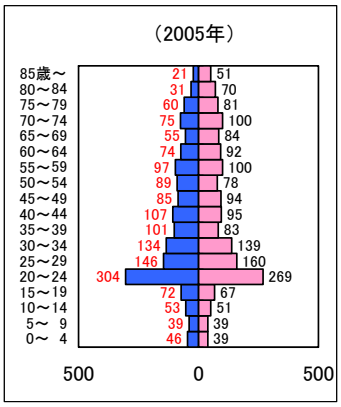
男	女	計
1,737	1,713	3,450

（人）



男	女	計
1,700	1,765	3,465

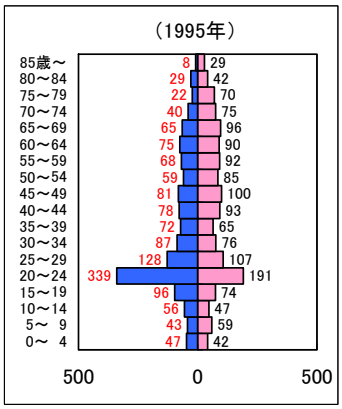
（人）



男	女	計
1,589	1,692	3,281

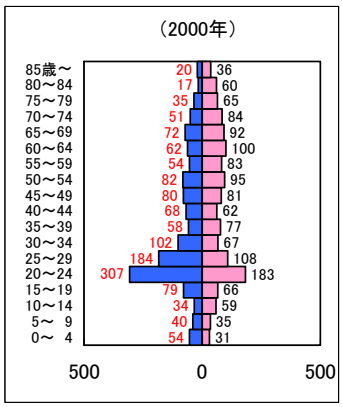
（人）

箱崎2丁目



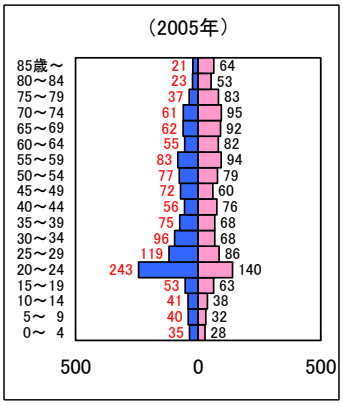
男	女	計
1,393	1,433	2,826

（人）



男	女	計
1,399	1,384	2,783

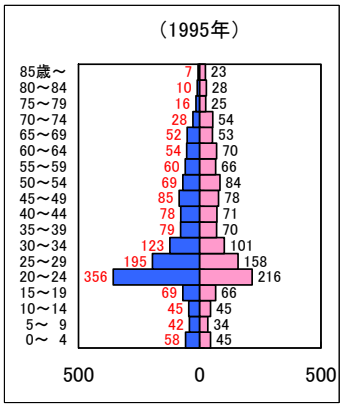
（人）



男	女	計
1,249	1,301	2,550

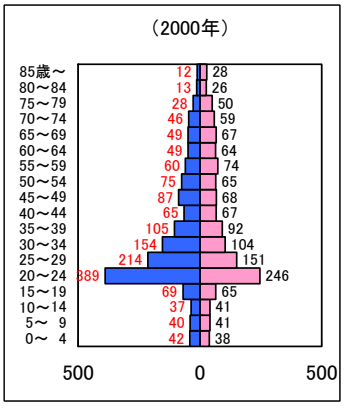
（人）

箱崎3丁目



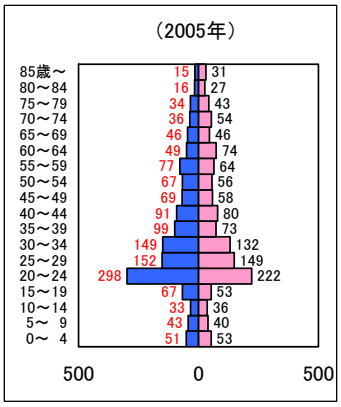
男	女	計
1,426	1,287	2,713

（人）



男	女	計
1,534	1,346	2,880

（人）

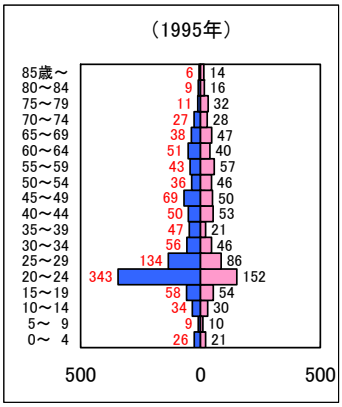


男	女	計
1,392	1,291	2,683

（人）

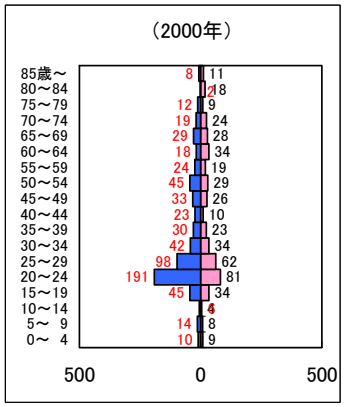
図２－11　人口ピラミッド（筥松 2～4 丁目）

筥松2丁目



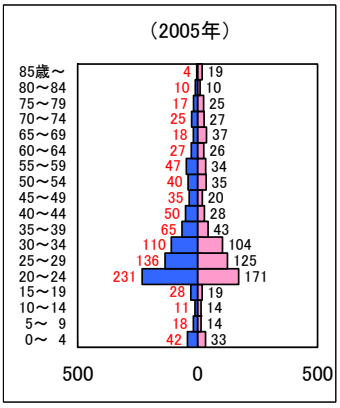
男	女	計
1,047	803	1,850

（人）



男	女	計
649	463	1,112

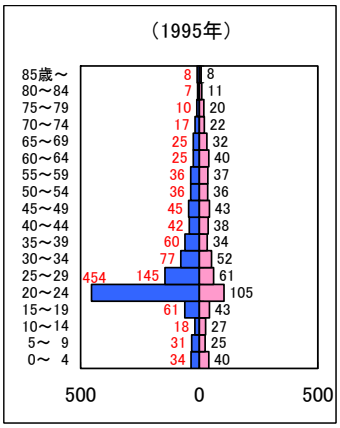
（人）



男	女	計
914	784	1,698

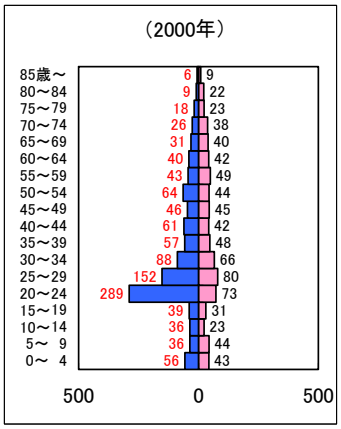
（人）

筥松3丁目



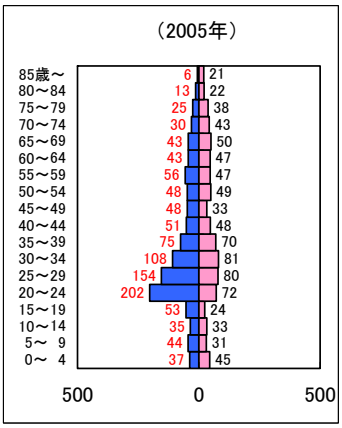
男	女	計
1,131	674	1,805

（人）



男	女	計
1,097	762	1,859

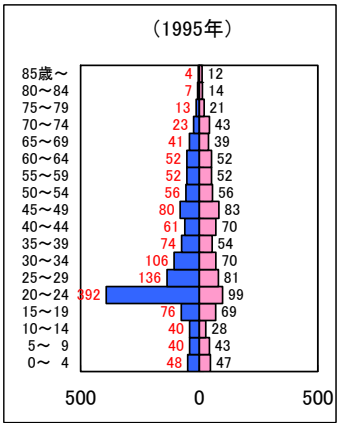
（人）



男	女	計
1,071	834	1,905

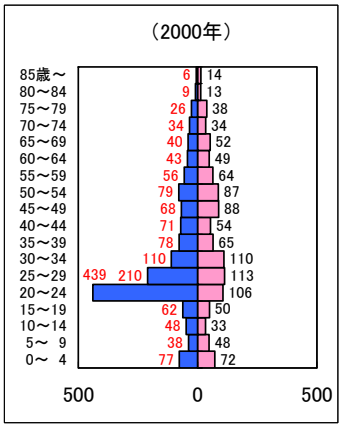
（人）

筥松4丁目



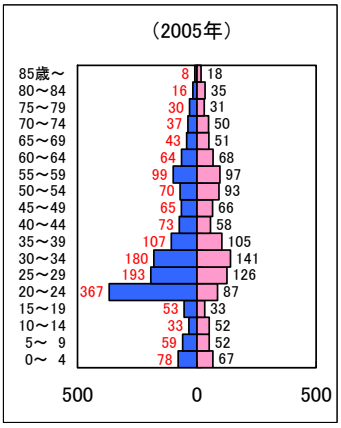
男	女	計
1,301	933	2,234

（人）



男	女	計
1,494	1,090	2,584

（人）



男	女	計
1,575	1,230	2,805

（人）

次に、世帯類型別にみた 4 校区の特徴について、平成 12 年および平成 17 年の各町丁目のデータ（各種世帯類型の比率）を比較することにより分析した。

図２－12 は、単身世帯率の推移をみたものである。これによると、松島 1、2、4 丁目、箱崎 2 丁目等で減少しているが、他の町丁目では大きな変化は認められない。なお、多々良川を挟んで北に隣接する名島、松崎、若宮や、山陽新幹線を挟んで南東に隣接する松田などの周辺の地区と比べると、4 校区は全般的に高い。

図２－13 は、夫婦のみの世帯率の推移をみたものである。これによると、箱崎 1、6 丁目、筥松 2～4 丁目、松島 2、4、6 丁目、原田 2、3 丁目等で増加している。なお、名島、松崎、若宮や松田などの周辺の地区と比べると、4 校区は全般的に低い。

図２－14 は、高齢者（65 歳以上）と同居している世帯率の推移をみたものである。これによると、箱崎 2～7 丁目、筥松 3 丁目、松島 4～6 丁目、原田 1、3、4 丁目等で増加している一方、筥松 2 丁目では減少している。なお、名島、松崎、若宮や、南側に隣接する馬出などの周辺の地区と比べると、4 校区は全般的に低い。

図２－15 は、高齢化率（65 歳以上）の推移をみたものである。これによると、箱崎 2、4、7 丁目、松島 6 丁目、原田 1 丁目等で増加している。なお、名島、松崎、若宮や馬出などの周辺の地区と比べると、4 校区は全般的に低い。

図２－16 は、共同住宅世帯率の推移をみたものである。これによると、箱崎 3 丁目、筥松 1～4 丁目、松島 1、5 丁目等で増加している。なお、名島、松崎、若宮などの周辺の地区と比べると、4 校区は全般的に高い。

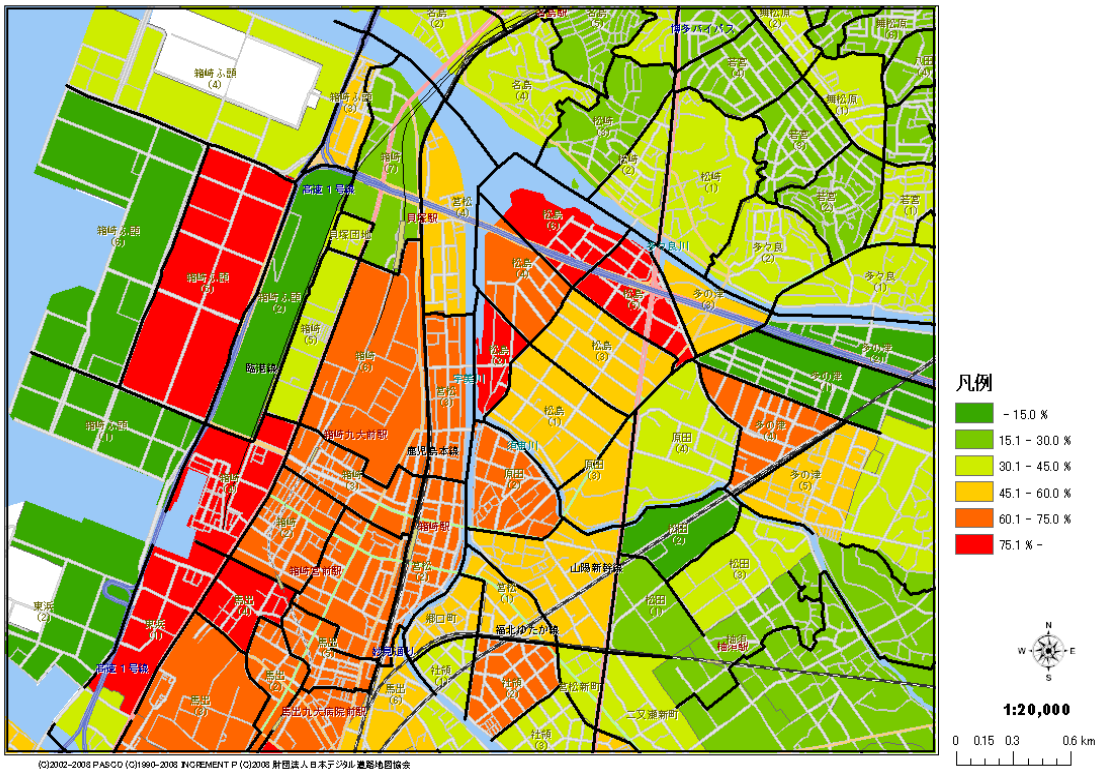
図２－17 は、共同住宅のうち 6 階以上の高層住宅に住んでいる世帯率の推移をみたものである。これによると、松島 1、4 丁目、原田 2 丁目等で増加しているが、他の町丁目では大きな変化は認められない。

図２－18 は、共同住宅のうち 5 階以下の低層住宅に住んでいる世帯率の推移をみたものである。これによると、箱崎 5、6 丁目等で減少している一方、松島 1、3～5 丁目、原田 2、3 丁目等では増加している。

図２－19 は、1 世帯当りの平均人数の推移をみたものである。これによると、箱崎 7 丁目、筥松 4 丁目、松島 3 丁目等で 1 世帯当りの平均人数が減少している一方、松島 4 丁目等では逆に増加している。なお、名島、松崎、若宮や松田などの周辺の地区と比べると、4

校区は全般的に低い。

図２－12　　単身世帯率（上段：平成 12 年、下段：平成 17 年）



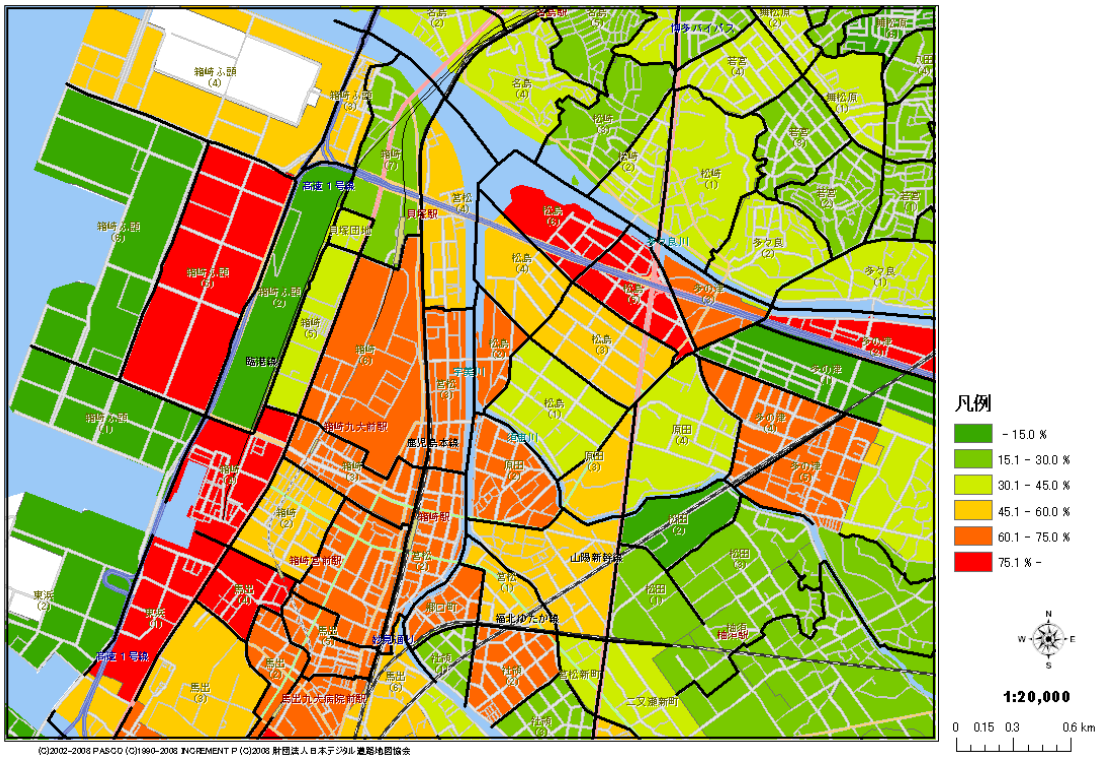
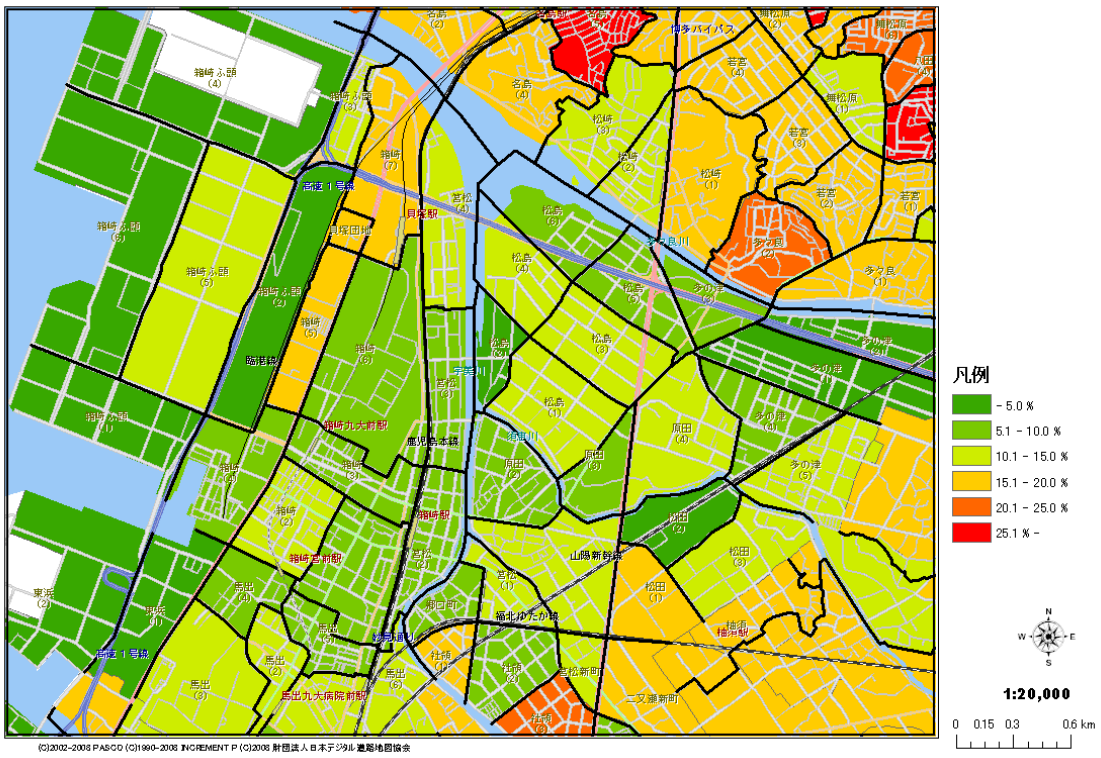


図２－13　夫婦のみ世帯率（上段：平成 12 年、下段：平成 17 年）



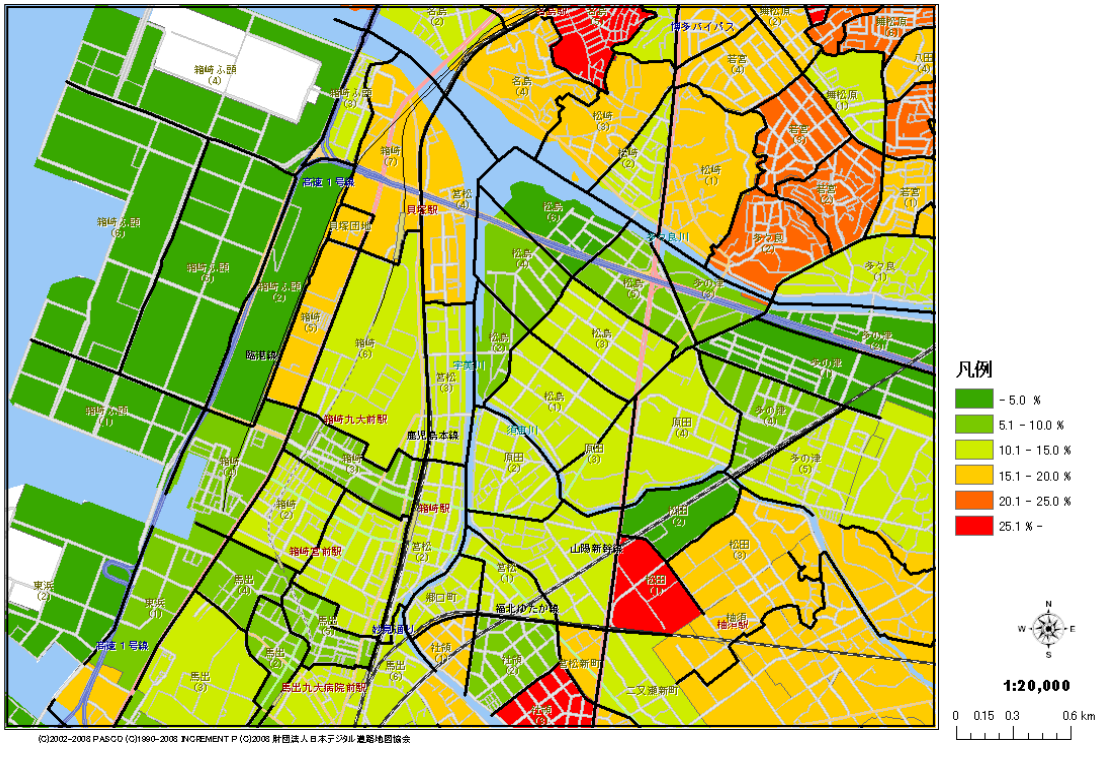
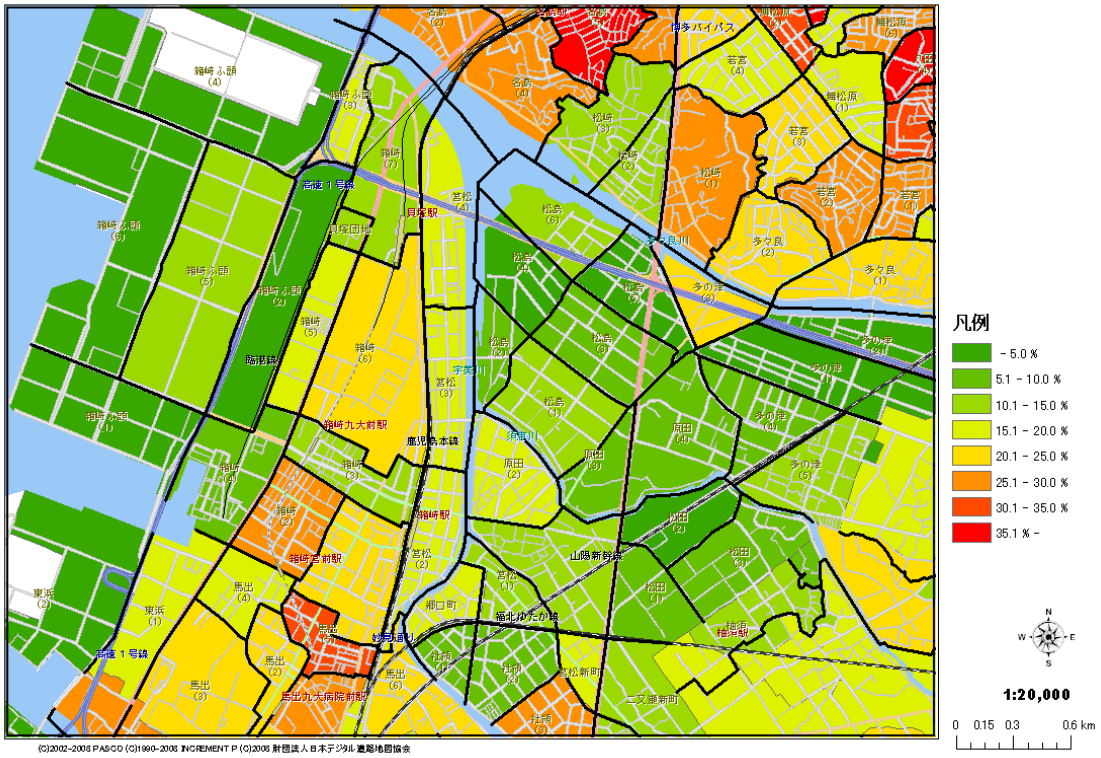


図２－14　高齢者有世帯率（上段：平成 12 年、下段：平成 17 年）



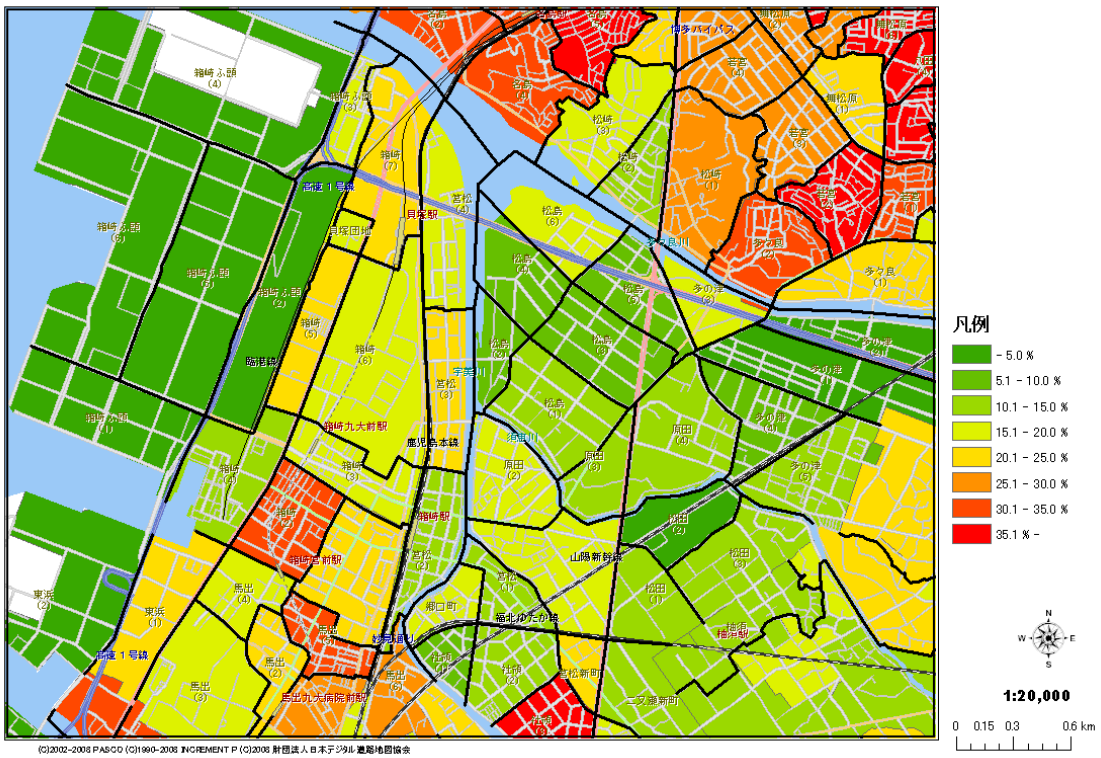
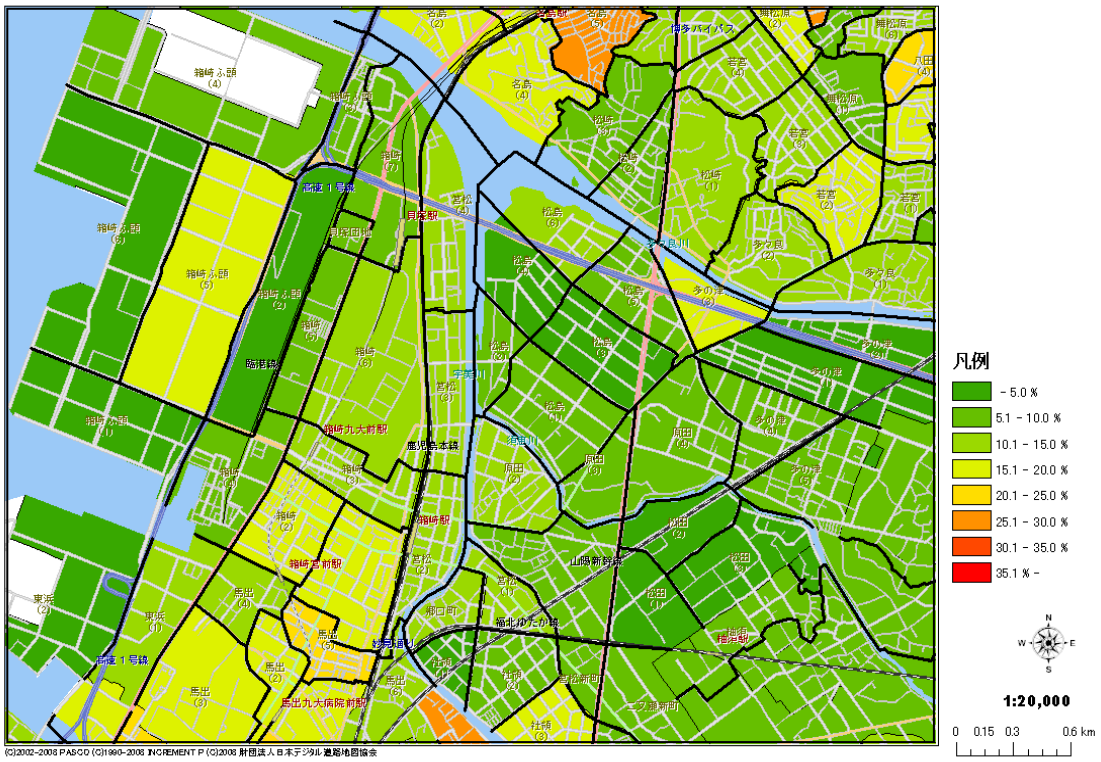


図２－15　高齢化率（上段：平成 12 年、下段：平成 17 年）



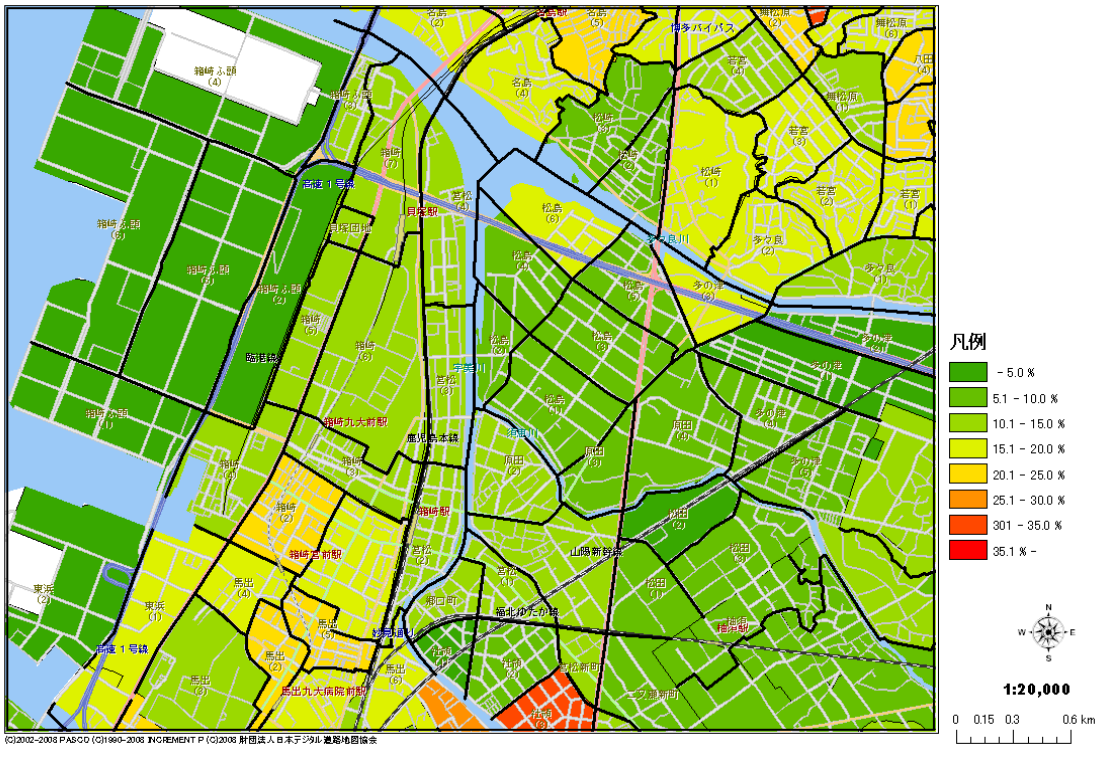
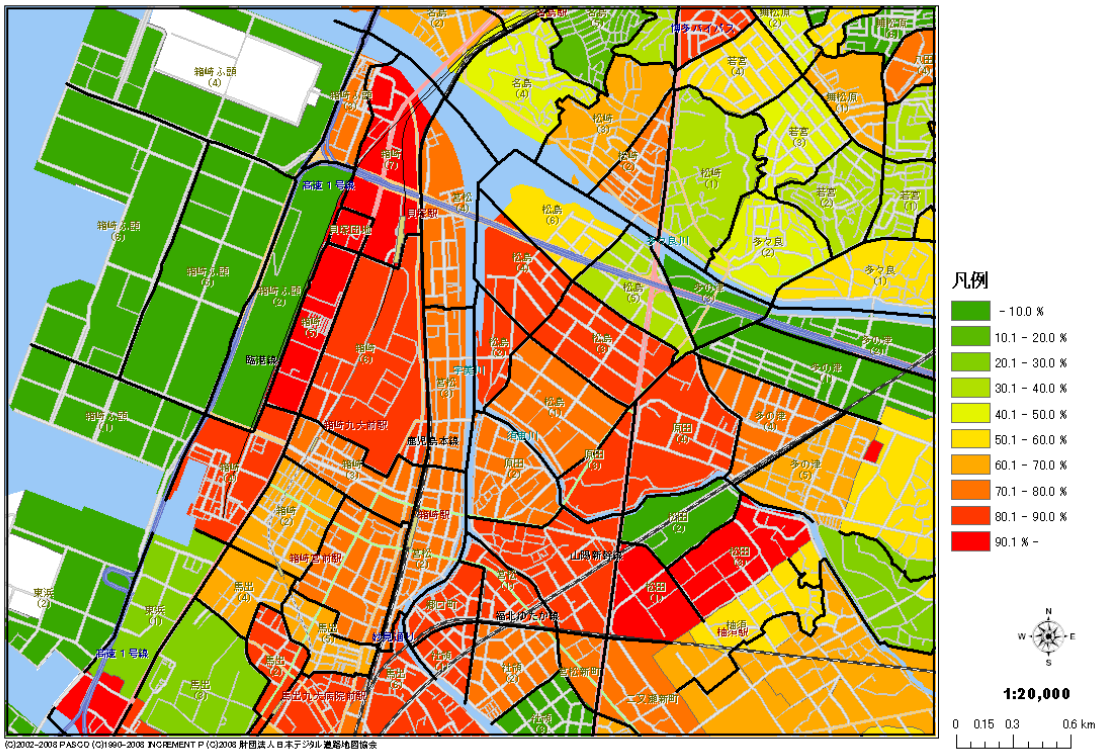


図２－16　共同住宅世帯率（上段：平成 12 年、下段：平成 17 年）



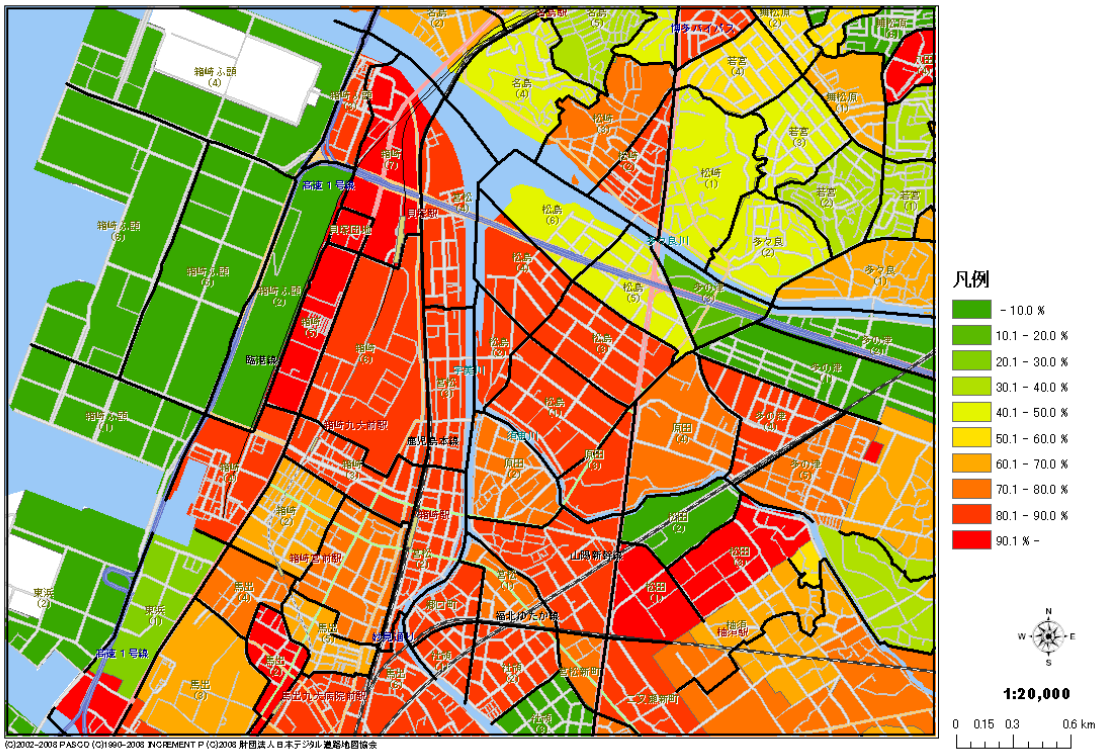
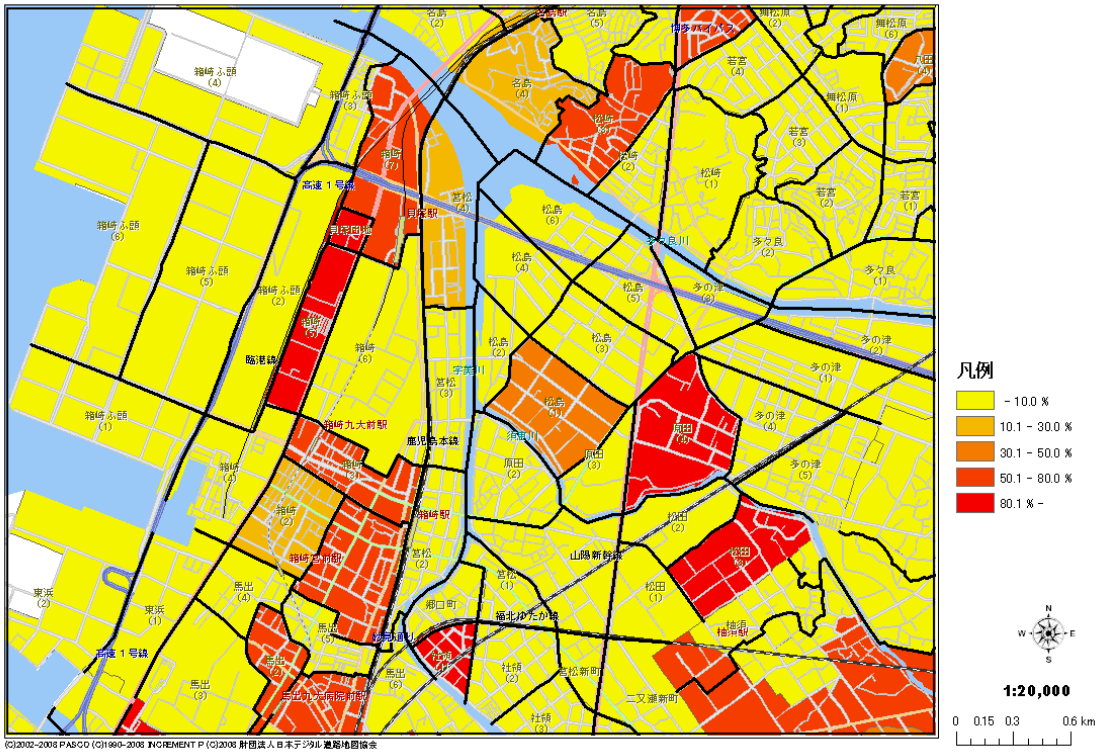


図２－17　共同住宅６階以上世帯率（上段：平成 12 年、下段：平成 17 年）



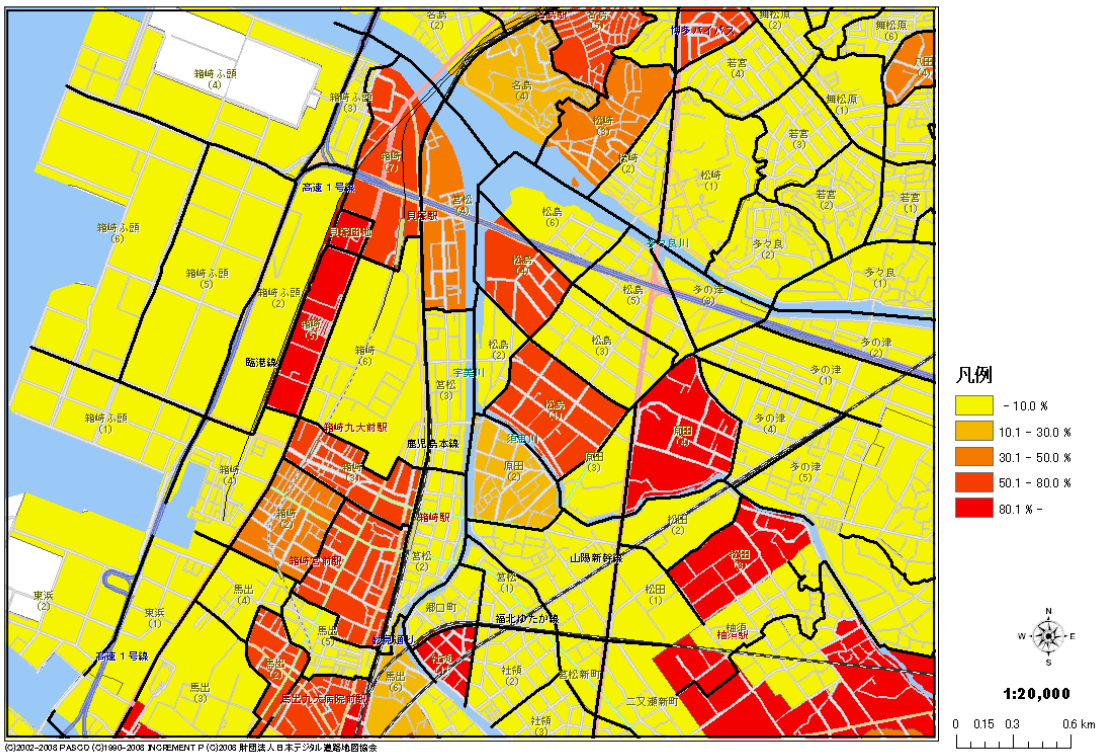
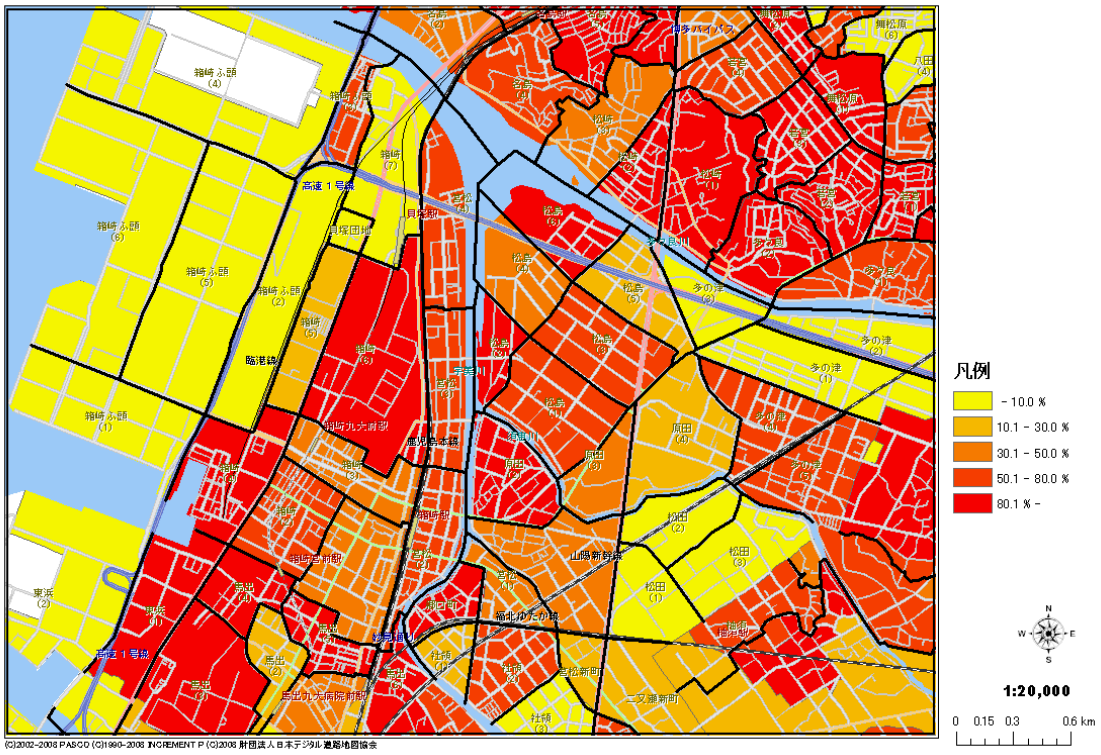


図２－18　共同住宅５階以下世帯率（上段：平成 12 年、下段：平成 17 年）



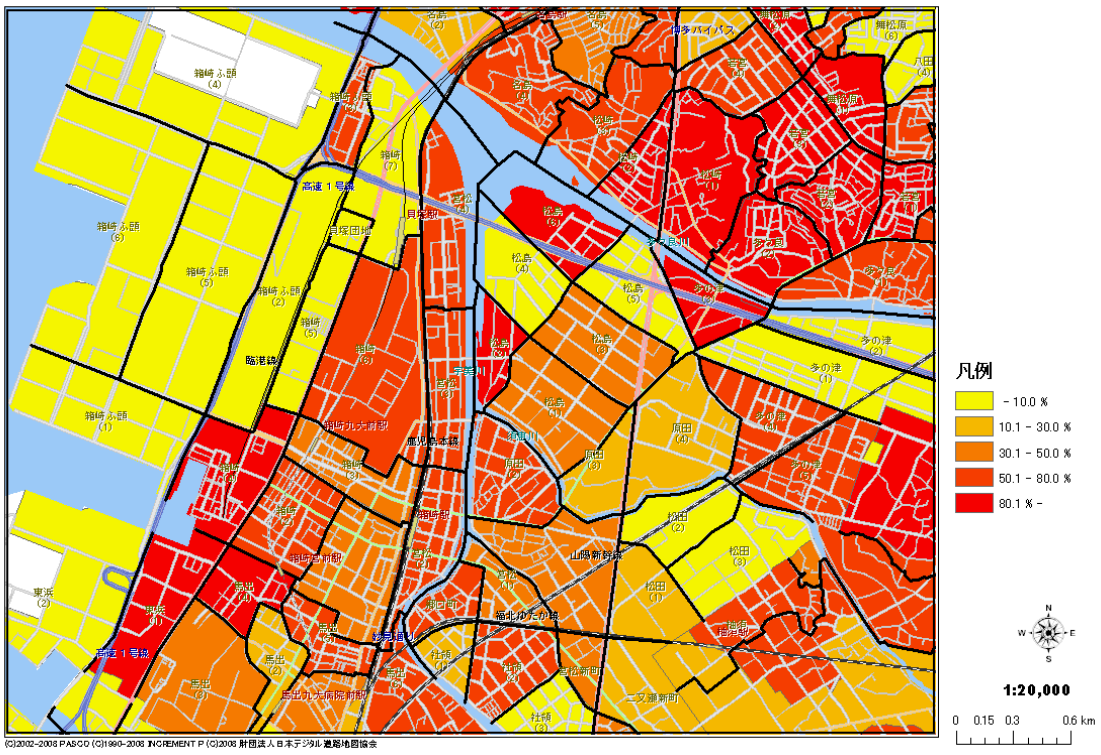
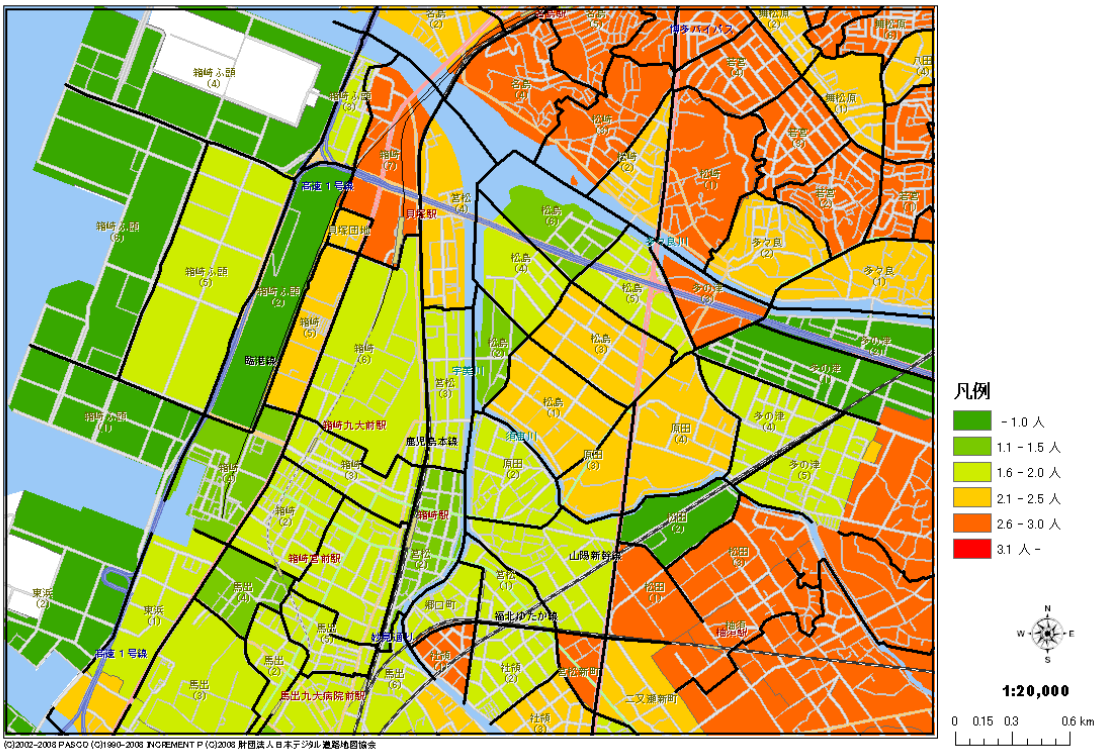
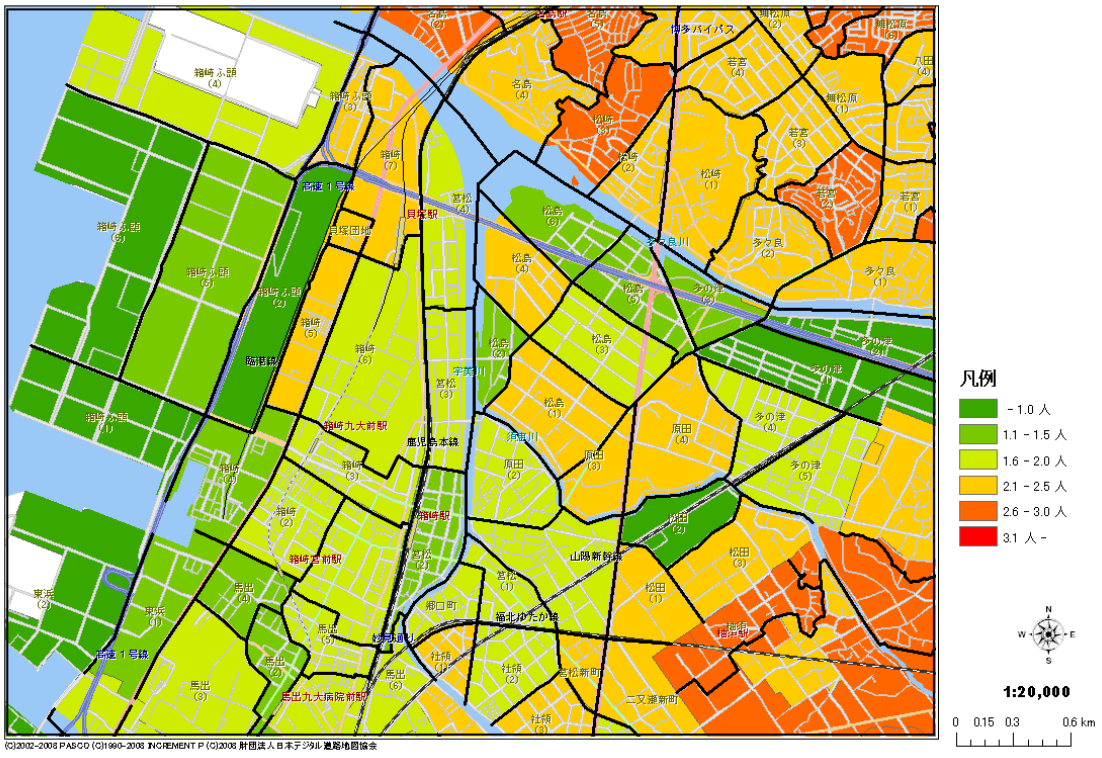


図２－19　１世帯当り人数（上段：平成 12 年、下段：平成 17 年）





②商業統計、事業所統計

商業統計および事業所統計に収録されている福岡市のデータから、4 校区の商業的特徴の把握を行った。いずれも調査が行われた直近 3 時点（商業統計：平成 11（1999）年、平成 14（2002）年、平成 16（2004）年／事業所統計：平成 8（1996）年、平成 13（2001）年、平成 18（2006）年）のデータ比較により、その変化をみた。

表２－２は、4 校区（38 町丁目）における、直近 3 時点の卸売業・小売業の推移をみたものである。これによると、以下のことが言える。

まず、全市および東区全体の傾向としては、商業関係の数値は全般的に減少傾向といえる。具体的には、下掲のとおりである。

１．市全体では、事業所数、年間販売額ともに減少中である。
２．東区全体では、年間販売額についてみると、平成 16（2004）年は平成 14（2002）年と比べて、多少増額している。
３．従業者数は、市全体、東区全体ともに、平成 16（2004）年は平成 14（2002）年より多少増加している。
４．小売業の年間販売額、従業者数は、全市、東区全体ともに増加している。
５．小売業の売り場面積は、全市では増加中であるが、東区全体では減少中である。

次に、4 校区の傾向をみると、以下のことが言える。

１．平成 11（1999）年～平成 14（2002）年にかけては、多くの地区で落ち込みが激しい状況である。
２．また、平成 14（2002）年～平成 16（2004）年にかけては、減少中の地区と、逆に増加に転じている地区の違いが確認できる。

※　年間販売額が減少している地区
箱崎 1～3、6、7 丁目、筥松 4 丁目、貝塚団地、
箱崎ふ頭 1、3、4 丁目、郷口町、松田 2、3 丁目、二又瀬新町、二又瀬、
原田 2～4 丁目、松島 4～5 丁目

※　年間販売額が増加している地区
箱崎 4、5 丁目、筥松 1～3 丁目、箱崎ふ頭 5 丁目、社領 1～3 丁目、松田 1 丁目、
筥松新町、原田 1 丁目、松島 1～3、6 丁目。

表２－３は、4 校区（38 町丁目）における、事業所内訳の推移をみたものである。これによると、全市および東区全体の傾向として、事業所数、従業員数ともほとんど減少中であるなか、4 校区については、事業所数が減少中の地区と、逆に増加中の地区とが混じっていることが確認できる。

※事業所数が減少している地区
箱崎 1～3、7 丁目、筥松 1、4 丁目、箱崎ふ頭 1～3 丁目、郷口町、原田 4 丁目

※事業所数が増加している地区
箱崎ふ頭 6 丁目、社領 1 丁目、原田 1 丁目、松島 4、5 丁目

まとめとして、以下のことが言える。

●商業的に成長している地区

箱崎５丁目、筥松２丁目、箱崎ふ頭５丁目、原田１丁目、

●商業的に衰退している地区

箱崎 1～3、6、7 丁目、箱崎ふ頭３丁目、郷口町、原田３丁目

表２－２　３ヶ年の卸売業、小売業の推移

町丁目	小学校区	年	総数				卸売業			小売業									
										事業所数									
			事業所数	従業者数	年間商品販売額（万円）	売場面積（㎡）	事業所数	従業者数	年間商品販売額（万円）	総数	各種商品	織物・衣服・身の回り品	飲食料品	自動車・自転車	家具・じゅう器・機械器具	その他	従業者数	年間商品販売額（万円）	売場面積（㎡）
箱崎１丁目	箱崎	1999	163	617	8,035		12			151									10,858
		2002	127	518	6,469		14	85	2,141	113	0	22	53	1	5	32	433	4,328	5,942
		2004	118	483	6,422	5,567	12	67	2,360	106	–	15	54	1	6	30	416	4,061	5,567
箱崎２丁目	箱崎	1999	45	146	1,520		9			36									1,342
		2002	41	140	1,382		9	27	524	32	0	4	14	2	4	8	113	858	1,354
		2004	37	137	1,279	1,120	8	28	518	29	–	5	10	2	4	8	109	761	1,120
箱崎３丁目	箱崎	1999	37	205	2,917		5			32									1,633
		2002	35	219	2,084		6	24	703	29	0	1	9	1	5	13	195	1,381	1,352
		2004	31	176	2,031	2,121	5	19	611	26	–	2	9	1	5	9	157	1,420	2,121
箱崎４丁目	箱崎	1999	16	186	16,443		6			10									877
		2002	17	208	3,462		7	54	1,791	10	0	0	5	1	0	4	154	1,671	1,609
		2004	18	189	11,902	1,325	8	71	11,122	10	–	–	4	1	1	4	118	780	1,325
箱崎５丁目	箱崎 東箱崎	1999	9	178	10,956		1			8									1,241
		2002	8	166	7,254		1	96	X	7	0	0	3	1	0	3	70	X	1,189
		2004	11	242	11,788	2,232	1	96	X	10	–	–	4	1	–	5	146	X	2,232
箱崎６丁目	箱崎 東箱崎	1999	16	445	63,057		7			9									739
		2002	16	196	8,914		6	155	7,836	10	0	0	4	1	2	3	41	1,078	683
		2004	14	123	6,881	653	6	86	5,531	8	–	–	4	–	2	2	37	1,351	653
箱崎７丁目	東箱崎	1999	12	142	22,134		7			5									246
		2002	11	454	32,573		2	381	X	9	0	0	3	1	1	4	73	X	284
		2004	8	87	6,893	249	1	34	X	7	–	1	2	1	–	3	53	X	249
筥松１丁目	筥松	1999	25	168	8,627		15			10									239
		2002	21	130	4,992		13	73	4,468	8	0	0	3	1	2	2	57	525	301
		2004	20	142	13,704	305	13	101	13,203	7	–	–	2	1	2	2	41	501	305
筥松２丁目	筥松	1999	18	67	1,423		2			16									543
		2002	9	39	368		0	0	0	9	0	2	3	0	3	1	39	368	371
		2004	12	122	1,534	1,403	3	9	128	9	–	3	3	1	–	2	113	1,406	1,403
筥松３丁目	筥松 松島	1999	15	116	3,236		7			8									171
		2002	18	181	3,689		6	51	1,941	12	0	0	3	0	2	7	130	1,748	2,283
		2004	19	189	3,717	2,193	7	58	2,110	12	–	–	2	–	3	7	131	1,607	2,193
筥松４丁目	松島	1999	8	44	451		2			6									220
		2002	7	23	473		3	14	345	4	0	0	1	0	1	2	9	128	86
		2004	7	43	335	102	3	9	222	4	–	–	1	–	1	2	34	113	102
貝塚団地	東箱崎	1999	7	38	1,033		2			5									216
		2002	6	28	449		1	12	X	5	0	0	4	0	0	1	16	X	347
		2004	3	19	330	X	1	12	X	2	–	–	2	–	–	–	7	X	X
箱崎ふ頭１丁目	箱崎	1999	7	86	8,175		5			2									X
		2002	9	101	15,074		7	83	X	2	0	0	1	0	0	1	18	X	X
		2004	9	90	9,087	X	7	74	X	2	–	–	1	–	–	1	16	X	X
箱崎ふ頭２丁目	箱崎	1999	4	197	7,822		2			2									–
		2002	2	19	X		1	11	X	1	0	0	0	0	0	1	8	X	0
		2004	4	152	7,450	X	2	139	X	2	–	–	1	–	–	1	13	X	X
箱崎ふ頭３丁目	東箱崎	1999	18	422	26,284		16			2									X
		2002	17	373	20,368		16	371	X	1	0	0	1	0	0	0	2	X	X
		2004	14	302	18,682	X	13	300	X	1	–	–	1	–	–	–	2	X	X
箱崎ふ頭４丁目	箱崎	1999	25	350	32,998		23			2									X
		2002	25	308	35,711		24	302	X	1	0	0	0	0	0	1	6	X	0
		2004	24	377	29,445	X	22	354	X	2	–	–	–	1	–	1	23	X	X
箱崎ふ頭５丁目	箱崎	1999	48	1,198	151,476		34			14									1,060
		2002	56	1,248	117,771		40	1,018	112,245	16	0	0	9	1	2	4	230	5,526	516
		2004	52	1,240	145,031	758	37	910	138,288	15	–	–	9	–	3	3	330	6,743	758
箱崎ふ頭６丁目	箱崎	1999	23	781	90,165		21			2									X
		2002	25	677	110,720		23	637	X	2	0	1	0	1	0	0	40	X	X
		2004	27	747	106,440	X	25	702	X	2	–	1	–	1	–	–	45	X	X
郷口町	筥松	1999	6	50	1,058		5			1									X
		2002	6	31	1,035		6	31	1,035	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2004	5	31	1,007	–	5	31	1,007	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
社領１丁目	筥松	1999	12	92	5,197		12			0									0
		2002	12	74	2,776		12	74	2,776	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2004	11	178	3,593	–	10	88	X	1	–	–	1	–	–	–	90	X	–
社領２丁目	筥松	1999	29	426	29,464		27			2									X
		2002	26	286	18,757		24	281	X	2	0	0	1	0	0	1	5	X	X
		2004	30	343	19,277	87	26	332	18,707	4	–	–	1	1	1	1	11	570	87
社領３丁目	筥松	1999	23	293	19,091		17			6									1,860
		2002	23	253	13,924		17	178	11,835	6	0	3	1	1	0	1	75	2,089	1,781
		2004	26	301	14,469	1,757	20	223	12,644	6	–	3	2	1	–	–	78	1,825	1,757
松田１丁目	松島	1999	17	363	59,872		16			1									X
		2002	20	376	18,635		20	376	18,635	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2004	15	335	21,894	–	15	335	21,894	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
松田２丁目	松島	1999	6	49	3,715		5			1									X
		2002	13	144	12,640		10	104	11,971	3	0	0	2	1	0	0	40	668	105
		2004	14	885	10,527	X	12	835	X	2	–	–	2	–	–	–	50	X	X
松田３丁目	松島	1999	18	238	11,076		13			5									1,049
		2002	21	187	6,014		15	104	4,052	6	0	0	3	1	1	1	83	1,962	1,211
		2004	15	159	3,705	1,206	8	63	1,677	7	–	–	2	1	1	3	96	2,028	1,206
筥松新町	筥松	1999	10	107	2,412		5			5									360
		2002	13	150	3,102		5	30	1,001	8	0	0	4	2	0	2	120	2,101	1,594
		2004	13	161	3,489	1,410	5	37	1,822	8	–	–	4	3	–	1	124	1,666	1,410
二又瀬新町	筥松	1999	17	248	7,763		16			1									X
		2002	20	303	12,813		18	255	X	2	0	0	0	1	0	1	48	X	0
		2004	22	234	11,297	240	18	173	10,487	4	–	–	1	1	–	2	61	810	240
二又瀬	筥松	1999	18	159	11,116		14			4									437
		2002	18	199	13,177		13	143	12,409	5	0	0	2	1	0	2	56	768	315
		2004	17	176	5,512	441	12	127	4,717	5	–	–	2	1	–	2	49	795	441
原田１丁目	筥松	1999	20	198	6,833		13			7									731
		2002	34	274	7,590		19	142	6,133	15	0	1	2	3	0	9	132	1,457	662
		2004	36	357	12,722	848	21	173	8,291	15	–	1	3	2	1	8	184	4,432	848
原田２丁目	筥松	1999	20	116	2,047		2			18									1,032
		2002	17	102	685		1	3	X	16	0	4	7	1	1	3	99	X	1,129
		2004	13	107	658	917	2	20	X	11	–	1	6	1	1	2	87	X	917
原田３丁目	松島	1999	23	361	11,911		13			10									1,158
		2002	22	308	10,750		10	182	7,175	12	0	0	0	4	1	7	126	3,575	1,465
		2004	20	275	6,880	1,602	9	161	4,606	11	–	–	–	3	1	7	114	2,275	1,602
原田４丁目	松島	1999	48	519	40,892		34			14									3,554
		2002	39	371	16,023		25	253	12,902	14	0	2	3	3	0	6	118	3,122	3,087
		2004	39	353	13,613	3,168	22	210	9,500	17	–	2	2	5	–	8	143	4,113	3,168
松島１丁目	松島	1999	35	557	25,516		27			8									1,025
		2002	37	494	18,174		27	356	15,344	10	0	0	4	1	1	4	138	2,830	952
		2004	36	503	30,894	1,315	24	347	28,267	12	–	1	4	2	2	3	156	2,626	1,315
松島２丁目	松島	1999	11	91	2,784		5			6									336
		2002	11	93	2,055		5	53	1,699	6	0	0	3	1	1	1	40	356	319
		2004	12	167	2,762	396	6	118	2,353	6	–	–	3	1	1	1	49	409	396
松島３丁目	松島	1999	63	1,056	69,768		42			21									2,028
		2002	48	937	51,989		37	827	49,389	11	0	1	3	1	0	6	110	2,601	1,040
		2004	47	752	54,125	1,020	35	598	45,895	12	–	1	4	1	–	6	154	8,230	1,020
松島４丁目	松島	1999	18	358	58,310		16			2									X
		2002	15	307	55,719		12	287	55,647	3	0	0	2	0	0	1	20	72	43
		2004	19	229	34,572	62	15	223	34,455	4	–	–	3	–	–	1	6	117	62
松島５丁目	松島	1999	30	973	45,317		18			12									2,775
		2002	33	426	18,219		19	216	13,335	14	0	1	3	7	1	2	210	4,884	3,525
		2004	35	393	16,419	3,354	20	181	10,276	15	–	1	3	8	–	3	212	6,143	3,354
松島６丁目	松島	1999	18	142	5,786		13			5									330
		2002	13	120	6,917		8	75	6,001	5	0	0	1	2	1	1	45	916	212
		2004	16	152	8,949	201	10	101	7,517	6	–	–	1	2	1	2	51	1,432	201
東　区		1999	3,224	28,099	1,523,164		987			2,237									199,886
		2002	3,007	26,045	1,178,640		979	12,968	978,292	2,028	4	239	814	137	141	693	13,077	200,348	226,823
		2004	2,982	27,456	1,214,320	251,198	971	12,906	997,662	2,011	6	266	813	139	129	658	14,550	216,658	251,198
全　市		1999	24,129	220,282	18,851,013		8,991			15,138									1,538,093
		2002	21,943	197,714	14,001,638		8,027	99,210	12,192,771	13,916	30	2,582	4,710	793	1,053	4,748	98,504	1,808,867	1,602,067
		2004	21,943	197,993	13,522,291	1,682,301	7,956	96,354	11,702,079	13,987	31	2,690	4,764	808	1,094	4,600	101,639	1,820,212	1,682,301

（「福岡市の商業」（1999年、2002年、2004年）より）

表２－３　町丁目別事業所内訳

町丁目	小学校区	年	全産業 事業所数	全産業 従業者数	男性	女性	A～C 農林漁業 事業所数	A～C 従業者数	D 鉱業 事業所数	D 従業者数	E 建設業 事業所数	E 従業者数	F 製造業 事業所数	F 従業者数	G 電気・ガス・熱供給・水道業 事業所数	G 従業者数	H I 運輸・通信業 事業所数	H I 従業者数	H 情報・通信業 事業所数	H 従業者数	I 運輸業 事業所数	I 従業者数	J 卸売・小売業・飲食店 事業所数	J 従業者数	J1 卸売業 事業所数	J1 従業者数
箱崎１丁目	箱崎	1996	407	2,078	1,045	1,033	0	0	0	0	8	64	9	40	0	0	3	9	0	0	0	0	234	938	0	0
		2001	306	1,607	875	732	0	0	0	0	6	36	2	6	0	0	1	7	0	0	0	0	185	735	9	64
		2006	274	1,481	778	703	0	0	0	0	5	29	1	2	0	0	0	0	1	2	0	0	148	585	9	63
箱崎２丁目	箱崎	1996	181	1,583	897	686	0	0	0	0	7	148	10	181	1	17	0	0	0	0	0	0	97	360	0	0
		2001	151	1,327	651	676	0	0	0	0	6	48	6	109	0	0	0	0	0	0	0	0	80	325	9	35
		2006	120	1,313	708	605	0	0	0	0	4	126	5	90	0	0	0	0	0	0	0	0	59	224	8	27
箱崎３丁目	箱崎	1996	200	1,036	531	505	0	0	0	0	5	37	5	31	0	0	1	8	0	0	0	0	114	565	0	0
		2001	167	1,000	495	505	0	0	0	0	3	13	4	9	0	0	2	9	0	0	0	0	102	604	3	15
		2006	135	792	401	391	0	0	0	0	2	13	4	9	0	0	0	0	0	0	0	0	76	380	4	22
箱崎４丁目	箱崎	1996	43	464	334	130	0	0	0	0	4	22	3	18	0	0	0	0	0	0	0	0	21	284	0	0
		2001	49	511	339	172	0	0	0	0	4	72	4	23	0	0	1	7	0	0	0	0	27	309	7	83
		2006	43	404	261	143	0	0	0	0	3	29	6	44	0	0	0	0	0	0	1	11	19	214	6	58
箱崎５丁目	箱崎 東箱崎	1996	25	224	124	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	30	0	0	0	0	11	93	0	0
		2001	23	331	193	138	0	0	0	0	1	15	0	0	0	0	2	25	0	0	0	0	9	209	1	134
		2006	37	721	410	311	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	24	20	523	1	93
箱崎６丁目	箱崎 東箱崎	1996	74	3,048	2,292	756	0	0	0	0	3	135	3	11	0	0	4	84	0	0	0	0	32	324	0	0
		2001	76	2,972	2,180	792	0	0	0	0	3	78	3	9	0	0	2	15	0	0	0	0	32	258	10	87
		2006	49	2,921	1,961	960	0	0	0	0	2	30	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	22	140	4	20
箱崎７丁目	東箱崎	1996	44	1,250	820	430	0	0	0	0	0	0	4	417	0	0	4	135	0	0	0	0	17	184	0	0
		2001	42	1,363	984	379	0	0	0	0	0	0	2	127	0	0	5	137	0	0	0	0	19	494	6	369
		2006	37	1,244	880	364	0	0	0	0	1	22	2	36	0	0	0	0	1	10	5	94	14	433	3	304
筥松１丁目	筥松	1996	77	733	491	242	0	0	0	0	18	271	5	97	1	1	1	10	0	0	0	0	38	258	0	0
		2001	72	740	442	298	0	0	0	0	14	241	8	124	2	5	2	22	0	0	0	0	33	198	13	95
		2006	64	689	436	253	0	0	0	0	12	131	5	106	2	5	0	0	0	0	2	30	30	236	12	116
筥松２丁目	筥松	1996	101	576	349	227	0	0	0	0	5	54	7	147	0	0	0	0	0	0	0	0	48	180	0	0
		2001	49	351	184	167	0	0	0	0	2	15	3	48	0	0	1	6	0	0	0	0	13	88	0	0
		2006	81	606	311	295	0	0	0	0	4	24	1	15	1	0	0	0	1	27	0	0	30	189	3	8
筥松３丁目	筥松 松島	1996	50	243	143	100	0	0	0	0	2	11	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	29	148	0	0
		2001	50	322	185	137	0	0	0	0	2	12	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	30	260	3	68
		2006	48	293	168	125	0	0	0	0	2	15	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	27	199	7	53
筥松４丁目	松島	1996	30	261	114	147	0	0	0	0	1	4	2	59	0	0	1	1	0	0	0	0	13	86	0	0
		2001	24	165	65	100	0	0	0	0	1	3	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	9	57	2	11
		2006	22	197	77	120	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	8	50	2	7
貝塚団地	東箱崎	1996	8	57	24	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	48	0	0
		2001	8	74	26	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	63	0	0
		2006	8	92	47	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	58	1	10
箱崎ふ頭１丁目	箱崎	1996	49	619	492	127	0	0	0	0	0	0	1	22	0	0	24	455	0	0	0	0	14	96	0	0
		2001	48	733	588	145	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0	29	578	0	0	0	0	13	133	5	76
		2006	40	497	385	112	0	0	0	0	0	0	1	18	0	0	0	0	0	0	21	336	15	130	7	67
箱崎ふ頭２丁目	箱崎	1996	44	871	769	102	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	18	468	0	0	0	0	9	261	0	0
		2001	37	683	587	96	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	18	440	0	0	0	0	5	128	3	114
		2006	36	731	616	115	0	0	0	0	1	10	1	10	0	0	0	0	0	0	16	414	4	183	2	168
箱崎ふ頭３丁目	東箱崎	1996	40	798	629	169	0	0	0	0	4	147	4	57	0	0	2	180	0	0	0	0	22	364	0	0
		2001	40	785	604	181	0	0	0	0	7	186	4	76	0	0	2	139	0	0	0	0	21	351	14	317
		2006	26	663	533	130	0	0	0	0	5	135	1	2	0	0	0	0	0	0	1	18	16	484	13	474
箱崎ふ頭４丁目	箱崎	1996	65	1,200	990	210	0	0	0	0	4	46	10	271	0	0	19	451	0	0	0	0	29	375	0	0
		2001	70	1,087	883	204	0	0	0	0	4	42	6	151	0	0	22	385	0	0	0	0	29	380	25	238
		2006	64	1,306	1,022	284	0	0	0	0	3	29	8	123	0	0	0	0	0	0	22	552	23	406	21	389
箱崎ふ頭５丁目	箱崎	1996	184	4,804	3,681	1,123	0	0	0	0	1	3	5	118	0	0	100	2,957	0	0	0	0	62	1,552	0	0
		2001	191	4,845	3,655	1,190	0	0	0	0	1	18	6	190	0	0	103	3,000	0	0	0	0	68	1,446	48	898
		2006	164	4,401	3,477	924	0	0	0	0	3	94	7	210	0	0	0	0	2	53	80	2,182	57	1,484	44	1,241
箱崎ふ頭６丁目	箱崎	1996	105	2,758	2,032	726	0	0	0	0	7	72	40	1,274	1	24	27	640	0	0	0	0	24	655	0	0
		2001	106	2,621	1,823	798	0	0	0	0	6	75	34	1,053	1	27	21	504	0	0	0	0	31	776	27	620
		2006	112	2,649	2,034	615	0	0	0	0	6	99	33	953	1	23	0	0	0	0	31	725	27	638	23	582
郷口町	筥松	1996	39	249	154	95	0	0	0	0	5	39	5	56	0	0	1	11	0	0	0	0	8	60	0	0
		2001	33	174	105	69	0	0	0	0	3	9	5	43	0	0	1	10	0	0	0	0	6	33	5	31
		2006	25	156	86	70	0	0	0	0	0	0	4	43	0	0	0	0	0	0	1	10	6	41	6	41
社領１丁目	筥松	1996	45	558	403	155	0	0	0	0	9	87	12	149	0	0	5	184	0	0	0	0	14	84	0	0
		2001	49	678	500	178	0	0	0	0	8	93	16	181	0	0	5	127	0	0	0	0	15	198	11	85
		2006	51	692	484	208	0	0	0	0	9	89	13	159	0	0	0	0	0	0	5	136	15	249	12	110
社領２丁目	筥松	1996	79	1,270	900	370	0	0	0	0	8	107	21	402	0	0	9	190	0	0	0	0	30	447	0	0
		2001	73	1,011	672	339	0	0	0	0	8	73	20	427	0	0	5	60	0	0	0	0	27	318	18	236
		2006	73	988	675	313	0	0	0	0	7	68	15	437	0	0	0	0	0	0	2	12	30	295	23	256
社領３丁目	筥松	1996	57	1,077	807	270	0	0	0	0	1	12	12	230	0	0	13	400	0	0	0	0	27	408	0	0
		2001	66	1,058	835	223	0	0	0	0	4	37	14	249	0	0	10	369	0	0	0	0	31	365	21	232
		2006	60	1,004	802	202	0	0	0	0	2	22	11	170	0	0	0	0	0	0	12	391	26	364	20	264
松田１丁目	松島	1996	43	1,139	792	347	0	0	0	0	5	91	7	426	0	0	7	76	0	0	0	0	22	531	0	0
		2001	52	1,258	918	340	0	0	0	0	3	26	11	365	0	0	9	264	0	0	0	0	23	424	20	273
		2006	42	1,234	855	379	0	0	0	0	5	38	7	316	0	0	0	0	0	0	9	166	16	488	14	275
松田２丁目	松島	1996	18	268	201	67	1	20	0	0	2	37	1	4	0	0	1	18	0	0	0	0	10	172	0	0
		2001	29	396	257	139	0	0	0	0	2	41	4	50	0	0	2	23	0	0	0	0	19	239	13	129
		2006	24	375	207	168	0	0	0	0	0	0	4	116	0	0	0	0	1	13	2	23	14	175	10	73
松田３丁目	松島	1996	51	809	559	250	0	0	0	0	8	69	11	324	0	0	1	46	0	0	0	0	21	235	0	0
		2001	56	842	560	282	0	0	0	0	9	85	15	408	0	0	0	0	0	0	0	0	21	199	14	126
		2006	48	908	589	319	0	0	0	0	10	99	11	223	0	0	0	0	0	0	1	15	16	144	10	71

町丁目	小学校区	年	J2 小売業 事業所数	J2 従業者数	J3 飲食店 事業所数	J3 従業者数	K 金融・保険業 事業所数	K 従業者数	L 不動産業 事業所数	L 従業者数	M 飲食店・宿泊業 事業所数	M 従業者数	M1 飲食店 事業所数	M1 従業者数	M2 宿泊業 事業所数	M2 従業者数	N 医療・福祉 事業所数	N 従業者数	O 教育・学習支援 事業所数	O 従業者数	P 複合サービス事業 事業所数	P 従業者数	Q サービス業（他に分類されないもの） 事業所数	Q 従業者数	R 公務（他に分類されないもの） 事業所数	R 従業者数
箱崎１丁目	箱崎	1996	0	0	0	0	11	175	27	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	113	784	2	30
		2001	130	524	46	147	10	195	16	29	0	0	46	147	0	0	0	0	0	0	0	0	84	571	2	28
		2006	96	381	43	141	10	173	27	45	43	141	43	141	0	0	17	135	8	82	1	6	53	324	3	98
箱崎２丁目	箱崎	1996	0	0	0	0	2	7	10	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	533	2	314
		2001	35	125	36	165	3	11	8	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	373	2	444
		2006	24	69	27	128	3	18	9	17	29	194	27	128	2	66	12	139	4	43	1	11	18	90	3	489
箱崎３丁目	箱崎	1996	0	0	0	0	1	2	20	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	338	1	3
		2001	32	245	67	344	1	2	14	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	323	0	0
		2006	23	153	49	205	1	3	16	59	49	205	49	205	0	0	8	141	5	82	1	6	22	99	0	0
箱崎４丁目	箱崎	1996	0	0	0	0	1	12	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	127	0	0
		2001	13	146	7	80	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	84	1	9
		2006	9	93	4	63	1	7	0	0	4	63	4	63	0	0	0	0	3	17	2	8	7	58	1	16
箱崎５丁目	箱崎 東箱崎	1996	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	95	0	0
		2001	7	70	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	82	0	0
		2006	9	238	10	192	0	0	0	0	10	192	10	192	0	0	4	19	2	34	0	0	9	121	0	0
箱崎６丁目	箱崎 東箱崎	1996	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	2,494	0	0
		2001	9	44	13	127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	2,612	0	0
		2006	8	36	10	84	0	0	0	0	11	86	10	84	1	2	6	75	3	2,383	1	6	11	276	0	0
箱崎７丁目	東箱崎	1996	0	0	0	0	1	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	492	0	0
		2001	8	66	5	59	0	0	3	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	293	1	282
		2006	7	77	4	52	0	0	0	0	6	64	4	52	2	12	4	250	2	2	0	0	5	48	1	337
筥松１丁目	筥松	1996	0	0	0	0	1	2	4	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	85	0	0
		2001	11	73	9	30	1	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	145	0	0
		2006	8	76	10	44	0	0	1	1	10	44	10	44	0	0	2	137	2	6	1	14	7	23	0	0
筥松２丁目	筥松	1996	0	0	0	0	1	7	16	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	134	1	22
		2001	6	52	7	36	1	4	10	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	167	0	0
		2006	13	147	14	34	3	19	12	41	14	34	14	34	0	0	9	102	1	14	2	88	17	87	0	0
筥松３丁目	筥松 松島	1996	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	70	0	0
		2001	15	145	12	47	0	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	40	0	0
		2006	12	117	8	29	0	0	3	4	8	29	8	29	0	0	2	23	1	1	0	0	11	46	0	0
筥松４丁目	松島	1996	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	109	0	0
		2001	5	39	2	7	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	102	0	0
		2006	4	36	2	7	0	0	2	2	4	11	2	7	2	4	1	35	1	33	0	0	6	72	0	0
貝塚団地	東箱崎	1996	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	0	0
		2001	5	31	1	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11	0	0
		2006	3	26	1	22	0	0	0	0	1	22	1	22	0	0	1	18	1	12	0	0	1	4	0	0
箱崎ふ頭１丁目	箱崎	1996	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	30	1	16
		2001	3	40	5	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	0	0
		2006	4	47	4	16	0	0	0	0	4	16	4	16	0	0	1	5	0	0	0	0	2	8	0	0
箱崎ふ頭２丁目	箱崎	1996	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	135	0	0
		2001	1	11	1	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	93	1	17
		2006	1	2	1	13	0	0	1	1	1	13	1	13	0	0	0	0	0	0	2	20	10	77	1	16
箱崎ふ頭３丁目	東箱崎	1996	0	0	0	0	0	0	4	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	15	0	0
		2001	1	3	6	31	0	0	5	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
		2006	0	0	3	10	0	0	2	7	3	10	3	10	0	0	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0
箱崎ふ頭４丁目	箱崎	1996	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	57	0	0
		2001	4	142	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	129	0	0
		2006	2	17	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	188	0	0
箱崎ふ頭５丁目	箱崎	1996	0	0	0	0	1	1	4	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	157	0	0
		2001	19	543	1	5	1	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	186	0	0
		2006	13	243	0	0	3	6	2	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	16	8	280	0	0
箱崎ふ頭６丁目	箱崎	1996	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	93	0	0
		2001	3	154	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	186	0	0
		2006	3	53	1	3	0	0	0	0	1	3	1	3	0	0	1	3	0	0	3	29	10	179	0	0
郷口町	筥松	1996	0	0	0	0	0	0	15	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	43	0	0
		2001	1	2	0	0	0	0	9	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	58	0	0
		2006	0	0	0	0	0	0	8	12	0	0	0	0	0	0	1	0	1	38	0	0	4	12	0	0
社領１丁目	筥松	1996	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	52	0	0
		2001	4	113	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	77	0	0
		2006	3	139	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	5	1	1	0	0	6	51	0	0
社領２丁目	筥松	1996	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	124	0	0
		2001	7	74	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	133	0	0
		2006	5	30	2	9	1	1	0	0	3	19	2	9	1	10	1	11	0	0	0	0	16	154	0	0
社領３丁目	筥松	1996	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	24	0	0
		2001	9	89	1	44	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	37	0	0
		2006	5	76	1	24	1	5	0	0	1	24	1	24	0	0	2	16	0	0	0	0	6	36	0	0
松田１丁目	松島	1996	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14	0	0
		2001	2	145	1	6	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	177	0	0
		2006	2	213	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	110	3	110	0	0
松田２丁目	松島	1996	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	17	0	0
		2001	6	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	43	0	0
		2006	4	102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	44	2	4	0	0	0	0
松田３丁目	松島	1996	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	135	0	0
		2001	7	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	150	0	0
		2006	6	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	427	0	0

町丁目	小学校区	年	全産業				A～C		D		E		F		G		H I				J						K		L		M				N		O		P		Q		R	
			事業所数	従業者数			農林漁業		鉱業		建設業		製造業		電気・ガス・熱供給・水道業		運輸・通信業		H 情報・通信業		I 運輸業		卸売・小売業・飲食店		J１ 卸売業		J２ 小売業		J３ 飲食店		金融・保険業		不動産業		飲食店・宿 泊 業		M１ 飲食店		M２ 宿泊業		医療・福祉		教育・学習支援		複合サービス事業		サービス業（他に分類されないもの）		公務（他に分類されないもの）	
				男 性	女 性		事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
筥松新町	筥松	1996	28	312	248	64	0	0	0	0	3	94	1	8	0	0	2	35	0	0	0	0	14	96	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	75	0	0
		2001	28	305	205	100	0	0	0	0	3	52	1	5	0	0	1	5	0	0	0	0	16	178	5	35	10	124	1	19	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	63	0	0
		2006	24	250	169	81	0	0	0	0	3	56	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	12	135	2	20	8	83	2	32	1	2	1	2	2	32	2	32	0	0	0	0	0	0	5	50	0	0
二又瀬新町	筥松	1996	58	1,527	1,294	233	0	0	0	0	8	151	14	273	0	0	8	693	0	0	0	0	20	281	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	129	0	0
		2001	63	1,497	1,262	235	0	0	0	0	10	184	15	196	0	0	9	709	0	0	0	0	19	281	12	178	4	63	3	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	127	0	0
		2006	58	993	783	210	0	0	0	0	7	59	8	168	0	0	0	0	0	0	7	312	28	345	19	226	4	56	5	63	0	0	0	0	5	63	5	63	0	0	0	0	0	0	8	109	0	0
二又瀬	筥松	1996	42	515	308	207	0	0	0	0	0	0	7	95	0	0	2	129	0	0	0	0	22	248	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	36	0	0
		2001	56	657	447	210	0	0	0	0	1	9	9	122	0	0	4	140	0	0	0	0	31	329	16	152	7	57	8	120	0	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	52	0	0
		2006	54	759	431	328	0	0	0	0	2	13	5	94	0	0	0	0	0	0	4	153	29	284	10	123	10	45	9	116	1	7	2	4	9	116	9	116	0	0	3	13	0	0	8	191	0	0
原田１丁目	筥松	1996	77	999	625	374	0	0	0	0	12	108	8	143	1	1	3	147	0	0	0	0	33	294	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	302	0	0
		2001	102	1,289	868	421	0	0	0	0	19	210	8	147	2	4	5	207	0	0	0	0	40	330	21	151	16	147	3	32	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	388	0	0
		2006	107	1,347	873	474	0	0	0	0	20	191	10	201	2	4	0	0	2	29	5	209	37	377	19	166	15	174	3	37	1	3	2	2	3	37	3	37	0	0	7	115	3	10	0	0	18	206	0	0
原田２丁目	筥松	1996	52	325	192	133	0	0	0	0	7	58	6	35	0	0	0	0	0	0	0	0	19	85	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	145	0	0
		2001	63	409	236	173	0	0	0	0	11	87	3	12	0	0	2	4	0	0	0	0	25	156	4	23	18	120	3	13	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	146	0	0
		2006	46	462	187	275	0	0	0	0	7	49	3	16	0	0	0	0	0	0	0	0	17	125	3	18	11	95	3	12	1	7	2	3	3	12	3	12	0	0	3	133	2	3	0	0	11	126	0	0
原田３丁目	松島	1996	39	729	477	252	0	0	0	0	4	90	5	80	0	0	0	0	0	0	0	0	23	385	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	174	0	0
		2001	45	711	448	263	0	0	0	0	5	107	8	92	0	0	2	22	0	0	0	0	24	321	11	189	12	131	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	169	0	0
		2006	43	655	391	264	0	0	0	0	2	53	6	75	0	0	0	0	1	27	1	47	20	229	8	100	11	112	1	17	0	0	0	0	1	17	1	17	0	0	3	145	0	0	3	18	7	61	0	0
原田４丁目	松島	1996	113	1,394	955	439	0	0	0	0	12	113	22	194	0	0	5	194	0	0	0	0	54	635	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	245	0	0
		2001	106	1,403	864	539	0	0	0	0	13	89	21	186	0	0	6	214	0	0	0	0	50	511	27	283	16	154	7	74	0	0	2	174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	229	0	0
		2006	104	1,266	853	413	0	0	0	0	13	96	16	112	0	0	0	0	2	26	6	205	41	439	17	213	19	153	5	73	1	16	3	15	5	73	5	73	0	0	5	71	1	2	0	0	16	284	0	0
松島１丁目	松島	1996	92	1,146	815	331	0	0	0	0	16	141	20	178	0	0	7	161	0	0	0	0	26	422	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	242	0	0
		2001	109	1,545	842	703	0	0	0	0	19	160	14	216	0	0	9	175	0	0	0	0	40	503	27	303	13	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	491	0	0
		2006	98	1,486	889	597	0	0	0	0	14	143	13	242	0	0	0	0	0	0	7	126	40	559	26	404	13	154	1	1	0	0	1	2	1	1	1	1	0	0	3	127	1	62	0	0	19	225	0	0
松島２丁目	松島	1996	22	464	247	217	0	0	0	0	3	35	3	23	0	0	0	0	0	0	0	0	8	73	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	331	0	0
		2001	18	178	124	54	0	0	0	0	2	29	2	18	0	0	0	0	0	0	0	0	9	96	4	68	5	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	35	0	0
		2006	20	175	114	61	0	0	0	0	1	22	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	14	125	7	75	5	44	2	6	0	0	0	0	2	6	2	6	0	0	1	9	0	0	0	0	3	17	0	0
松島３丁目	松島	1996	131	2,819	1,839	980	0	0	0	0	9	117	15	384	0	0	11	447	0	0	0	0	76	1,374	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	487	0	0
		2001	126	2,714	1,821	893	0	0	0	0	7	109	19	591	0	0	12	450	0	0	0	0	62	1,061	41	889	13	124	8	48	1	1	3	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	490	0	0
		2006	127	2,299	1,621	678	0	0	0	0	8	110	15	334	0	0	0	0	0	0	11	454	62	912	39	615	15	251	8	46	0	0	4	23	8	46	8	46	0	0	8	254	1	2	0	0	18	210	0	0
松島４丁目	松島	1996	51	940	683	257	0	0	0	0	7	71	12	264	1	81	6	125	0	0	0	0	18	336	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	63	0	0
		2001	53	1,064	796	268	0	0	0	0	11	117	12	288	1	92	3	61	0	0	0	0	18	437	14	376	3	28	1	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	69	0	0
		2006	56	836	606	230	0	0	0	0	9	99	9	227	1	6	0	0	0	0	5	83	22	306	18	263	3	17	1	26	0	0	0	0	1	26	1	26	0	0	0	0	0	0	10	115	0	0
松島５丁目	松島	1996	72	1,286	981	305	0	0	0	0	8	129	10	298	0	0	4	189	0	0	0	0	37	427	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	243	0	0
		2001	73	1,113	832	281	0	0	0	0	2	42	11	161	0	0	6	254	0	0	0	0	39	447	23	228	13	187	3	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	209	0	0
		2006	86	1,260	875	385	0	0	0	0	3	33	14	238	0	0	0	0	1	3	11	237	43	537	20	272	19	226	4	39	1	19	0	0	4	39	4	39	0	0	2	36	0	0	0	0	11	157	0	0
松島６丁目	松島	1996	45	560	442	118	0	0	0	0	7	60	6	82	1	19	6	190	0	0	0	0	20	161	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	48	0	0
		2001	37	480	378	102	0	0	0	0	5	58	5	93	1	19	5	114	0	0	0	0	18	158	11	77	4	55	3	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	38	0	0
		2006	43	593	460	133	0	0	0	0	4	40	5	54	2	22	0	0	0	0	6	141	19	211	11	135	6	53	2	23	0	0	0	0	2	23	2	23	0	0	1	48	0	0	0	0	6	77	0	0
東区		1996	9,489	103,359	63,351	40,008	1	20	0	0	702	7,140	554	10,449	26	1,164	592	14,588					4,505	35,414																							2,479	29,930	36	1,698
		2001	9,164	103,517	62,120	41,397	3	34	0	0	672	6,794	493	8,507	26	594	596	15,415					4,308	36,062	1,022	13,508	2,215	16,054	1,071	6,500	130	1,429	390	1,417													2,511	31,361	35	1,904
		2006	8,728	104,170	61,685	42,485	9	38	0	0	608	6,023	427	7,119	27	479			51	480	552	13,637	3,944	35,436	986	13,520	1,969	15,652	989	6,264	118	1,430	408	1,216	1,045	6,872	989	6,264	56	608	616	13,121	326	9,003	66	1,001	1,489	12,520	31	2,059
全市		1996	77,996	837,396	498,030	339,366	32	375	8	58	5,752	76,535	3,224	50,924	94	6,730	2,609	65,430					37,895	320,222	9,850	131,553	16,490	120,259	11,555	68,410	1,816	35,627	4,647	18,555													21,714	241,659	205	21,281
		2001	75,136	814,260	468,858	345,402	29	397	8	69	5,232	63,320	2,802	43,226	109	5,938	2,501	60,313					35,583	302,724	8,859	110,035	15,403	119,226	11,321	73,463	1,712	34,526	4,340	18,644													22,596	261,972	224	23,131
		2006	70,359	811,303	463,396	347,907	40	464	4	20	4,617	54,816	2,141	34,451	107	6,248			1,568	43,466	1,576	44,157	32,457	279,289	8,156	96,749	13,957	112,196	10,344	70,344	1,399	30,044	4,297	20,402	10,802	79,915	10,344	70,344	458	9,571	4,222	68,455	2,295	39,904	393	6,593	14,572	149,513	213	23,910

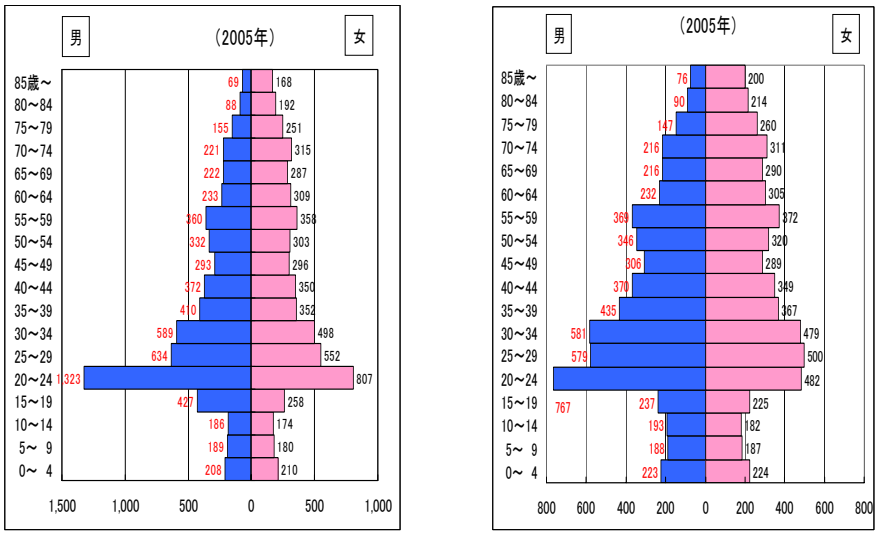
（「福岡市の事業所」（1996 年、2001 年、2006 年）より）

２．　最近の箱崎地区の変化

（１）人口の変化（住民基本台帳）

前節では、平成 7（1995）年～平成 17（2005）年における 4 校区の人口構成の特徴はつかめたが、九州大学の移転が開始したのが平成 17（2005）年であるため、これら国勢調査データではその影響を見出すことが無理なため、次に、住民基本台帳のデータを用いて、最新の傾向をみることにする。ところで、国勢調査では、戸別訪問により、その時点での居住状況等、詳細なデータが整理されているが、一方の住民基本台帳では、あくまでも地方自治体（区役所）に届け出た住民票を基に整理したデータであるため、例えば住民票を提出していない大学生や転居の多い人などのデータが反映されていない、という欠点がある。参考までに、箱崎校区について、平成 17（2005）年の国勢調査及び住民基本台帳によるデータを比較したものが、図２－20 である。

図２－20　人口ピラミッド（箱崎校区）



総　数	12,542
男　性	6,595
女　性	5,947

人

総　数	11,127
男　性	5,571
女　性	5,556

人

左；平成 17（2005）年国勢調査、右；平成 17（2005）年住民基本台帳

図２－20 によると、国勢調査データに比べて住民基本台帳データは、1 割以上（1,415 人）人口総数が少ない。特に、20～24 歳の年齢層での差が大きく、この年齢層だけで 900 人近くを占めており、これらは前述したように、住民票を提出していない九州大学の学生が多くを占めているのではないかと推測される。このように、住民基本台帳データは、住民票を提出していない人がカウントされないという欠点はあるが、国勢調査が 5 年おきに 1 回の調査であるのに比べ、住民基本台帳は、毎年（毎月）定期的に集計しているため、前述の欠点があることを理解した上で、住民基本台帳による 4 校区の人口構成を比較することにする。

○箱崎校区

図２－21 は、箱崎校区について、平成 17（2005）年から平成 20（2008）年まで、毎年の人口構成の推移をみたものである。これによると、人口総数は平成 17（2005）年以降、毎年増加し続けている。

また、箱崎校区の 20～24 歳人口の総数、男性人口、女性人口の推移を表したものを、図２－22 に示した。これによると、20～24 歳人口の総数は 2004 年から 2006 年にかけて減少しているが、その後は増加傾向である。男性人口は、2004 年から 2007 年まで減少が続いていたが、2008 年には増加に転じている。2005 年から九州大学工学部が移転を開始したため、多くが男子学生である工学部の学生が減り始めたことによる影響であると推測される。また、女性人口は 2005 年以降増加を続けているが、男性人口が女性人口よりも多い。

図２－21　　人口ピラミッド（箱崎校区・住民基本台帳）

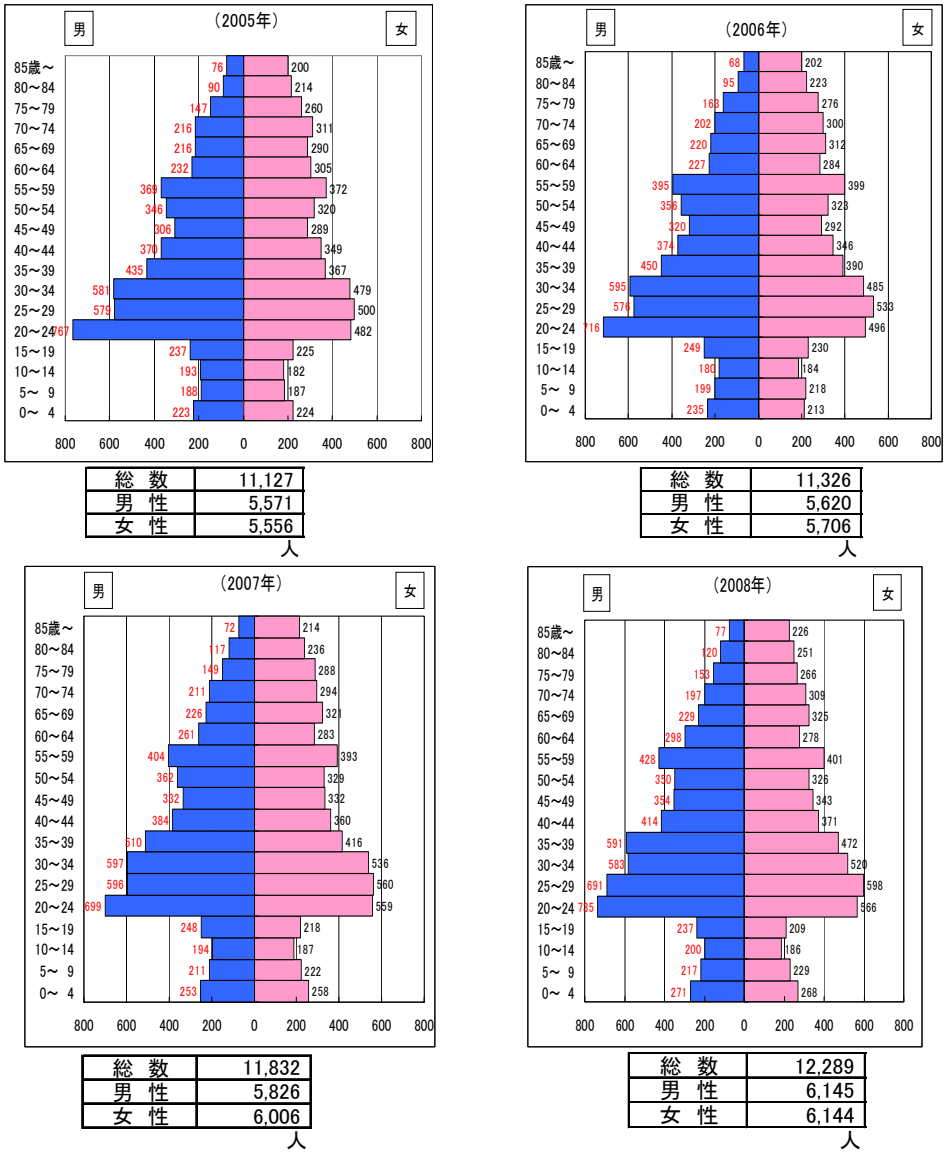
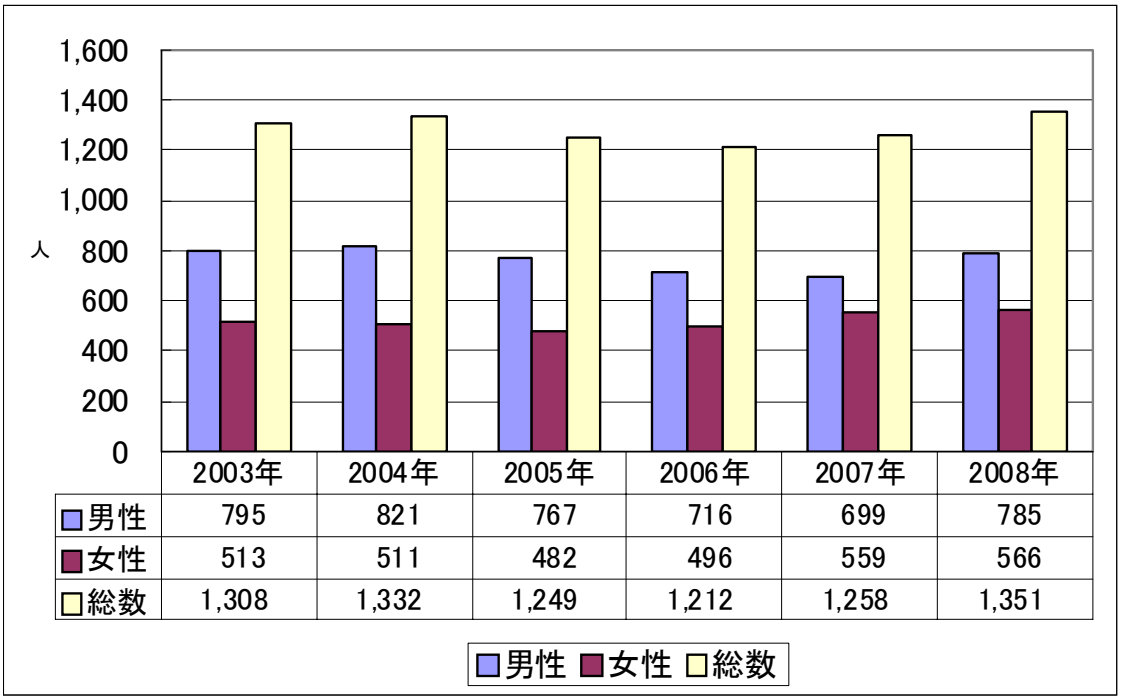


図２－22　20～24 歳人口の推移（箱崎校区）



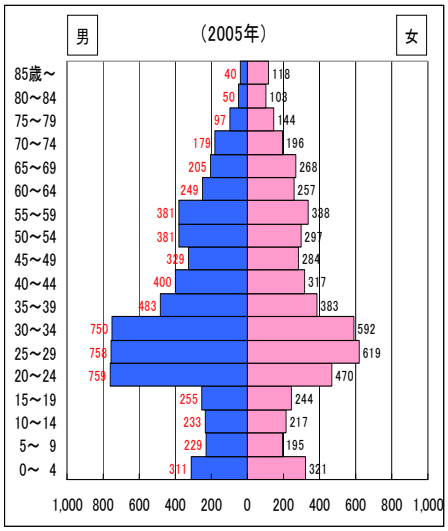
	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
□男性	795	821	767	716	699	785
■女性	513	511	482	496	559	566
□総数	1,308	1,332	1,249	1,212	1,258	1,351

○筥松校区

図２－23 は、筥松校区について、2003 年から 2008 年まで、毎年の人口構成の推移をみたものである。これによると、人口総数は 2004 年から 2005 年にかけてほんのわずか減少しているが、基本的には微増傾向である。しかし、この推移は箱崎校区のそれと大きな差異がある。

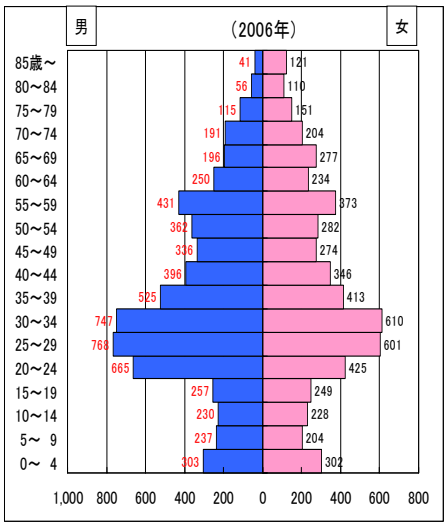
また、筥松校区の 20～24 歳人口の総数、男性人口、女性人口の推移を表したものを、図２－24 に示した。これによると、20～24 歳人口の総数は 2006 年から 2007 年にかけてわずかに増加したものの、基本的には 2003 年以降、減少傾向である。特に男性人口は、2003 年以降、毎年減少し続けており、2003 年から 2008 年の 5 年間で 33.2%（877 人→586 人）も減少している。これは、女性人口が 2006 年以降ずっと増加しているのと対照的である。この要因も、2005 年から九州大学工学部が移転を開始し、多くが男子学生である工学部の学生が減り始めたことによる影響であると推測される。また、箱崎校区同様、男性人口が女性人口よりも多い。

図２－23　人口ピラミッド（筥松校区・住民基本台帳）



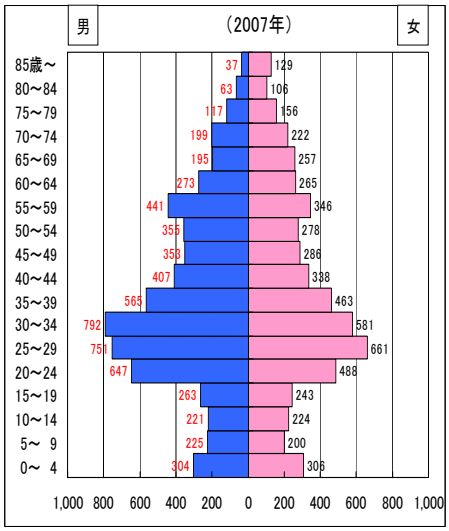
総　数	11,452
男　性	6,089
女　性	5,363

人



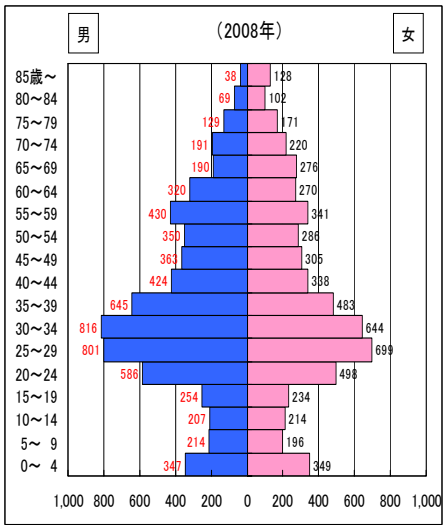
総　数	11,510
男　性	6,106
女　性	5,404

人



総　数	11,757
男　性	6,208
女　性	5,549

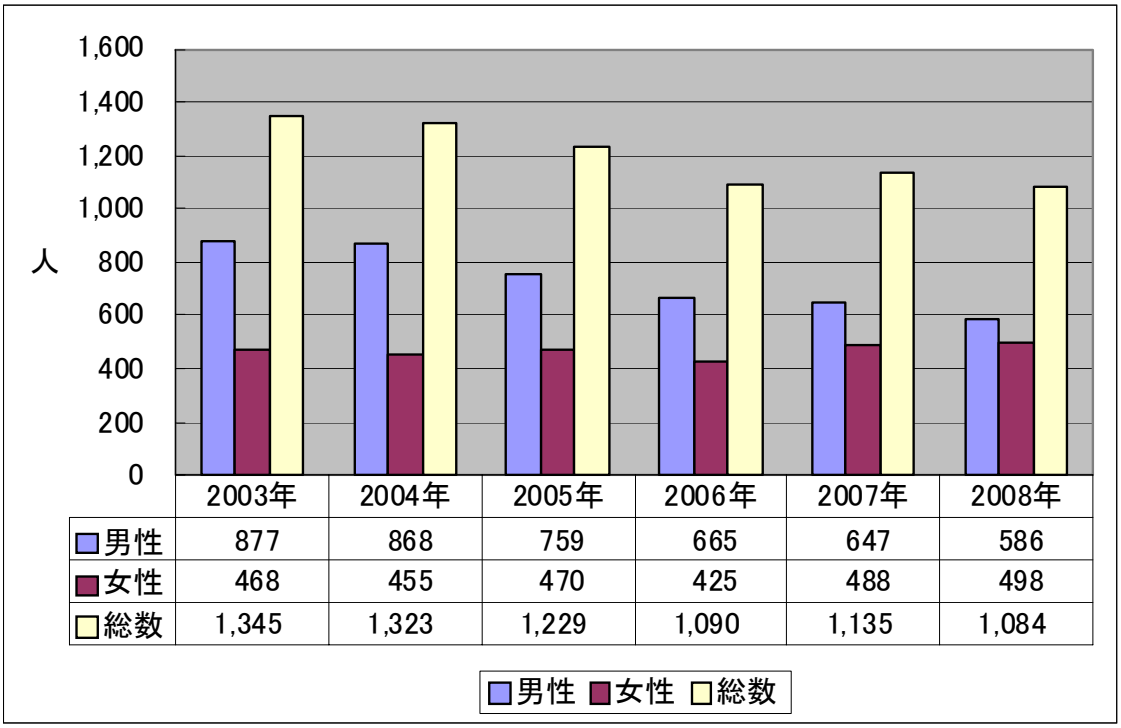
人



総　数	12,128
男　性	6,374
女　性	5,754

人

図２－24　20～24 歳人口の推移（筥松校区）

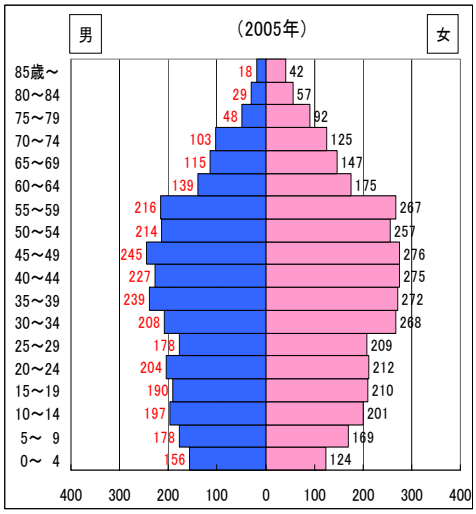


○東箱崎校区

図２－25 は、東箱崎校区について、2003 年から 2008 年まで、毎年の人口構成の推移をみたものである。これによると、明らかに前述した箱崎校区及び筥松校区の人口構成とは全く異なる様相を呈している。70 歳以上の高齢層で多少人口が少ないものの、若年層の人口割合もそれほど少なくはなく、30～60 歳代の人口が多いものの、全体的には各年齢層で極端な人口の偏りは見られない。人口総数は、2004 年から 2005 年にかけて微減しているが、2005 年以降は増加を続けている。

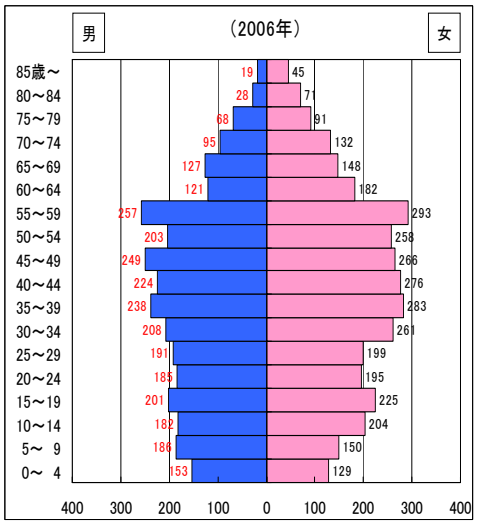
また、東箱崎校区の 20～24 歳人口の総数、男性人口、女性人口の推移を表したものを、図２－26 に示した。これによると、20～24 歳人口の総数は 2004 年から 2006 年にかけて減少しているが、2006 年以降は増加を続けている。この推移は、男性人口、女性人口ともに同様の推移を示している。また、男性人口に比べて女性人口が多い。

図２－25　人口ピラミッド（東箱崎校区・住民基本台帳）



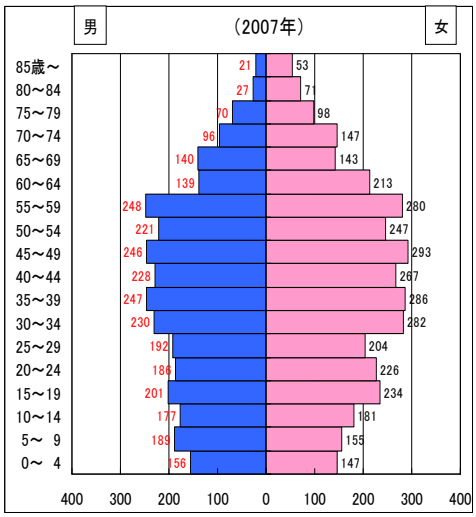
総　数	6,282
男　性	2,904
女　性	3,378

人



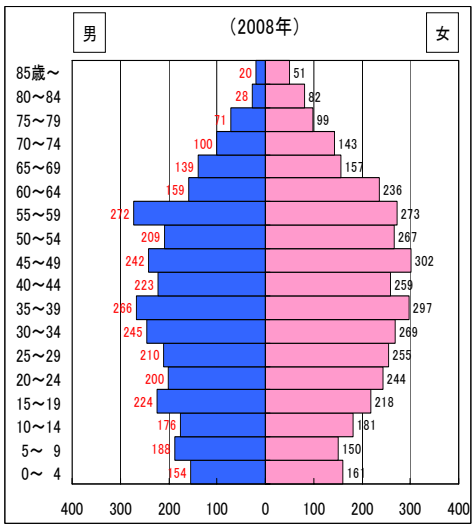
総　数	6,343
男　性	2,935
女　性	3,408

人



総　数	6,541
男　性	3,014
女　性	3,527

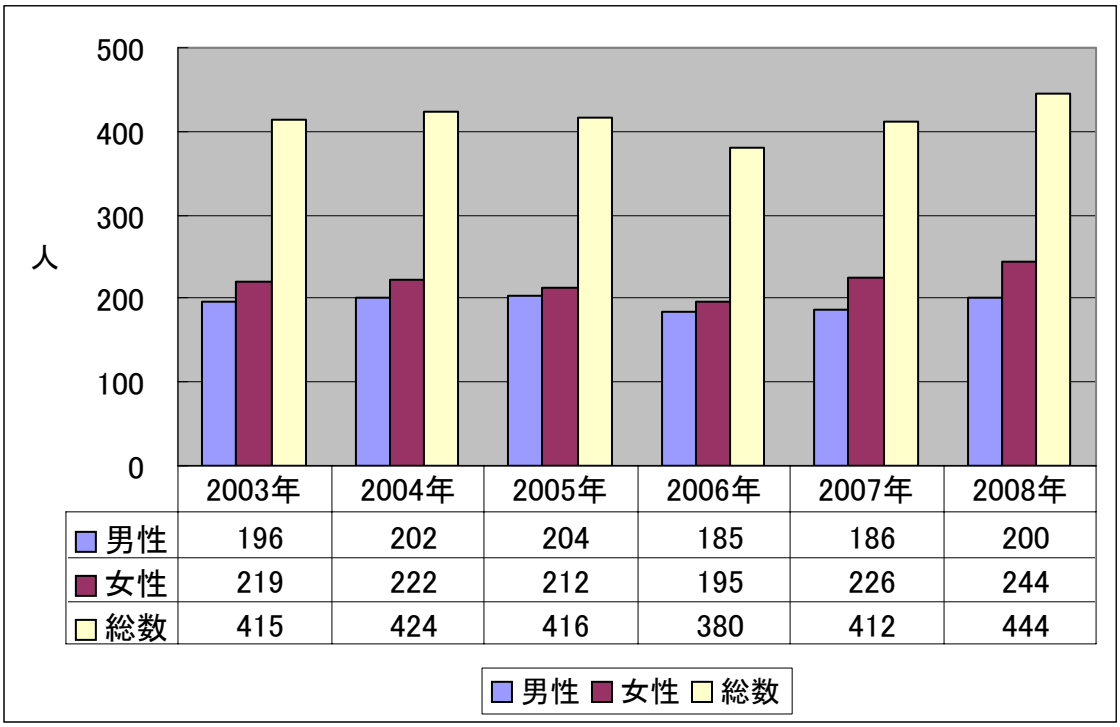
人



総　数	6,770
男　性	3,126
女　性	3,644

人

図２－26　20～24 歳人口の推移（東箱崎校区）

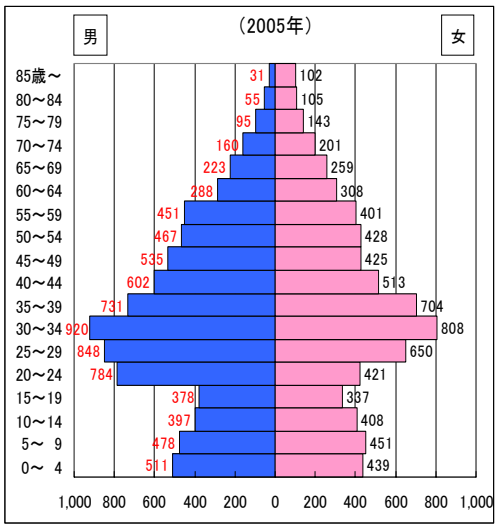


○松島校区

図２－27 は、松島校区について、2003 年から 2008 年まで、毎年の人口構成の推移をみたものである。これによると、基本的には前述した箱崎校区及び宮松校区の人口構成と類似しているものの、松島校区は両校区と比較して 20 歳以下の若年層の人口割合が高いことが特徴である。また、30 歳代の世代層の人口割合が最も多く、5 歳以下の子ども世代も多いことから、若い家族世帯が多いものと推測される。この点については、20～29 歳代が最も多い前述の両校区とは、異なる人口構成を呈している。また、人口総数は、2003 年以降 2008 年まで増加を続けている。

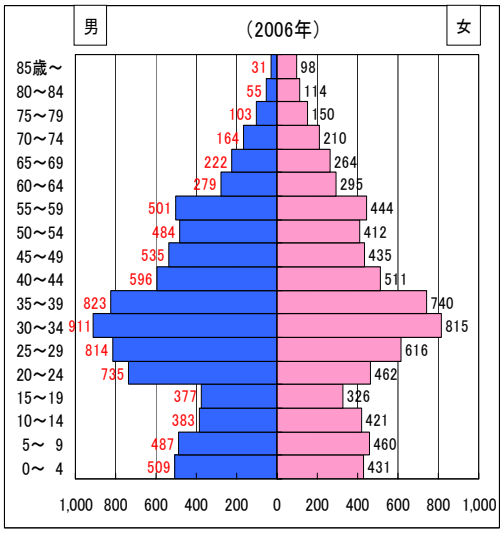
また、松島校区の 20～24 歳人口の総数、男性人口、女性人口の推移を表したものを、図２－28 に示した。これによると、20～24 歳人口の総数は 2004 年から 2006 年にかけて減少していたが、2006 年以降は増加に転じている。また、東箱崎校区同様、男性人口よりも女性人口が多い。

図２－27　人口ピラミッド（松島校区・住民基本台帳）



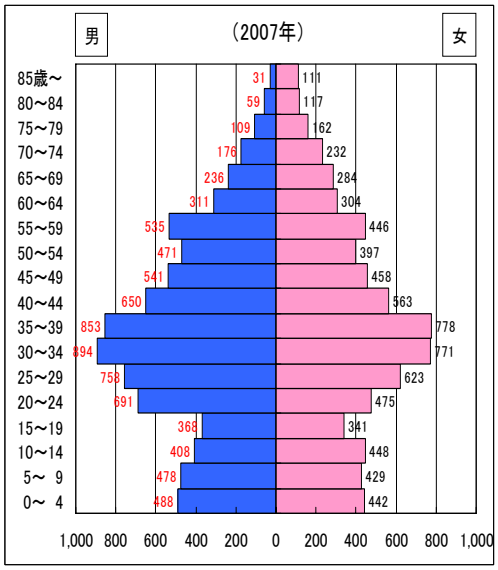
総　数	15,057
男　性	7,954
女　性	7,103

人



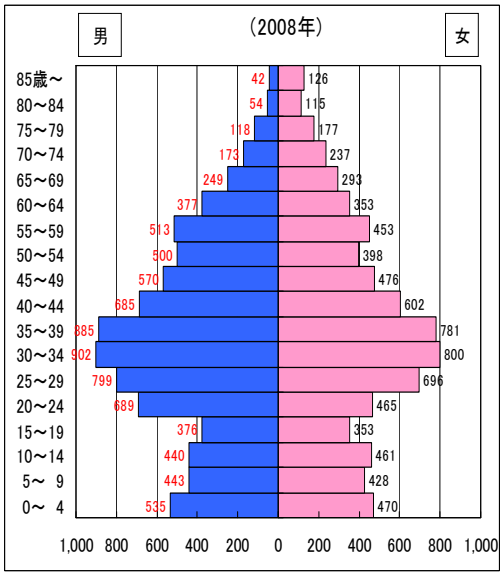
総　数	15,213
男　性	8,009
女　性	7,204

人



総　数	15,438
男　性	8,057
女　性	7,381

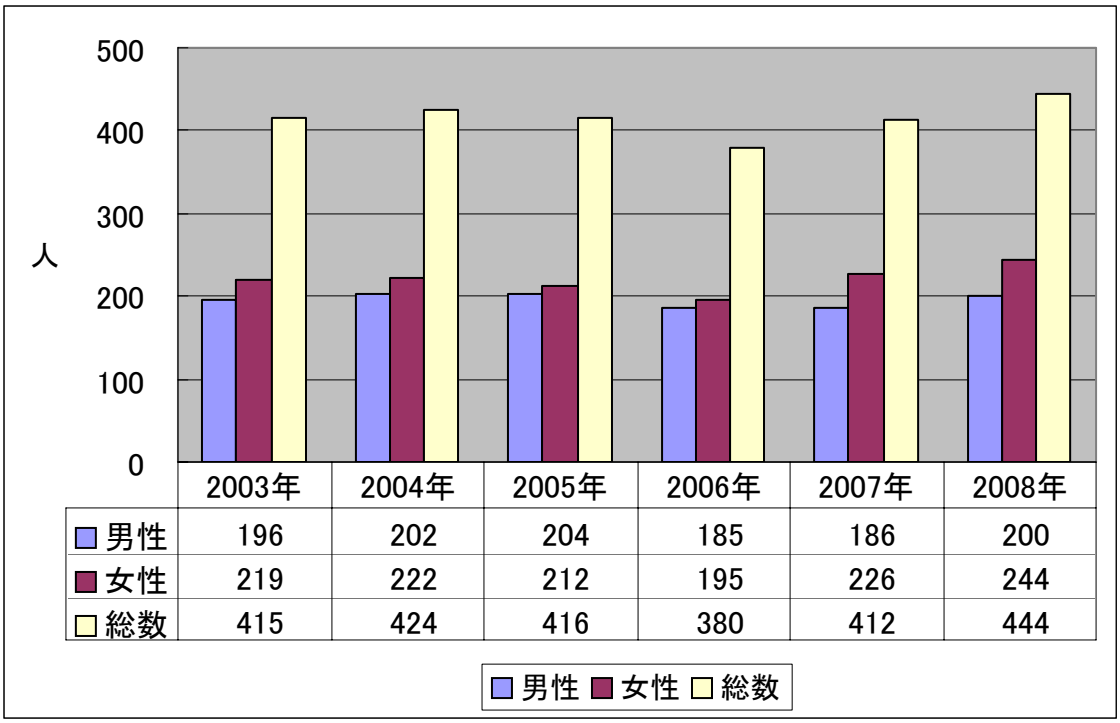
人



総　数	16,034
男　性	8,350
女　性	7,684

人

図２－28　20～24 歳人口の推移（松島校区）



（２） 周辺地域の日常生活関連施設等の動向について

平成 17 年より、九州大学工学部の移転が開始され、その前後（平成 11、15、20 年）において、生活に密着した施設等の変容を探る目的で、キャンパス周辺地域を対象に、住民の日常生活に密接に関わる施設等の数とその分布について、調査を行った。調査施設は、既往研究に基づき、集合住宅、個人住宅、飲食店、スーパー・商店等、駐車場、コンビニ、書店、ガソリンスタンド、娯楽施設、金融機関、医療機関、美容院・理容院の 12 種別とした(表２－４)。調査は、具体的には「ゼンリン住宅地図」（福岡市東区版）を用いて、箱崎地区の 4 町（箱崎 1～7 丁目、筥松 1～4 丁目、原田 1～4 丁目、松島 1～6 丁目）内にある上記の施設等の数を、町丁目ごとにカウントして、集計を行った。

表２－４　ゼンリン地図による施設集計に用いた種別

種別	地図表記
集合住宅	マンション、アパート、寮、○○荘、○○コーポ、メゾン○○、○○ハイツ　等
個人住宅	個人名表記家屋
飲食店	食堂、居酒屋、スナック、ファーストフード店、喫茶店、弁当屋　等
スーパー・商店等	食料品店、衣料店、魚屋、電気店、クリーニング店、不動産店、タバコ店、新聞販売店、ビデオ店、商店、薬局　等
コンビニ	コンビニ
書店	書店、書房　等
ガソリンスタンド	給油所
娯楽施設	パチンコ店、雀荘、フィットネスクラブ、銭湯　等
駐車場	パーキング、車庫、ガレージ　等
金融機関	銀行、信用金庫、郵便局　等
医療機関	病院、歯科、診療院、整骨院　等
美容院・理容院	カットハウス、ヘアサロン　等

①４地区（箱崎、筥松、原田、松島）の変化

図２－29 は、住居形態、日常生活関連施設の個数について、今回の対象地域全体の総数について、1999 年、2003 年、2008 年の 3 時点での変容を見たものである。

住居形態では、個数としては個人住宅が集合住宅と比べて圧倒的に多いが、減少を続けている。逆に、集合住宅は増加し続けている。

飲食店は減少傾向にあり、特に、2003 年から 2008 年にかけての減少が著しい。

スーパー・商店等は、1999 年→2003 年ではごくわずかに増加しているが、2003 年→2008 年では大きく減少している。

駐車場は、1999 年→2003 年では増加しているが、2003 年→2008 年では減少している。

医療機関及び美容院・理容院は、増加傾向が続いている。

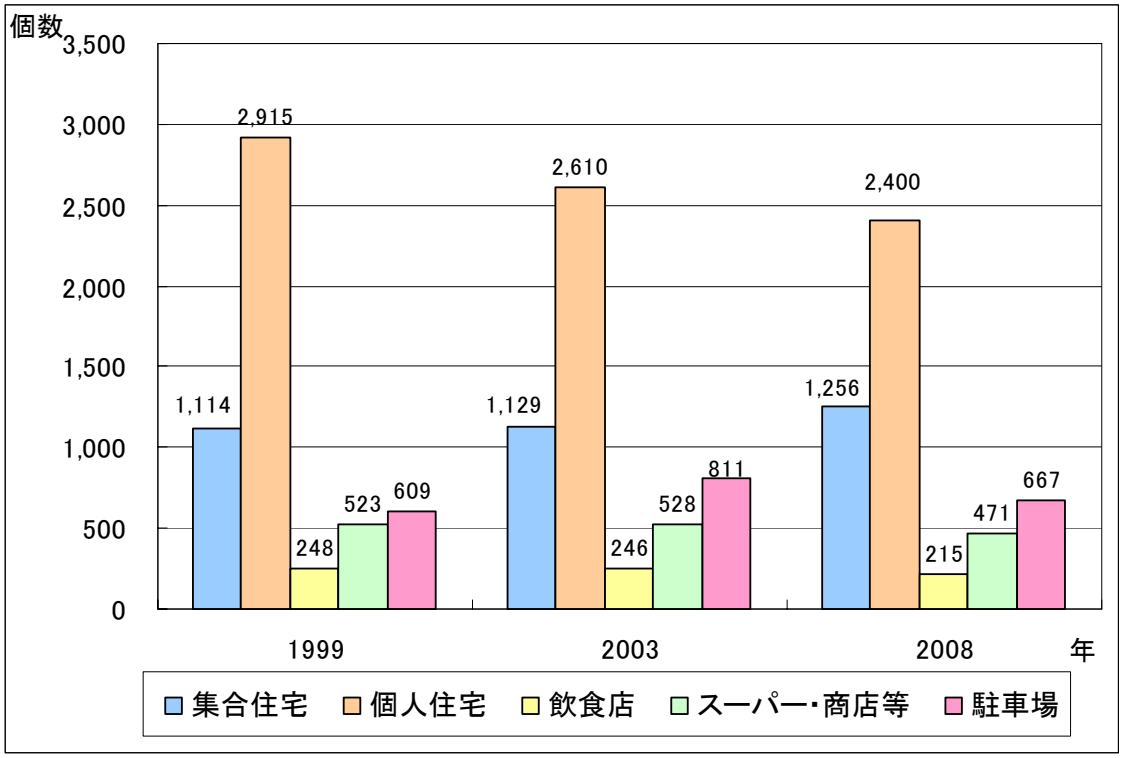
コンビニについては、1999 年→2003 年では減少しているが、2003 年→2008 年では多少増加している。

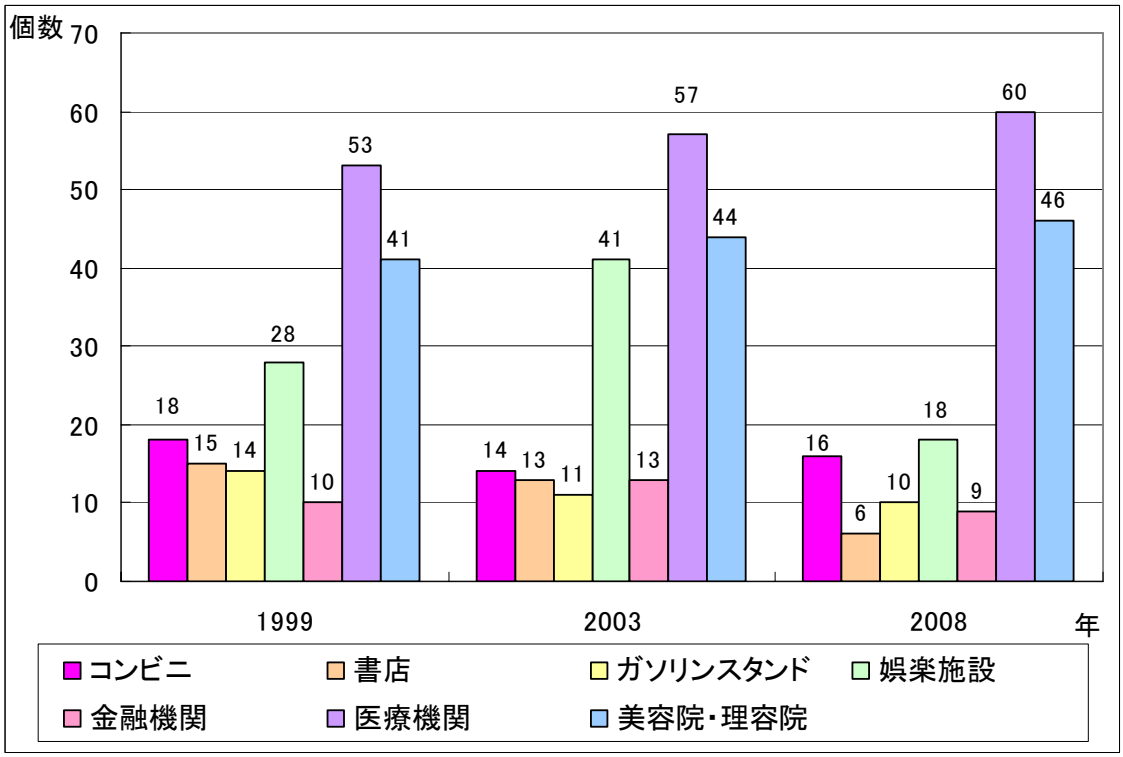
書店及びガソリンスタンドは、減少傾向が続いている。

以上、4 地区全体の施設数の動向についてまとめたが、施設によりその増減の傾向が異な

っていることがわかる。全体としての傾向は明らかとなったが、個々の町丁目で施設数の推移に違いがあるのかについて、次項で分析を試みる。

図２－29　施設数の変化



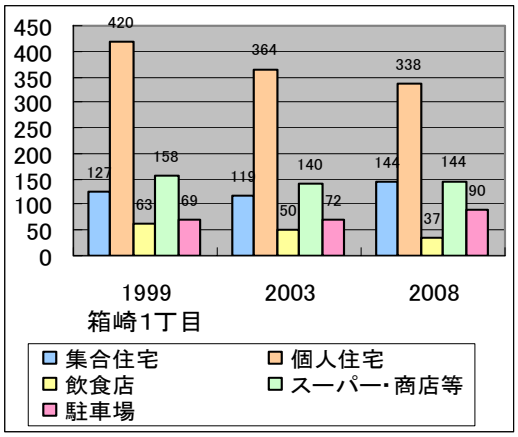


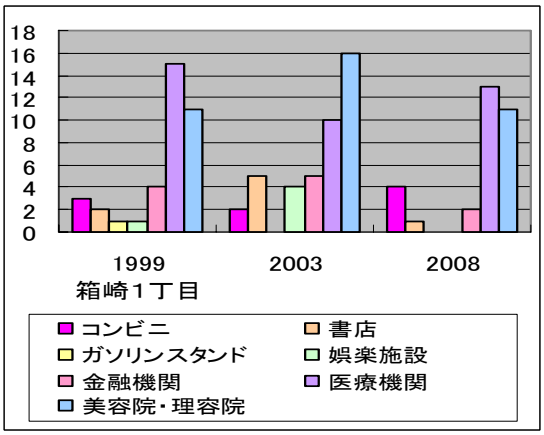
②主だった町丁目の変化

住居施設、日常生活関連施設等について、特徴のある町丁目で施設数の推移をみた。

箱崎１丁目（図２－30）

図２－30　施設数の変化（箱崎１丁目）





箱崎１丁目は、個人住宅が 350 戸程度、集合住宅が 150 軒程度あり、箱崎地区でも代表的な住宅地であるが、個人住宅の戸数は減少し続けている。逆に、集合住宅の軒数は 1999 年→2003 年では多少減少しているが、2003 年→2008 年では 2 割程度増加している。

駐車場については、増加し続けている。

飲食店については、減少し続けている。

スーパー・商店等及びコンビニについては、1999 年→2003 年では多少減少しているが、2003 年→2008 年では増加に転じている。

書店は、2003 年→2008 年の間に、5 店→0 店となっている。

医療機関については、1999 年→2003 年ではかなり減少しているが、2003 年→2008 年では増加に転じている。

美容院・理容院は、1999 年→2003 年ではかなり増加しているが、2003 年→2008 年では減少に転じている。

箱崎３丁目（図２－31）

箱崎 3 丁目は、個人住宅の戸数は減少し続けている一方、集合住宅の軒数は、1999 年→2003 年では多少減少しているが、2003 年→2008 年では増加しており、箱崎１丁目と同じ傾向となっている。

駐車場についても、箱崎１丁目と同様に、増加し続けている。

飲食店については、減少し続けている。

スーパー・商店等は減少し続けており、特に 2003 年→2008 年では半減している。

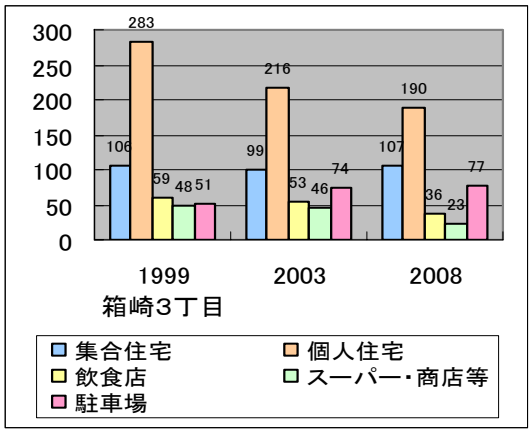
書店は減少し続けており、2008 年には 0 店となっている。

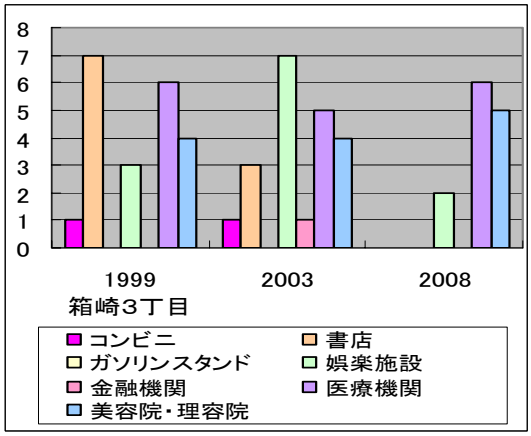
娯楽施設は、1999 年→2003 年では倍増しているが、2003 年→2008 年では逆に激減している。

医療機関は、1999 年→2003 年では減少しているが、2003 年→2008 年で増加に転じている。

美容院・理容院は、1999 年→2003 年では店舗数に変化はなく、2003 年→2008 年では 1 店増加している。

図２－31　施設数の変化（箱崎 3 丁目）





筥松 2 丁目（図２－32）

筥松 2 丁目は、箱崎 1、3 丁目と同様に、個人住宅の戸数は減少し続けている。また、集合住宅の軒数は増加し続けている。

駐車場についても、箱崎 1、3 丁目と同様に、増加し続けている。

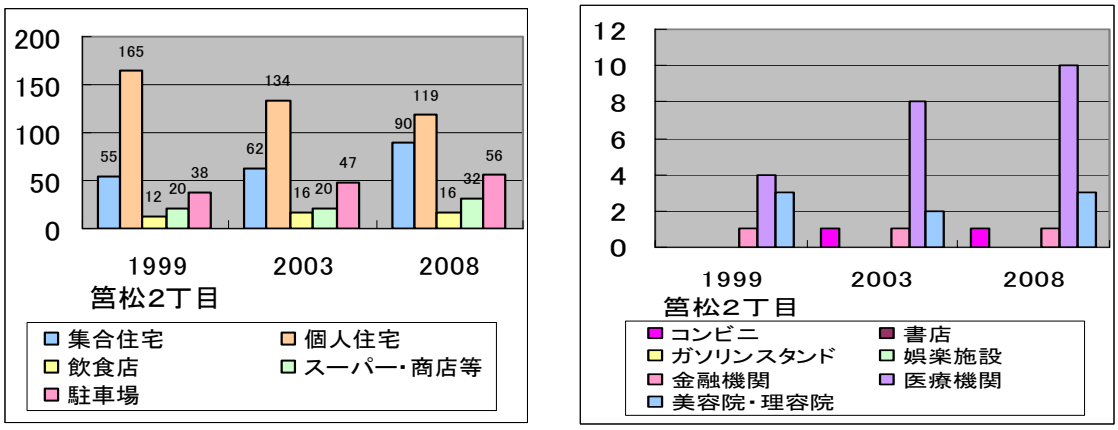
飲食店は、1999 年→2003 年では増加し、2003 年→2008 年では店舗数に変化はみられない。

スーパー・商店等は、2003 年→2008 年では 6 割増である。

医療機関は増加し続けており、1999 年→2008 年にかけて 2.5 倍増加している。

美容院・理容院は、1999 年→2003 年では 1 店減少し、2003 年→2008 年では逆に 1 店増加している。

図２－32　施設数の変化（筥松２丁目）



松島１丁目（図２－33）

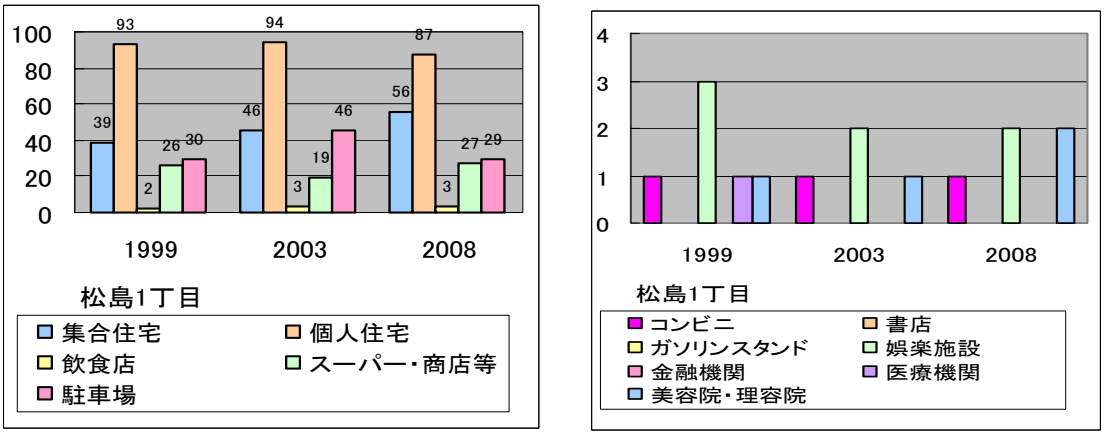
松島１丁目は、箱崎 1、3 丁目、筥松 2 丁目とは異なり、個人住宅の戸数は 1999 年→2003 年では微増し、2003 年→2008 年でも減少はしているもののごくわずかである。また、集合住宅の軒数は増加し続けている。

駐車場は、箱崎 1、3 丁目、筥松 2 丁目とは異なり、1999 年→2003 年では増加しているが、2003 年→2008 年では激減している。

飲食店は、店舗数に大きな変化はみられない。

スーパー・商店等は減少しているが、2003 年→2008 年では 5 割増である。

図２－33　施設数の変化（松島１丁目）



松島３丁目（図２－34）

松島 3 丁目は、個人住宅の戸数は大きな変化はみられない。また、集合住宅の軒数は増加し続けている。

駐車場は、1999 年→2003 年ではほとんど変化はみられないが、2003 年→2008 年では

激減している。

飲食店は増加し続けており、1999 年～2008 年の間に店舗数は倍増している。

スーパー・商店等については、1999 年→2003 年では多少増加しているが、2003 年→2008 年では減少している。

原田１丁目（図２－35）

原田１丁目は、個人住宅の戸数は 1999 年→2003 年では減少しているが、2003 年→2008 年では逆に微増している。集合住宅の軒数は増加し続けている。

駐車場は、1999 年→2003 年では増加しているが、2003 年→2008 年では減少している。

飲食店は、店舗数が減少を続けている。

スーパー・商店等は、1999 年→2003 年では増加しているが、2003 年→2008 年ではやや減少している。

医療機関は、1999 年→2003 年では数に変化はないが、2003 年→2008 年では１機関増加している。

美容院・理容院の店舗数は、増加し続けている。

図２－34　施設数の変化（松島３丁目）

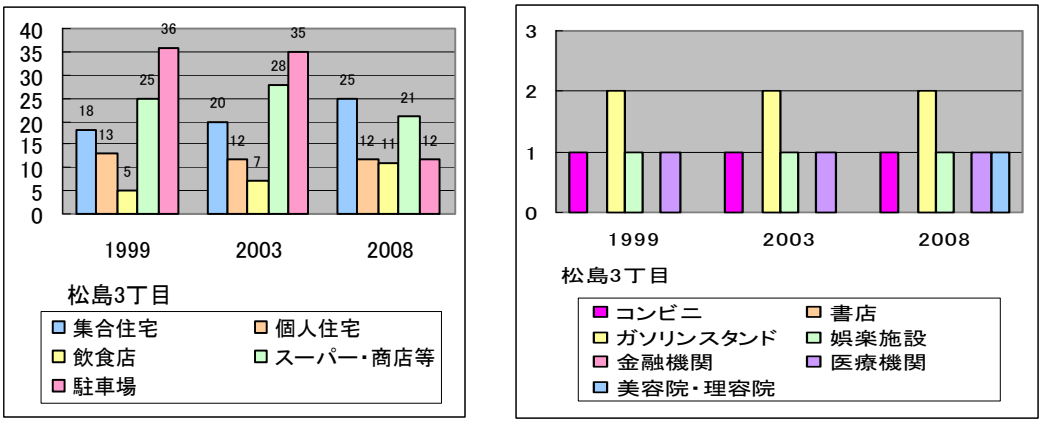
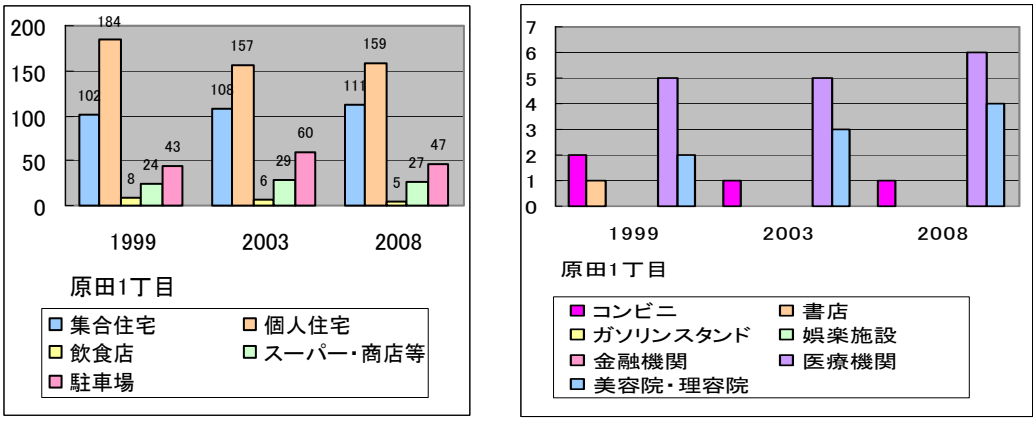


図２－35　施設数の変化（原田１丁目）



（３）箱崎地区の地価について

①地価公示（毎年１月１日時点の価格）

4 校区内の住宅地 3 地点、商業地 2 地点（図２－36。実線は住宅地、点線は商業地）では、いずれも最近まで地価下落が続いてきたが、地区中心部に位置する商業地である箱崎 3 丁目で、平成 18（2006）年から上昇に転じたほか、住宅地 3 地点についても、平成 19（2007）年以降、幾分上向いている。

福岡市全市の平均値との比較では、4 校区内の商業地は全市の平均値を大きく下回り、また平成 18（2006）年以降の上昇幅も小さい。一方、住宅地では、全市の平均値が平成 18(2006)年以降上昇に転じているのに対し、4 校区内の 3 地点はいずれも平成 19(2007)年に上昇に転じており、1 年のタイムラグがある。

こうしたことから、4 校区の商業地、住宅地では、福岡市全体と比べて土地の需要が弱いことがわかる。

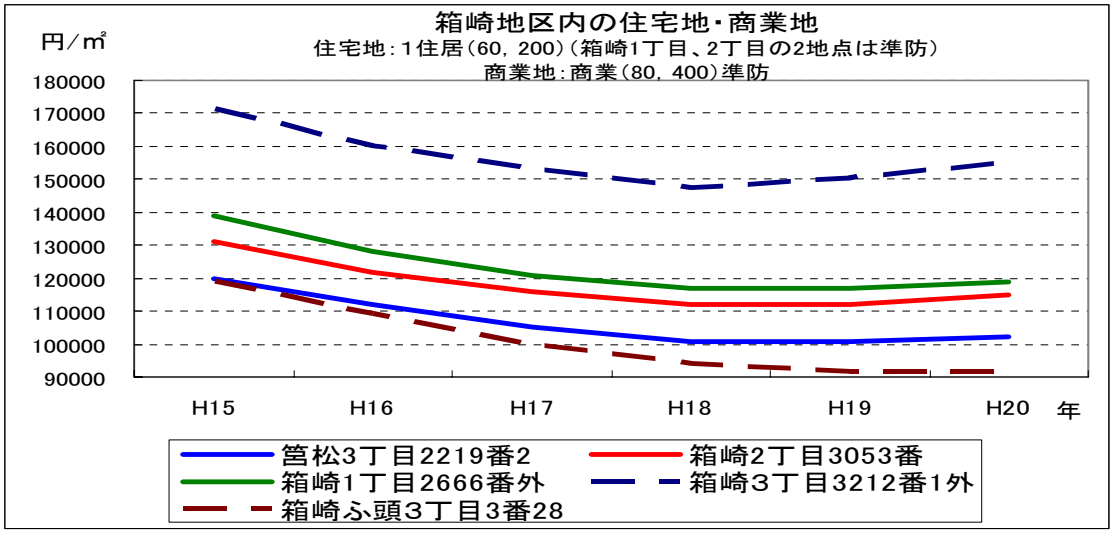
工業地、準工業地も、住宅地と同様、平成 19（2007）年までは地価が下落し、その後はほぼ横這いである。ただし、マンション建設が可能な準工業地は、工業地よりも土地単価が高く、なかでも箱崎 4 丁目および筥松 2 丁目は、平成 19（2007）年に上昇に転じている。

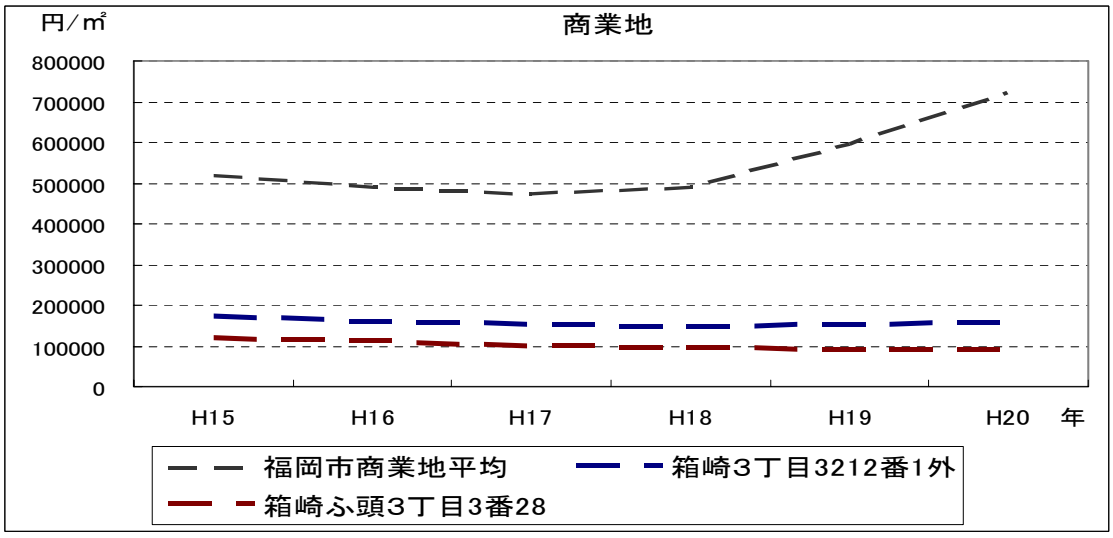
②福岡県地価調査（毎年７月１日時点の価格）

調査時期が地価公示と半年ずれる「福岡県地価調査」で、4 校区内の住宅地（箱崎 3 丁目）、商業地（箱崎 1 丁目）、準工業地（原田 1 丁目）の地価をみると、傾向的にはいずれも地価公示と同様で、平成 18（2006）年を境に上昇に転じている（図２－37)。なかでも準工業地の上昇幅が大きいのが目立っているが、これは、マンション種地の土地需要の高まりが一因であると類推される。

なお、図２－38 に対象地点の位置を示した。

図２－36　箱崎地区各地点の公示地価の推移





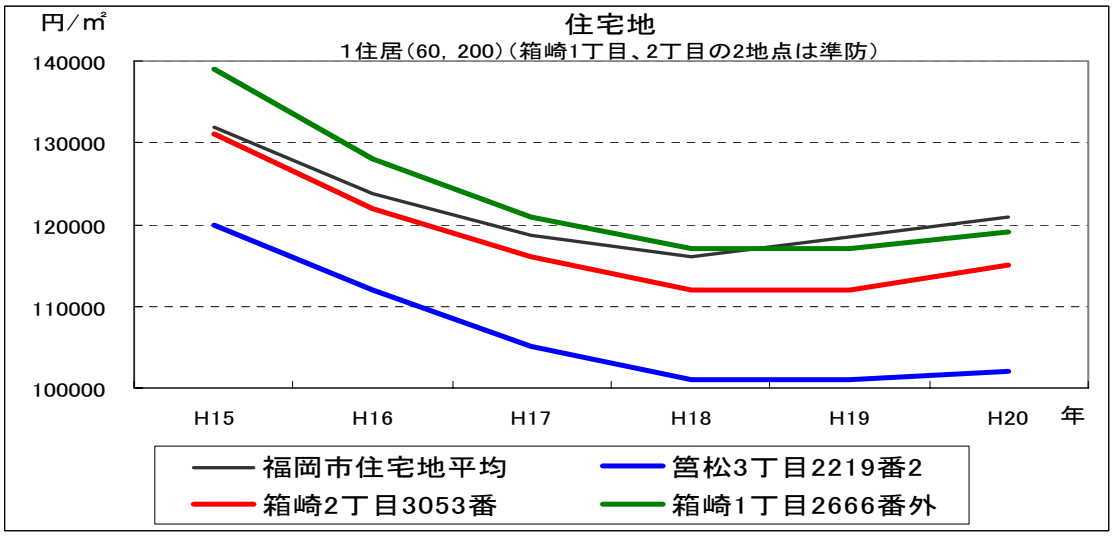
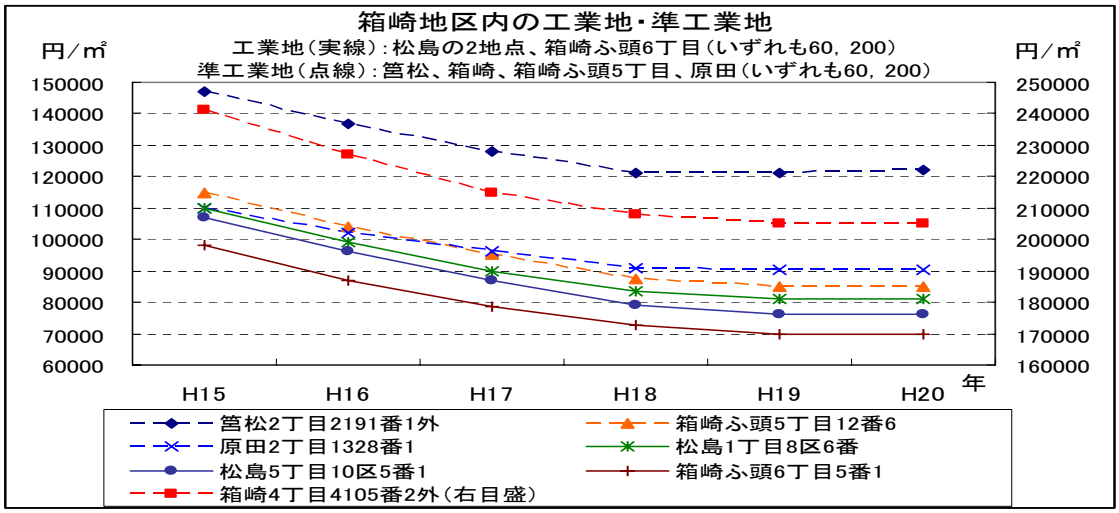
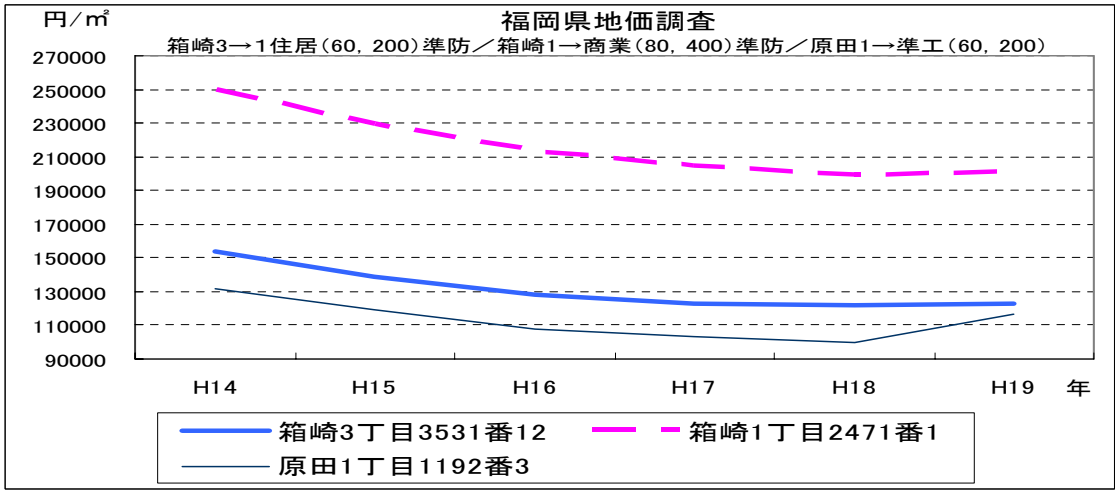


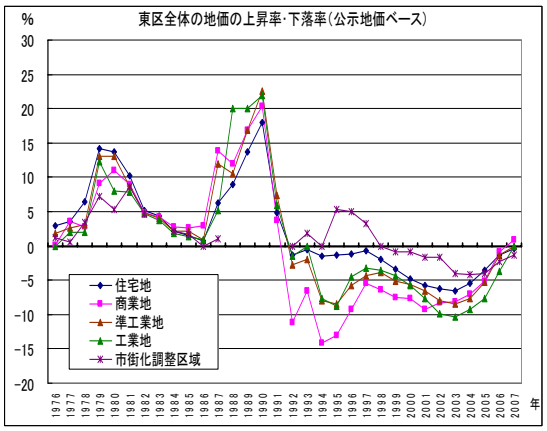
図２－37　箱崎地区内の福岡県地価調査の地価推移

箱崎地区各地点の公示地価の推移（つづき）





参考：福岡市全体および東区全体の地価推移（平均値）



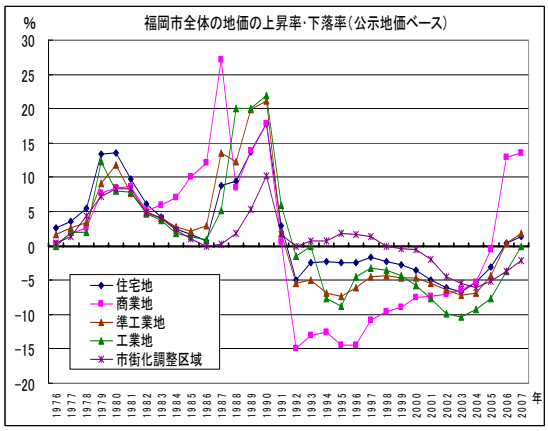
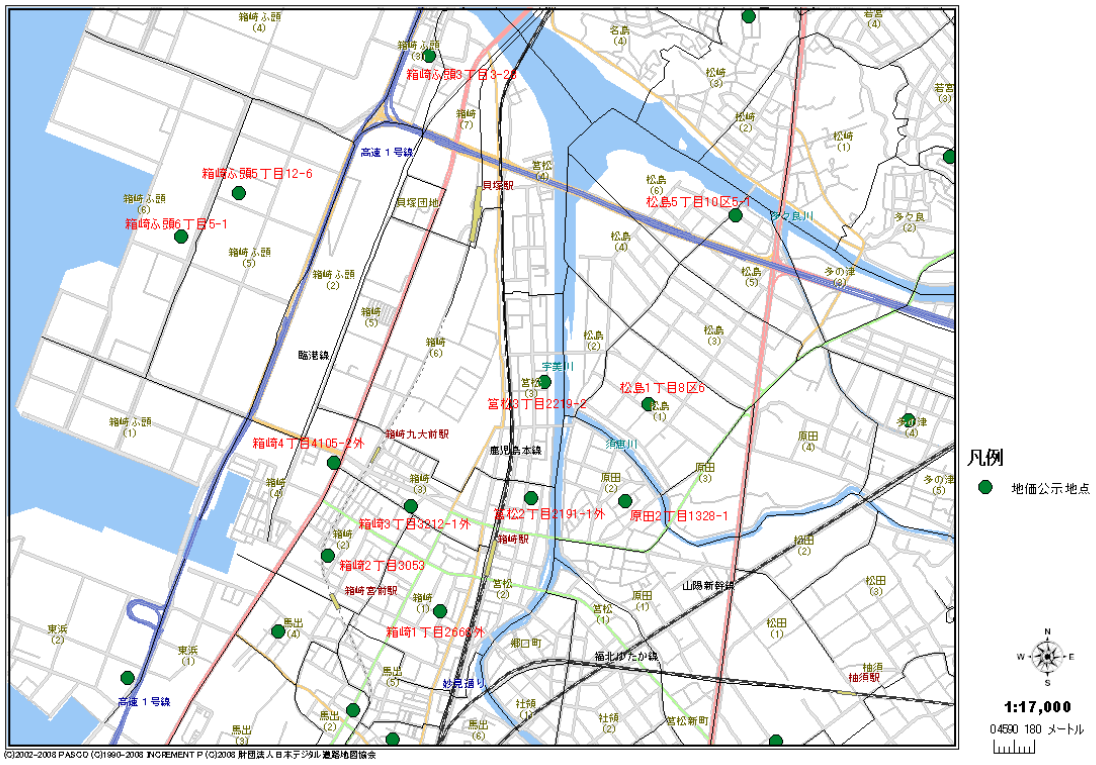


図２－38　地価の地点地図



(C)2002-2008 PASCO (C)1990-2008 INCREMENT P (C)2008 財団法人日本デジタル道路地図協会

（４）箱崎地区内および近隣の JR 駅、地下鉄駅の利用者数について

①JR 駅（箱崎、吉塚）の利用者数

最近の JR 箱崎、JR 吉塚両駅の利用者数（乗車人員ベース）をみると、JR 箱崎駅では、区画整理事業を受けた駅移転（平成 14（2002）年 12 月より、香椎側に約 440m移転）の影響もあり、増加傾向にある。一方、JR 吉塚駅でも増加傾向となっているが、最近の増加ペースは、JR 箱崎駅と比べて緩やかである。

１）利用者数（実数）の推移（図２－39）

JR 箱崎駅では、駅移転の前後で傾向の変化が顕著である。駅移転前の平成 14（2002）年までは利用者数は毎年減少傾向であったが、駅移転後は利用者数が年を追うごとに伸びている。

一方 JR 吉塚駅では、前年比の伸び率は箱崎ほどではないが、利用者数は堅調に増加している。

２）利用者数前年比寄与度の推移

JR 箱崎駅の利用者数前年比をみると（図２－40 折れ線グラフ）、駅が移転した平成 14（2002）年では前年比＋2.8%となった後、平成 15（2003）年には＋16.4%と大幅な伸びをみせ、その後も直近の平成 19（2007）年まで＋5～10%程度の伸びを示している。

定期外、定期･通勤、定期･通学の各種別が利用者数合計の前年比の伸びに与えた影響をみるため、寄与度[1]（図２－40 棒グラフ））に分解してみると、駅移転後の平成 15（2003）年以降は定期･通勤が利用者増に大きく寄与していることがわかる。また、駅移転前は利用者減の主たる要因となっていた定期外（一般の切符）も、駅移転直後の平成 14（2002）年にはプラス寄与に転じ、その後も一貫して利用者数の伸びに貢献している。また定期･通学についても、平成 18（2006）年以外はすべてプラスに寄与している。

以上より、次のようなことが類推できる。

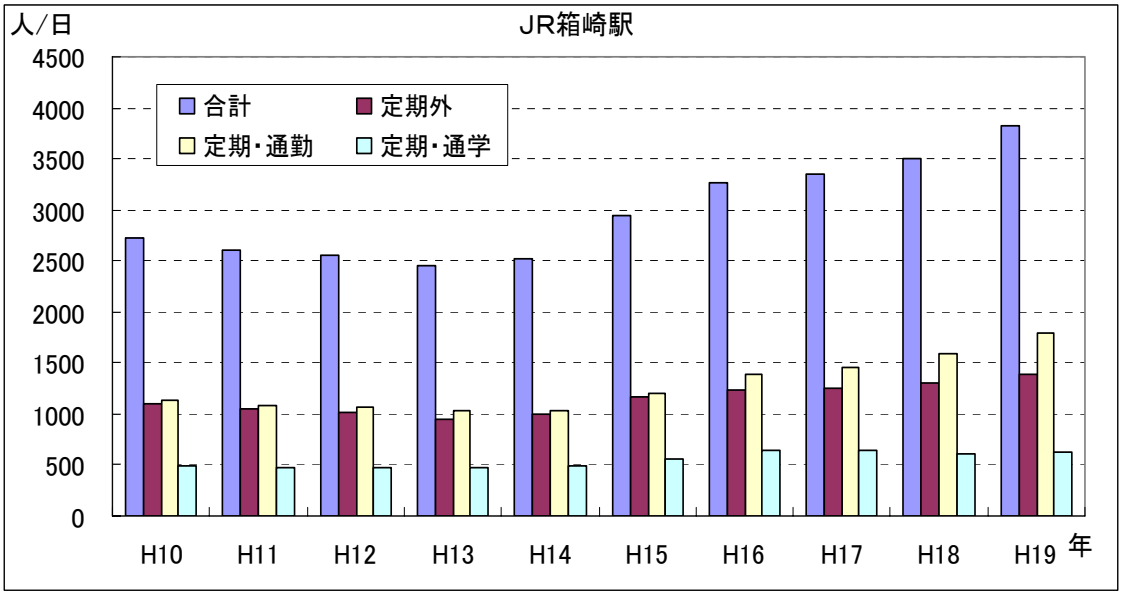
- 駅が移転により箱崎地区により近づいたことで、定期･通勤の利用者数を中心に利用者数が伸びている。これには、最近のマンション建設増加も寄与しているものと思われる。
- 定期･通学については、他大学や高校への通学者も含まれているため、はっきりとは分からないが、平成 15（2003）、16（2004）の両年は、九大近くへの箱崎

[1] 前年比の変化率を、内訳項目ごとに分けた数字。単位は%。全体の前年比変化率のうち、ある内訳項目がどれだけの分貢献したか（あるいはどれだけ足を引っ張ったか）を説明し、前年比変化率と同様、プラス、マイナスの両方の値を取り得る。例えば、「定期外」利用者数の前年比寄与度を計算するには、“（「今年の定期外利用者数」－「前年の定期外利用者数」）×100／「前年の全体の利用者数」”の計算式で算出する。

駅の移転により、九大生の利用が一定程度増加し、また大学移転が開始された平成 17（2005）年には横這いとなり、移転開始翌年の平成 18 年（2006）年には逆に減少に転じたものと考えられる。

図２－39　JR 箱崎駅、JR 吉塚駅の乗車人員数（人/日）

		H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
箱崎駅	合計	2,718	2,598	2,552	2,460	2,528	2,942	3,258	3,352	3,510	3,815
	定期外	1,092	1,050	1,019	951	1,005	1,175	1,227	1,248	1,310	1,394
	定期･通勤	1,130	1,075	1,064	1,039	1,031	1,202	1,394	1,453	1,595	1,797
	定期･通学	496	473	469	470	492	565	637	651	605	624
吉塚駅	合計	7,978	8,109	8,183	8,383	8,952	9,149	9,174	9,298	9,357	9,561
	定期外	2,925	2,923	2,916	2,861	2,831	2,880	2,813	2,888	2,955	2,978
	定期･通勤	3,287	3,364	3,434	3,501	3,658	3,755	3,851	3,896	4,006	4,229
	定期･通学	1,766	1,822	1,833	2,021	2,463	2,514	2,510	2,514	2,396	2,354



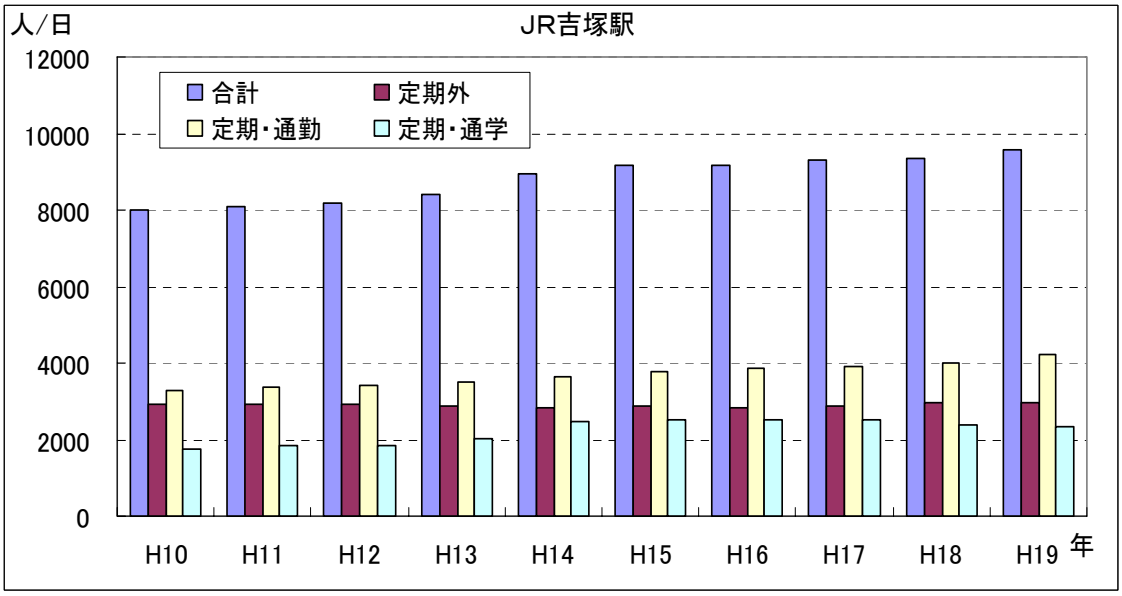
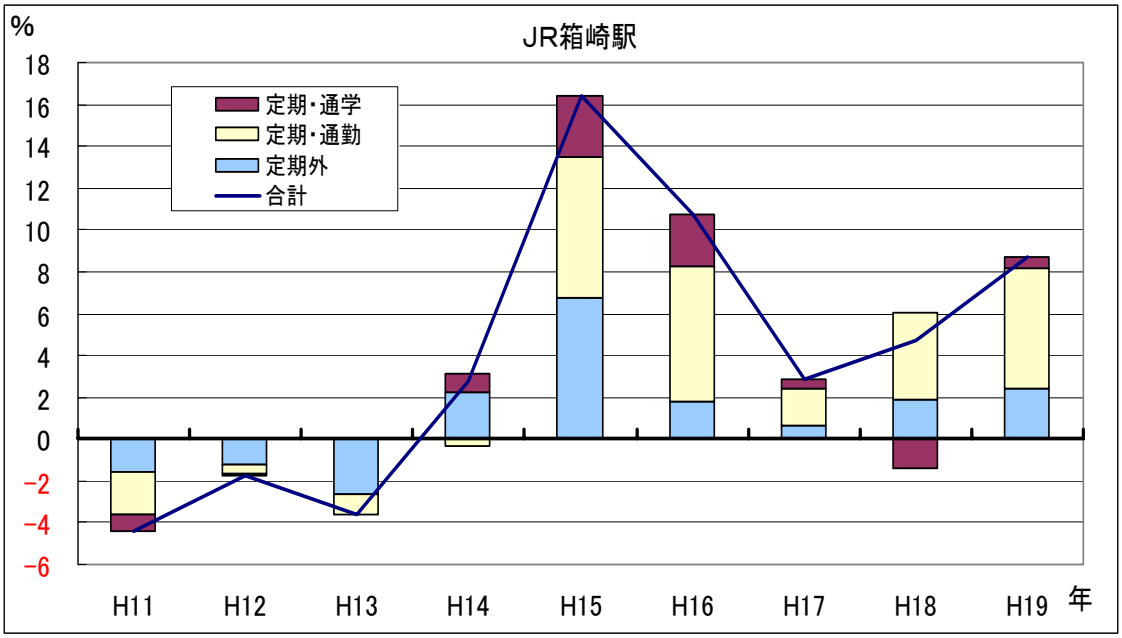
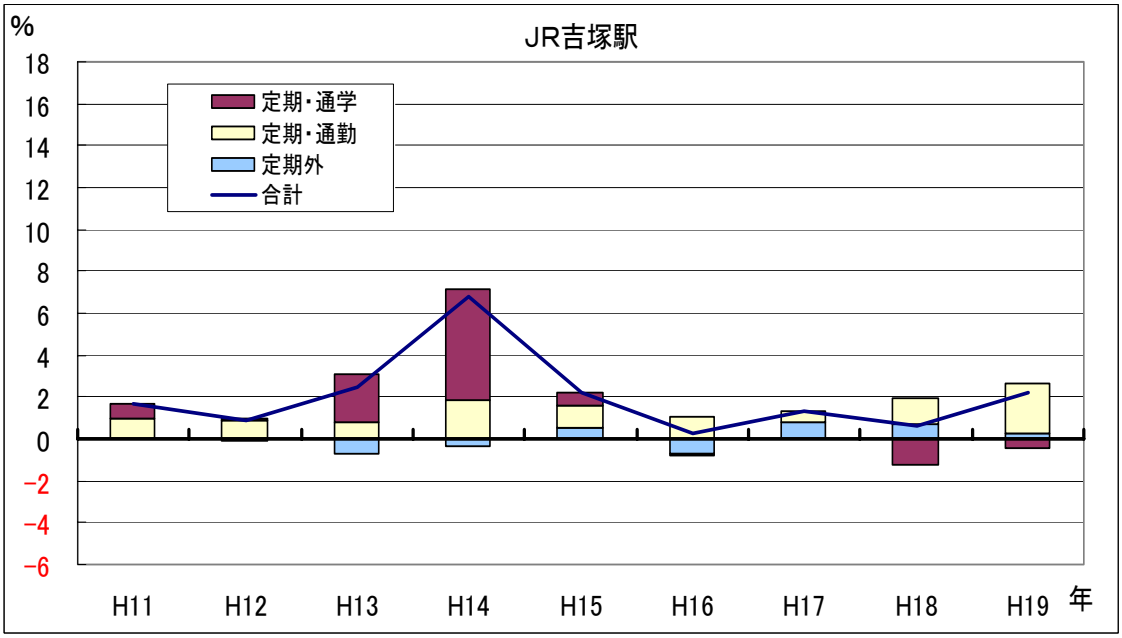


図２－40　JR 箱崎駅、JR 吉塚駅の乗車人員数　前年比寄与度（%）

		H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
箱崎駅	**合計**	**-4.4**	**-1.8**	**-3.6**	**2.8**	**16.4**	**10.7**	**2.9**	**4.7**	**8.7**
	定期外	-1.5	-1.2	-2.7	2.2	6.7	1.8	0.6	1.8	2.4
	定期･通勤	-2.0	-0.4	-1.0	-0.3	6.8	6.5	1.8	4.2	5.8
	定期･通学	-0.8	-0.2	0.0	0.9	2.9	2.4	0.4	-1.4	0.5
吉塚駅	**合計**	**1.6**	**0.9**	**2.4**	**6.8**	**2.2**	**0.3**	**1.4**	**0.6**	**2.2**
	定期外	-0.0	-0.1	-0.7	-0.4	0.5	-0.7	0.8	0.7	0.2
	定期･通勤	1.0	0.9	0.8	1.9	1.1	1.0	0.5	1.2	2.4
	定期･通学	0.7	0.1	2.3	5.3	0.6	-0.0	0.0	-1.3	-0.4





３）まとめ

以上まとめると、JR 箱崎駅に関しては、九大移転による学生流出の影響は一定程度あったものの、移転による駅の利便性向上および周辺地区の人口増加を背景とした定期･通勤の利用者の伸びを主因に、全体の利用者数は伸びているということがいえる。

一方吉塚駅に関しては、箱崎駅移転や九大移転開始による影響はみられない。

②地下鉄駅（箱崎宮前、箱崎九大前、貝塚、西鉄貝塚線）の利用者数

1）利用者数（乗車人員ベース）の推移（図２－41）

最寄りの箱崎九大前ではほぼ横這い、箱崎宮前では年によって増減がみられる。また貝塚では平成 16（2004）年を境にやや増加、西鉄貝塚線はピークの平成 14（2002）年以降逓減傾向となっている。

２）利用者数前年比寄与度の推移

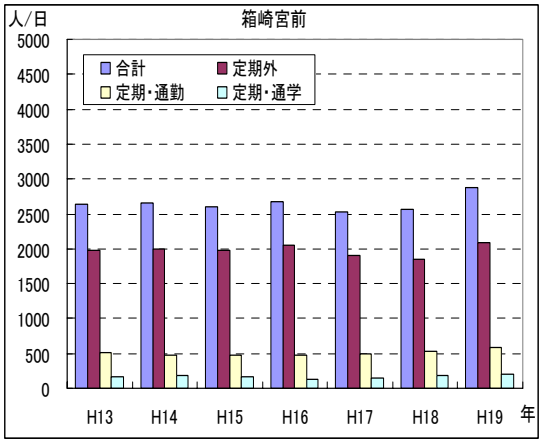
利用者数前年比をみると（図２－42 折れ線グラフ）、最寄りの箱崎九大前では前年比＋3%～▲3%の範囲で増減が続いている（▲はマイナス）。ただし、利用者種別に寄与度（図２－42 棒グラフ）をみると、大学移転開始後の平成 18（2006）、19（2007）両年は全体の利用者数がいずれも前年を下回るなか、定期外は両年ともマイナス寄与、定期･通学は平成 17（2005）、18（2006）年とプラス寄与であったのち平成 19（2007）年には一転してマイナス寄与となっている。

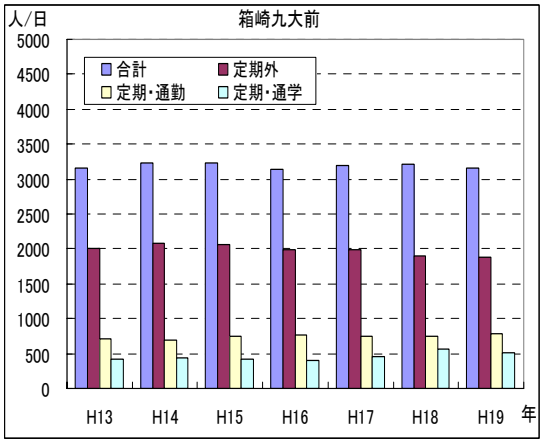
以上より類推すると、次のようなことが考えられる。

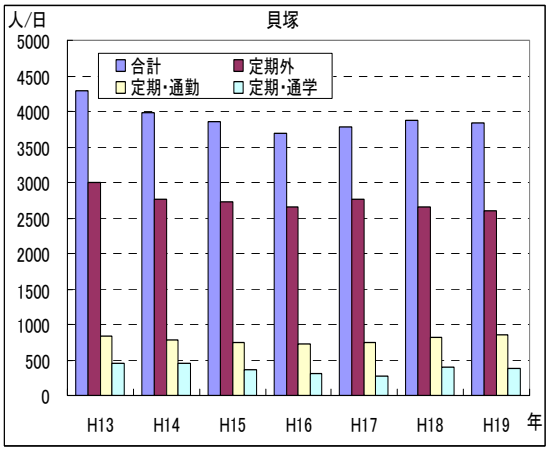
- 大学生の多くは、九州大学近くのアパート等に居住していたため、もともと定期･通学の利用者は少なかったと思われるが、大学移転直前や移転の期間中は、何度も引越しする煩雑さを避けるために箱崎地区には居住せず、教養部のある六本松や新キャンパスの近く、あるいは自宅に居住し、箱崎まで定期券で通うようになったことから、定期･通学が平成 17（2005）、18（2006）年とプラス寄与した。
- ただし工学部が移転完了した平成 19（2007）年には、上述の一時的な要因がなくなり、定期･通学がマイナス寄与となった。
- 定期外については前年比プラス寄与、マイナス寄与が交錯し、その要因の判断は難しい。ただし、平成 18（2006）年については、前年からの大学移転に伴い箱崎地区に居住する学生数が減少したことで、天神などに買物等で向かう学生が購入する切符（定期外）がマイナス寄与した。
- 平成 19（2007）年に定期･通勤がプラス寄与となっているが、これは JR 箱崎駅同様、地区の人口増によるものと類推される。
- 平成 17（2005）、18（2006）年は、定期･通勤を利用する九大職員の減少もあり、寄与度はほぼゼロだが、平成 19（2007）年には地区の人口増が九大移転の影響を上回ってプラス寄与したと考えられる。

図２－41　地区内および近隣の市営地下鉄各駅　乗車人員数（人/日）

		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
箱崎宮前	合計	2,644	2,663	2,608	2,668	2,534	2,567	2,870
	定期外	1,971	2,000	1,969	2,060	1,901	1,849	2,079
	定期・通勤	508	484	483	472	495	537	592
	定期・通学	165	179	156	136	138	181	199
箱崎九大前	合計	3,159	3,230	3,222	3,145	3,195	3,213	3,165
	定期外	2,014	2,086	2,058	1,981	1,986	1,904	1,877
	定期・通勤	720	701	747	758	755	750	780
	定期・通学	425	443	417	406	454	559	508
貝塚	合計	4,288	3,988	3,846	3,700	3,775	3,873	3,830
	定期外	3,004	2,765	2,733	2,662	2,762	2,652	2,606
	定期・通勤	829	776	742	734	739	816	846
	定期・通学	455	447	371	304	274	405	378
西鉄貝塚線	合計	4,876	5,078	4,561	4,213	4,135	4,046	3,807
	定期外	1,741	1,957	1,840	1,713	1,670	1,644	1,590
	定期・通勤	2,036	2,012	1,943	1,865	1,887	1,907	1,765
	定期・通学	1,099	1,109	778	635	578	495	452







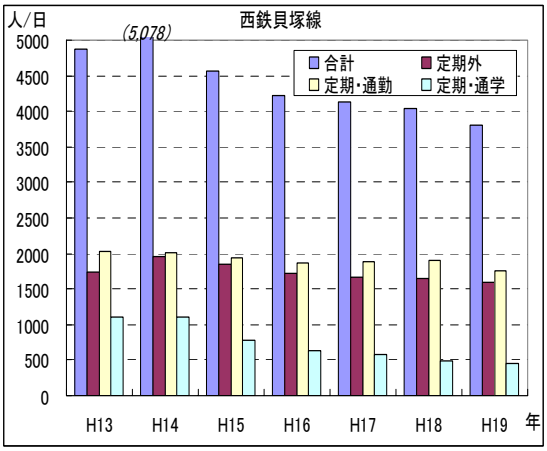
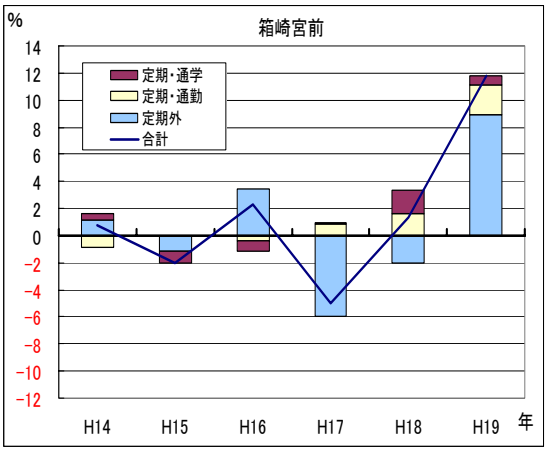
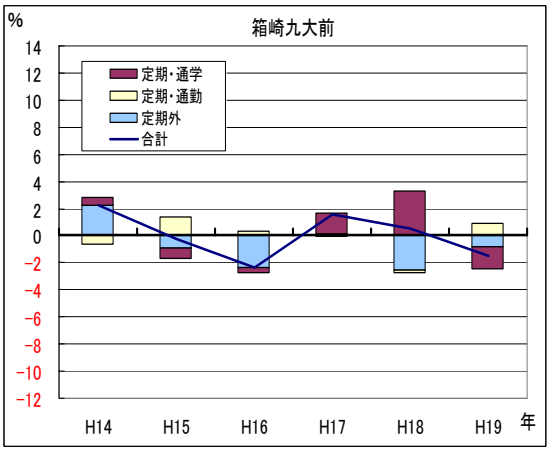
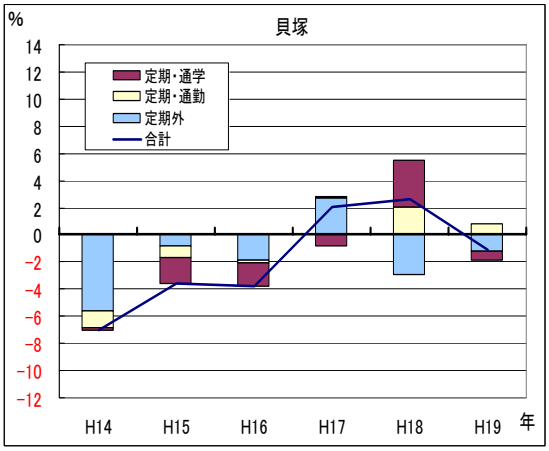


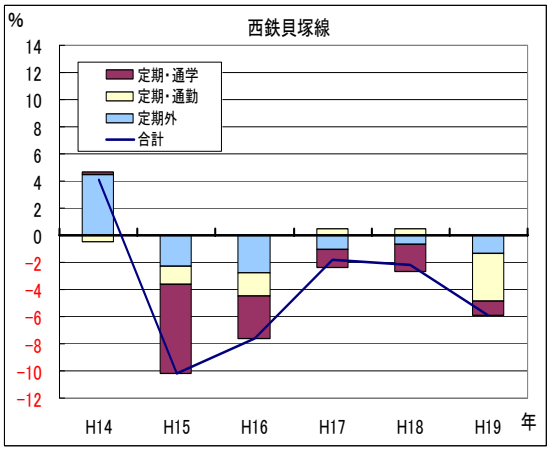
図２－42　地区内および近隣の市営地下鉄各駅　乗車人員数　前年比寄与度（%）

		H14	H15	H16	H17	H18	H19
箱崎宮前	**合計**	**0.7**	**-2.1**	**2.3**	**-5.0**	**1.3**	**11.8**
	定期外	1.1	-1.2	3.5	-6.0	-2.1	9.0
	定期・通勤	-0.9	-0.0	-0.4	0.9	1.7	2.1
	定期・通学	0.5	-0.9	-0.8	0.1	1.7	0.7
箱崎九大前	**合計**	**2.2**	**-0.2**	**-2.4**	**1.6**	**0.6**	**-1.5**
	定期外	2.3	-0.9	-2.4	0.2	-2.6	-0.8
	定期・通勤	-0.6	1.4	0.3	-0.1	-0.2	0.9
	定期・通学	0.6	-0.8	-0.3	1.5	3.3	-1.6
貝塚	**合計**	**-7.0**	**-3.6**	**-3.8**	**2.0**	**2.6**	**-1.1**
	定期外	-5.6	-0.8	-1.8	2.7	-2.9	-1.2
	定期・通勤	-1.2	-0.9	-0.2	0.1	2.0	0.8
	定期・通学	-0.2	-1.9	-1.7	-0.8	3.5	-0.7
西鉄貝塚線	**合計**	**4.1**	**-10.2**	**-7.6**	**-1.9**	**-2.2**	**-5.9**
	定期外	4.4	-2.3	-2.8	-1.0	-0.6	-1.3
	定期・通勤	-0.5	-1.4	-1.7	0.5	0.5	-3.5
	定期・通学	0.2	-6.5	-3.1	-1.4	-2.0	-1.1









なお、箱崎宮前駅では、定期の利用者よりも定期外の利用者のほうが、全体の伸びに与える影響がずっと大きいが、これは筥崎宮内での各種イベント等の影響によるものと考えられる。また貝塚駅、西鉄貝塚線については、大学移転との直接的な影響はみられない。

（５）航空写真でみた変化【景観調査】

ここでは、航空写真を用いて、箱崎地区の変化を確認してみる。

箱崎地区の３ヵ年（1994 年、2004 年、2008 年）の航空写真を、写真２－１に示した。これらの写真から、箱崎地区のまちが変化していく様子がわかる。

まず、道路についてみると、大きな変化がみられる。すなわち、1994 年から 2004 年の間に、JR 鹿児島本線の連続立体交差事業および筥松土地区画整理事業により、国道３号線バイパス、原田地区と箱崎ふ頭とを直接結ぶ道路（箱崎･阿恵線）、妙見通りの拡幅等により、幅員の広い道路が整備されつつある状況がわかる。また、JR 鹿児島本線の高架整備及び箱崎駅の移転についても、大きく変化していることが写真上で確認できる。これらの事業は、2008 年では工事も完了し、道路も全面開通したまちの状況が読み取れる。

次に、九州大学周辺（特に、南側の箱崎 1～3 丁目、東側の筥松 2～4 丁目）については、1994 年から 2004 年の間に、集合住宅等の高層建築物が増加している状況が確認でき、さらに 2008 年には､JR 鹿児島本線沿線にそれらの高層建築物が乱立している様子がわかる。

また、箱崎商店街及び移転後の JR 箱崎駅周辺について、拡大した写真２－２から、まちの変化の様子をみた。この地区は、箱崎 1、3 丁目、筥松 2 丁目に位置し、この箱崎商店街周辺は、以前は多くの個人住宅や低層の集合住宅（アパート）を有していた地区であるが、1999 年から 2004 年の間に、それらが高層の集合住宅や商業ビルに建ち替わっていく様子が確認できる。また、個人住宅や低層の集合住宅跡地に駐車場等の空き地が増えたり、あるいは前述した拡幅道路の施工中の状況、JR 箱崎駅の移転等も確認でき、箱崎のまちが大きく変貌しつつあることがわかる。2008 年では、JR 鹿児島本線沿線に高層の大型集合住宅や商業ビルが建ち並び、新駅の東西には駅前広場も整備され、また前述した原田地区と箱崎ふ頭とを直接結ぶ道路（箱崎･阿恵線）、妙見通りが拡幅開通される等、広幅員道路と JR 鹿児島本線を骨格とした新しいまちが形成されようとしている。

一方、箱崎商店街周辺の住宅地に目を移すと、以前の個人住宅や低層の集合住宅に隣接して、高層の集合住宅が建ち並び、それら建築物の隙間に多くの駐車場が整備されている様子も確認できる。また、もともとこの地区は公園や緑地が少ないところではあるが、既存の街区公園や連続立体交差事業および筥松土地区画整理事業等により、新しく公園や街路樹等の緑空間も整備されており、2008 年の写真ではそれら樹木の成長も多少ではあるが確認でき、寺社の樹木や個人住宅の庭木も含め、この地区に貴重な緑環境を提供している。

写真２－１　箱崎地区　（①1994 年　②2004 年　③2008 年）

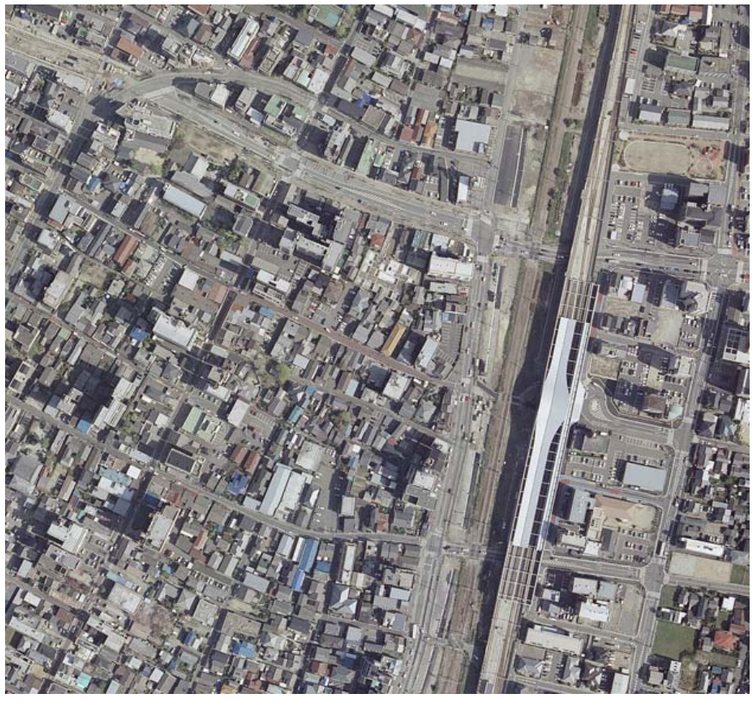
①

②

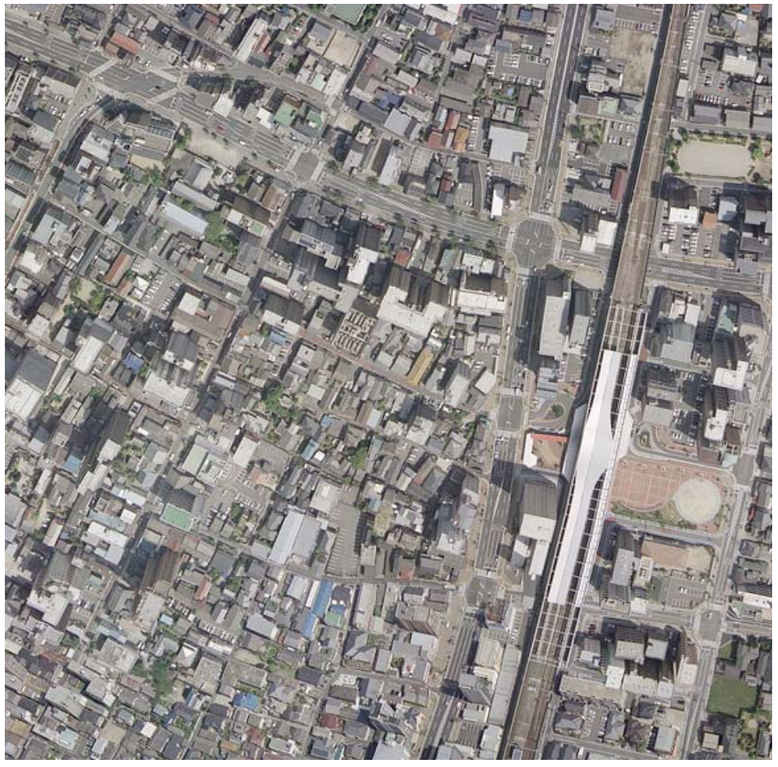
③

写真２－２　箱崎商店街、新箱崎駅周辺　（①1994 年　②2004 年　③2008 年）

①



②



③

第３章　九州大学周辺４校区居住者へのアンケート調査について

本研究では、将来の魅力あるまちづくりについて今後考察・検討していくための基礎資料を得るため、2008 年 12 月、九州大学箱崎キャンパス周辺の 4 小学校区（箱崎、東箱崎、筥松、松島）[1]の居住者に対し、現在の地区についての意見･要望等を尋ねるアンケート調査を実施した。本章は、アンケート調査結果の概要を紹介する。なお、実際の設問、調査結果の詳細は、巻末の附属資料に掲載したので、そちらをご覧いただきたい。

１．アンケート調査の概要

（１） 目　的

4 校区の現状、課題、現在起きている変化、まちの将来像等について地元住民の意見・要望等を調査し、九州大学の移転により大きな影響を受けつつある地区のあり方や将来像を展望するうえでの基礎資料とする。

（２） 調査の方法

- 調査方法：サンプル調査。福岡市住民基本台帳から 4,800 名を無作為抽出し、郵送により送付、回収。

（３） エリア，対象者等

- 対象者･･･4 校区の居住者で、平成 20 年 11 月 14 日時点で 18 歳以上 80 歳未満の男女（世帯ではなく個人が対象）。ただし外国人は含まない（日本人のみ）。
- 抽出対象件数･･･各校区 1,200 名を無作為抽出（4 校区計：1,200×4＝4,800 名）。

（４） 調査期間

平成 20 年 12 月 8 日～同 12 月 22 日。

（５） 回収数・回収率

回収実績は、4 校区合計で 1,426 通（内訳：箱崎校区 399 通，松島校区 310 通，筥松 339 通，東箱崎 378 通）。

回収率は 29.73%（1,427／4,800×100）。

[1] 「4 校区」は、本章でも、九州大学箱崎キャンパス周辺 4 小学校区のエリアを表すこととする。

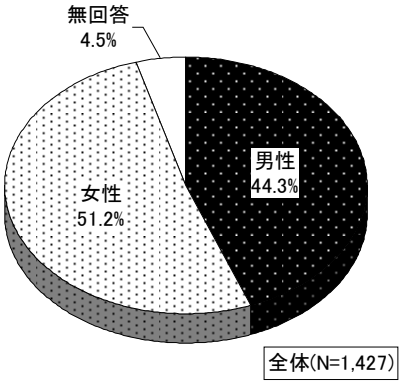
２．アンケート調査結果の概要および要点

（１） 標本の構成（回答者の属性）

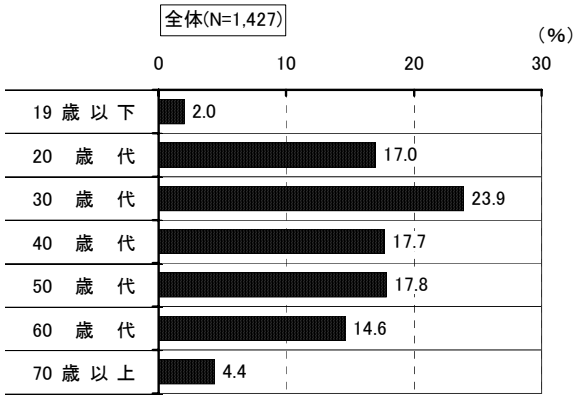
標本の構成（回答者の属性）については、以下のような特徴がみられた。

- **《性別》**については、男女比はほぼ半々。
- **《年代》**は、19 歳以下と 70 歳以上の割合が少ないものの、それ以外の年代では大体バランスよく回収できた。
- **《居住校区》**についても、4 校区とも 25%前後とバランスがとれている。
- **《通勤・通学先》**は、福岡市東区内が最多で、博多区、中央区がこれに続いている。
- **《世帯人員》**は、1 人、2 人、3 人、4 人が約 2 割前後でほぼ並んでおり、平均 2.8 人となっている。
- **《世帯構成》**は、二世代(親と子供)がほぼ 5 割。夫婦のみが 19.2%でこれに続き、単身世帯も多い（16.2%）。

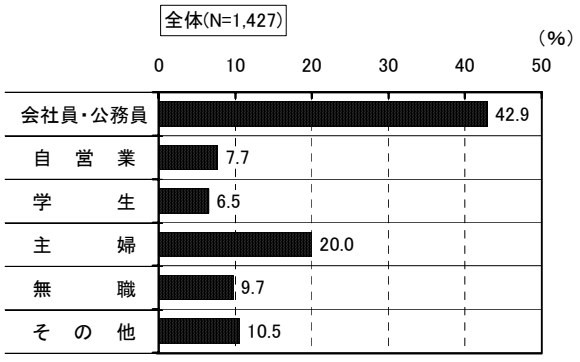
《性別》



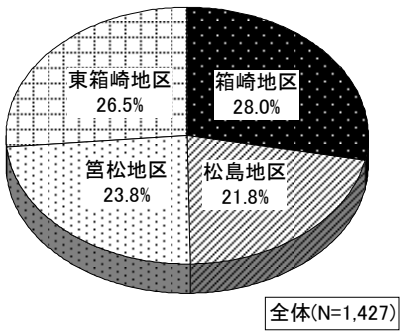
《年代》



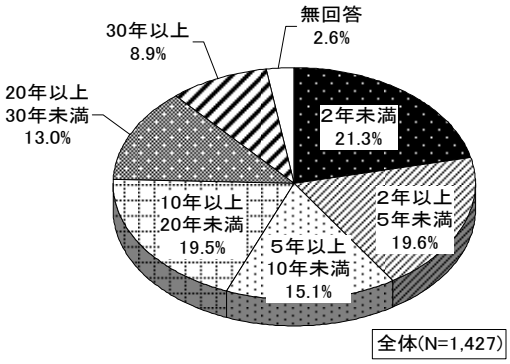
《職業》



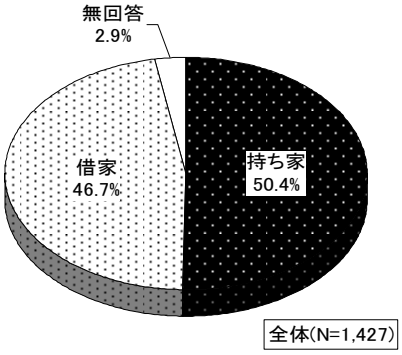
《居住校区》



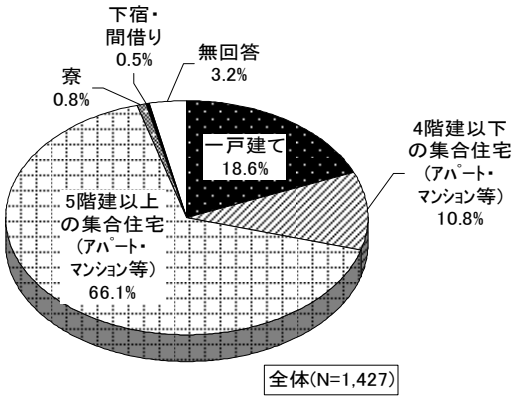
《居住年数》



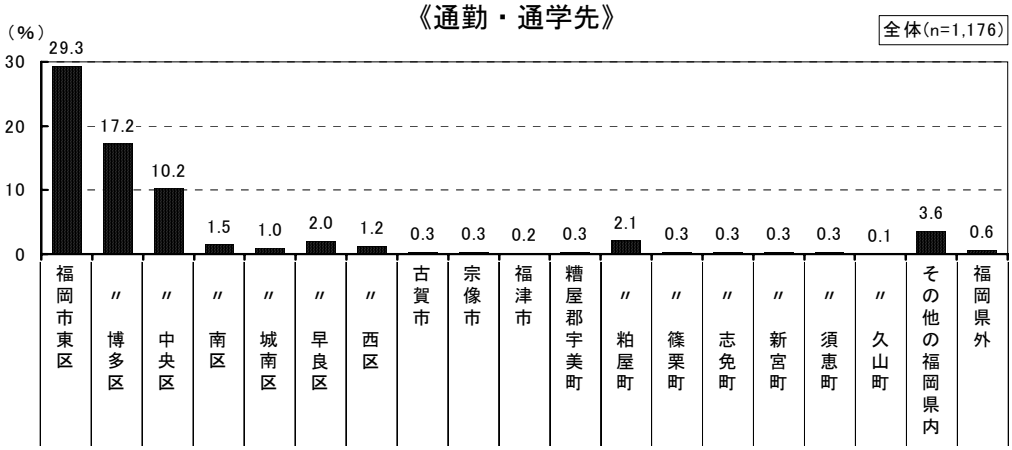
《持ち家・借家》



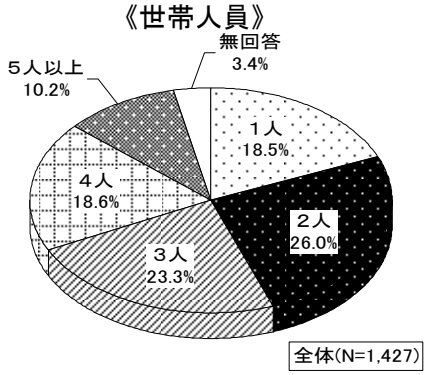
《住宅のタイプ》



《通勤・通学先》

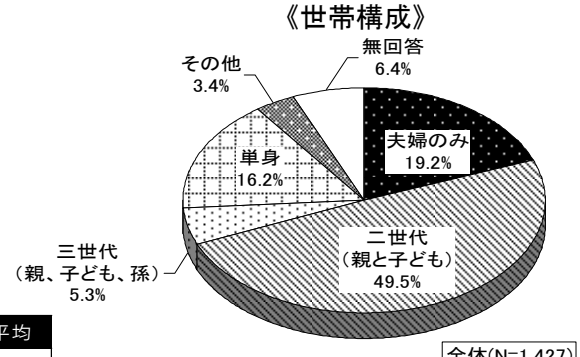


《世帯人員》



平均
2.8 人

《世帯構成》



（２） 調査結果

本章では、いくつかの主要な設問の集計結果について、校区間の比較を交えながら記述する。

① 校区のイメージや住みやすさについて

〔居住する校区の印象〕

１）「住みやすいと思う」、２）「これからも住みたいと思う」は肯定評価が否定評価を大きく上回っている。とくに１）は、肯定評価が 4 校区合わせて 69.1%にのぼっており、4 校区は全体的に住みやすいとの評価を得ていることがわかる。ただし、将来の住みやすさを尋ねた２）では、肯定評価が 1 割程度減っており、将来の地区の住みやすさに何らかの課題を感じていることが窺われる。

逆に、３）「活力、発展力」、４）「住民のまとまり」、６）「防犯面」、７）「交通安全面」、８）「街並み」はいずれも否定評価が高いが、なかでも６）、７）では、否定評価が肯定評価を約 2 割も上回っており、4 校区の課題と受け取る居住者が多いと考えられる。

校区別にみると、１）「住みやすいと思う」は、箱崎校区の肯定評価が 83.5%と突出しており、筥松校区も約 7 割と高い。２）「これからも住みたいと思う」は、4 校区とも、肯定評価が１）と比べて減っている。松島校区は▲3.3%の減少に止まっているが、他の 3 校区はどこも 1 割程度減少している。

３）「活力、発展力」、４）「住民のまとまり」、５）「地域活動」では、箱崎校区はいずれも肯定評価が否定評価をやや上回り、東箱崎校区でも４）、５）は同様の評価である。一方、松島校区、筥松校区では、３）、４）、５）とも否定評価のほうが肯定評価よりやや多い結果となっている。

９）「公園、緑地等」は、箱崎校区の否定評価が目立つ一方、他の 3 校区では肯定評価が多くなっており、箱崎校区における公園、緑地等の少なさがを示唆する結果となっている。

表３－１　居住する校区の印象

		サンプル数	1)住みやすいと思う			2)これからも住みたいと思う			3)活力、発展力がある校区である			4)住民のまとまりがある			5)地域活動(文化活動、スポーツ活動など)が盛んである		
			【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】
全体		1,427	69.1	8.7	0.75	60.6	11.7	0.61	25.6	27.2	-0.01	23.6	29.9	-0.09	30.7	25.4	0.04
校区別	箱崎校区	399	83.5	3.8	1.06	72.2	5.5	0.90	30.3	27.8	0.05	30.1	28.3	0.01	34.6	25.1	0.10
	松島校区	311	60.5	10.9	0.61	57.2	11.6	0.55	23.5	26.4	-0.04	20.3	33.1	-0.18	27.0	29.9	-0.05
	筥松校区	339	69.0	9.7	0.69	60.2	14.5	0.53	23.3	27.4	-0.04	15.3	33.0	-0.23	22.4	29.5	-0.13
	東箱崎校区	378	61.1	11.1	0.59	51.6	15.9	0.42	24.3	27.2	-0.04	27.0	26.2	0.01	37.0	18.3	0.21

		サンプル数	6)防犯上安全な校区である			7)交通面で安全な校区である			8)街並みがきれいである			9)公園、広場、緑地が十分確保されている		
			【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】
全体		1,427	20.4	39.9	-0.27	23.6	41.0	-0.24	22.3	36.1	-0.19	34.5	31.5	0.01
校区別	箱崎校区	399	21.8	39.1	-0.26	27.6	35.1	-0.12	22.8	36.1	-0.18	21.3	44.9	-0.35
	松島校区	311	14.8	42.4	-0.37	18.0	48.6	-0.39	19.9	37.6	-0.25	42.1	23.8	0.22
	筥松校区	339	20.9	41.0	-0.27	23.3	42.8	-0.27	20.1	38.9	-0.24	33.0	31.3	0.01
	東箱崎校区	378	23.0	37.6	-0.23	24.3	39.4	-0.24	25.7	32.5	-0.12	43.4	24.1	0.21

〔よく利用する公園、緑地等〕

筥崎宮が最も多く、貝塚公園、箱崎公園といった広い公園がこれに続いている。

校区別では、箱崎校区と筥松校区は筥崎宮、松島校区は箱崎公園、東箱崎校区は貝塚公園など、最寄りの公園、緑地等が多く挙げられている。

表３－２　よく利用する公園、緑地等

		サンプル数	筥崎宮	貝塚公園	箱崎公園	九州大学（理系地区）	九州大学（文系地区）	汐井公園・箱崎ふ頭３号公園	箱崎ふ頭記念公園	社領南公園	地蔵松原公園・地蔵松原南公園	箱崎ふ頭１号・２号公園	その他の公園	特にきまったところはない	公園をあまり利用しない	無回答
全体		1,427	41.3	22.4	18.2	8.8	5.8	3.9	2.0	1.0	0.8	0.5	7.3	8.8	21.9	2.6
校区別	箱崎校区	399	61.2	18.8	6.5	13.8	8.0	7.3	2.3	－	0.5	0.3	5.5	7.8	18.5	0.8
	松島校区	311	27.3	15.8	43.1	6.1	2.3	0.6	1.6	－	2.3	0.3	5.1	7.1	21.5	4.5
	筥松校区	339	40.1	8.6	26.3	6.5	4.1	1.5	1.5	4.1	0.6	－	10.3	9.7	27.4	2.4
	東箱崎校区	378	32.8	43.9	2.9	7.7	7.9	5.0	2.6	－	－	1.3	8.2	10.3	20.9	3.2

〔箱崎校区を代表する地域資源〕

４校区とも、筥崎宮およびそれに纏わるイベントが多く挙がっているほか、九州大学も約６割となっており、「筥崎宮と九州大学のまち」との印象が定着していることが窺われる。

表３－３　箱崎地区の地域資源として挙がったもの

		サンプル数	筥崎宮	放生会	九州大学	玉せせり	県立図書館	貝塚公園	名島橋	多々良川	箱崎公園	人形飾り	米一丸の塔・石碑	宇美川	各公民館	網屋天神・鯨塚	地蔵松原公園（元寇防塁跡）	米山弁財天	汐井公園・箱崎ふ頭３号公園	松島地蔵
全体		1,427	93.9	79.5	58.2	36.9	28.3	25.9	15.6	13.6	9.8	9.5	7.3	2.9	2.7	2.2	1.9	1.8	1.6	1.3
校区別	箱崎校区	399	96.2	83.2	60.9	50.9	38.1	19.8	9.5	5.5	2.3	21.3	5.0	0.8	2.8	7.3	1.0	2.8	3.0	0.3
	松島校区	311	89.7	75.2	55.9	32.8	23.5	20.9	13.2	20.3	25.7	1.6	14.1	3.5	2.3	0.3	3.2	1.9	1.3	4.2
	筥松校区	339	95.6	80.5	57.2	38.9	26.8	14.7	8.8	8.8	13.3	11.5	8.0	7.1	2.7	0.6	2.4	2.4	0.9	0.9
	東箱崎校区	378	93.4	78.0	58.2	23.8	23.3	46.6	30.2	20.9	1.6	1.6	3.4	1.1	3.2	－	1.3	－	1.1	0.3

		サンプル数	箱崎ふ頭記念公園	須恵川	車僧観音	箱崎ふ頭１号・２号公園	社領南公園	その他	目だった地域資源はない	無回答
全体		1,427	0.7	0.7	0.5	0.2	0.1	0.9	0.3	2.6
校区別	箱崎校区	399	0.8	0.3	1.3	0.3	－	1.3	－	1.0
	松島校区	311	－	1.3	0.3	－	－	1.0	0.6	4.5
	筥松校区	339	0.3	0.9	0.3	0.3	0.3	0.6	0.3	2.1
	東箱崎校区	378	1.6	0.5	－	0.3	－	0.8	0.3	3.2

② 生活の利便性について

〔校区の利便性〕

8）「生活全般の利便性」は肯定評価が過半となっており、4 校区は全般的に便利と認識されているといえる。とくに、1）「自動車（道路)」、2）「公共交通」は肯定評価 7 割超、3）「行政機関」は同 6 割超の高い評価を受けている。ただし、5）「娯楽施設」、6）「飲食店」、7）「買い物」（商店）は否定評価も 2～3 割程度はある。

校区別には、やはり全体的に肯定評価が多いが、以下の点が目立つ。

- 箱崎校区は、全般的にどの項目も利便性が高く、4 校区のなかでも総合的に最も利便性の高さを評価されている。
- 松島校区は、1）「自動車（道路)」を除くと、全体的に利便性はやや低めの評価を受けており、とくに5）「娯楽施設」、6 「飲食店」は否定評価が多い。
- 筥松校区は、5）「娯楽施設」、6 「飲食店」の否定評価がやや多いものの、他の項目は肯定評価が多く、全般的には箱崎校区に次いで便利との評価である。
- 東箱崎校区は、全般的には肯定評価が多いが、7）「買い物（商店)」の否定評価の大きさが際立ち、商店やスーパーなどが身近にない不便さが窺われる。

表３－４　居住する校区の利便性

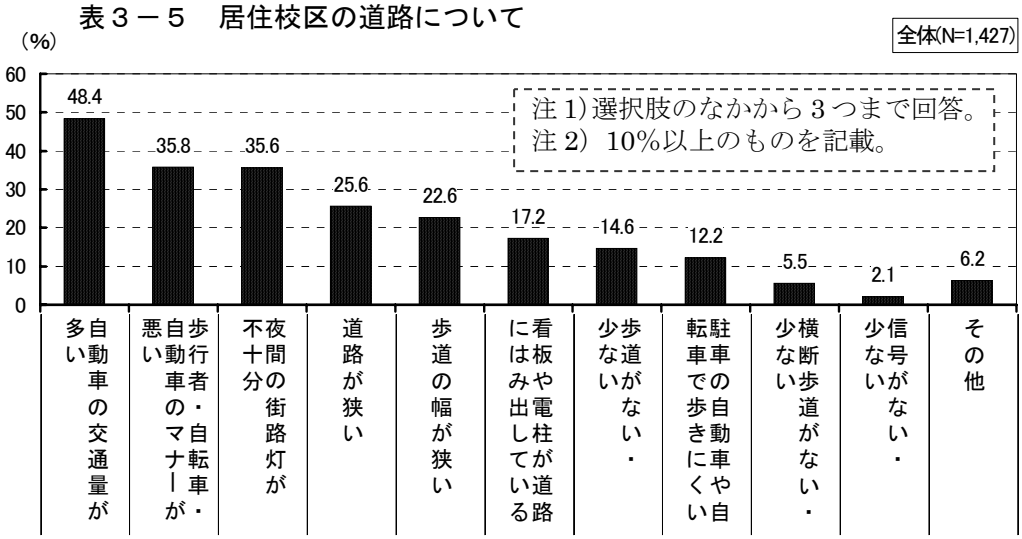
		サンプル数	1)自動車(道路)			2)公共交通(バス、JR、地下鉄等)			3)行政機関(区役所など)			4)文化・教養施設(図書館など)		
			【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】
全体		1,427	76.2	5.2	0.96	73.9	15.0	0.89	62.8	11.7	0.69	47.1	17.5	0.40
校区別	箱崎校区	399	76.4	4.8	1.03	95.7	0.3	1.56	88.0	1.0	1.34	76.2	4.0	1.03
	松島校区	311	72.0	6.1	0.82	43.7	40.2	0.03	34.4	25.7	0.07	24.1	32.2	-0.10
	筥松校区	339	70.5	7.1	0.81	54.6	23.6	0.41	47.2	19.8	0.33	44.5	19.8	0.28
	東箱崎校区	378	84.4	3.2	1.14	92.9	2.1	1.31	73.8	4.0	0.85	37.8	17.7	0.25

		サンプル数	5)娯楽施設			6)飲食店			7)買い物(商店)			8)生活全般の利便性		
			【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】
全体		1,427	28.4	23.5	0.06	33.2	29.4	0.03	42.6	30.4	0.10	53.1	12.5	0.48
校区別	箱崎校区	399	39.8	11.3	0.39	49.6	15.5	0.42	63.7	12.0	0.66	77.9	2.5	0.98
	松島校区	311	15.8	37.6	-0.29	23.8	38.6	-0.22	39.9	30.2	0.06	37.3	17.7	0.20
	筥松校区	339	23.9	28.9	-0.08	29.2	28.3	0.00	44.5	23.0	0.25	47.2	13.6	0.39
	東箱崎校区	378	31.0	19.8	0.13	27.0	37.3	-0.13	20.6	56.3	-0.58	45.0	18.0	0.28

〔校区の道路〕

回答では、１）「自動車交通量の多さ」、２）「道路利用者のマナーの悪さ」、３）「夜間の街路灯の少なさ」が多く挙がっている。

表３－５　居住校区の道路について



校区別には、路地など細い道の多い箱崎校区、筥松校区で「道路が狭い」が多くなっている。また箱崎校区では、「看板や電柱が道路にはみ出している」も、他校区より高い。一方、国道３号線を有する東箱崎校区では、「自動車交通量の多い」が他校区より２割方多く、また「道路が狭い」も他校区より１割程度低いなど、道路整備が進んでいることが示唆される一方、運転者や歩行者のマナーの悪さを指摘する声も、他校区と比べずっと高い。また、「夜間の街路灯が不十分」は、松島校区のみ４割超となっている。

表３－６　居住校区の道路について

数値:%

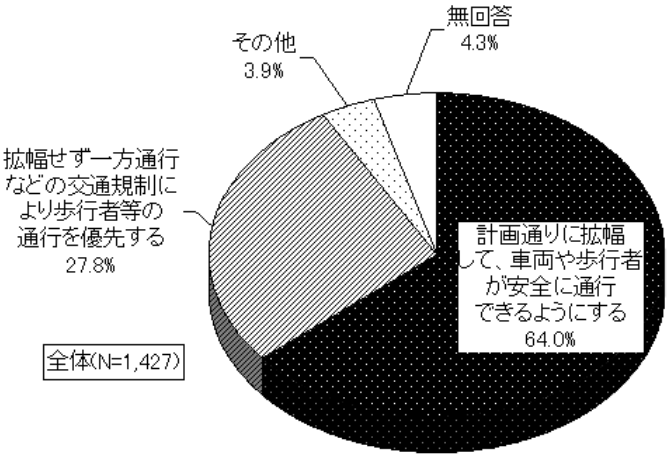
		サンプル数	自動車の交通量が多い	歩行者・自転車・自動車のマナーが悪い	夜間の街路灯が不十分	道路が狭い	歩道の幅が狭い	看板や電柱が道路にはみ出している	歩道がない・少ない	駐車の自動車や自転車で歩きにくい	横断歩道がない・少ない	信号がない・少ない	その他	無回答
全体		1,427	48.4	35.8	35.6	25.6	22.6	17.2	14.6	12.2	5.5	2.1	6.2	2.9
校区別	箱崎校区	399	42.6	38.6	33.6	34.8	22.6	24.1	16.3	16.8	3.0	1.3	6.3	2.8
	松島校区	311	41.8	28.3	42.8	27.3	28.0	19.3	19.3	9.3	8.4	3.2	6.4	2.6
	筥松校区	339	40.7	27.4	36.6	33.6	25.4	17.7	18.3	9.4	6.2	3.2	6.2	4.1
	東箱崎校区	378	66.9	46.6	31.0	7.4	15.6	7.7	5.6	12.2	5.3	1.1	5.8	2.1

〔大学通り（箱崎本通り）〕

拡幅を支持する意見が 64.0%と多数である。校区別では、大学通りが位置する箱崎校区で、拡幅支持が他校区よりもやや低くなっているが、それでも 58.6%と高い割合である。

	拡幅支持率(%)
全体	64.0
箱崎校区	58.6
松島校区	69.8
筥松校区	62.5
東箱崎校区	66.1

表３－７　将来の大学通りについての考え



〔古くからの街並み、路地について〕

古くからの街並みについては、「好きでも嫌いでもない」という無関心層の多さが目立つ一方、「好ましい」との評価も多い。保存すべきか否かは評価が分かれているが、箱崎校区では「好ましいので保存すべき」が 4 割弱と最も多く回答されている。

路地については、「車が入れない」、「防災上好ましくない」など否定的な評価がやや多く、とくに「車が入れない」は箱崎校区、筥松校区でやや多い。また、箱崎校区では、「車が少なくて安全」、「憩いや遊びの空間になっている」との好評価が、4 校区中一番多い。

表３－８　校区内に残る古くからの街並みについて

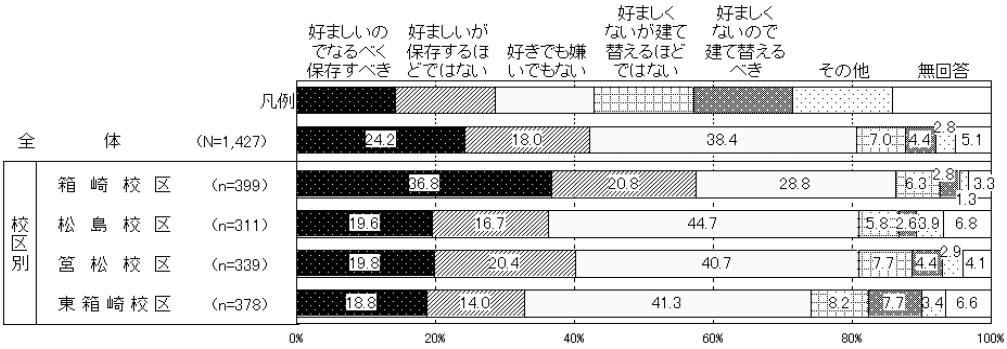


表３－９　校区内に残る路地について

数値:%

		サンプル数	車が入れない・通りにくい	防災上好ましくない	車が少なく通行に安全	狭くて圧迫感がある	憩いや遊びの空間になっている	その他	無回答
全体		1,427	36.8	36.6	24.7	20.7	14.4	10.9	9.9
校区別	箱崎校区	399	41.4	37.3	33.3	22.1	18.0	9.3	6.0
	松島校区	311	30.9	31.5	20.6	20.3	12.2	13.5	13.8
	筥松校区	339	43.4	40.4	25.4	22.1	12.7	10.9	6.5
	東箱崎校区	378	31.0	36.5	18.3	18.3	14.0	10.3	13.8

〔交通手段：通勤・通学〕

「自動車」が約 3 割と、自動車依存度の高さが示唆される。次いで「自転車」が 24.5%、「バス」が 17.2%、「地下鉄箱崎線」が 17.1%でこれに続いている。一方、箱崎駅が 4 校区の近くに移転した JR は 8.6%と、それほど高くはない。

校区別には、箱崎校区では「自転車」および「地下鉄箱崎線」が並んでトップのシェアとなっており、「自動車・マイカー」は 19.5%で 3 位となっているのが注目される。

他の 3 校区はいずれも「自動車・マイカー」が 3～4 割で首位だが、自転車が 2～3 割程度と高いシェアになっている。また地下鉄貝塚駅や天神～香椎方面の多数のバス路線がある東箱崎校区では、「自動車・マイカー」に次いで「地下鉄箱崎線」(26.9%)、「バス」(24.9%)の割合も高い。

表３－１０　通勤・通学で利用している交通手段

数値:%

		サンプル数	自動車・マイカー	自転車	バス	地下鉄箱崎線	JR鹿児島本線	原付・自動二輪・バイク	徒歩のみ	JR福北ゆたか線(篠栗線)	西鉄貝塚線	タクシー	通勤・通学していない	その他	無回答
全体		1,427	28.8	24.5	17.2	17.1	8.6	5.5	4.3	2.5	2.4	1.9	10.1	0.4	12.8
校区別	箱崎校区	399	19.5	23.8	17.0	23.8	8.5	6.0	5.3	－	1.0	1.3	11.8	0.5	16.3
	松島校区	311	37.9	28.3	13.5	8.7	7.4	8.0	5.1	7.7	1.0	2.9	5.1	0.3	10.6
	宮松校区	339	31.0	24.8	12.1	6.8	15.9	6.5	4.4	3.2	0.6	2.4	12.1	0.3	11.2
	東箱崎校区	378	29.1	22.0	24.9	26.2	3.2	2.1	2.4	0.3	6.6	1.3	10.6	0.5	12.2

〔交通手段：買い物・通院等〕

「自動車」が 6 割強と、通勤・通学時の交通手段以上に自動車依存度が高くなっている。これに続くのは、通勤・通学と同様に「自転車」、「バス」、「地下鉄箱崎線」などである。

校区別では、いずれも「自動車・マイカー」が首位だが、特徴は校区間でかなり異なる。まず箱崎校区では、「自動車・マイカー」と「自転車」とがほぼ拮抗しており、これに続く「地下鉄箱崎線」、「バス」を合わせ「4 大交通機関」となっている。

松島校区では「自動車・マイカー」が 70.1%で、自動車依存度が 4 校区中最高となっている。「自転車」も約 4 割と多く、これに「バス」がこれに続いている。

筥松校区では、「自動車・マイカー」が 65.5%で首位、続いて「自転車」が約 4 割、「バス」が 3 割弱と、松島校区と似たパターンである。ただし、校区西端に箱崎駅が移転してきたためか、JR 鹿児島本線利用者が 15.3%と、4 校区で最も多い。

東箱崎校区は、「自動車・マイカー」が 66.9%で首位だが、これに次いで国道 3 号線を頻繁に走っている「バス」利用者がほぼ半数あるのが特徴的で、「自転車」、「地下鉄箱崎線」がこれに続いている。

表３－１１　買い物・通院等で利用している交通手段

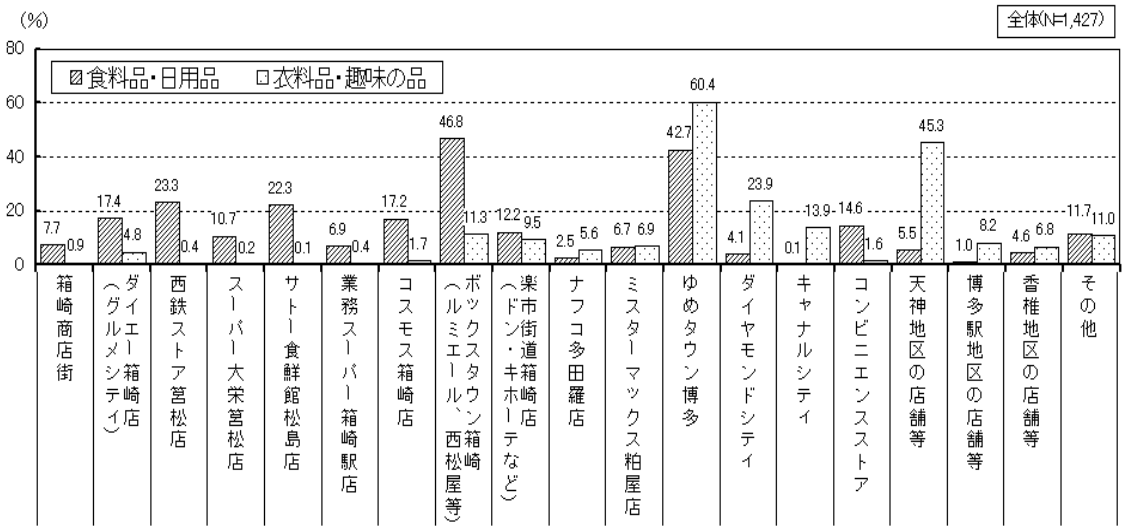
数値:%

		サンプル数	自動車・マイカー	自転車	バス	地下鉄箱崎線	ＪＲ鹿児島本線	タクシー	原付・自動二輪・バイク	西鉄貝塚線	ＪＲ福北ゆたか線（篠栗線）	徒歩のみ	その他	無回答
全体		1,427	62.2	39.6	36.5	24.0	6.9	5.7	4.8	2.2	1.8	1.5	0.1	1.0
校区別	箱崎校区	399	48.6	47.1	37.3	40.9	8.0	6.0	5.5	0.8	－	2.8	0.3	0.5
	松島校区	311	70.1	39.5	25.1	13.8	4.2	6.4	5.8	3.5	6.8	0.6	－	1.6
	筥松校区	339	65.5	38.1	28.9	9.4	15.3	7.1	6.5	0.6	1.2	1.8	－	0.9
	東箱崎校区	378	66.9	33.1	51.9	27.5	0.3	3.7	1.9	4.0	－	0.5	－	1.1

〔買い物〕

「食料品･日用品」、「衣料品･趣味の品」の 2 項目に分けて、日頃買い物によく行く商業施設等を尋ねたところ、大型商業施設や都心部の店舗が多く挙げられ、買い物の行き先の大きな部分を占めていること、一方で、箱崎商店街など小規模店舗は押され気味であるとの構図がわかった。

表３－１２　「食料品･日用品」、「衣料品･趣味の品」の買い物で利用する店舗
（３つまで回答可）



まず、食料品・日用品の買い物については、「ボックスタウン箱崎」、「ゆめタウン博多」が、いずれも 40%台と利用の多い「2 大商業施設」となっており、「西鉄ストア筥松店」、「サトー食鮮館松島店」など地域のスーパーマーケットなどがこれに続く構図となっている。

校区別には、これら「2 大商業施設」が目立つ以外に、なるべく身近な店舗で買い物する傾向がわかる。箱崎校区では「ダイエー箱崎店（グルメシティ）」（2009 年 1 月閉店）のほか、箱崎商店街が 18.5%とまずまず健闘している。また松島校区では「サトー食鮮館松島店」、筥松校区では「西鉄ストア筥松店」など校区内の店舗がそれぞれ多く挙がっている。こうしたなか、東箱崎校区では「楽市街道箱崎店（ドン・キホーテなど)」、「コンビニ」が多く挙げられており、地元に買い物できる場所がないことが課題となっているようである。

次に、衣料品・趣味の品の買い物については、大型店や都心部の店舗への依存度が一層強まっている。「ゆめタウン博多」が約 6 割、「天神地区の店舗等」が 45.3%、「ダイヤモンドシティ」が 23.9%となっており、これに「キャナルシティ」、「ボックスタウン箱崎」などが続いている。

校区別でみても、大型店、都心部の店舗の割合が高くなっているが、箱崎校区や東箱崎

校区では、それぞれの校区内やその近くに立地する「ボックスタウン箱崎」、「楽市街道箱崎店」の割合が高くなっている。また箱崎商店街は、地元の箱崎校区でもわずか2.0%となっており、衣料品・趣味の品では地元・近隣からほとんど集客できていない現状がわかる。

表３－１３　食料品･日用品の買い物でよく利用する店舗（３つまで回答可）

数値:%

		サンプル数	1)食料品･日用品																			
			ボックスタウン箱崎（ルミエール、西松屋等）	ゆめタウン博多	西鉄ストア宮松店	サトー食鮮館松島店	ダイエー箱崎店（グルメシティ）	コスモス箱崎店	コンビニエンスストア	楽市街道箱崎店（ドン・キホーテなど）	スーパー大栄宮松店	箱崎商店街	業務スーパー箱崎駅店	ミスターマックス粕屋店	天神地区の店舗等	香椎地区の店舗等	ダイヤモンドシティ	ナフコ多田羅店	博多駅地区の店舗等	キャナルシティ	その他	無回答
全体		1,427	46.8	42.7	23.3	22.3	17.4	17.2	14.6	12.2	10.7	7.7	6.9	6.7	5.5	4.6	4.1	2.5	1.0	0.1	11.7	7.2
校区別	箱崎校区	399	66.4	50.1	25.3	9.3	46.6	6.8	14.0	17.3	7.3	18.5	6.0	2.3	6.3	1.8	1.3	1.8	0.8	－	3.0	0.8
	松島校区	311	24.4	27.7	18.0	49.5	3.5	32.5	12.5	2.9	19.3	4.5	4.5	14.5	2.9	2.3	7.1	3.2	1.9	－	15.4	10.3
	宮松校区	339	26.3	21.5	48.1	29.5	8.0	27.4	13.9	4.4	15.3	4.7	15.6	10.6	1.2	0.6	5.9	2.7	0.3	0.3	12.7	12.1
	東箱崎校区	378	63.0	66.4	3.2	7.1	6.3	6.6	17.7	21.4	2.9	1.6	2.1	1.3	10.6	13.2	2.9	2.4	1.1	0.3	16.9	7.1

表３－１４　衣料品･趣味の品の買い物でよく利用する店舗（３つまで回答可）

数値:%

		サンプル数	2)衣料品･趣味の品																			
			ゆめタウン博多	天神地区の店舗等	ダイヤモンドシティ	キャナルシティ	ボックスタウン箱崎（ルミエール、西松屋等）	楽市街道箱崎店（ドン・キホーテなど）	博多駅地区の店舗等	ミスターマックス粕屋店	香椎地区の店舗等	ナフコ多田羅店	ダイエー箱崎店（グルメシティ）	コスモス箱崎店	コンビニエンスストア	箱崎商店街	西鉄ストア宮松店	業務スーパー箱崎駅店	スーパー大栄宮松店	サトー食鮮館松島店	その他	無回答
全体		1,427	60.4	45.3	23.9	13.9	11.3	9.5	8.2	6.9	6.8	5.6	4.8	1.7	1.6	0.9	0.4	0.4	0.2	0.1	11.0	13.0
校区別	箱崎校区	399	65.7	51.6	14.8	16.5	16.8	12.0	7.0	4.0	5.0	6.3	8.5	1.3	2.0	2.0	1.0	－	0.3	－	5.5	12.3
	松島校区	311	56.6	37.0	38.9	14.1	7.1	7.4	8.7	10.3	4.2	7.7	4.5	2.3	1.3	1.0	－	0.3	0.3	－	12.9	12.9
	宮松校区	339	54.0	41.6	34.5	13.9	5.6	5.3	9.7	13.0	4.1	5.9	2.9	2.7	2.4	0.6	0.3	0.6	－	0.3	14.2	14.7
	東箱崎校区	378	63.8	48.7	11.6	11.1	14.0	12.2	7.7	1.9	13.2	2.9	2.9	0.8	0.8	－	－	0.5	0.3	0.3	12.4	12.4

③ まちづくり・九大跡地利用について

〔区画整理、道路整備等による校区の変化〕

各項目とも、「よくなった」、「変化はない」との回答割合が多いが、全体的に、肯定評価が否定評価を大きく上回っており、最近の区画整理や道路整備は概ね肯定的に評価されているといえる。校区別にみても、全ての校区で肯定評価が否定評価を大きく上回っており、なかでも松島校区、箪松校区にその傾向が強い。

表３－１５　区画整理、道路整備等による校区の変化

数値:%

		サンプル数	1)住みやすさ、住み良さ			2)活力、発展力			3)防犯上の安全性			4)交通の安全性			5)街並み、景観			6)まち(校区)の魅力		
			【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】
全体		1,427	45.9	4.5	0.56	33.3	4.9	0.36	24.3	9.7	0.18	38.9	12.4	0.33	48.5	6.9	0.52	28.4	5.2	0.29
校区別	箱崎校区	399	49.1	7.3	0.57	34.3	9.3	0.32	21.3	13.5	0.08	36.8	16.3	0.25	46.6	11.8	0.44	28.8	9.5	0.23
	松島校区	311	48.6	2.6	0.61	37.0	1.6	0.45	26.7	7.4	0.24	45.0	10.6	0.44	54.3	3.9	0.60	29.9	1.9	0.35
	箪松校区	339	56.6	3.2	0.75	39.8	3.8	0.47	33.3	8.6	0.33	44.8	12.4	0.45	56.0	5.3	0.67	35.1	3.2	0.40
	東箱崎校区	378	30.7	4.2	0.33	23.3	3.7	0.25	17.5	8.7	0.10	30.7	9.8	0.24	38.9	5.8	0.39	20.6	4.8	0.19

〔九州大学の移転による校区の変化〕

項目や校区によって評価が異なっている。以下「平均評定値」をもとに特徴を捉えてみる。

１)「人通り」、３)「附近に住む大学生」、４)「学生向けアパート･マンション」、８)「中小の商店･小売店等」、10)「飲食店」は、平均評定値は４校区ともマイナスである。特に４)以外の項目で、箱崎校区のマイナスの大きさが目立っており、大学移転が、大学街として発展してきた箱崎校区に対してもっとも大きく影響している状況が窺える。

２)「自動車交通量」、５)「空き家･空室」、６)「駐車場･パーキング」は、平均評定値は４校区ともプラスである。特に５)、６)は箱崎校区のプラス値が大きく、１)「人通り」や３)「大学生」等の減少と同様、大学移転と深く関連して校区に影響しているものと思われる。また東箱崎校区では、２)の平均評定値のプラス値が他の３校区よりやや小さく、６)の平均評定値もほぼゼロ（＋0.02）である。

７)「スーパー･大型店等」の平均評定値は、東箱崎校区ではマイナス、箱崎校区、松島校区ではプラス、箪松校区はほぼゼロ（＋0.01）である。東箱崎校区では、スーパーマーケットが撤退して以降新たな出店がないことが、数字としても表れているといえる。

９)「コンビニエンスストア」は、東箱崎校区ではマイナス、松島校区、箪松校区ではプラス、箱崎校区ではほぼゼロ（▲0.03）である。

11)「娯楽施設」は、全体的にプラス値、マイナス値が小さく、大学移転の娯楽施設に与

える影響は少ないことが示唆される。東箱崎校区でややプラス幅が大きく、他の 3 校区ではほぼゼロとなっている。

表３－１６　九大の移転開始以降の校区の変化

		サンプル数	1)人通り(通行人)			2)自動車交通量			3)付近に住む大学生			4)学生向ｱﾊﾟｰﾄ、ﾏﾝｼｮﾝ等			5)空き家、空室			6)駐車場、バーキング		
			【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】
全体		1,427	11.0	27.1	-0.27	31.0	6.0	0.41	4.7	39.5	-0.65	13.6	25.6	-0.21	28.6	11.4	0.28	26.3	7.9	0.27
校区別	箱崎校区	399	9.0	40.9	-0.58	33.1	7.5	0.41	5.3	51.9	-0.92	19.0	26.6	-0.16	35.8	14.5	0.37	37.8	9.3	0.45
	松島校区	311	10.3	20.6	-0.16	33.8	4.2	0.51	3.5	33.4	-0.52	13.8	24.4	-0.14	26.4	10.0	0.26	24.1	6.4	0.26
	筥松校区	339	15.0	20.6	-0.09	39.8	5.6	0.58	6.5	40.1	-0.60	15.0	28.9	-0.23	28.6	11.2	0.30	29.5	5.3	0.34
	東箱崎校区	378	10.1	23.8	-0.20	18.5	6.1	0.19	3.2	31.0	-0.50	6.3	22.5	-0.31	22.8	9.8	0.19	13.0	10.1	0.02

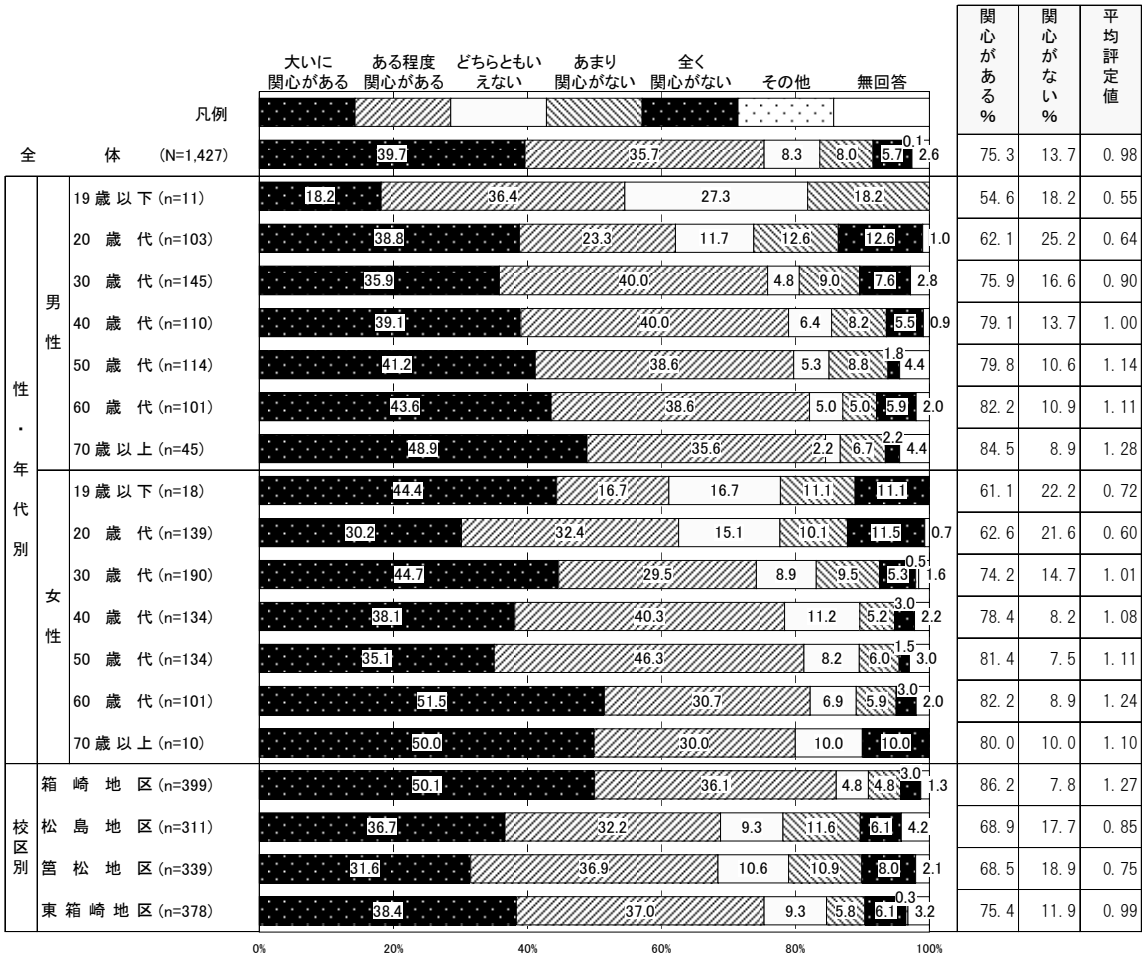
		サンプル数	7)スーパー、大型店等			8)中小の商店、小売店等			9)コンビニエンスストア			10)飲食店(食堂、居酒屋等)			11)娯楽施設		
			【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】
全体		1,427	23.5	17.5	0.04	1.8	42.7	-0.70	22.6	15.9	0.07	10.8	24.1	-0.22	14.0	9.9	0.04
校区別	箱崎校区	399	31.8	17.5	0.17	2.3	55.4	-0.99	25.3	24.8	-0.03	12.8	33.8	-0.32	13.8	13.3	-0.01
	松島校区	311	19.0	5.8	0.17	0.6	31.2	-0.45	32.2	6.8	0.32	11.6	17.0	-0.11	10.3	6.8	0.04
	筥松校区	339	21.8	18.6	0.01	2.9	40.1	-0.60	25.4	15.6	0.10	8.6	21.5	-0.21	7.4	9.4	-0.06
	東箱崎校区	378	19.8	26.5	-0.17	1.3	41.0	-0.68	9.5	14.3	-0.08	10.1	21.7	-0.19	23.3	9.0	0.19

④ 箱崎キャンパス跡地の利用方法についての関心度

「大いに関心がある」（39.7%）、「関心がある」（35.7%）を合わせると、回答者のうち実に約 75%が九州大学箱崎キャンパス跡地の利用方法に関心を持っており、年齢が高まるにつれ関心も強まる傾向も窺われる。

校区別では、4 校区とも関心の高さが目立っているが、「大いに関心がある」と「関心がある」の合計値でみると、最高は箱崎校区の 86.2%、次いで東箱崎校区が 75.4%、松島校区および筥松校区がいずれも 69%弱と、地区によって関心の度合いに差がみられる。

表３－１７　箱崎キャンパス跡地の利用方法についての関心度



⑤ その他自由意見

〔4 つの校区に共通してみられた意見〕

- 地域の活性化のためにも九大移転は重要であり、よい方策を考えてほしい。
- 緑、公園がほしい。
- 文化･教養のための施設がほしい。
- 大学、研究機関、サテライトキャンパスの誘致を。
- 箱崎中学校、箱崎小学校を跡地に移転しては。
- 子どもやお年寄りが安心して生活できるようにしてほしい。
- 大学の歴史的建造物や樹木はなるべく保存してほしい。
- 医療施設、福祉施設など。子ども病院の移転先にしてはどうか。
- 街灯が暗いところがある。
- 通行する自動車の数が増え、自動車利用者には便利だが、住民にとっては危険が増した。
- 治安が心配。防犯に力を入れて。（外国人の増加による治安悪化を懸念する声も。）
- マンションや大型商業施設は賛否両論あったが、反対意見のほうが多かった。

〔各校区に特徴的な意見〕

- 箱崎校区･･･寄せられた意見が 4 校区のなかで一番多かった。公共交通が便利で住みよいとの声が多かった。一方で、広い道路の開通により通行車両が増え、危険が増えたとの意見が多くみられた。また、古くからの街並みがなくなっていくことを懸念し、古くからの歴史や文化を引き継ぎながら、人にやさしいまちづくりを求める声もみられた。
- 松島校区･･･公共交通の増強を求める声が多かったほか、歩道や信号の設置を求める声がみられた。
- 筥松校区･･･航空機の騒音がつらいとの声があった。
- 東箱崎校区･･･スーパーマーケットなど、食料品や日用品の買物が出来るところがほしいとの意見が多くみられた。

第４章　箱崎地域の新たなビジョン

本章では、箱崎キャンパスの跡地利用に関する検討として、跡地活用の方向性及び跡地周辺のまちづくりのあり方について述べる。

１．跡地活用の方向性及び跡地周辺のまちづくりのあり方について

（１）持続可能な広域的拠点としての整備

・九州大学箱崎キャンパス跡地において、九州大学に替わる機能を導入するには、箱崎地域を今までの区レベルの生活に密着した「地域拠点」及び、都心機能を補完する「中心市街地」といった位置づけから、更に広域を対象とする新都心といった「広域的拠点」としての位置づけが必要である。

・箱崎地域の位置は、都心部から見ると大橋・西新などの副都心とほぼ同様の距離にあるにもかかわらず、都心部と副都心や箱崎地域の境界が不明確になってきている。
都心部及び大橋・西新地域と箱崎地域が一体となって連担した大きな都心部を形成している。

・地方中枢都市として、広域的拠点機能や中心機能を積極的に誘導することによって、新たな都心部を形成することが可能と考えられる。

・長期にわたって市民に親しまれ、低炭素社会にふさわしい環境配慮型の持続可能な拠点が求められている。

・また、「大規模集客施設の立地ビジョン」の広域拠点に対応するような施設を誘導するためにも、新たな位置づけは有効である。

（２）地域と新しいまちづくりとの連携による賑わい創出

・地域及び周辺には、箱崎商店街や東区役所・保健所・東警察署など区レベルの公共サービス機関などがあり、これらの既存施設集積を活かすとともに、移転跡地を活用して日常生活に必要となる行政、商業、福祉、スポーツ・レクリエーション、生涯教育等の各種機能の充実・育成を図り、市民サービスを供給するとともに、地域と跡地との連携によって跡地のみならず地域の賑わいを創出するよう計画を進めることが重要である。

（３）交通利便性を活かした広域的ニーズへの対応

・箱崎地域は、都心と東部副都心に挟まれ、地下鉄・JR、都市高速道路、国道３号、博多港、福岡空港など、陸海空の交通条件に恵まれている。

・このような広域交通のクロスポイントとしての立地条件を活かし、広域的拠点にふさわしい広域的ニーズに対応することが重要である。

（４）歴史や文化などの資源・界隈性を活かすまちづくり

・筥崎宮は、地域を代表する資源としてほとんどの住民に認識されているとともに、日本三大八幡宮として放生会など市民に親しまれている。また、筥崎宮からお汐井取りの浜辺に至る参道は、市街地を貫く緑豊かな軸となっている。

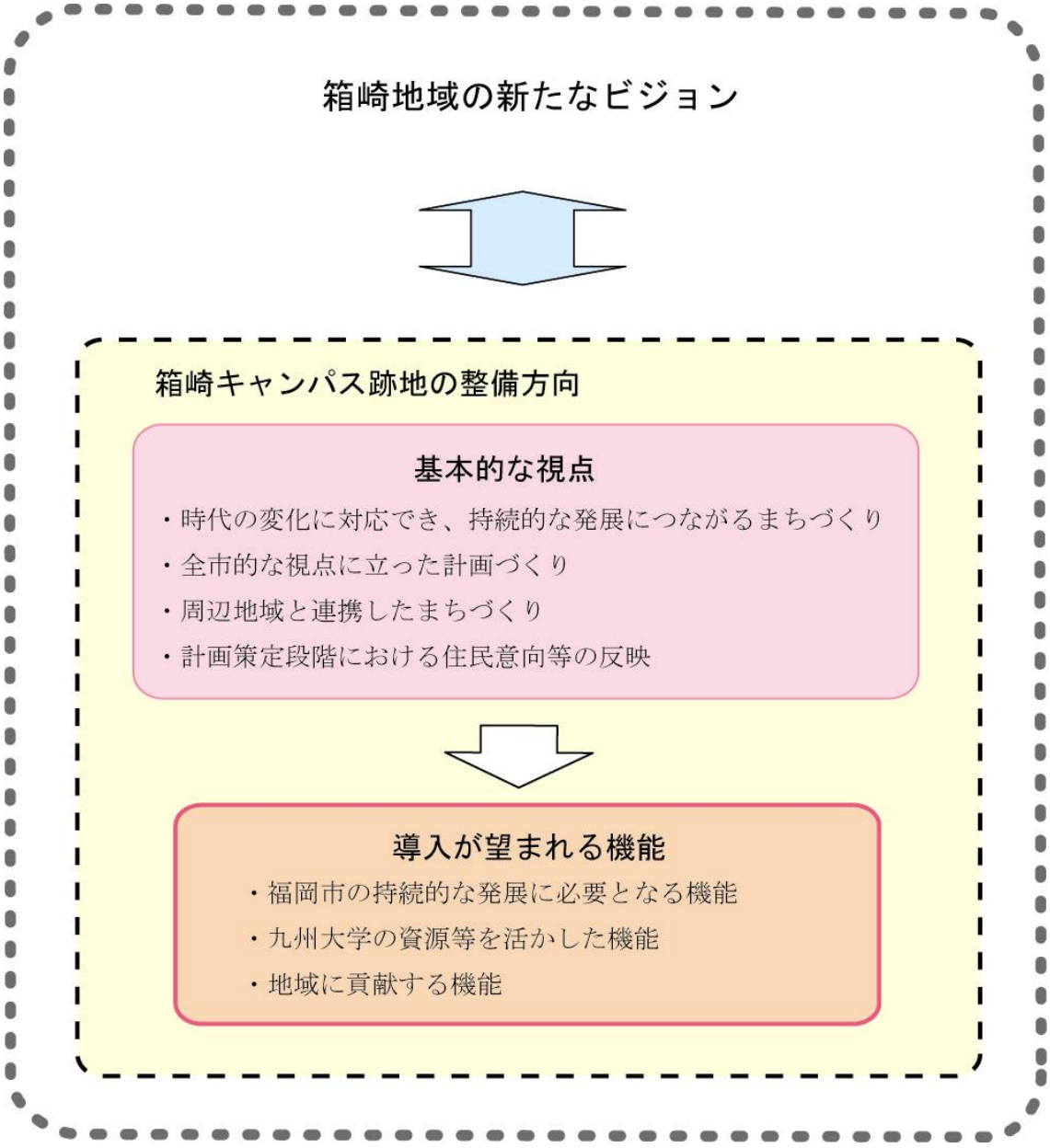
・古くから筥崎宮の門前町として開けてきた箱崎は、細い路地空間などが多く、住民や学生が暮らす界隈性を持ったまちとなっている。

・古くは元寇防塁から九州大学の歴史的建物など文化遺産も多く、九州大学の持つ学府のイメージと重なって、箱崎地域のイメージを形成している。

・今後、このような箱崎地域の持つ資源・界隈性をまちづくりの中で保全するとともに、有効に活用することによって特徴あるまちづくりが望まれる。

２．九州大学箱崎地区跡地利用の整備方向

・「箱崎地域の新たな位置づけとまちづくり方向」と連携しつつ、箱崎キャンパス跡地の整備は、以下のような基本的視点と機能の導入が望ましいと考えられる。



（1）まちづくりの基本的な視点

・九州大学箱崎キャンパス跡地の計画的なまちづくりは以下に示す４つの視点を基本とする。

① 時代の変化に対応でき、持続的な発展につながるまちづくり

・九州大学の移転完了は､2019 年度を予定しており、跡地整備に相当時間が必要と考えられる。また、大規模な用地であることや世界同時金融危機などをはじめとする社会情勢の変化、生活スタイルの変化など予測が困難な要因によって跡地の活用方法が影響される可能性がある。

・導入機能を現状で確定することは困難と考えられるため、将来の社会情勢の変化等にも対応できる柔軟な計画づくりが必要である。

・時代が要請する課題に対応するため、環境対策や福岡市の持続的な発展につながるまちづくりが必要である。

② 全市的な視点に立ったまちづくり

・福岡市にとって都心に近い交通至便地に箱崎キャンパス跡地のような大規模用地が将来にわたり生まれる可能性は少ない。

・このような状況をふまえると、キャンパス跡地はアジアの拠点都市を目指す福岡市にとって都市戦略上必要な施設であり、現都心部では収容できない大規模な施設、将来の市民ニーズに対応する大規模な施設等を整備できる貴重な用地である。

・キャンパス跡地の活用内容によっては、市民生活全体への貢献、都市構造の変更などが考えられ、アイランドシティや香椎副都心との連携・機能分担、空港の将来計画等を考慮しつつ、全市的視点に立った計画づくりが必要である。

③ 周辺地域と連携したまちづくり

《周辺プロジェクト等との連携》

・筥崎土地区画整理事業の土地利用や導入機能などを見極めつつ、連携・機能分担を図り、跡地活用を検討する。

・西鉄車両基地などの周辺大規模用地の動向にも注意しつつ跡地活用を検討する。

《地域特性を活かしたまちづくり》

・筥崎宮や元寇防塁などの歴史的資源、宇美川・多々良川やお汐井取りの浜辺などの自然環境、界隈性を持った既成市街地など、周辺地域の特性を跡地活用の中に活かす。

《跡地の有効活用のための周辺整備》

・箱崎キャンパス跡地は、国道 3 号に面する部分が少なく、敷地の中央部に地下鉄箱崎線が走っているため、有効活用するためには国道 3 号に接続する道路や、地下鉄駅や JR 駅への歩行者動線整備が必要である。

・また、堅粕箱崎線（JR 鹿児島本線沿いの 4 車線都市計画道路）が原田箱崎線以北で整備されておらず、ルートを含む見直しが検討されている。

・地域特性を活かすまちづくりと連動させながら、周辺整備を検討する。

《跡地を活かした周辺の連携整備》

・キャンパス跡地を公共事業代替地や貝塚公園などの移転用地として活用するなど、周辺地区の道路整備や住宅環境の改善、商業の振興などを進めるよう検討する。

④計画策定段階における住民意向等の反映

・九州大学は地域の中心施設として、地域の発展を支えてきた。そのため、九州大学の移転は、地元の産業や生活に大きな影響を及ぼすことになる。

・また、跡地の有効活用には周辺も含めた整備など地元の協力が不可欠な面もある。

・したがって、計画策定段階から、住民意向等を把握するとともに、計画に反映することを検討する必要がある。

（２）箱崎キャンパス跡地に望まれる導入機能の整理

① 福岡市の持続的な発展に必要となる機能

・箱崎キャンパス跡地は、福岡市が「アジアと共生する都市」を目指すために都市戦略上必要な施設であり、都心部で収容しきれない大規模施設や、臨海部では交通利便性の面から対応が困難な施設、安全で快適な市民生活に必要な大規模な施設などを整備できる貴重な用地といえる。
・箱崎キャンパス跡地活用の内容によっては、福岡市の都市構造が変革する可能性もあり、導入機能が福岡市の都市戦略と大きく関わることなどから、アイランドシティや香椎副都心との連携・機能分担等を考慮しつつ、全市的な観点に立って計画を進める必要がある。
・また、西鉄貝塚線車両基地、JR 貨物福岡貨物ターミナル、大規模工場・流通施設などの大規模用地の動向を見極めながら整備の整合性を図る必要がある。
・福岡市の新たな都市構造を生み出す都心機能の補完や、九州・アジアを視野に入れた高次都市機能の受け皿として、福岡市の持続的な発展に寄与することが望まれる。

《導入機能の内容》

・新たな都市構造づくりに必要となる機能
・時代・経済情勢の変化に対応するための機能
・九州・アジアを視野に入れた国際化・国際協力に対応するための機能
・鉄道・高速道路・空港・港等の陸海空の交通条件を活かす機能

② 九州大学の資源等を活かした機能

・九州大学は、まもなく百年を迎えようとしており、九州で最も発展してきた福岡市のこれまでの都市形成にとって、人材・産業・国際化等に大きな役割を果たしてきた。
・箱崎キャンパスは、筥崎宮と並ぶ地区のシンボルであり、九州の最高学府の地としても多くの人に知られている。
・箱崎キャンパス内には、大正・昭和初期に建てられた戦前の建物が残っている。
・また、箱崎キャンパスには、4 千本以上の樹木が植えられており、その中には貴重な樹種や記念樹等も多数含まれている。
これらの、有効利用が検討されている。

《導入機能の内容》

・九州大学の知名度・高等教育の場を活かした機能
・九州大学の文化遺産・歴史的施設等を活かした機能

③ 地域に貢献する機能

・九州大学の移転は、教職員・学生などの減少をともない、地域の不動産や商業に大きな影響を与えることになる。職住近接型の良好な都市型居住の推進によって、商店街等への顧客の誘導が望まれる。
・箱崎キャンパスは、筥崎宮と並ぶ地域の精神的な中心であったといえる。その九州大学が抜けることで、地域のイメージが変わることになるが、九州大学に代わるイメージをもった新たな機能が望まれる。
・箱崎地域は地域拠点として、公共サービス施設や箱崎商店街が立地しており、これらを活かすような各種機能の誘導が望まれる。
・箱崎キャンパス周辺の再編整備等を支援するとともに、一体的もしくは連携して整備を考えるなど、地元や周辺に配慮した計画を進める。

《導入機能の内容》

・地域拠点を形成する地区としての機能
・地域商店街との連携、界隈性を活かす機能
・九州大学の学生等の減少による影響を改善するような機能
・中心市街地としての都市型居住、商業・業務など諸機能が調和する地区としての機能

④ 導入機能の検討

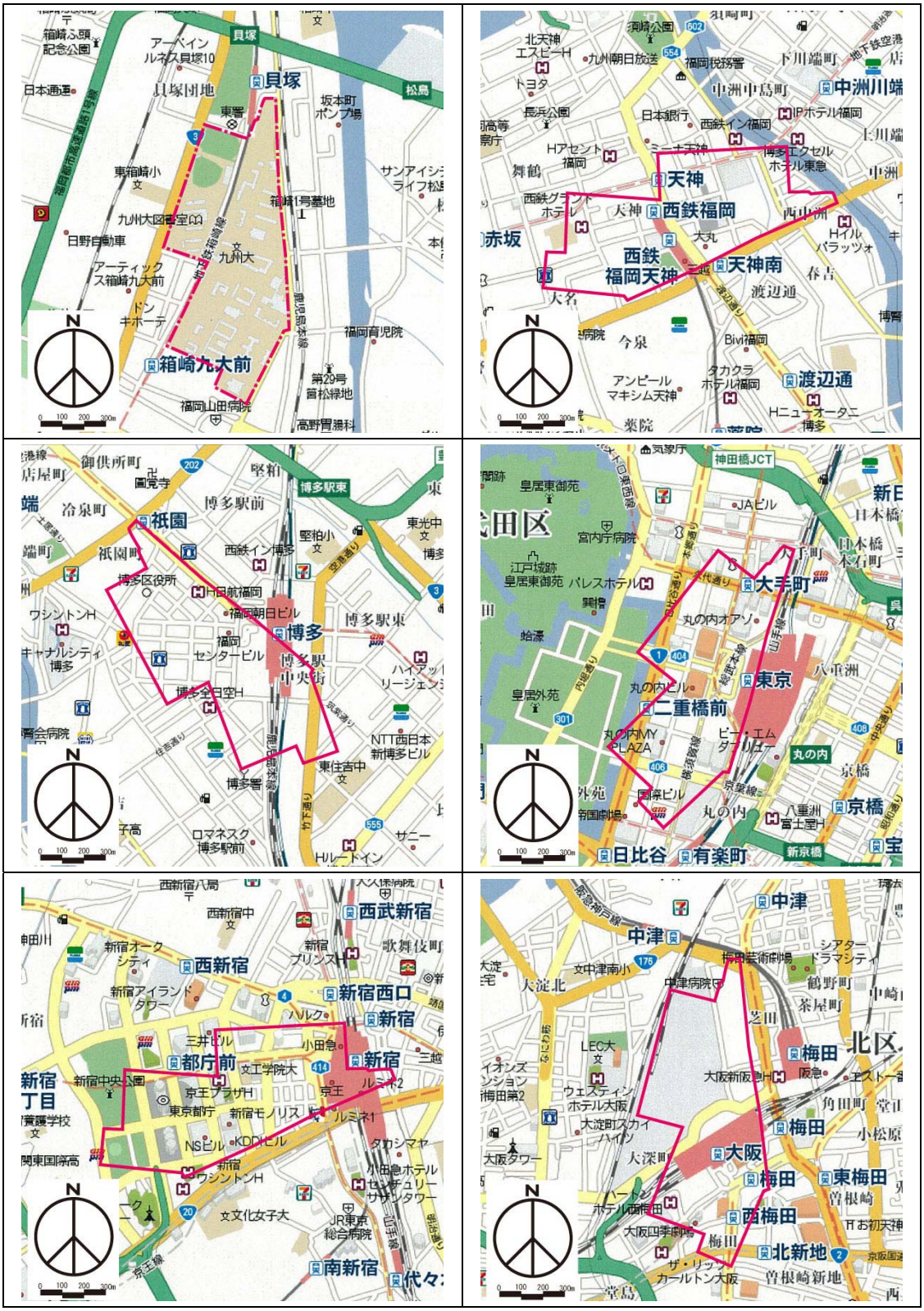
・箱崎キャンパス跡地に望まれる導入機能及びその内容から、具体的な施設を列挙する。

・単独での導入も考えられるが、これらのうちのいくつかを複合的に誘導することが一般的と考えられる。

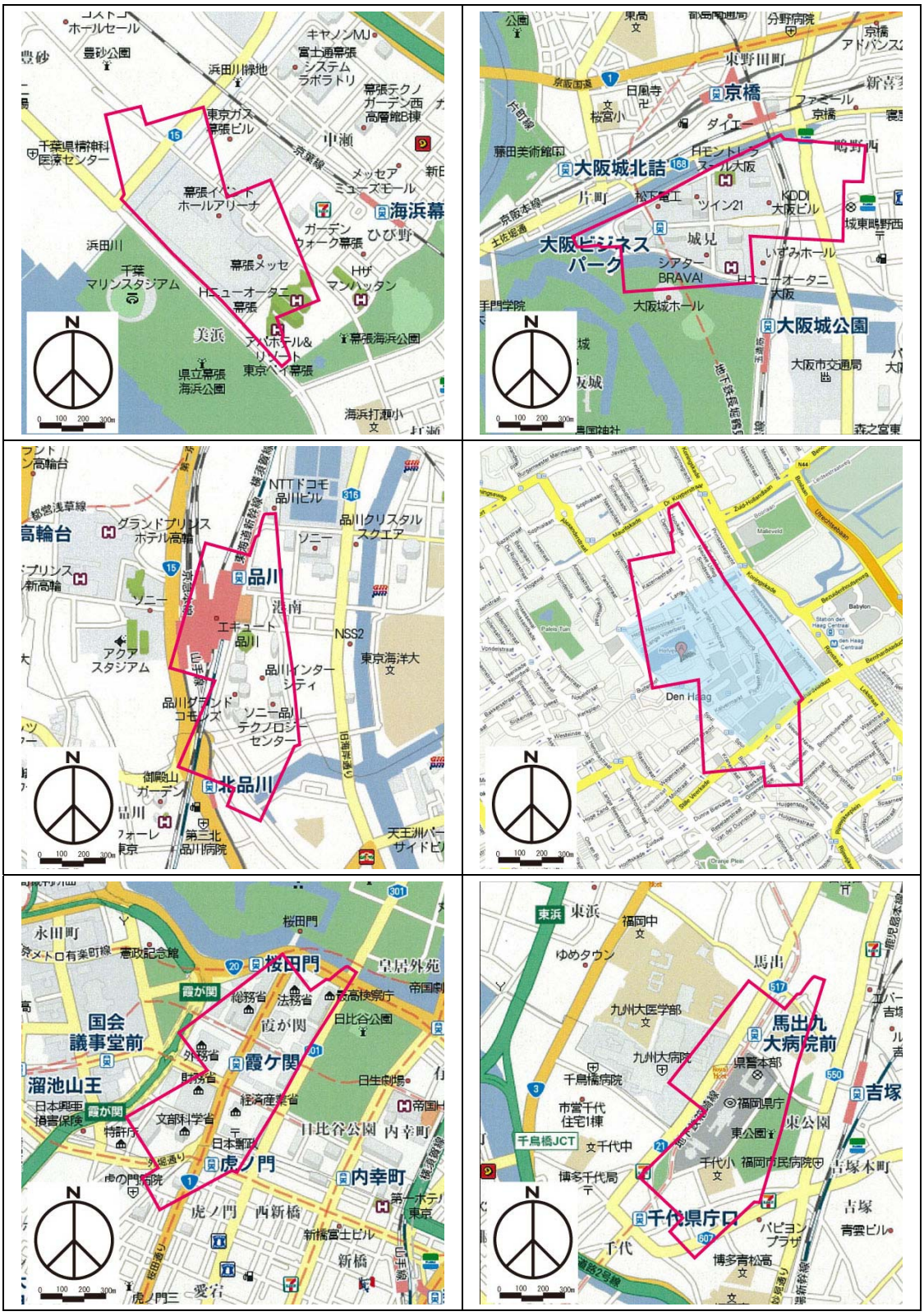
望まれる機能	機能の内容	具体的な施設例
福岡市の持続的な発展に必要となる機能	・新たな都市構造づくりに必要となる機能 ・時代・経済情勢の変化に対応するための機能 ・九州・アジアを視野に入れた国際化・国際協力に対応するための機能 ・鉄道・高速道路・空港・港等の陸海空の交通条件を活かす機能	**（国際貿易・コンベンションパーク）** 新たな貿易とコンベンションの拠点づくり **（ビジネスパーク）**多核連携型都市構造の実現と良好なビジネス環境の形成 **（道州制の州庁舎）**天神・博多より低賃料・高グレードな行政ゾーンの形成 **（アミューズメントパーク・広域集客エンターテイメント施設）**九州をはじめアジア地域からの集客を見込める施設 **（科学・文化公園）** 感性豊かな子供を育む活動拠点づくり **（福祉系医学・医療パーク）** **産官学による医学・医療研究開発の拠点づくり** **（教育機関の場）** 東アジア関連の人材派遣・人材育成の機能 高等教育機関の場 **（シビックセンター）** 行政サービスと防災の拠点づくり **（スポーツ・レクリエーションパーク）** 東の大濠・舞鶴公園づくり **（アウトレットモール、ロードサイド商業施設）** 消費者ニーズに対応した新たな業態のショッピングゾーン **（省エネルギーハウジングパーク）** 地球環境に配慮した未来型モデル住宅団地 **（新産業ベンチャー、テレワーカー事務所・住宅）** 情報産業・デザイン等の住居兼オフィス **（職住近接型の都市型住宅）** **高齢者や環境等にも配慮した理想的な住宅地** **（高齢者福祉センター）** リハビリ、在宅等福祉関連施設の拠点 **（周辺の再開発の種地・防災拠点）** 密集老朽住宅群等の再開発種地 **（私大都市）** 複数私大単科大学の移転集積立地
九州大学の資源等を活かした機能	・九州大学の知名度・高等教育の場を活かした機能 ・九州大学の文化遺産・歴史的施設等を活かした機能	
地域に貢献する機能	・地域拠点を形成する地区としての機能 ・地域商店街との連携、界隈性を活かす機能 ・九州大学の学生等の減少による影響を改善するような機能 ・中心市街地としての都市型居住、商業・業務など諸機能が調和する地区としての機能	

⑤ 箱崎キャンパスの規模（他地区との広さ比較）

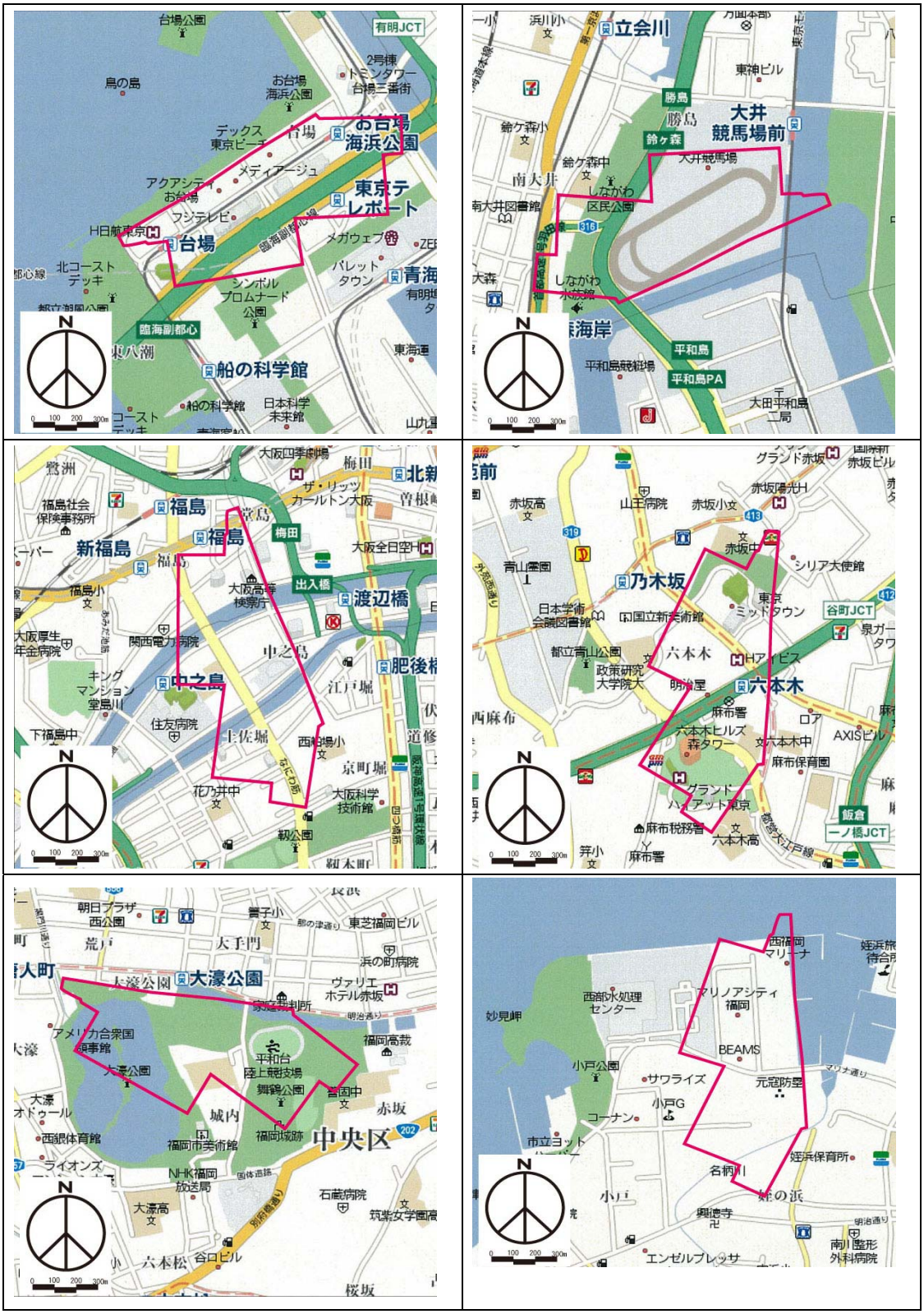
箱崎キャンパスのスケール－１



箱崎キャンパスのスケール－２



箱崎キャンパスのスケール－３



第５章　大学移転後等の大規模開発の事例

本章では、ケーススタディとして、既に移転が行われた大学跡地や大規模開発地の事例について述べる。

１．あすと長町

（１）事業の概要

優れた立地条件と交通の利便性

仙台の都心から約 5km、JR 駅、地下鉄駅の地区内立地。

半径 1km 圏内人口 4.2 万人、半径 3km 約 16 万人と商業ポテンシャルが高い。

■事業プロフィール

名称	仙塩広域都市計画事業
	仙台市あすと長町地区土地区画整理事業
所在地	仙台市太白区
面積	約82.0ha
位置	仙台都心部から南へ5km
権利者数	約310人（土地所有権者約290人、借地権者20人）
減歩率	約49.7%（公共減歩率約28.7%）
施工期間	平成9年度～平成27年度（清算期間5年含む）
事業者	独立行政法人　都市再生機構
事業費	約1,189億円
従業人口	約12,500人
居住人口	約12,500人

（２）事業の位置づけ、経緯

・仙台市では、「21 世紀都市仙台」を目指す都市戦略において、杜の都の再生を目指す「百年の杜づくり」や軌道系交通機関を基軸とする市街地形成の再編を図る「コンパクトシティ」などを掲げている。あすと長町はその先導モデル事業として、まちづくりを通じて市民生活の質の向上やさまざまな都市活動を活性化するような個性的で魅力あふれる街区形成が期待されている。

1.都市生活や都市活動の新たな流れを創る

－「コンパクトシティ」や「百年の杜」モデル－

2.都市の魅力や個性を加える

－仙台の新しい顔づくり－

3.持続可能な都市づくりを実践する

－先進的な都市政策に挑戦する場－

・仙台市では、市民協働によるまちづくりの実現を目指し、平成 14 年 4 月に市民意見を反映させた「"あすと長町"まちづくり基本方針（仙台市）」を策定し、まちづくりの目標やそれを実現するための基本方針などを示した。

平成 15 年 7 月には、この基本方針で掲げる目標を実現するため、そのイメージを具体化した将来像や基本計画、施設整備・街区開発イメージを示した「あすと長町マスタープラン（市・公団案）」が策定された。

今後、このマスタープラン案をもとに、市民や関係者等の協力を得ながらまちづくりが進められていく見通し。

長町副都心大通り線（環境軸）イメージ

杜の広場イメージ

（３）土地利用計画

自然環境と都市機能が調和したアーバンコミュニティタウン

地区ごとに特化した単一の土地利用ではなく、さまざまな機能が混在しあいながら、豊かな生活環境が形成される機能融合型の土地利用をめざす。

大規模集客施設地区

市民スポーツなどの活動や、イベントの開催を生み出す公共スペース、あすと長町のにぎわいを象徴する施設、もりの広場を整備し、これらと調和する環境配慮型の商業・都市型アミューズメント施設などの立地を誘導する。

高度商業・業務地区

都市圏南部の交通結節機能の利便性を最大限に活かした商業・業務・交流・サービス機能などの施設立地を図り、土地の高度利用を行う。

商業業務複合地区

交通結節機能の利便性を最大限に活かした商業・サービス業・業務・都市型居住機能などの多様な用途の複合施設の立地を誘導する。

商業業務・住宅複合地区

大規模街区というスケールを活かし、商業・業務機能や都市型居住機能などの多様な用途複合施設の立地を図り、新環境都市のモデル的な開発を誘導する。低階層においては、回遊性とにぎわいを形成する用途を誘導する。

住宅・商業業務複合地区

一般住宅・沿道商業・業務・生活サービス機能などの施設立地を誘導し、周辺の住環境と調和する土地利用を誘導する。

住宅地区

主として戸建住宅を配置し良好な住環境を形成する。

沿道商業・業務地区

沿道商業・業務・生活サービス・一般住宅などの施設立地を誘導し、周辺の住環境と調和する土地利用を誘導する。

■土地利用計画表

区分		面積(ha)	比率(%)	備考
公共	道路	23.6	28.8	駅前広場を含む
施設	公園	3.5	4.3	近隣公園2、街区公園3
用地	水路	0.2	0.2	
	計	27.3	33.3	
宅地	業務・商業・住宅地	39.8	48.5	
	住宅地	9.0	11.0	鉄道用地　等
	その他	5.9	7.2	
	計	54.7	66.7	
合計		82.0	100.0	

２．広島大学移転跡地

（１）広島大学本部跡地の位置

・広島大学本部跡地（理、法、経、文、教、総合学科）は、広島駅南南西約 2.5km、広島市役所南東約 300mの東千田町にある。（面積約 11.47ha）

（２）跡地の利用状況

・広島大学本部跡地は、都心部に残された数少ない大規模未利用地であり、かつて広島の教育の中心として栄えてきた経緯などを踏まえ、その有効活用を図る必要がある。

・広島地域大学長有志懇談会から提案された「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト（仮称）」は、都心の活性化や都市としての魅力の向上に大きく貢献できるものとされた。

①本部跡地の概要

・所 在 地　中区東千田町一丁目

・全体面積　約 11.4ha

【内訳】広島大学東千田キャンパス　　約 1.5ha

東千田公園　　約 3.0ha

民間所有地　　約 2.2ha

未利用地［独立行政法人国立大学財務・経営センター所有地、下写真の赤線で囲まれた部分］　　約 4.7ha

②ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト

・本部跡地の土地利用が決まっていない未利用地約 4.7ha について事業コンペにより事業予定者を決定したものの、事業予定者（アーバンコーポレーション）が破綻したため当プロジェクトはいったん宙に浮いた。

・広島市及び広島大学は、事業予定者からの申し出を受け、平成 20 年(2008 年)9 月 10 日付けで事業予定者と締結した協定を解除した。これに伴い、ひろしまの「知の拠点」再生プロジェクトの事業予定者応募要項に基づき、現在、次点の事業予定者と協議している。今後、検討期限である平成 20 年(2008 年)11 月 25 日までに、次点の事業予定者から広島市及び広島大学へ、事業実施の意向の有無を回答するとともに、事業を実施する場合は、修正後の事業計画案があわせて提出される予定となっている。

・提案概要書の配置計画図（アーバンコーポレーション案）

「ナレッジフォレスト」：まち全体を知の育成・交流を図る森として育む。

・国際人材育成センター・旧理学部 1 号館に加え、新たにカレッジモールを提案し＜知の育成・交流機能＞を強化します。

・商業施設・居住施設等を配し、＜知の実習・実証実験の場＞として活用し、都市の賑わいを創出します。

・タウンマネジメント機関を設立し、まち全体を「知の拠点」として活性化し、広島市の発展に貢献し続けます。

３．大阪大学移転跡地

（１）大阪大学跡地の位置

・大阪大学の跡地（理学部、歯学部、医学部）は大阪駅南西側約 1km の福島 1 丁目と中之島 4 丁目にあった。（平成 5 年移転完了、病院は平成 3 年に移転）

（２）跡地の利用状況（国際文化交流ゾーン）

・中之島側では、市立科学館、国立国際美術館、阪大中之島センター・キャンパスイノベーションセンターが整備された。近代美術館が整備予定となっている。

・阪大病院跡地は、東側に大阪高検・大阪地検などが入居する大阪中之島合同庁舎、中央部に高層マンション、西側に朝日放送新社屋（建設中・2008 年移転予定）となっている。（ほたるまち）

・ほたるまちは、「朝日放送新社屋」「ABC ホール」、多目的ホールの「堂島リバーフォーラム」、50 階建ての超高層マンション「The Tower Osaka」、高級賃貸レジデンス「RIVER RESIDENCE DOJIMA」、商業施設「堂島クロスウォーク」、そして、福島港（ほたるまち港）も開設され、福沢諭吉生誕の地ということで、「慶應大阪リバーサイドキャンパス」も開設され、今後は「大阪芸術大学ほたるまちキャンパス」も開設される予定。

・昭和 40 年の理学部移転に始まり、平成 5 年の医学部付属病院の移転によって大学の移転が終了し、上記の住宅、放送局、合同庁舎の完成によって、概ねの跡地利用が終了することになる。

・これらのまちづくりと連携して、京阪中之島線（平成 20 年 10 月 19 日開業）が整備され、商業施設や広場スペースなどが整備されている。

４．宮崎大学移転跡地

（１）宮崎大学跡地の位置

・JR 宮崎駅の北北西側約 1.5～3.2km に分散しており、合わせて約 36ha。

（２）跡地の利用状況

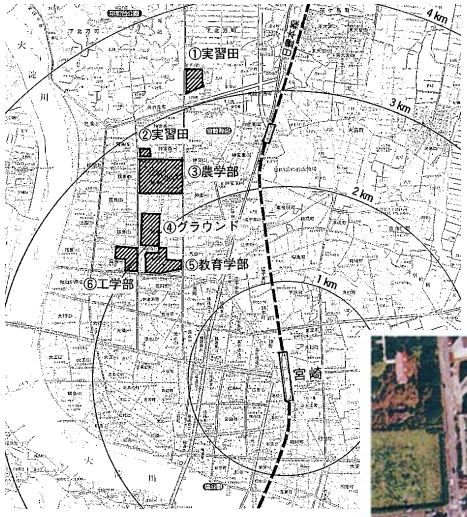
・規模の小さな実習田（1.5～4.4ha）は、一般競争入札により民間に払い下げられ、分譲マンションとなった。

・都心に近い工学部跡地（3.5ha）は農協会館が立地した。

・グランド（5.4ha）と教育学部（4.6ha）は、宮崎公立大学（平成５年開校）となった。（１市６町）

・最も広い農学部（16.5ha）は宮崎県が購入し、宮崎県総合文化公園（県立芸術劇場、県立図書館、県立美術館、県民広場）となった。

宮崎大学跡地と宮崎県総合文化公園（写真）



５．東北大学雨宮キャンパス跡地

（１）東北大学雨宮キャンパス跡地の位置

▼ 現況航空写真

・JR 仙台駅の北西側約 2km に位置しており、面積約 9.28ha。

（２）跡地の利用状況

・東北大学は仙台市青葉区内の 5 ヶ所にキャンパスが分散している。片平および雨宮キャンパスについては、青葉山キャンパスに隣接する宮城県有地への移転が 1994 年ごろから計画されていたが、宮城県有地を使用している仙台カントリー倶楽部との土地明け渡し交渉が難航していたため、計画の進行が停止していた。

・2003 年 4 月、宮城県と仙台カントリー倶楽部との間で和解が成立。今後、移転計画が本格化することになるが、移転費用として見込んでいた農学部の跡地（売却先未定）や片平キャンパス南部分（東北学院大学へ売却）などの評価額がバブル景気期から比べて相当下落してしまったこともあり、移転費用をどう捻出するか問題になっている。

・雨宮キャンパスは、その位置や規模からして、仙台のコンパクトシティづくり推進の切り札になり得る。単なる不動産の売買でなく、次代の仙台の都市づくりの貴重な資源活用に向けた取り組みが必要である。仙台市、東北大学、開発事業者の協力したまちづくり体制によって、市民には付加価値の高い都市づくりとなり、大学には十分な移転費用捻出につながり、開発事業者には適正な利益が得られる、まちづくりのあり方を模索している。

雨宮地区のまちづくりの基本理念

１）仙台市の目指す「コンパクトシティ」を先導するモデル市街地
２）人を惹きつけ都市の魅力を増す、「都心機能の充実」に寄与する土地利用
３）少子高齢時代に普遍的な「まちなか居住」による持続性あるまちの実現
４）仙台の愛称「杜の都」を次代に向けて再創造する景観モデル市街地
５）市街地内の大規模土地利用転換を仙台の発展に的確に活かす「官民協働のまちづくり」
６）予想される災害や複雑化する犯罪に備えのある「安全安心のまちづくり」
７）東北大学の協力も得て付加価値を高める「まちの記憶を大切にするまちづくり」

雨宮地区の土地利用イメージ

1）敷地全体を一体的に計画し、街としての連続感をつくる
2）市街地の環境としては、街並み景観の調和を目指す
3）周辺地区との連続性を考慮し、《北六番丁》通りと愛宕上杉通沿いには文化・商業・業務機能、地区北側には居住機能を配置する
4）街路空間の沿道には飲食・物販機能が連なる歩いて楽しい回遊性、連続性を創出する
5）安全安心のコミュニティ形成には 100～150 戸程度の小規模な構成が望ましい

資料編

・九州大学周辺 4 校区（箱崎、東箱崎、筥松、松島）居住者
アンケート調査 P120～127

・九州大学周辺居住者アンケート調査報告書 P129～214

・宮崎県庁ヒアリングおよび跡地現地視察 P215～218

・宮崎大学跡地（宮崎市）、宮崎産業経営大学跡地（都城市）に関する
ヒアリング、現地調査 P219～226

九州大学周辺４校区（箱崎，東箱崎，筥松，松島）居住者　アンケート調査

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私ども(財)福岡アジア都市研究所は、福岡市の全額出資により設立され、福岡市の都市政策やアジア施策等の調査研究を行っている研究機関です。

このアンケート調査は、九州大学箱崎キャンパス周辺の4小学校区にお住まいの皆様から、地元に関するご意見をお聞きし、将来の魅力あるまちづくりに役立てる目的で実施しております。

暮れのお忙しい折に誠に恐縮ですが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成20年12月8日
(財)福岡アジア都市研究所

【アンケートについて】

1. アンケート調査票は、福岡市住民基本台帳に掲載された個人を無作為抽出してお送りしております。

2. 個人あてのため、同じ世帯にアンケートが複数届く場合もありますが、それぞれのアンケート調査票には封筒に記載された**あて名のご本人がご回答下さい**。

3. 記入いただいたアンケート調査票は、同封しました返信用封筒にて、**本年12月22日（月）までにご投函**ください。切手の貼付は**不要**です。

4. ご参考として、最終ページ(P8)に、本アンケートの対象である4校区の地図を掲載しております。

5. ご記入いただいた内容は全て統計的に処理し、本調査の目的以外には使用いたしませんので、あなた個人の情報が出ることはなく、調査によってご迷惑をお掛けすることはございません。

6. なお、同封しましたボールペンはご返送いただかなくて結構です。

【お問い合せ先】
※　アンケート調査に関するお問い合わせ等は、こちらまでお願いします。
(財)福岡アジア都市研究所　（担当:野口，梶返（かじがえし））　TEL.（092）733－5686（代）
〒810－0001　福岡市中央区天神1－10－1　福岡市役所北別館6階

Ⅰ．あなたご自身（記入者）のことについて

以下の各事項についてお答え下さい。選択式の質問には、それぞれひとつだけ番号に○印を付けて下さい。

1.あなたの性別	1．男性　　2．女性
2.あなたの年齢	1．19 歳以下　2．20 歳代　3．30 歳代　4．40 歳代 5．50 歳代　6．60 歳代　7．70 歳以上
3.あなたの職業	1．会社員・公務員　2．自営業　3．学生 4．主婦　5．無職　6．その他
4.お住まい	東区（　　）（　　）丁目　※記入例：東区（箱崎）（1）丁目
5.現在の住宅にお住まいの年数	1．2 年未満　2．2 年以上 5 年未満　3．5 年以上 10 年未満 4．10 年以上 20 年未満　5．20 年以上 30 年未満　6．30 年以上
6.持ち家・借家の別	1．持ち家　2．借家
7.お住まいの住宅のタイプ	1．一戸建て　2．4 階建以下の集合住宅(アパート・マンション等) 3．5 階建以上の集合住宅(アパート・マンション等) 4．寮　5．下宿・間借り　6．その他（　　）
8.通勤･通学先	※通勤や通学をされている方のみ、下欄の該当する部分をご記入下さい。 ・福岡市内の方　→（　　）区（　　）（　　）丁目 ・福岡県内の方　→（　　）市／町／村　（　　） ・福岡県外の方　→（　　）県（　　）市／町／村
9.世帯人員（本人を含む）	18 歳未満（　　）人　18～64 歳（　　）人　65 歳以上（　　）人 計（　　）人
10.世帯構成	1．夫婦のみ　2．二世代(親と子ども) 3．三世代(親，子ども，孫)　4．単身　5．その他

Ⅱ．お住まいの校区のイメージや住みやすさについて

1．下表の項目について、あなたやご家族にとって、お住まいの校区をどう思われますか。それぞれひとつだけ番号に○印を付けて下さい。

	非常に思う	思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない
1) 住みやすいと思う	1	2	3	4	5
2) これからも住みたいと思う	1	2	3	4	5
3) 活力，発展力がある校区である	1	2	3	4	5
4) 住民のまとまりがある	1	2	3	4	5
5) 地域活動(文化活動，スポーツ活動など)が盛んである	1	2	3	4	5
6) 防犯上安全な校区である	1	2	3	4	5
7) 交通面で安全な校区である	1	2	3	4	5
8) 街並みがきれいである	1	2	3	4	5
9) 公園，広場，緑地が十分確保されている	1	2	3	4	5

２．お住まいの校区に残る古くからの家屋や街並みについてどう思われますか。ひとつだけ番号に○印を付けて下さい。

１．好ましいのでなるべく保存すべき	２．好ましいが保存するほどではない
３．好きでも嫌いでもない	４．好ましくないが建て替えるほどではない
５．好ましくないのでなるべく建て替えるべき	
６．その他（　　）	

３．お住まいの校区に残る古くからの路地･小路(こみち)についてどう思われますか。３つまで番号に○印を付けて下さい。

１．車が少なく通行に安全	２．憩いや遊びの空間になっている	
３．車が入れない・通りにくい	４．防災上好ましくない	５．狭くて圧迫感がある
６．その他（　　）		

４．あなたがよく利用される公園、広場、緑地等は以下のどれですか。３つまで番号に○印を付けて下さい。

１．九州大学(理系地区)	２．九州大学(文系地区)	３．筥崎宮
４．貝塚公園	５．汐井公園・箱崎ふ頭３号公園	６．箱崎ふ頭記念公園
７．箱崎ふ頭１号･2 号公園	８．社領南公園	９．地蔵松原公園･地蔵松原南公園
10．箱崎公園	11．その他の公園（　　）	
12．特にきまったところはない	13．公園をあまり利用しない	

５．箱崎地区（４校区内）の公園、広場、緑地等について、改善すべき点は何でしょうか。３つまで番号に○印を付けて下さい。

１．公園、広場、緑地等の数が少ない	２．広さが十分でない
３．ゴミ等がちらかっている	４．人気(ひとけ)がなく不安
５．落書きなどきたないところが目立つ	６．ベンチなど休む場所が十分でない
７．緑や樹木が少ない	８．その他（　　）

６．箱崎地区（４校区内）において、地域を代表するとあなたが思われる地域資源（史跡、施設、イベント、ほか）の名称を、以下のなかから５つまで番号に○印を付けて下さい。

１．筥崎宮	２．米山弁財天	３．車僧観音	４．米一丸の塔･石碑
５．網屋天神・鯨塚	６．松島地蔵	７．放生会	８．玉せせり
９．人形飾り	10．九州大学	11．県立図書館	12．各公民館
13．貝塚公園	14．汐井公園・箱崎ふ頭３号公園		15．箱崎ふ頭記念公園
16．箱崎ふ頭１号・２号公園	17．社領南公園	18．地蔵松原公園(元寇防塁跡)	
19．箱崎公園	20．多々良川	21．宇美川	22．須恵川
23．名島橋	24．その他（　　）	25．目だった地域資源はない	

Ⅲ．生活の利便性について

１．あなたやご家族にとって、今お住まいの校区は便利だと思いますか。それぞれひとつだけ番号に○印を付けて下さい。

	大変便利	便利	どちらともいえない	不便	大変不便
1）自動車(道路)	1	2	3	4	5
2）公共交通(バス，JR，地下鉄等)	1	2	3	4	5
3）行政機関(区役所など)	1	2	3	4	5
4）文化・教養施設(図書館など)	1	2	3	4	5
5）娯楽施設	1	2	3	4	5
6）飲食店	1	2	3	4	5
7）買い物(商店)	1	2	3	4	5
8）生活全般の利便性	1	2	3	4	5

２．あなたやご家族にとって、今お住まいの校区の道路をどう思われますか。３つまで番号に○印を付けて下さい。

１．道路が狭い　　２．看板や電柱が道路にはみ出している
３．駐車の自動車や自転車で歩きにくい　　４．自動車の交通量が多い
５．歩行者・自転車・自動車のマナーが悪い　６．歩道がない・少ない　７．歩道の幅が狭い
８．横断歩道がない・少ない　９．信号がない・少ない　10．夜間の街路灯が不十分
11．その他（　　）

３．車や歩行者の往来が激しい大学通り（箱崎本通り）（P8 地図参照）については、２車線の道路幅員を持つ都市計画道路への拡幅が計画されています。あなたは、将来の箱崎本通りについてどう思われますか。ひとつだけ番号に○印を付けて下さい。

１．計画通りに拡幅して、車両や歩行者が安全に通行できるようにする
２．拡幅せず、一方通行などの交通規制により歩行者等の通行を優先する
３．その他（　　）

４．通勤･通学の際に、どの交通手段を利用していますか。もっとも利用頻度の高いものをお答え下さい。乗換等で複数の交通手段を組み合わせて利用している場合は、すべての番号に○印を付けて下さい。（ただし「１」を選ぶ場合は、他の番号には○印は付けないでください。）

１．徒歩のみ　２．自転車　３．原付・自動二輪・バイク　４．自動車・マイカー
５．バス　６．JR 鹿児島本線　７．JR 福北ゆたか線(篠栗線)　８．地下鉄箱崎線
９．西鉄貝塚線　10．タクシー　11．通勤・通学していない
12．その他（　　）

５．買い物や通院などの際に、どの交通手段を利用していますか。利用頻度の高いものについて３つまで番号に○印を付けて下さい。

１．徒歩のみ	２．自転車	３．原付・自動二輪・バイク	４．自動車・マイカー
５．バス	６．JR 鹿児島本線	７．JR 福北ゆたか線(篠栗線)	８．地下鉄箱崎線
９．西鉄貝塚線	10．タクシー	11．その他（　　）	

６．あなたは地域活動や生涯学習などの際に、下表の各公共施設をどの程度利用していますか。それぞれひとつだけ番号に○印を付けて下さい。

施設の種類＼利用頻度	頻度高い ◀					▶ 頻度低い
	週に数回	週１回程度	月に数回	月１回程度	年に数回	年に１回以下
1）校区内の公民館・会館など (施設の名称：＿＿＿＿＿＿＿＿)	1	2	3	4	5	6
2）校区内の小学校	1	2	3	4	5	6
3）校区内の中学校	1	2	3	4	5	6
4）県立図書館	1	2	3	4	5	6
5）九大・九大図書館	1	2	3	4	5	6
6）その他の公共施設 (施設の名称：＿＿＿＿＿＿＿＿)	1	2	3	4	5	6

※「6）その他の公共施設」は、利用される公共施設が 1)～5)以外にある場合にのみご記入ください。ただし公園や緑地、広場は除きます。

７．食料品・日用品や、衣料品・趣味の品の買い物の際、よく利用されるところは以下のうちどれですか。それぞれ３つまで番号を下の表に記入して下さい。

１．箱崎商店街	２．ダイエー箱崎店(グルメシティ)
３．西鉄ストア筥松店	４．スーパー大栄筥松店
５．サトー食鮮館松島店	６．業務スーパー箱崎駅店
７．コスモス箱崎店	８．ボックスタウン箱崎(ルミエール，西松屋等)
９．楽市街道箱崎店(ドン・キホーテなど)	10．ナフコ多田羅店
11．ミスターマックス粕屋店	12．ゆめタウン博多
13．ダイヤモンドシティ	14．キャナルシティ
15．コンビニエンスストア	16．天神地区の店舗等
17．博多駅地区の店舗等	18．香椎地区の店舗等
19．その他	

	よく利用される店の番号（３つまで）			店舗等の名称（「19．その他」を選んだ場合にご記入ください）
1）食料品・日用品				
2）衣料品・趣味の品				

Ⅳ．まちづくり･九大跡地利用について

１．連続立体交差事業やそれに伴う区画整理、道路整備、JR 箱崎駅の移動等の後、今お住まいの校区において、下表の各項目はどのように変化したと感じますか。それぞれひとつだけ番号に○印を付けて下さい。

	非常に よくなった	よく なった	変化は ない	悪く なった	非常に 悪くなった	関心がない わからない
1）住みやすさ，住み良さ	1	2	3	4	5	6
2）活力，発展力	1	2	3	4	5	6
3）防犯上の安全性	1	2	3	4	5	6
4）交通の安全性	1	2	3	4	5	6
5）街並み，景観	1	2	3	4	5	6
6）まち(校区)の魅力	1	2	3	4	5	6

２．平成 17 年度以降始まった九州大学の移転との関連で、今お住まいの校区では、下表の各項目の数は、ここ 2～3 年の間にどのように変化したと感じますか。それぞれひとつだけ番号に○印を付けて下さい。

	非常に 増えた	やや 増えた	変化は ない	やや 減った	非常に 減った	関心がない わからない
1）人通り(通行人)	1	2	3	4	5	6
2）自動車交通量	1	2	3	4	5	6
3）付近に住む大学生	1	2	3	4	5	6
4）学生向けアパート，マンション等	1	2	3	4	5	6
5）空き家，空室	1	2	3	4	5	6
6）駐車場，パーキング	1	2	3	4	5	6
7）スーパー，大型店等	1	2	3	4	5	6
8）中小の商店，小売店等	1	2	3	4	5	6
9）コンビニエンスストア	1	2	3	4	5	6
10)飲食店(食堂，居酒屋等)	1	2	3	4	5	6
11)娯楽施設	1	2	3	4	5	6

３．上問「１」,「２」に関連して、お気付きの点や感想等がございましたら、こちらにご記入ください。

４．九州大学移転後の箱崎キャンパス跡地の利用方法について、あなたはどの程度関心がありますか。ひとつだけ番号に○印を付けて下さい。

１．大いに関心がある	２．ある程度関心がある	３．どちらともいえない
４．あまり関心がない	５．全く関心がない	６．その他
（　　）		

Ⅴ．以上で質問は終わりですが、その他お住まいの校区や九大周辺地区のまちづくり、　　九大跡地利用などに関するご意見、このアンケートに対するご意見等がございましたら、下欄へご記入下さい。

《ご協力ありがとうございました。》

《ご参考》九州大学箱崎キャンパス周辺 4 校区　地図

出典：
福岡市東区校区カルテ Web 版より。
（ http://www.city.fukuoka.lg.jp/higashiku/kikaku/chiiki-info/001.html）

九州大学周辺校区居住者アンケート
調査報告書

平成 21 年 2 月

（財）福岡アジア都市研究所

目　次

Ⅰ．調査の概要 132

１．調査の目的 132
２．調査の性格 132
３．標本の構成 134

Ⅱ．調査結果 138

１．校区のイメージや住みやすさについて 138
（１）居住する校区の印象 138
（２）校区の家屋や街並みに対する考え 142
（３）校区の路地・小路に対する考え 144
（４）よく利用する公園、広場、緑地等 146
（５）４校区の公園、広場、緑地等について改善すべき点 148
（６）４校区を代表する地域資源 150
２．生活の利便性について 152
（１）居住する校区の利便性 152
（２）居住する校区の道路に対する考え 155
（３）将来の大学通り（箱崎本通り）についての考え 157
（４）通勤・通学で利用している交通手段 159
（５）買い物や通院などで利用している交通手段 161
（６）校区内の公共施設の利用状況 163
（７）食料品・日用品や衣料品・趣味の品の買い物でよく利用する店舗 170
３．まちづくり・九大跡地利用について 173
（１）区画整理、道路整備等による校区の変化 173
（２）九州大学の移転による校区の変化 176
（３）校区の変化に関する意見 180
（４）箱崎キャンパス跡地の利用方法についての関心度 190
（５）その他、自由意見 192

Ⅰ　調査の概要

Ⅰ．調査の概要

１．調査の目的

この調査は、九州大学箱崎キャンパス周辺の４小学校区（箱崎、東箱崎、筥松、松島。以下「４校区」と略す。）に居住する方の、地元に関する意識や意見などを科学的、統計的に把握し、将来の魅力あるまちづくりを推進する上での基礎資料にするものです。

２．調査の性格

○調査地域	九州大学箱崎キャンパス周辺4小学校区 （箱崎、東箱崎、筥松、松島）
○調査対象者	調査地域内居住者
○抽出方法	福岡市住民基本台帳からの無作為抽出
○調査方法	郵送調査
○調査期間	平成 20 年 12 月 8 日～平成 20 年 12 月 22 日
○調査対象者数	
○回収数(回収率)	1,427 票(配布数:4800 票・回収率:29.72%)
○調査実施機関	(財)福岡アジア都市研究所
○調査分析機関	(株)西日本リサーチ・センター

【調査結果利用上の注意】

（1） 集計は小数点以下第２位を四捨五入している。したがって、回答割合の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。

（2） ２つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。

（3） 数表、図表、文中に示すNは、割合算出上の基数（標本数）である。

（4） 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合がある。

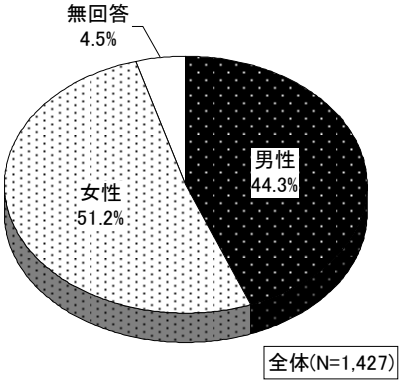
（5） 文中の選択肢の表記は「　」で行い、選択肢のうち、２つ以上のものを合計して表す場合は『　』としている。

（6） ２つ以上の選択肢を合計して表している割合については、各選択肢の基数（標本数）の合計をもとに算出しているため、選択肢個々の回答割合の合計とは、必ずしも同じにならない場合がある。

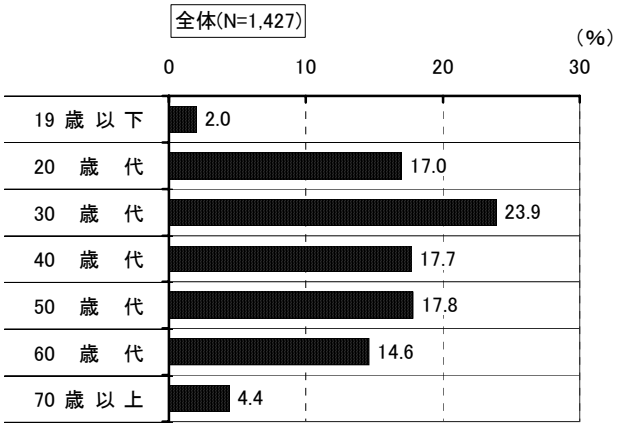
３．標本の構成

■標本の全体構成

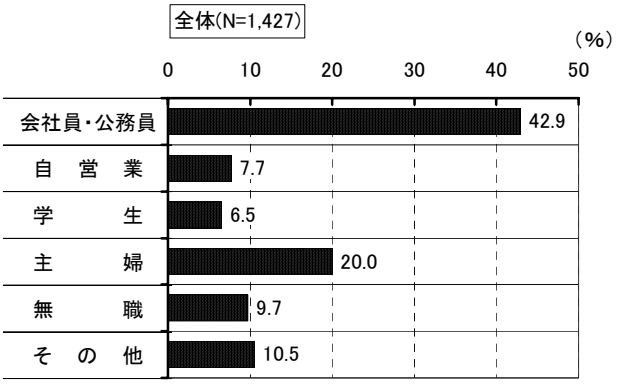
《性別》



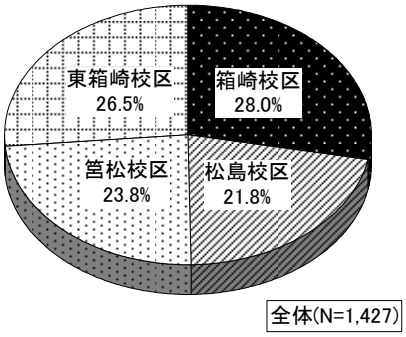
《年代》



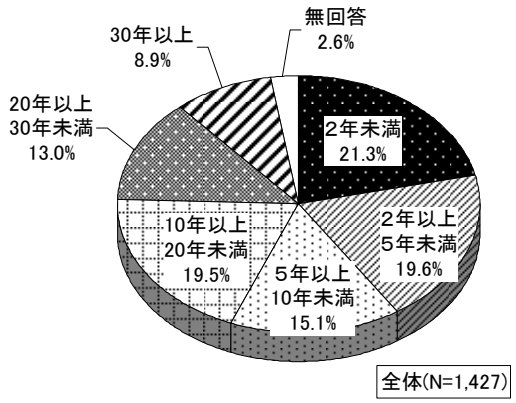
《職業》



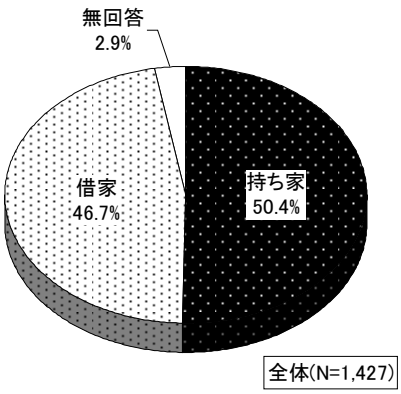
《居住校区》



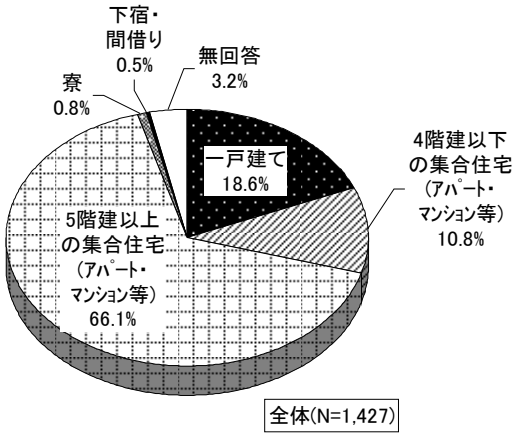
《居住年数》



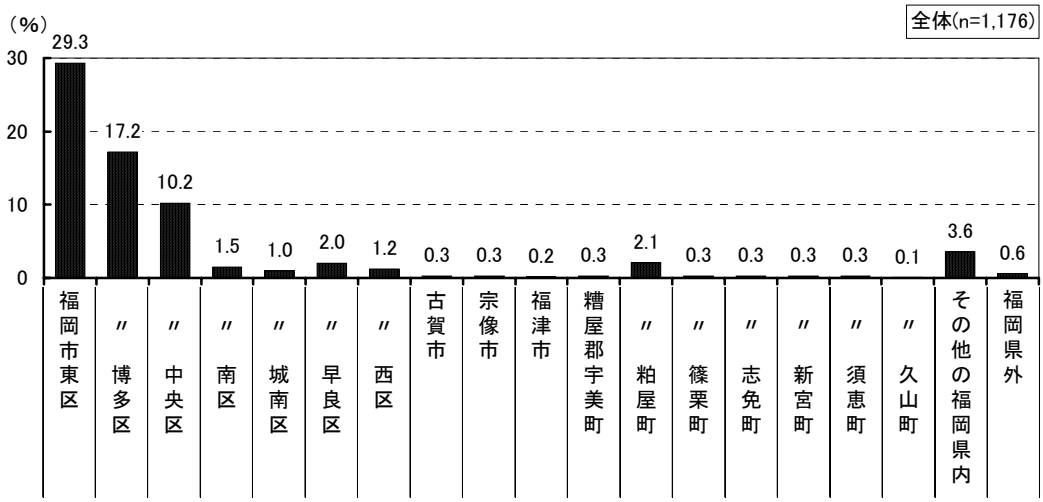
《持ち家・借家》



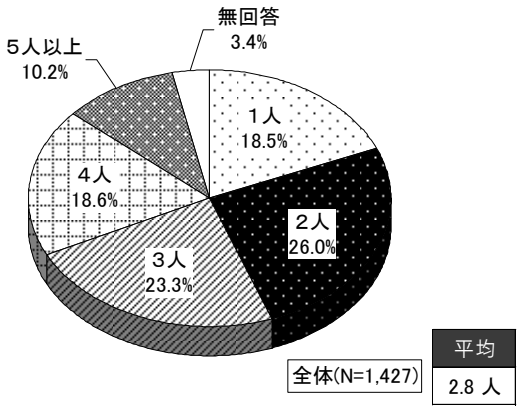
《住宅のタイプ》



《通勤・通学先》

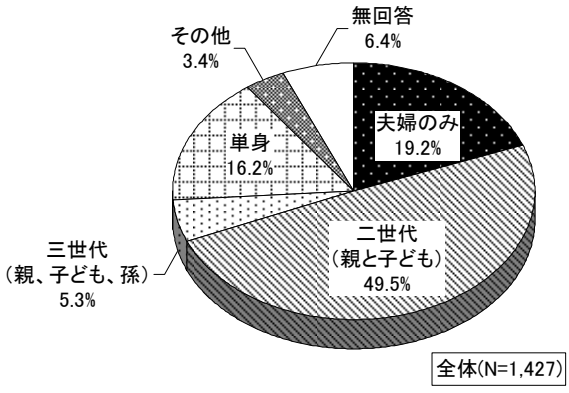


《世帯人員》



平均
2.8 人

《世帯構成》



Ⅱ　調査結果

Ⅱ．調査結果

１．校区のイメージや住みやすさについて

（１）居住する校区の印象

１．あなたやご家族にとって、お住まいの校区をどう思われますか。

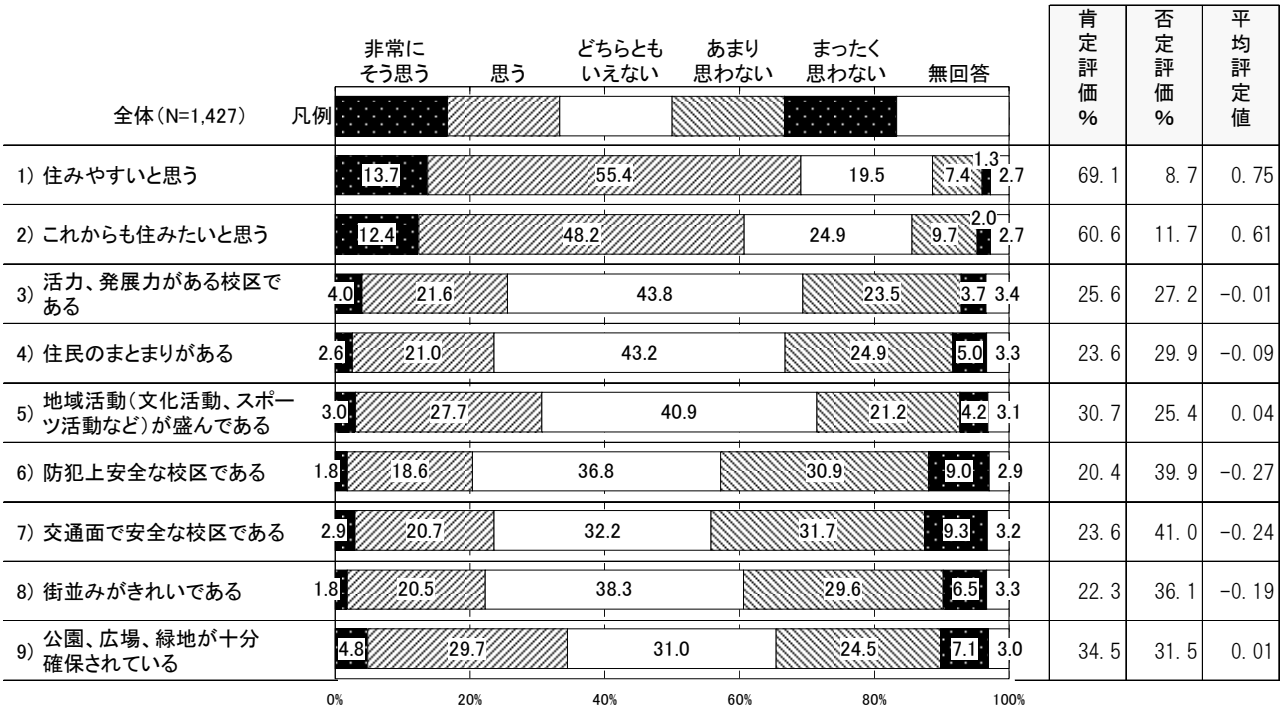
居住する校区の印象について９つの項目別にきいたところ、全体で『肯定評価』の割合が最も多いのは「住みやすいと思う」（69.1%）、次いで「これからも住みたいと思う」（60.6%）の順となっている。一方、『否定評価』が最も多いのは「交通面で安全な校区である」（40.9%）、次いで「防犯上安全な校区である」（39.8%）、「街並みがきれいである」（36.1%）の順となっている。

平均評定値をみると、最も値が高いのは「住みやすいと思う」（0.75）、次いで「これからも住みたいと思う」（0.61）の順となっており、これら２項目は肯定的な評価が高いと言える。一方、最も低いのは「交通面で安全な校区である」（-0.27）、次いで「防犯上安全な校区である」（-0.24）、「街並みがきれいである」（-0.19）の順となっており、これら３項目は否定的な評価が高いと言える。

注）
肯定評価：「非常に思う」と「思う」の合計
否定評価：「まったく思わない」と「あまり思わない」の合計

※平均評定値について
イメージ等、通常は数値的に評価できないものを定量的に評価するため、「非常に思う」：+２点、「思う」：+１点、「どちらともいえない」：０点、「あまり思わない」：－１点、「まったく思わない」：－２点と回答を得点化し、この平均を求めたもの。

図　居住する校区の印象【全体】



	肯定評価%	否定評価%	平均評定値
全体（N=1,427）			
1) 住みやすいと思う	69.1	8.7	0.75
2) これからも住みたいと思う	60.6	11.7	0.61
3) 活力、発展力がある校区である	25.6	27.2	-0.01
4) 住民のまとまりがある	23.6	29.9	-0.09
5) 地域活動（文化活動、スポーツ活動など）が盛んである	30.7	25.4	0.04
6) 防犯上安全な校区である	20.4	39.9	-0.27
7) 交通面で安全な校区である	23.6	41.0	-0.24
8) 街並みがきれいである	22.3	36.1	-0.19
9) 公園、広場、緑地が十分確保されている	34.5	31.5	0.01

性・年代別にみると、『肯定評価』はいずれの性・年代も「住みやすいと思う」と「これからも住みたいと思う」が、6割弱から8割強となっている。なお、男性は20歳代で「住民のまとまりがある」（12.6%）が、女性は20歳代で「交通面で安全な校区である」（12.9%）、60歳代で「活力、発展力がある校区である」（14.9%）が、それぞれ全体値を10ポイント以上下回っており、評価が低くなっている。一方、男性は60歳代で「交通面で安全な校区である」（34.7%）が、女性は60歳代で「住民のまとまりがある」（35.6%）が、それぞれ全体値を10ポイント以上上回っており、評価は高くなっている。

平均評定値をみると、男女ともに20歳代、30歳代で「防犯上安全な校区である」が－0.4以下となっており、否定的な評価が高い。また、男性の30・40歳代および女性の20・30歳代でも「交通面で安全な校区である」が－0.4以下となっている。これより、比較的若い世代は安全に関して否定的な評価をしていると言える。

注：サンプル数が少ない19歳以下と70歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

世帯構成別にみると、いずれの世帯構成においても『肯定評価』は「住みやすいと思う」と「これからも住みたいと思う」が 5 割から 7 割強と上位 2 項目を占めている。一方、三世代（親、子ども、孫）で「公園、広場、緑地が十分確保されている」（24.0%）が、全体値を 10 ポイント以上下回っており、評価が低くなっている。しかし、三世代では逆に「これからも住みたいと思う」(73.3%)、「住民のまとまりがある」（41.3%）、「地域活動（文化活動、スポーツ活動など）が盛んである」（42.7%）は全体値を 10 ポイント以上上回っており、評価が高くなっている。

平均評定値をみると、「防犯上安全な校区である」と「交通面で安全な校区である」、「街並みがきれいである」は、すべての世帯構成においてマイナスとなっており、否定的な評価をしていると言える。

校区別にみると、いずれの校区も「住みやすいと思う」と「これからも住みたいと思う」が上位 2 項目を占めている点が共通している一方、他の項目については校区によってそれぞれ異なる特徴がみられる。

箱崎校区は『肯定評価』が最も多いのが「住みやすいと思う」（83.5%）で、他の校区が 6 割から 7 割弱であるのに対して、これを大きく上回っている。次いで「これからも住みたいと思う」（72.2%）の順となっている。一方、最も『肯定評価』が少ないのは「公園、広場、緑地が十分確保されている」（21.3%）で、他の校区が 3 割から 4 割強であるのに対して、これを大きく下回っている。

松島校区は『肯定評価』が最も多いのは「住みやすいと思う」（60.5%）で、次いで「これからも住みたいと思う」（57.2%）、「公園、広場、緑地が十分確保されている」（42.1%）などの順となっている。一方、最も『肯定評価』が少ないのは「防犯上安全な校区である」（14.8%）で、他の校区が 2 割強であるのに対して、これを下回っている。

筥松校区は『肯定評価』が最も多いのは「住みやすいと思う」（69.0%）で、次いで「これからも住みたいと思う」（60.2%）の順となっている。一方、最も『肯定評価』が少ないのは「住民のまとまりがある」（15.3%）で、他の校区が 2 割から 3 割なのに対して、これを大きく下回っている。

東箱崎校区は『肯定評価』が最も多いのは「住みやすいと思う」（61.1%）で、次いで「これからも住みたいと思う」（51.6%）、「公園、広場、緑地が十分確保されている」（43.4%）などの順となっている。一方、最も『肯定評価』が少ないのは「活力、発展力がある校区である」（24.3%）となっている。

表　居住する校区の印象【性・年代別、世帯構成別、校区別】

			サンプル数	1)住みやすいと思う			2)これからも住みたいと思う			3)活力、発展力がある校区である			4)住民のまとまりがある			5)地域活動（文化活動、スポーツ活動など）が盛んである		
				【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】
全体			1,427	69.1	8.7	0.75	60.6	11.7	0.61	25.6	27.2	−0.01	23.6	29.9	−0.09	30.7	25.4	0.04
性・年代別	男性	19歳以下	11	81.8	−	1.09	63.6	18.2	0.55	36.4	9.1	0.27	27.3	27.3	0.00	45.5	−	0.55
		20歳代	103	71.8	9.7	0.76	59.2	12.6	0.59	28.2	28.2	0.01	12.6	42.7	−0.38	22.3	35.0	−0.17
		30歳代	145	69.7	7.6	0.76	62.1	14.5	0.61	25.5	25.5	−0.03	20.7	35.9	−0.25	26.9	34.5	−0.12
		40歳代	110	69.1	6.4	0.73	50.0	5.5	0.53	26.4	22.7	0.06	28.2	25.5	0.02	37.3	25.5	0.15
		50歳代	114	66.7	8.8	0.72	66.7	12.3	0.68	26.3	32.5	−0.05	21.9	31.6	−0.09	31.6	28.1	0.00
		60歳代	101	74.3	8.9	0.75	69.3	7.9	0.71	21.8	28.7	−0.05	25.7	28.7	−0.06	36.6	23.8	0.10
		70歳以上	45	66.7	15.6	0.74	71.1	13.3	0.76	22.2	33.3	−0.17	26.7	24.4	−0.02	33.3	15.6	0.19
	女性	19歳以下	18	83.3	11.1	0.94	66.7	11.1	0.78	27.8	22.2	0.11	27.8	33.3	−0.06	27.8	22.2	0.17
		20歳代	139	76.3	7.2	0.78	59.7	13.7	0.53	23.0	33.1	−0.13	18.0	34.5	−0.22	21.6	30.9	−0.14
		30歳代	190	70.0	8.9	0.76	59.5	13.7	0.58	30.5	24.7	0.10	21.1	31.1	−0.12	35.3	21.6	0.12
		40歳代	134	69.4	9.0	0.72	61.2	14.9	0.56	23.9	30.6	−0.07	25.4	27.6	0.02	28.4	22.4	0.08
		50歳代	134	65.7	9.7	0.67	60.4	11.9	0.59	32.1	21.6	0.13	31.3	23.9	0.08	39.6	20.9	0.21
		60歳代	101	74.3	9.9	0.80	63.4	8.9	0.67	14.9	34.7	−0.24	35.6	24.8	0.11	33.7	18.8	0.15
		70歳以上	10	60.0	10.0	0.78	70.0	10.0	0.89	30.0	20.0	0.25	20.0	20.0	−0.13	20.0	40.0	−0.25
世帯構成別	夫婦のみ		274	69.0	10.6	0.68	63.5	10.2	0.62	19.0	31.8	−0.15	21.9	35.4	−0.18	27.0	27.4	−0.03
	二世代（親と子ども）		706	70.5	8.8	0.75	61.9	13.2	0.60	29.7	25.8	0.04	25.8	29.2	−0.04	34.7	25.1	0.11
	三世代（親、子ども、孫）		75	72.0	5.3	0.87	73.3	8.0	0.85	28.0	29.3	0.04	41.3	17.3	0.27	42.7	18.7	0.24
	単身		231	74.9	6.9	0.82	59.7	11.3	0.59	24.7	27.7	−0.02	17.3	32.9	−0.21	26.0	24.7	−0.04
	その他		49	55.1	14.3	0.50	51.0	12.2	0.45	18.4	36.7	−0.16	22.4	34.7	−0.19	24.5	40.8	−0.24
校区別	箱崎校区		399	83.5	3.8	1.06	72.2	5.5	0.90	30.3	27.8	0.05	30.1	28.3	0.01	34.6	25.1	0.10
	松島校区		311	60.5	10.9	0.61	57.2	11.6	0.55	23.5	26.4	−0.04	20.3	33.1	−0.18	27.0	29.9	−0.05
	筥松校区		339	69.0	9.7	0.69	60.2	14.5	0.53	23.3	27.4	−0.04	15.3	33.0	−0.23	22.4	29.5	−0.13
	東箱崎校区		378	61.1	11.1	0.59	51.6	15.9	0.42	24.3	27.2	−0.04	27.0	26.2	0.01	37.0	18.3	0.21

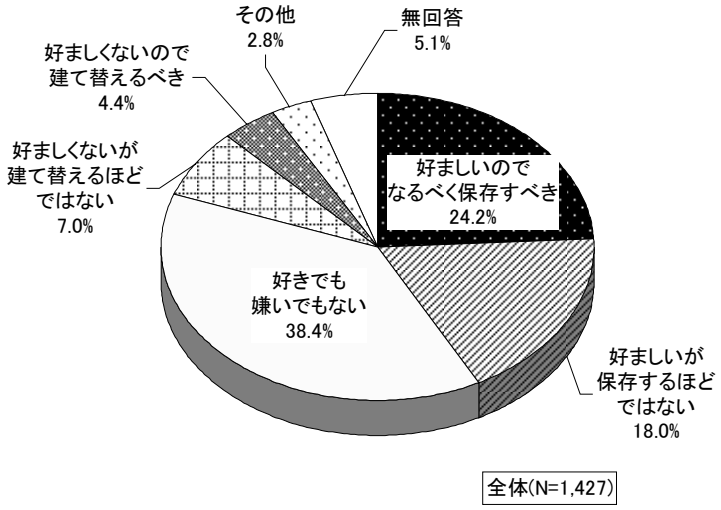
			サンプル数	6)防犯上安全な校区である			7)交通面で安全な校区である			8)街並みがきれいである			9)公園、広場、緑地が十分確保されている		
				【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】
全体			1,427	20.4	39.9	−0.27	23.6	41.0	−0.24	22.3	36.1	−0.19	34.5	31.5	0.01
性・年代別	男性	19歳以下	11	27.3	18.2	0.18	27.3	45.5	−0.09	27.3	27.3	0.00	36.4	54.5	−0.18
		20歳代	103	17.5	49.5	−0.43	23.3	44.7	−0.30	31.1	35.9	−0.10	28.2	35.0	−0.04
		30歳代	145	13.1	51.0	−0.52	15.2	54.5	−0.53	17.2	44.8	−0.36	35.2	26.2	0.05
		40歳代	110	20.0	44.5	−0.28	17.3	52.7	−0.42	15.5	40.9	−0.29	27.3	33.6	−0.09
		50歳代	114	25.4	36.8	−0.18	28.9	34.2	−0.11	19.3	38.6	−0.28	35.1	30.7	−0.09
		60歳代	101	28.7	28.7	0.01	34.7	20.8	0.20	28.7	33.7	−0.06	36.6	33.7	−0.01
		70歳以上	45	40.0	20.0	0.28	40.0	24.4	0.21	33.3	17.8	0.17	35.6	24.4	0.09
	女性	19歳以下	18	33.3	33.3	−0.06	16.7	33.3	−0.22	27.8	33.3	0.00	55.6	16.7	0.44
		20歳代	139	12.2	48.2	−0.49	12.9	53.2	−0.52	22.3	41.7	−0.27	34.5	37.4	−0.03
		30歳代	190	12.6	50.0	−0.46	15.3	50.5	−0.46	22.6	39.5	−0.21	39.5	27.9	0.13
		40歳代	134	20.1	42.5	−0.34	23.1	50.0	−0.38	23.9	38.8	−0.20	41.8	32.8	0.07
		50歳代	134	26.9	34.3	−0.11	33.6	32.8	−0.01	21.6	32.1	−0.16	39.6	28.4	0.11
		60歳代	101	32.7	26.7	0.02	37.6	20.8	0.18	24.8	26.7	−0.03	29.7	37.6	−0.12
		70歳以上	10	10.0	20.0	−0.13	50.0	10.0	0.50	20.0	20.0	0.00	40.0	20.0	0.25
世帯構成別	夫婦のみ		274	21.9	38.0	−0.20	27.4	37.6	−0.18	25.5	38.0	−0.18	34.7	34.3	−0.03
	二世代（親と子ども）		706	19.0	43.1	−0.33	22.8	42.6	−0.27	19.7	37.3	−0.23	36.0	31.0	0.02
	三世代（親、子ども、孫）		75	28.0	37.3	−0.13	20.0	37.3	−0.23	24.0	41.3	−0.21	24.0	38.7	−0.17
	単身		231	20.8	39.4	−0.26	22.5	45.0	−0.27	26.4	33.8	−0.12	35.9	31.2	0.06
	その他		49	24.5	40.8	−0.22	28.6	51.0	−0.33	22.4	36.7	−0.14	38.8	34.7	0.08
校区別	箱崎校区		399	21.8	39.1	−0.26	27.6	35.1	−0.12	22.8	36.1	−0.18	21.3	44.9	−0.35
	松島校区		311	14.8	42.4	−0.37	18.0	48.6	−0.39	19.9	37.6	−0.25	42.1	23.8	0.22
	筥松校区		339	20.9	41.0	−0.27	23.3	42.8	−0.27	20.1	38.9	−0.24	33.0	31.3	0.01
	東箱崎校区		378	23.0	37.6	−0.23	24.3	39.4	−0.24	25.7	32.5	−0.12	43.4	24.1	0.21

（2）校区の家屋や街並みに対する考え

２．お住まいの校区に残る古くからの家屋や街並みについてどう思われますか。

最も割合が多いのは「好きでも嫌いでもない」（38.4%）となっている。なお、「好ましいのでなるべく保存すべき」と答えた人は全体の 24.2%、一方、「好ましくないのでなるべく立て替えるべき」と答えた人は 4.4%となっており、校区に残る古くからの家屋や街並みの保存を希望する人の方が多くなっている。

図　校区の家屋や街並みに対する考え【全体】



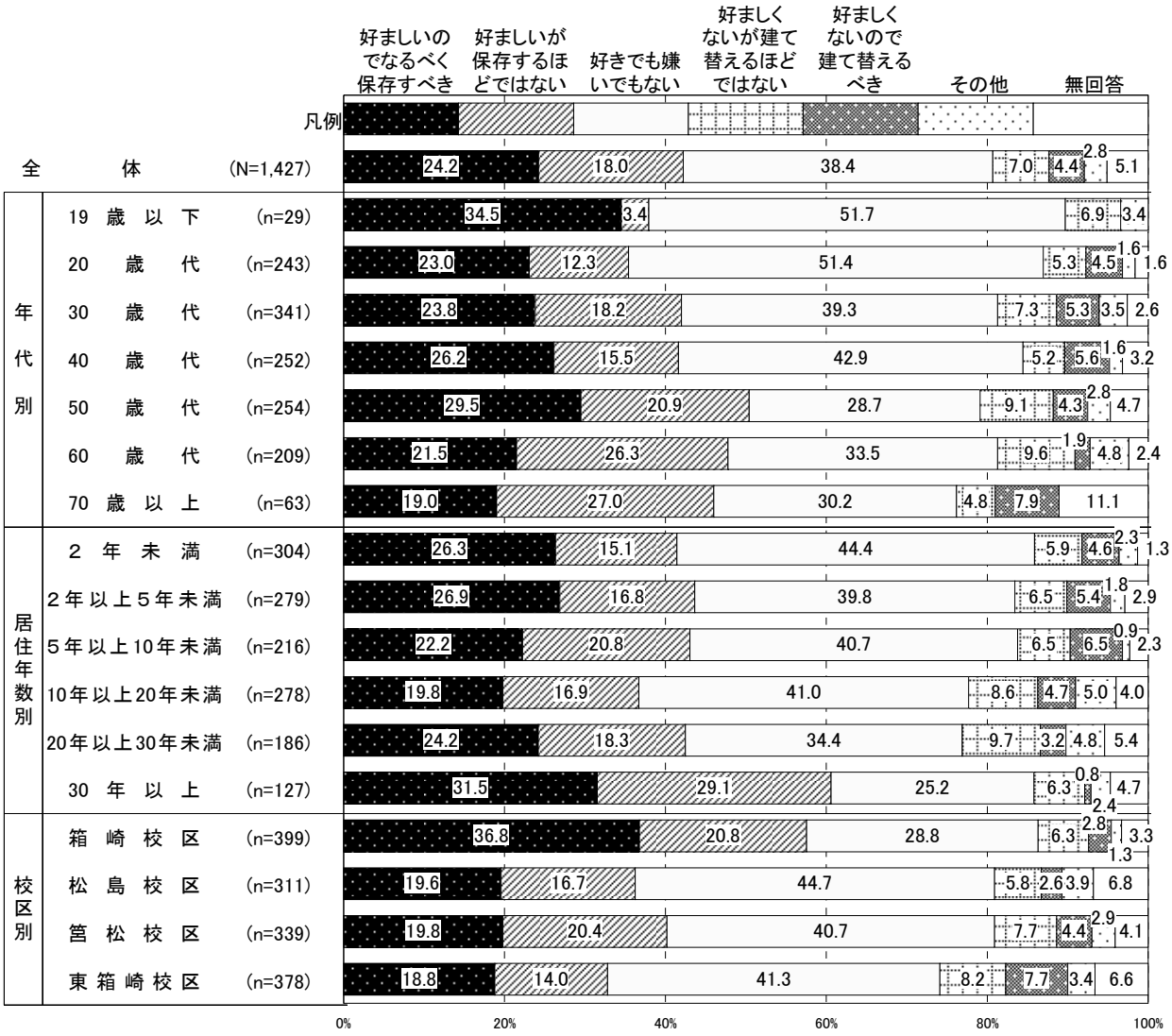
年代別にみると、50 歳代を除く全ての年代で「好きでも嫌いでもない」が最も多く、特に 20 歳代（51.4%）は半数を超えている。また、「好ましいのでなるべく保存すべき」が最も多い年代は 50 歳代（29.5%）で、次いで 40 歳代（26.2%）、30 歳代（23.8%）の順となっている。

注：サンプル数の少ない 19 歳以下は分析に含めていない

居住年数別にみると、居住年数 30 年以上以外は「好きでも嫌いでもない」が最も多く、次いで「好ましいのでなるべく保存すべき」、「好ましいが保存するほどではない」などの順となっている。なお、居住年数 30 年以上は「好ましいのでなるべく保存すべき」が最も多く、次いで「好ましいが保存するほどではない」、「好きでも嫌いでもない」の順となっており、他の年代と傾向が異なる。

校区別にみると、箱崎校区は「好ましいのでなるべく保存すべき」（36.8%）が最も多く、他の校区はいずれも「好きでも嫌いでもない」（松島校区：44.8%、筥松校区：40.7%、東箱崎校区：41.0%）の割合が最も多くなっている。

図　校区の家屋や街並みに対する考え【年代別、居住年数別、校区別】

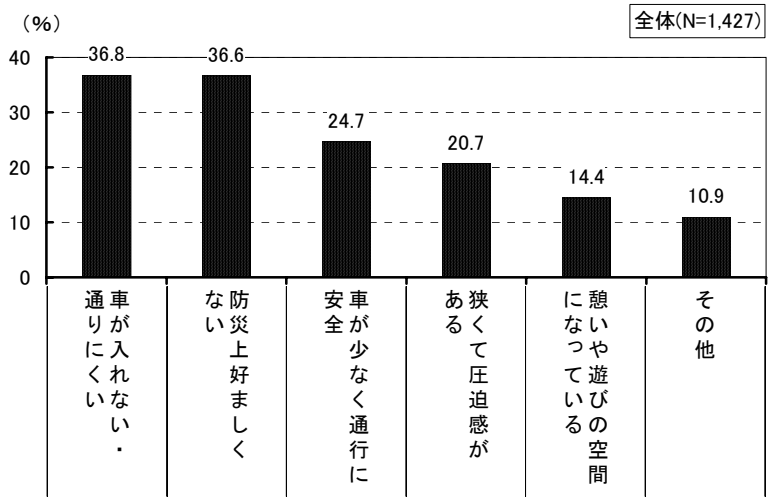


（3）校区の路地・小路に対する考え

3．お住まいの校区に残る古くからの路地・小路についてどう思われますか。3つまで番号に○印を付けてください。

全体では「車が入れない・通りにくい」（36.8%）をあげた人の割合が最も多く、次いで「防災上好ましくない」（36.6%）がほぼ同率となっており、校区に残る古くからの路地・小路について問題視する項目が上位にあがっている。

図　校区の路地・小路に対する考え【全体】



年代別にみると、20 歳代と 30 歳代、70 歳以上では「車が入れない・通りにくい」（20 歳代：44.9%、30 歳代：40.8%、70 歳以上：41.3%）が、40 歳代から 60 歳代では「防災上好ましくない」（40 歳代：46.0%、50 歳代：35.8%、60 歳代：41.1%）の割合がそれぞれ最も多くなっており、路地や小路に対するイメージはいずれの年代もあまり肯定的ではないと言える。なお、60 歳代は「車が少なく通行に安全」（33.5%）が 3 割以上となっており、他の年代に比べて多くなっている。

注：サンプル数の少ない 19 歳以下は分析に含めていない

居住年数別にみると、居住年数が 5 年未満の人と、20 年以上 30 年未満では「車が入れない・通りにくい」（2 年未満：44.7%、2 年以上 5 年未満：37.3%、20 年以上 30 年未満：39.8%）が、5 年以上 20 年未満の人と、30 年以上では「防災上好ましくない」（5 年以上 10 年未満：44.0%、10 年以上 20 年未満：34.5%、30 年以上：48.0%）の割合がそれぞれ最も多くなっており、路地や小路に対するイメージはあまり肯定的ではないといえる。しかし一方で、居住年数 30 年以上では「車が少なく通行に安全」（38.6%）が 4 割近くにのぼっており、他を大きく上回っているのが特徴的である。

校区別にみると、箱崎校区と筥松校区は「車が入れない・通りにくい」（箱崎校区：41.4%、筥松校区：43.4%）が、松島校区と東箱崎校区は「防災上好ましくない」（松島校区：31.5%、東箱崎校区：36.5%）の割合がそれぞれ最も多くなっており、路地や小路に対するイメージはあまり肯定的ではないといえる。しかし、箱崎校区は「車が少なく通行に安全」（33.3%）が 3 割以上と、他の校区を大きく上回っており、路地や小路に対して比較的肯定的なイメージを持っていると言える。

表　校区の路地・小路に対する考え【年代別、居住年数別、校区別】

数値:%

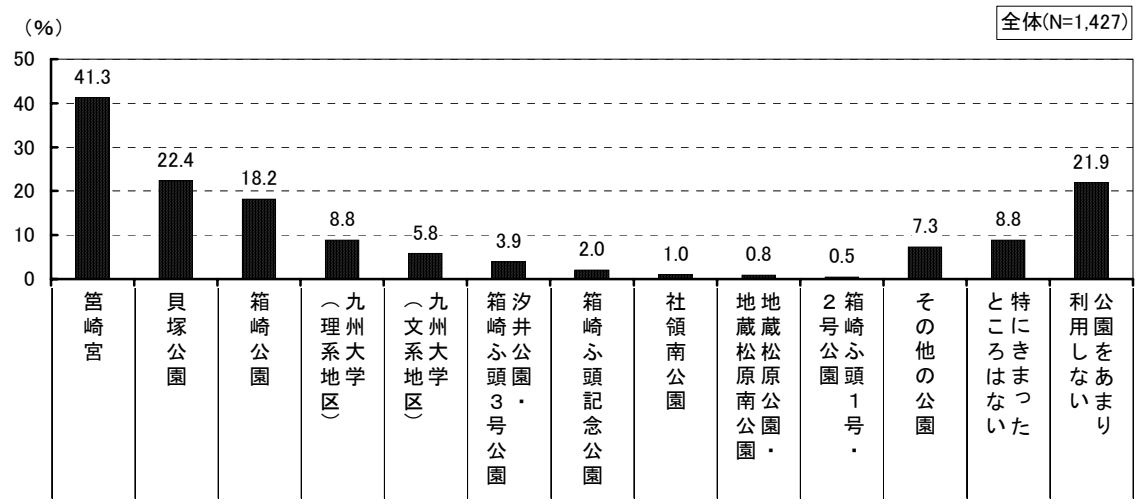
		サンプル数	車が入れない・通りにくい	防災上好ましくない	車が少なく通行に安全	狭くて圧迫感がある	憩いや遊びの空間になっている	その他	無回答
全体		1,427	36.8	36.6	24.7	20.7	14.4	10.9	9.9
年代別	19歳以下	29	37.9	17.2	31.0	20.7	20.7	17.2	－
	20歳代	243	44.9	30.0	21.8	21.4	11.5	14.0	7.4
	30歳代	341	40.8	37.2	23.2	21.4	13.2	13.2	5.6
	40歳代	252	36.1	46.0	19.8	22.6	18.3	9.1	9.1
	50歳代	254	30.3	35.8	28.3	16.9	16.9	7.9	9.4
	60歳代	209	33.5	41.1	33.5	21.5	14.4	10.0	9.6
	70歳以上	63	41.3	34.9	25.4	27.0	12.7	7.9	14.3
居住年数別	2年未満	304	44.7	31.3	25.7	26.0	14.1	11.5	5.6
	2年以上5年未満	279	37.3	36.2	21.5	19.4	14.0	12.9	6.1
	5年以上10年未満	216	31.9	44.0	20.4	20.4	13.4	9.3	9.3
	10年以上20年未満	278	32.4	34.5	27.3	17.6	14.4	12.2	11.2
	20年以上30年未満	186	39.8	38.7	22.6	23.7	15.6	10.2	12.4
	30年以上	127	39.4	48.0	38.6	19.7	18.9	8.7	2.4
校区別	箱崎校区	399	41.4	37.3	33.3	22.1	18.0	9.3	6.0
	松島校区	311	30.9	31.5	20.6	20.3	12.2	13.5	13.8
	筥松校区	339	43.4	40.4	25.4	22.1	12.7	10.9	6.5
	東箱崎校区	378	31.0	36.5	18.3	18.3	14.0	10.3	13.8

（4）よく利用する公園、広場、緑地等

4．あなたがよく利用される公園、広場、緑地等はどれですか。3つまで番号に○印を付けて下さい。

全体では「筥崎宮」（41.3%）をあげた人の割合が最も多く、次いで「貝塚公園」（22.4%）、「箱崎公園」（18.2%）の順となっている。なお、「特にきまったところはない」は8.8%、「公園をあまり利用しない」は21.9%となっている。

図 よく利用する公園、広場、緑地等【全体】



性・年代別にみると、女性の20歳代を除く全ての性・年代で「筥崎宮」が3割から5割強と最も多くなっている。なお、女性の20歳代は「公園をあまり利用しない」（33.1%）が最も多く、他の性・年代を大きく上回っているのが特徴的である。また、「九州大学（理系地区）」の利用が、男性の19歳以下（18.2%）および20歳代（18.4%）と女性の60歳代（15.8%）で、他の年代を上回っている。

注：サンプル数が少ない19歳以下と70歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、箱崎校区と筥松校区は「筥崎宮」（箱崎校区：61.2%、筥松校区：40.1%）が、松島校区は「箱崎公園」（43.2%）が、東箱崎校区は「貝塚公園」（43.9%）の割合が最も多くなっている。

表　よく利用する公園、広場、緑地等【性・年代別、校区別】

数値：%

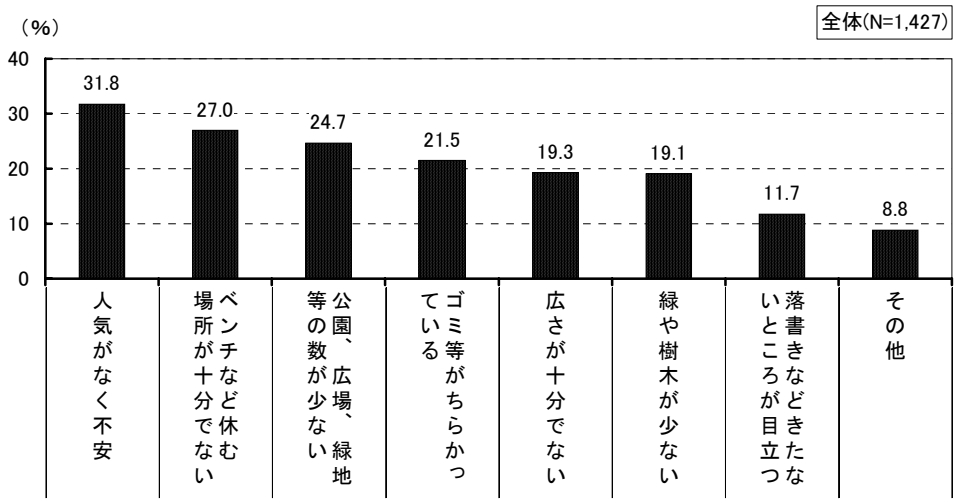
			サンプル数	筥崎宮	貝塚公園	箱崎公園	九州大学（理系地区）	九州大学（文系地区）	汐井公園・箱崎ふ頭3号公園	箱崎ふ頭記念公園	社領南公園	地蔵松原公園・地蔵松原南公園	箱崎ふ頭1号・2号公園	その他の公園	特にきまったところはない	公園をあまり利用しない	無回答
全体			1,427	41.3	22.4	18.2	8.8	5.8	3.9	2.0	1.0	0.8	0.5	7.3	8.8	21.9	2.6
性・年代別	男性	19歳以下	11	45.5	−	27.3	18.2	9.1	−	−	−	−	−	−	−	36.4	−
		20歳代	103	36.9	15.5	11.7	18.4	13.6	3.9	1.0	1.0	−	1.0	5.8	7.8	25.2	−
		30歳代	145	31.7	22.1	29.7	6.9	4.1	2.8	2.1	−	1.4	−	7.6	10.3	23.4	0.7
		40歳代	110	43.6	31.8	26.4	3.6	1.8	3.6	1.8	1.8	−	0.9	4.5	6.4	20.0	−
		50歳代	114	43.9	17.5	16.7	8.8	4.4	5.3	1.8	1.8	2.6	0.9	7.0	7.9	21.1	2.6
		60歳代	101	49.5	31.7	8.9	9.9	7.9	5.9	3.0	4.0	2.0	1.0	7.9	8.9	17.8	−
		70歳以上	45	44.4	26.7	8.9	2.2	6.7	8.9	4.4	2.2	−	−	8.9	20.0	13.3	−
	女性	19歳以下	18	11.1	5.6	11.1	5.6	5.6	−	5.6	−	−	−	−	11.1	55.6	−
		20歳代	139	31.7	10.8	15.8	8.6	7.2	0.7	0.7	0.7	−	−	7.2	9.4	33.1	−
		30歳代	190	45.3	32.6	26.3	7.9	2.1	4.7	3.2	−	0.5	0.5	10.5	3.2	18.4	0.5
		40歳代	134	41.0	29.1	22.4	9.7	6.0	3.7	0.7	1.5	0.7	−	11.9	8.2	22.4	0.7
		50歳代	134	48.5	23.1	14.9	5.2	6.7	4.5	4.5	0.7	0.7	1.5	7.5	12.7	20.9	0.7
		60歳代	101	53.5	12.9	10.9	15.8	7.9	5.0	1.0	−	−	−	5.0	9.9	20.8	1.0
		70歳以上	10	50.0	20.0	10.0	20.0	−	−	−	−	−	−	10.0	30.0	−	−
校区別	箱崎校区		399	61.2	18.8	6.5	13.8	8.0	7.3	2.3	−	0.5	0.3	5.5	7.8	18.5	0.8
	松島校区		311	27.3	15.8	43.1	6.1	2.3	0.6	1.6	−	2.3	0.3	5.1	7.1	21.5	4.5
	筥松校区		339	40.1	8.6	26.3	6.5	4.1	1.5	1.5	4.1	0.6	−	10.3	9.7	27.4	2.4
	東箱崎校区		378	32.8	43.9	2.9	7.7	7.9	5.0	2.6	−	−	1.3	8.2	10.3	20.9	3.2

（5）４校区の公園、広場、緑地等について改善すべき点

５．４校区の公園、広場、緑地等について、改善すべき点は何でしょうか。３つまで番号に○印をつけてください。

全体では「人気が無く不安」（31.8%）をあげた人の割合が最も多く、次いで「ベンチなど休む場所が十分でない」（27.0%）、「公園、広場、緑地等の数が少ない」（24.7%）、「ゴミ等がちらかっている」（21.5%）などの順となっている。

図　4校区の公園、広場、緑地等について改善すべき点【全体】



性・年代別にみると、男性は 20 歳代、30 歳代、50 歳代で「人気がなく不安」（20 歳代：29.1%、30 歳代：31.0%、50 歳代：30.7%）が、40 歳代と 60 歳代で「ベンチなど休む場所が十分でない」（40 歳代：32.7%、60 歳代：41.6%）の割合が、それぞれ最も多くなっている。一方、女性は 20 歳代から 40 歳代までが「人気がなく不安」（20 歳代：43.2%、30 歳代 37.9%、40 歳代：41.0%）が、50 歳代以上は「ベンチなど休む場所が十分でない」（50 歳代：38.8%、60 歳代：35.6%）の割合が、それぞれ最も多くなっている。また、男性の 60 歳代で「広さが十分でない」（31.7%）と「ベンチなど休む場所が十分でない」（41.6%）が、女性の 20 歳代で「人気がなく不安」（43.2%）が、それぞれ全体値を 10 ポイント以上上回っているのが特徴的である。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、箱崎校区では「公園、広場、緑地等の数が少ない」（34.3%）が、松島校区では「ベンチなど休む場所が十分でない」（24.1%）が、筥松校区と東箱崎校区では「人気がなく不安」（筥松校区：37.5%、東箱崎校区：34.1%）の割合が、それぞれ最も多くなっている。これらの 3 項目は、いずれの校区においても 2 割から 3 割以上を示している。また、「ゴミ等がちらかっている」も、すべての校区で 2 割以上と、比較的多い。

表　4校区の公園、広場、緑地等について改善すべき点【性・年代別、校区別】

数値:%

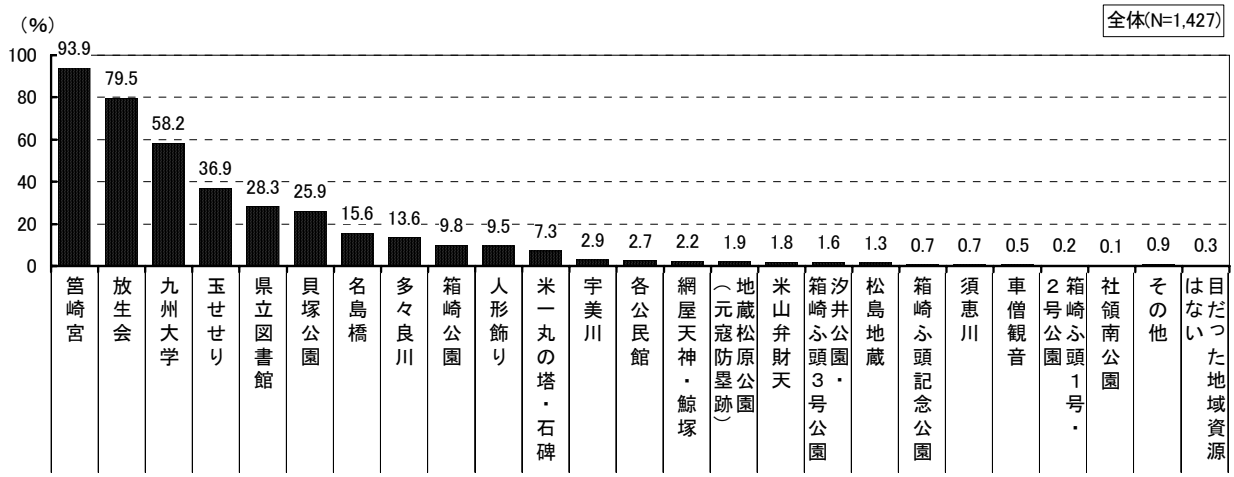
			サンプル数	人気がなく不安	ベンチなど休む場所が十分でない	公園、広場、緑地等の数が少ない	ゴミ等がちらかっている	広さが十分でない	緑や樹木が少ない	落書きなどきたないところが目立つ	その他	無回答
全体			1,427	31.8	27.0	24.7	21.5	19.3	19.1	11.7	8.8	15.4
性・年代別	男性	19歳以下	11	27.3	18.2	27.3	－	18.2	27.3	9.1	－	18.2
		20歳代	103	29.1	21.4	15.5	19.4	24.3	22.3	15.5	5.8	18.4
		30歳代	145	31.0	22.1	24.1	24.1	16.6	16.6	17.9	11.0	14.5
		40歳代	110	19.1	32.7	27.3	23.6	24.5	14.5	11.8	4.5	17.3
		50歳代	114	30.7	24.6	28.9	21.1	24.6	24.6	10.5	4.4	13.2
		60歳代	101	22.8	41.6	28.7	24.8	31.7	25.7	10.9	6.9	11.9
		70歳以上	45	17.8	48.9	37.8	26.7	24.4	20.0	15.6	4.4	11.1
	女性	19歳以下	18	27.8	27.8	5.6	22.2	33.3	16.7	16.7	5.6	5.6
		20歳代	139	43.2	18.7	18.7	19.4	15.1	15.1	7.9	8.6	14.4
		30歳代	190	37.9	20.5	20.5	20.5	11.6	20.0	13.2	16.8	13.7
		40歳代	134	41.0	26.1	26.9	23.1	16.4	19.4	13.4	11.9	9.7
		50歳代	134	36.6	38.8	29.9	21.6	20.9	15.7	10.4	6.0	11.9
		60歳代	101	31.7	35.6	30.7	22.8	16.8	22.8	6.9	5.9	14.9
		70歳以上	10	－	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0	20.0	10.0	30.0
校区別	箱崎校区		399	32.1	26.1	34.3	20.1	24.6	24.1	10.3	5.5	14.3
	松島校区		311	22.5	24.1	20.9	21.9	17.7	16.1	9.0	10.6	17.7
	筥松校区		339	37.5	24.8	22.7	20.6	19.5	21.8	8.6	11.8	15.3
	東箱崎校区		378	34.1	32.5	19.3	23.5	14.8	13.8	18.3	7.9	14.8

（6）４校区を代表する地域資源

５．４校区において、地域を代表するとあなたが思われる地域資源（史跡、施設、イベント、ほか）の名称を、以下の中から５つまで番号に○印をつけてください。

全体では「筥崎宮」（93.9%）をあげた人の割合が最も多く、次いで「放生会」（79.5%）、「九州大学」（58.2%）、「玉せせり」（36.9%）、「県立図書館」（28.3%）、「貝塚公園」（25.9%）などの順となっている。

図 4校区を代表する地域資源【全体】



性・年代別にみると、いずれの性・年代においても「筥崎宮」が 9 割以上と最も多く、次いで「放生会」が 7 割から 9 割、「九州大学」が 5 割から 7 割の順となっている。また、男性の 60 歳代で「名島橋」（26.7%）が全体値を 10 ポイント以上上回っているのが特徴的である。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、いずれの校区も「筥崎宮」がほぼ 9 割で最も多く、次いで「放生会」が 7 割から 8 割、「九州大学」が 5 割から 6 割の順となっている。特に、箱崎校区は、校区に隣接する筥崎宮にまつわる項目の「筥崎宮」「放生会」「玉せせり」が、いずれも４校区の中で最も多く、中でも「玉せせり」は他の校区がいずれも４割に満たないのに対し、50.9%と唯一 5 割を超えており、同校区と筥崎宮との結びつきの強さを印象付けている。他の校区で特徴的なものとしては、東箱崎校区で「貝塚公園」（46.6%）が 5 割程度となっており、他の校区を大きく上回っているのがあげられる。

表　4校区を代表する地域資源【性・年代別、校区別】

数値：%

		サンプル数	筥崎宮	放生会	九州大学	玉せせり	県立図書館	貝塚公園	名島橋	多々良川	箱崎公園	人形飾り	米一丸の塔・石碑	宇美川	各公民館	網屋天神・鯨塚	地蔵松原公園（元寇防塁跡）	米山弁財天	汐井公園・箱崎ふ頭3号公園	松島地蔵
全体		1,427	93.9	79.5	58.2	36.9	28.3	25.9	15.6	13.6	9.8	9.5	7.3	2.9	2.7	2.2	1.9	1.8	1.6	1.3
性・年代別	男性 19歳以下	11	90.9	81.8	72.7	18.2	9.1	9.1	9.1	27.3	18.2	−	−	−	−	−	9.1	−	9.1	−
	男性 20歳代	103	95.1	72.8	63.1	25.2	25.2	17.5	14.6	7.8	7.8	3.9	3.9	1.0	1.0	1.0	1.9	1.9	1.0	1.0
	男性 30歳代	145	95.9	80.0	51.7	24.1	21.4	24.8	12.4	13.1	15.9	4.1	5.5	2.1	2.1	−	2.8	4.1	1.4	2.1
	男性 40歳代	110	99.1	84.5	53.6	41.8	22.7	30.0	18.2	10.9	9.1	14.5	4.5	4.5	−	3.6	−	0.9	−	−
	男性 50歳代	114	94.7	82.5	59.6	47.4	25.4	21.1	17.5	14.0	8.8	7.9	14.9	4.4	1.8	1.8	5.3	0.9	1.8	1.8
	男性 60歳代	101	95.0	78.2	66.3	44.6	33.7	31.7	26.7	22.8	5.9	11.9	8.9	6.9	1.0	4.0	1.0	1.0	3.0	3.0
	男性 70歳以上	45	93.3	75.6	51.1	46.7	24.4	17.8	28.9	26.7	6.7	13.3	11.1	−	6.7	6.7	4.4	6.7	6.7	−
	女性 19歳以下	18	83.3	77.8	66.7	22.2	33.3	11.1	−	16.7	5.6	5.6	11.1	−	−	−	−	−	−	−
	女性 20歳代	139	96.4	78.4	61.9	23.0	28.8	22.3	6.5	12.2	10.8	5.0	2.9	−	2.2	−	1.4	−	0.7	−
	女性 30歳代	190	97.4	87.9	61.6	34.2	33.2	25.3	11.1	10.5	11.1	12.1	6.3	1.6	2.1	2.1	2.1	1.1	0.5	0.5
	女性 40歳代	134	96.3	83.6	59.0	34.3	28.4	38.8	17.2	19.4	10.4	9.0	8.2	4.5	4.5	2.2	0.7	−	3.0	3.0
	女性 50歳代	134	94.0	83.6	61.2	53.7	30.6	35.1	23.1	16.4	7.5	11.2	6.0	6.0	5.2	2.2	2.2	0.7	0.7	0.7
	女性 60歳代	101	94.1	84.2	62.4	52.5	39.6	23.8	15.8	5.9	10.9	18.8	15.8	4.0	7.9	5.9	1.0	4.0	2.0	2.0
	女性 70歳以上	10	100.0	60.0	30.0	60.0	40.0	30.0	10.0	−	−	30.0	10.0	−	−	10.0	−	30.0	10.0	−
校区別	箱崎校区	399	96.2	83.2	60.9	50.9	38.1	19.8	9.5	5.5	2.3	21.3	5.0	0.8	2.8	7.3	1.0	2.8	3.0	0.3
	松島校区	311	89.7	75.2	55.9	32.8	23.5	20.9	13.2	20.3	25.7	1.6	14.1	3.5	2.3	0.3	3.2	1.9	1.3	4.2
	筥松校区	339	95.6	80.5	57.2	38.9	26.8	14.7	8.8	8.8	13.3	11.5	8.0	7.1	2.7	0.6	2.4	2.4	0.9	0.9
	東箱崎校区	378	93.4	78.0	58.2	23.8	23.3	46.6	30.2	20.9	1.6	1.6	3.4	1.1	3.2	−	1.3	−	1.1	0.3

		サンプル数	箱崎ふ頭記念公園	須恵川	車僧観音	箱崎ふ頭1号・2号公園	社領南公園	その他	目だった地域資源はない	無回答
全体		1,427	0.7	0.7	0.5	0.2	0.1	0.9	0.3	2.6
性・年代別	男性 19歳以下	11	9.1	9.1	−	−	−	−	−	−
	男性 20歳代	103	2.9	1.9	1.0	−	−	1.0	1.0	−
	男性 30歳代	145	0.7	−	0.7	0.7	−	0.7	0.7	−
	男性 40歳代	110	−	−	−	0.9	−	−	−	0.9
	男性 50歳代	114	−	1.8	−	−	−	0.9	−	1.8
	男性 60歳代	101	1.0	1.0	1.0	−	−	−	−	−
	男性 70歳以上	45	2.2	−	2.2	−	−	2.2	−	2.2
	女性 19歳以下	18	−	−	−	−	−	−	−	−
	女性 20歳代	139	−	−	−	−	−	1.4	1.4	−
	女性 30歳代	190	0.5	−	−	−	−	2.1	−	−
	女性 40歳代	134	−	−	0.7	−	−	−	−	0.7
	女性 50歳代	134	1.5	1.5	0.7	0.7	0.7	−	−	0.7
	女性 60歳代	101	−	2.0	1.0	−	−	1.0	−	3.0
	女性 70歳以上	10	−	−	−	−	−	10.0	−	−
校区別	箱崎校区	399	0.8	0.3	1.3	0.3	−	1.3	−	1.0
	松島校区	311	−	1.3	0.3	−	−	1.0	0.6	4.5
	筥松校区	339	0.3	0.9	0.3	0.3	0.3	0.6	0.3	2.1
	東箱崎校区	378	1.6	0.5	−	0.3	−	0.8	0.3	3.2

２．生活の利便性について

（１）居住する校区の利便性

１．あなたやご家族にとって、今お住まいの校区は便利だと思いますか。

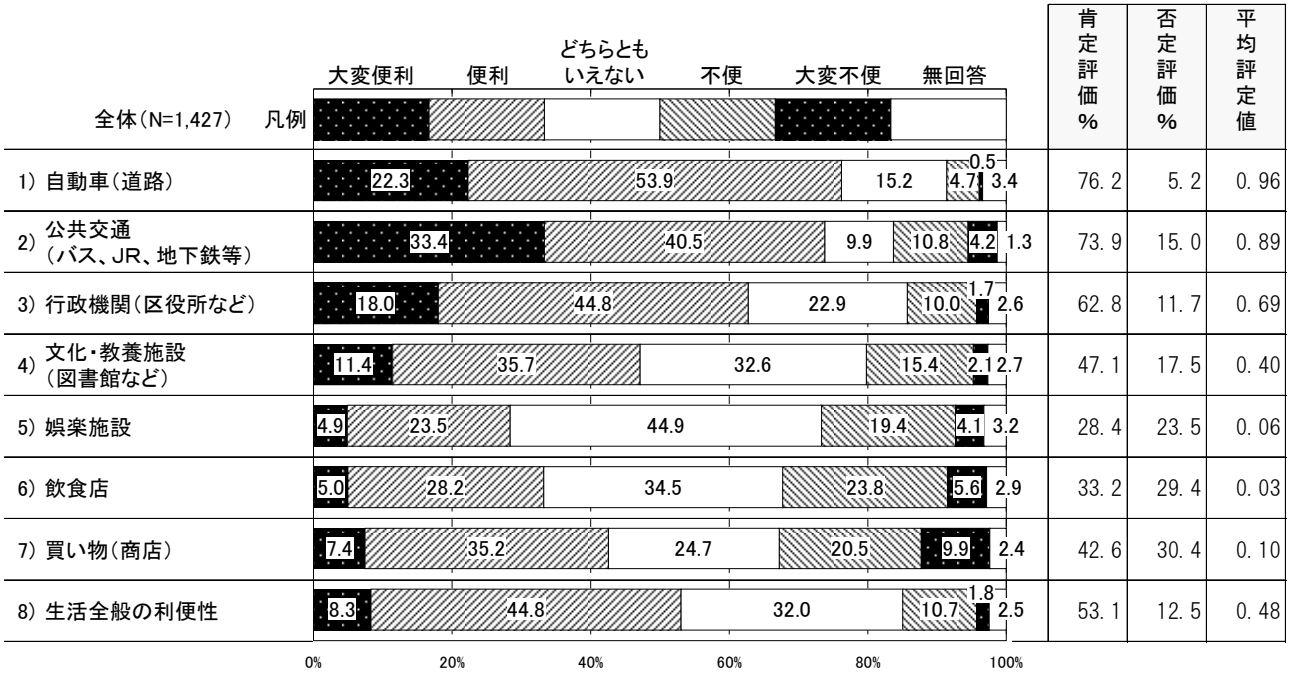
居住する校区の印象について８つの項目別にきいたところ、全体で『肯定評価』の割合が最も多いのは「自動車（道路）」（76.2%）、次いで「公共交通（バス，JR，地下鉄等）」（73.9%）、「行政機関（区役所など）」（62.8%）の順となっている。

平均評定値をみると、最も値が高いのは「自動車（道路）」（0.96）、次いで「公共交通（バス，JR，地下鉄等）」（0.89）、「行政機関（区役所など）」（0.69）の順となっており、これらの項目は肯定的な評価が高いと言える。

注）
肯定評価：「大変便利」と「便利」の合計
否定評価：「大変不便」と「不便」の合計

※平均評定値について
イメージ等、通常は数値的に評価できないものを定量的に評価するため、「大変便利」：+２点、「便利」：+１点、「どちらともいえない」：０点、「不便」：−１点、「大変不便」：−２点と回答を得点化し、この平均を求めたもの。

図　居住する校区の利便性【全体】



性・年代別にみると、『肯定評価』は、男性の 20 歳代、30 歳代、50 歳代と女性の 50 歳代以外は「自動車（道路）」（男性 20 歳代：76.7%、30 歳代：75.2%、50 歳代：79.8%）（女性 20 歳代：71.9%、30 歳代：75.3%、40 歳代：83.6%、60 歳代：78.2%）が、男性の 40 歳代と 60 歳代、女性の 50 歳代では「公共交通（バス、JR、地下鉄等）」（男性 40 歳代：80.9%、60 歳代：81.2%）（女性 50 歳代：82.1%）の割合がそれぞれ最も多くなっている。また、「公共交通（バス、JR、地下鉄等）」では、男性の 30 歳代（61.4%）が、「行政機関（区役所など）」では男性の 30 歳代（52.4%）と 40 歳代（52.7%）が、「娯楽施設」では男性の 60 歳代（16.8%）と女性の 60 歳代（14.9%）が、「飲食店」では男性の 60 歳代（20.8%）がそれぞれ全体値を 10 ポイント以上下回っており、肯定的な評価が比較的低いと言える。一方で「娯楽施設」は男女とも 20 歳代（男性：41.7%、女性：39.6%）が、全体値を 10 ポイント以上上回っており、年齢によって差がみられる。

平均評定値をみると、「娯楽施設」で男性の 30 歳代（－0.01）、60 歳代（－0.10）と女性の 60 歳代（－0.12）が、「飲食店」で男性の 30 歳代（－0.10）と 40 歳代（－0.07）、60 歳代（－0.14）が、「買い物」で男性の 40 歳代および 50 歳代（いずれも－0.04）と 60 歳代（－0.02）、女性の 40 歳代（－0.16）が、それぞれマイナスの評価となっている。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、『肯定評価』は、箱崎校区と東箱崎校区は「公共交通（バス、JR、地下鉄等）」（箱崎校区：95.7%、東箱崎校区：92.9%）が 9 割以上と最も多く、他の 2 校区（松島校区：43.7%、筥松校区：54.6%）を大きく上回っている。「自動車（道路）」は、いずれの校区も 7 割から 8 割と多くなっている。なお、生活全般の利便性は箱崎校区（77.9%）が群を抜いて多く、「自動車（道路）」以外のすべての項目でも、最も割合が多くなっている。

平均評定値をみると、松島校区では「文化・教養施設（図書館など）」（－0.10）と「娯楽施設」（－0.29）、「飲食店」（－0.22）が、筥松校区では「娯楽施設」（－0.08）が、東箱崎校区では「飲食店」（－0.13）と「買い物（商店）」（－0.58）が、それぞれマイナスの評価となっている。

表　居住する校区の利便性【性・年代別、校区別】

数値：%

			サンプル数	1)自動車（道路）			2)公共交通（バス、JR、地下鉄等）			3)行政機関（区役所など）			4)文化・教養施設（図書館など）		
				【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】
全体			1,427	76.2	5.2	0.96	73.9	15.0	0.89	62.8	11.7	0.69	47.1	17.5	0.40
性・年代別	男性	19歳以下	11	63.6	9.1	0.64	81.8	−	1.18	63.6	−	0.73	18.2	18.2	0.09
		20歳代	103	76.7	2.9	0.92	71.8	18.4	0.74	61.2	13.6	0.65	51.5	13.6	0.51
		30歳代	145	75.2	9.0	0.89	61.4	24.8	0.55	52.4	15.2	0.46	40.7	21.4	0.24
		40歳代	110	77.3	7.3	0.95	80.9	10.0	1.05	52.7	11.8	0.62	37.3	16.4	0.31
		50歳代	114	79.8	5.3	1.00	73.7	10.5	0.96	64.0	8.8	0.75	45.6	21.1	0.34
		60歳代	101	78.2	2.0	1.06	81.2	8.9	1.05	71.3	5.9	0.80	43.6	15.8	0.33
		70歳以上	45	64.4	2.2	0.94	77.8	11.1	1.05	53.3	8.9	0.67	33.3	11.1	0.29
	女性	19歳以下	18	66.7	−	1.11	66.7	27.8	0.72	66.7	−	0.89	61.1	11.1	0.72
		20歳代	139	71.9	9.4	0.80	69.1	20.1	0.78	66.2	14.4	0.70	52.5	18.7	0.44
		30歳代	190	75.3	4.7	0.96	74.7	16.8	0.93	66.8	10.5	0.75	54.7	16.8	0.53
		40歳代	134	83.6	3.0	1.08	74.6	14.2	0.96	64.9	9.0	0.77	44.8	17.9	0.37
		50歳代	134	78.4	3.7	1.04	82.1	9.0	1.07	69.4	8.2	0.83	51.5	15.7	0.47
		60歳代	101	78.2	4.0	1.03	75.2	12.9	0.91	61.4	18.8	0.64	53.5	16.8	0.52
		70歳以上	10	60.0	10.0	1.00	70.0	−	1.43	40.0	20.0	0.43	50.0	20.0	0.57
校区別	箱崎校区		399	76.4	4.8	1.03	95.7	0.3	1.56	88.0	1.0	1.34	76.2	4.0	1.03
	松島校区		311	72.0	6.1	0.82	43.7	40.2	0.03	34.4	25.7	0.07	24.1	32.2	−0.10
	筥松校区		339	70.5	7.1	0.81	54.6	23.6	0.41	47.2	19.8	0.33	44.5	19.8	0.28
	東箱崎校区		378	84.4	3.2	1.14	92.9	2.1	1.31	73.8	4.0	0.85	37.8	17.7	0.25

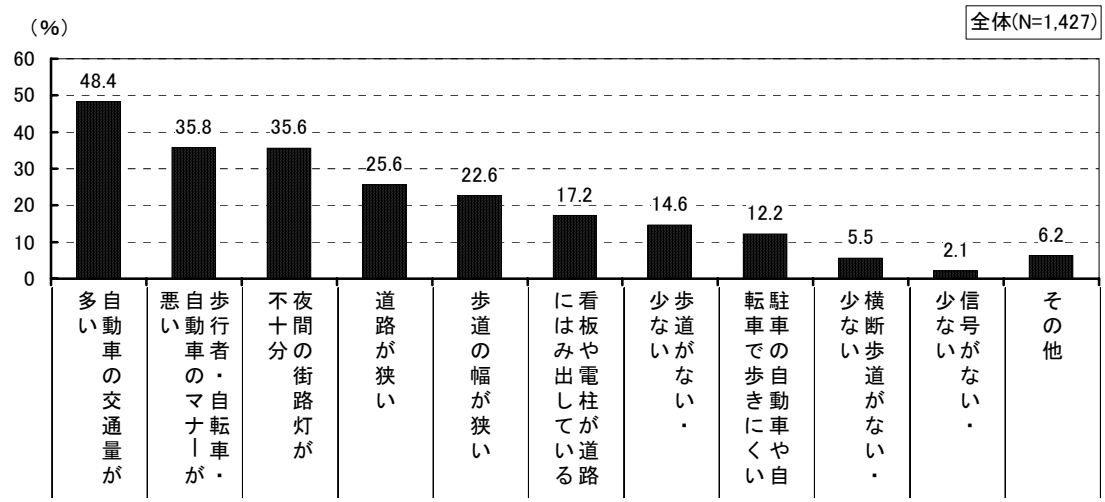
			サンプル数	5)娯楽施設			6)飲食店			7)買い物（商店）			8)生活全般の利便性		
				【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】
全体			1,427	28.4	23.5	0.06	33.2	29.4	0.03	42.6	30.4	0.10	53.1	12.5	0.48
性・年代別	男性	19歳以下	11	54.5	18.2	0.55	63.6	18.2	0.73	63.6	18.2	0.82	72.7	−	1.09
		20歳代	103	41.7	18.4	0.25	39.8	26.2	0.16	46.6	25.2	0.23	63.1	10.7	0.63
		30歳代	145	26.9	25.5	−0.01	31.7	35.9	−0.10	41.4	31.0	0.06	52.4	11.7	0.46
		40歳代	110	25.5	28.2	0.00	26.4	32.7	−0.07	34.5	30.9	−0.04	49.1	10.9	0.44
		50歳代	114	21.1	19.3	0.02	31.6	25.4	0.01	36.0	32.5	−0.04	53.5	9.6	0.50
		60歳代	101	16.8	25.7	−0.10	20.8	30.7	−0.14	37.6	33.7	−0.02	50.5	11.9	0.41
		70歳以上	45	11.1	28.9	−0.29	26.7	26.7	−0.03	42.2	20.0	0.30	40.0	20.0	0.23
	女性	19歳以下	18	27.8	27.8	0.06	61.1	27.8	0.56	55.6	5.6	0.67	66.7	−	0.89
		20歳代	139	39.6	24.5	0.18	41.7	29.5	0.14	46.8	25.9	0.24	56.1	12.9	0.55
		30歳代	190	35.8	20.5	0.18	37.9	31.1	0.07	43.7	31.6	0.12	55.8	12.1	0.52
		40歳代	134	32.1	20.9	0.16	35.8	32.8	0.04	41.8	41.0	−0.16	51.5	15.7	0.38
		50歳代	134	30.6	22.4	0.06	31.3	21.6	0.08	44.8	34.3	0.07	50.0	16.4	0.39
		60歳代	101	14.9	25.7	−0.12	26.7	25.7	0.01	47.5	19.8	0.34	48.5	11.9	0.45
		70歳以上	10	20.0	20.0	0.14	30.0	10.0	0.50	30.0	20.0	0.29	40.0	10.0	0.67
校区別	箱崎校区		399	39.8	11.3	0.39	49.6	15.5	0.42	63.7	12.0	0.66	77.9	2.5	0.98
	松島校区		311	15.8	37.6	−0.29	23.8	38.6	−0.22	39.9	30.2	0.06	37.3	17.7	0.20
	筥松校区		339	23.9	28.9	−0.08	29.2	28.3	0.00	44.5	23.0	0.25	47.2	13.6	0.39
	東箱崎校区		378	31.0	19.8	0.13	27.0	37.3	−0.13	20.6	56.3	−0.58	45.0	18.0	0.28

（2）居住する校区の道路に対する考え

2．あなたやご家族にとって、今お住まいの校区の道路をどう思われますか。3つまで番号に○印を付けて下さい。

全体では「自動車の交通量が多い」（48.4%）をあげた人の割合が最も多く、次いで「歩行者・自転車・自動車のマナーが悪い」（35.8%）、「夜間の街路灯が不十分」（35.6%）、「道路が狭い」（25.6%）、「歩道の幅が狭い」（22.6%）などの順となっている。

図 居住する校区の道路に対する考え【全体】



性・年代別にみると、いずれの性・年代においても「自動車の交通量が多い」が 3 割から 5 割強と、最も多い。また、男性の 40 歳代で「駐車の自動車や自転車で歩きにくい」（22.7%）が、男性の 50 歳代で「看板や電柱が道路にはみ出している」（28.1%）が、それぞれ全体値を 10 ポイント以上上回っている。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、「自動車の交通量が多い」の割合が箱崎校区（42.6%）、筥松校区（40.7%）、東箱崎校区（66.9%）で最も多く、松島校区は「夜間の街路灯が不十分」（42.8%）が最も多くなっている。これらの 2 項目はいずれの校区でも 3 割以上と割合が多い。なお、東箱崎校区では「道路が狭い」（7.4%）、「看板や電柱が道路にはみ出している」（7.7%）、「歩道がない・少ない」（5.6%）がいずれも 1 割以下と、他の校区を大きく下回っている一方、「歩行者・自転車・自動車のマナーが悪い」（46.6%）は他の校区を大きく上回っているのが特徴的である。

表　居住する校区の道路に対する考え【性・年代別、校区別】

数値：%

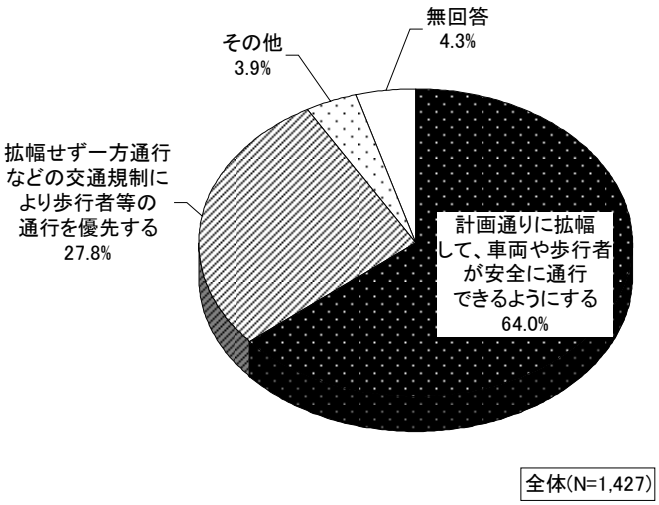
			サンプル数	自動車の交通量が多い	歩行者・自転車・自動車のマナーが悪い	夜間の街路灯が不十分	道路が狭い	歩道の幅が狭い	看板や電柱が道路にはみ出している	歩道がない・少ない	駐車の自動車や自転車で歩きにくい	横断歩道がない・少ない	信号がない・少ない	その他	無回答
全体			1,427	48.4	35.8	35.6	25.6	22.6	17.2	14.6	12.2	5.5	2.1	6.2	2.9
性・年代別	男性	19歳以下	11	9.1	36.4	45.5	18.2	36.4	18.2	9.1	9.1	−	−	−	−
		20歳代	103	38.8	35.9	29.1	22.3	24.3	16.5	9.7	6.8	5.8	2.9	4.9	5.8
		30歳代	145	56.6	29.0	37.2	31.0	24.1	16.6	15.9	11.0	4.8	1.4	8.3	0.7
		40歳代	110	46.4	46.4	36.4	22.7	22.7	19.1	16.4	22.7	−	0.9	2.7	3.6
		50歳代	114	44.7	38.6	34.2	25.4	18.4	28.1	14.9	15.8	3.5	1.8	−	5.3
		60歳代	101	49.5	45.5	40.6	27.7	18.8	23.8	12.9	11.9	6.9	1.0	6.9	3.0
		70歳以上	45	62.2	35.6	22.2	37.8	31.1	24.4	20.0	11.1	8.9	4.4	2.2	4.4
	女性	19歳以下	18	11.1	22.2	38.9	38.9	27.8	16.7	11.1	5.6	−	−	11.1	5.6
		20歳代	139	38.1	21.6	37.4	25.2	23.0	11.5	15.8	12.2	7.9	3.6	7.2	1.4
		30歳代	190	55.3	30.0	40.0	22.1	20.0	10.0	16.3	9.5	6.3	2.6	11.1	0.5
		40歳代	134	52.2	44.8	43.3	16.4	26.9	11.2	14.2	14.2	3.0	0.7	6.7	0.7
		50歳代	134	55.2	41.8	20.9	32.8	20.9	19.4	11.9	13.4	5.2	1.5	3.0	3.7
		60歳代	101	51.5	35.6	34.7	27.7	23.8	21.8	14.9	8.9	8.9	5.0	5.9	5.9
		70歳以上	10	60.0	40.0	10.0	10.0	−	20.0	10.0	10.0	−	−	−	−
校区別	箱崎校区		399	42.6	38.6	33.6	34.8	22.6	24.1	16.3	16.8	3.0	1.3	6.3	2.8
	松島校区		311	41.8	28.3	42.8	27.3	28.0	19.3	19.3	9.3	8.4	3.2	6.4	2.6
	筥松校区		339	40.7	27.4	36.6	33.6	25.4	17.7	18.3	9.4	6.2	3.2	6.2	4.1
	東箱崎校区		378	66.9	46.6	31.0	7.4	15.6	7.7	5.6	12.2	5.3	1.1	5.8	2.1

（3）将来の大学通り（箱崎本通り）についての考え

3．車や歩行者の往来が激しい大学通り（箱崎本通り）については、2車線の道路幅員を持つ都市計画道路への拡幅が計画されています。あなたは、将来の大学通りについてどう思われますか。

全体では、「計画通りに拡幅して、車両や歩行者が安全に通行できるようにする」と答えた人が64.0%、「拡幅せず、一方通行などの交通規制により歩行者等の通行を優先する」と答えた人は27.8%となっている。

図　将来の大学通り（箱崎本通り）についての考え【全体】

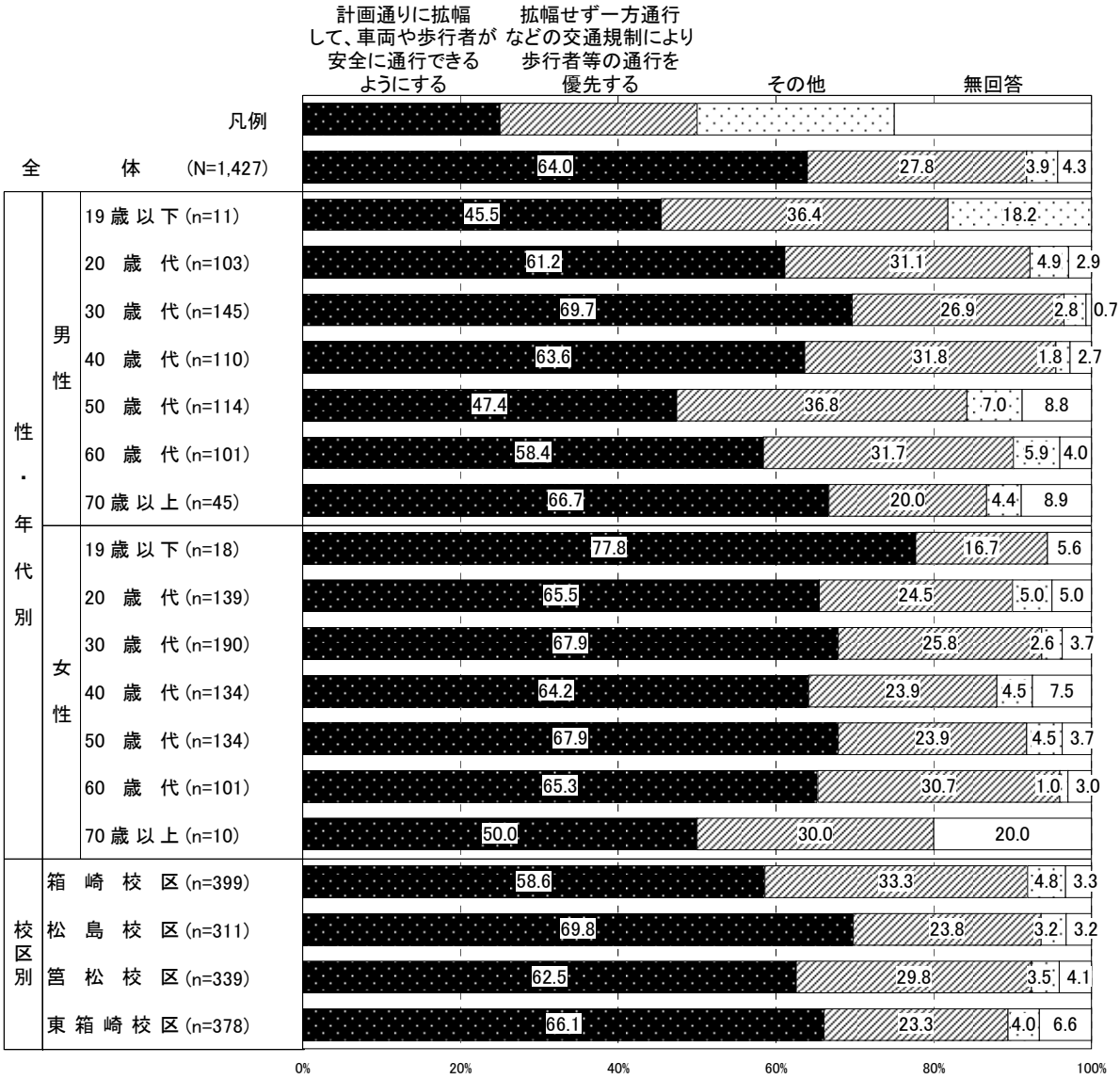


性・年代別にみると、いずれの性・年代も「計画通りに拡幅して、車両や歩行者が安全に通行できるようにする」と答えた人の方が多くなっている。なお、男性の50歳代で「計画通りに拡幅して、車両や歩行者が安全に通行できるようにする」（47.4%）と答えた人が、他の性・年代を大きく下回っているのが特徴的である。

注：サンプル数が少ない19歳以下と70歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、いずれの校区も「計画通りに拡幅して、車両や歩行者が安全に通行できるようにする」と答えた人の方が多くなっている。最も割合が多いのは松島校区（69.8%）、次いで東箱崎校区（66.1%）、筥松校区（62.5%）、箱崎校区（58.6%）の順となっており、拡幅を支持する割合は大学通りが位置する箱崎校区でやや低くなっている。

図　将来の大学通り（箱崎本通り）についての考え【性・年代別、校区別】

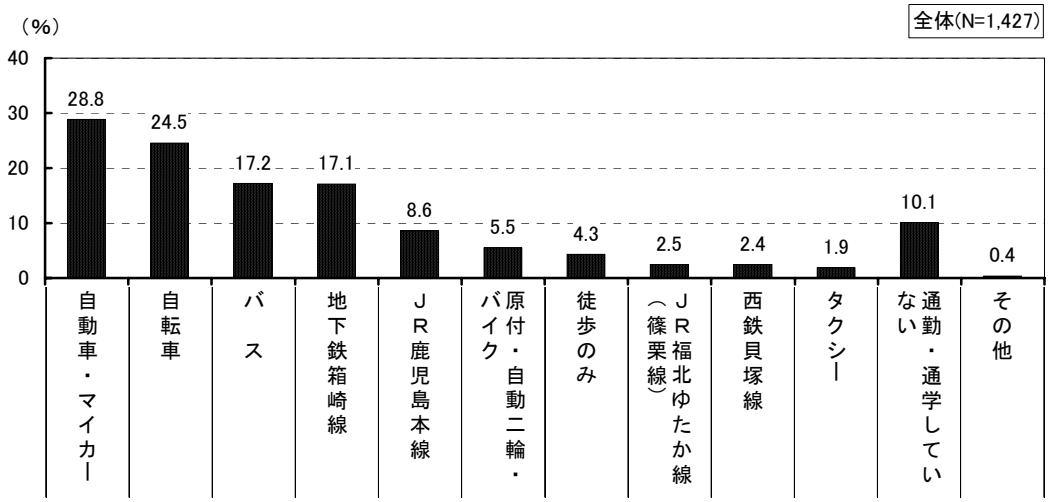


（４）通勤・通学で利用している交通手段

４．通勤・通学の際に、どの交通手段を利用していますか。もっとも利用頻度の高いものをお答え下さい。乗換等で複数の交通手段を組み合わせて利用している場合は、すべての番号に○を付けてください。

全体では「自動車・マイカー」(28.8%)をあげた人の割合が最も多く、次いで「自転車」(24.5%)、「バス」（17.2%）、「地下鉄箱崎線」（17.1%）の順となっている。

図　通勤・通学で利用している交通手段【全体】



職業別にみると、会社員・公務員と自営業は「自動車・マイカー」（会社員・公務員：42.0%、自営業：44.5%）が、学生と主婦は「自転車」（学生：62.4%、主婦：21.8%）が、それぞれ最も多くなっている。公共交通機関の利用は、会社員・公務員と学生では「地下鉄箱崎線」（会社員・公務員：20.8%、学生：19.4%）が、自営業と主婦では「バス」（自営業：13.6%、主婦：18.2%）が、それぞれ最も多くなっている。

校区別にみると、箱崎校区は「自転車」と「地下鉄箱崎線」（いずれも 23.8%）が、他の校区は「自動車・マイカー」（松島校区：37.9%、筥松校区：31.0%、東箱崎校区 29.1%）の割合が最も多くなっている。これらの 2 項目はいずれも 2 割程度から 4 割弱と比較的利用率が高い。また、地下鉄箱崎線の利用が箱崎校区（23.8%）と東箱崎校区（26.2%）で 2 割以上となっている。

表　通勤・通学で利用している交通手段【職業別、校区別】

数値:%

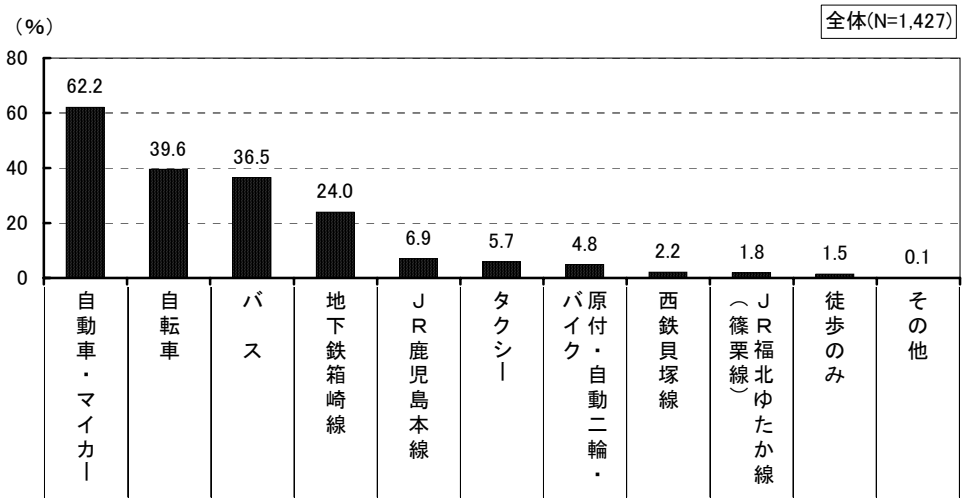
		サンプル数	自動車・マイカー	自転車	バス	地下鉄箱崎線	ＪＲ鹿児島本線	原付・自動二輪・バイク	徒歩のみ	ＪＲ福北ゆたか線（篠栗線）	西鉄貝塚線	タクシー	通勤・通学していない	その他	無回答
全体		1,427	28.8	24.5	17.2	17.1	8.6	5.5	4.3	2.5	2.4	1.9	10.1	0.4	12.8
職業別	会社員・公務員	612	42.0	23.9	18.6	20.8	10.6	7.7	4.9	2.6	2.0	1.6	0.7	1.0	1.0
	自営業	110	44.5	22.7	13.6	10.9	9.1	4.5	4.5	2.7	2.7	2.7	17.3	－	10.9
	学生	93	6.5	62.4	15.1	19.4	16.1	11.8	2.2	3.2	7.5	1.1	－	－	2.2
	主婦	285	14.0	21.8	18.2	16.1	3.5	2.1	3.9	1.8	2.1	2.1	28.8	－	18.6
	無職	138	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	22.5	－	77.5
	その他	150	29.3	32.7	24.0	25.3	12.7	6.0	5.3	5.3	3.3	4.0	2.7	－	0.7
校区別	箱崎校区	399	19.5	23.8	17.0	23.8	8.5	6.0	5.3	－	1.0	1.3	11.8	0.5	16.3
	松島校区	311	37.9	28.3	13.5	8.7	7.4	8.0	5.1	7.7	1.0	2.9	5.1	0.3	10.6
	筥松校区	339	31.0	24.8	12.1	6.8	15.9	6.5	4.4	3.2	0.6	2.4	12.1	0.3	11.2
	東箱崎校区	378	29.1	22.0	24.9	26.2	3.2	2.1	2.4	0.3	6.6	1.3	10.6	0.5	12.2

（５）買い物や通院などで利用している交通手段

５．買い物や通院などの際に、どの交通手段を利用していますか。３つまで番号に○を付けて下さい。

全体では「自動車・マイカー」（62.2%）をあげた人の割合が最も多く、次いで「自転車」（39.6%）、「バス」（36.5%）、「地下鉄箱崎線」（24.0%）などの順となっている。

図　買い物や通院などで利用している交通手段【全体】



性・年代別にみると、女性の 60 歳代を除く全ての性・年代で「自動車・マイカー」が 5 割から 8 割弱と、最も多くなっている。特に男性の 30 歳代から 50 歳代は、いずれも 10 ポイント以上全体値を上回っており（30 歳代：76.6%、40 歳代：75.5%、50 歳代：72.8%）、利用率が高いといえる。一方女性の 60 歳代は「バス」（55.4%）の利用率が最も高く、「自動車・マイカー」の利用は 41.6%と、他の性・年代を下回っている。また、男性の 20 歳代では「自転車」（51.5%）と「原付・自動二輪・バイク」（18.4%）が、女性の 50 歳代と 60 歳代では「バス」（50 歳代：51.5%、60 歳代：55.4%）が、それぞれ全体値を 10 ポイント以上上回っており、利用率が高いと言える。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、いずれの校区も「自動車・マイカー」の利用率が最も多いが、箱崎校区（48.6%）では他の校区（6～7 割程度）を大きく下回っている。東箱崎校区以外の校区では、「自動車・マイカー」に続いて「自転車」の利用が多く、特に箱崎校区では 47.1%と「自動車・マイカー」にほぼ拮抗している。また、箱崎校区では、バス、地下鉄といった公共交通の利用も多く、「地下鉄箱崎線」（40.9%）の利用は他の校区を大きく上回っている。一方、東箱崎校区では、「自動車・マイカー」に次いで「バス」が 51.9%と多く、他の校区を大きく上回っているのが特徴的である。

表　買い物や通院などで利用している交通手段【性・年代別、校区別】

数値：%

			サンプル数	自動車・マイカー	自転車	バス	地下鉄箱崎線	ＪＲ鹿児島本線	タクシー	原付・自動二輪・バイク	西鉄貝塚線	ＪＲ福北ゆたか線（篠栗線）	徒歩のみ	その他	無回答
全体			1,427	62.2	39.6	36.5	24.0	6.9	5.7	4.8	2.2	1.8	1.5	0.1	1.0
性・年代別	男性	19歳以下	11	18.2	81.8	36.4	18.2	－	－	9.1	－	－	－	－	－
		20歳代	103	53.4	51.5	23.3	26.2	11.7	3.9	18.4	1.0	1.0	1.0	－	－
		30歳代	145	76.6	31.7	17.9	19.3	4.8	4.1	9.0	3.4	2.1	－	0.7	－
		40歳代	110	75.5	40.0	20.0	13.6	7.3	8.2	7.3	1.8	2.7	3.6	－	0.9
		50歳代	114	72.8	32.5	32.5	21.1	6.1	3.5	3.5	2.6	1.8	0.9	－	4.4
		60歳代	101	70.3	27.7	43.6	26.7	5.0	6.9	4.0	1.0	－	－	－	－
		70歳以上	45	44.4	53.3	53.3	40.0	－	4.4	－	8.9	－	－	－	2.2
	女性	19歳以下	18	38.9	72.2	27.8	22.2	22.2	5.6	－	－	5.6	5.6	－	－
		20歳代	139	53.2	42.4	36.0	31.7	7.9	4.3	2.2	2.9	2.2	0.7	－	0.7
		30歳代	190	70.5	36.3	33.7	25.3	6.3	3.7	2.1	1.6	0.5	1.6	－	－
		40歳代	134	63.4	41.8	41.0	23.1	8.2	3.7	0.7	－	1.5	－	－	－
		50歳代	134	57.5	41.8	51.5	26.9	5.2	10.4	2.2	3.0	2.2	2.2	－	－
		60歳代	101	41.6	34.7	55.4	23.8	10.9	13.9	4.0	2.0	3.0	5.9	－	4.0
		70歳以上	10	20.0	40.0	80.0	30.0	－	10.0	－	10.0	－	－	－	－
校区別	箱崎校区		399	48.6	47.1	37.3	40.9	8.0	6.0	5.5	0.8	－	2.8	0.3	0.5
	松島校区		311	70.1	39.5	25.1	13.8	4.2	6.4	5.8	3.5	6.8	0.6	－	1.6
	筥松校区		339	65.5	38.1	28.9	9.4	15.3	7.1	6.5	0.6	1.2	1.8	－	0.9
	東箱崎校区		378	66.9	33.1	51.9	27.5	0.3	3.7	1.9	4.0	－	0.5	－	1.1

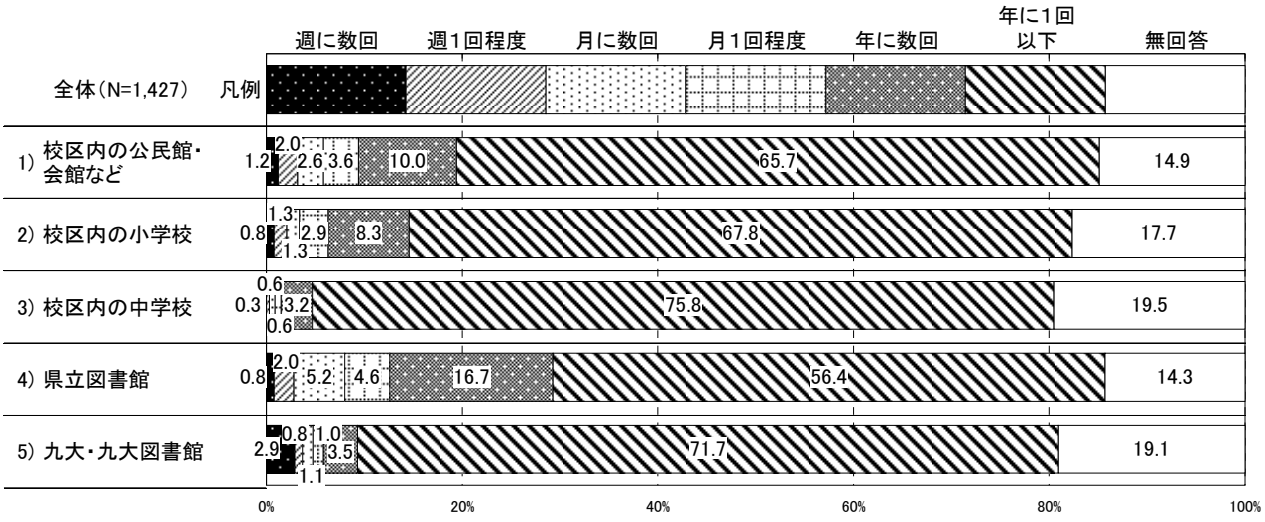
（６）校区内の公共施設の利用状況

６．あなたは地域活動や生涯学習などの際に、各公共施設をどの程度利用していますか。

地域活動や生涯学習などの際の各公共施設の利用状況についてきいたところ、いずれも「年に１回以下」の割合が最も多くなっている。

月１回以上利用している人（＝「週に数回」から「月１回程度」までの合計）をみると、①校区内の公民館・会館などは 9.4%、②校区内の小学校は 6.3%、③校区内の中学校は 1.5%、④県立図書館は 12.6%、⑤九大・九大図書館は 5.8%となっている。

図　校区内の公共施設の利用状況【全体】



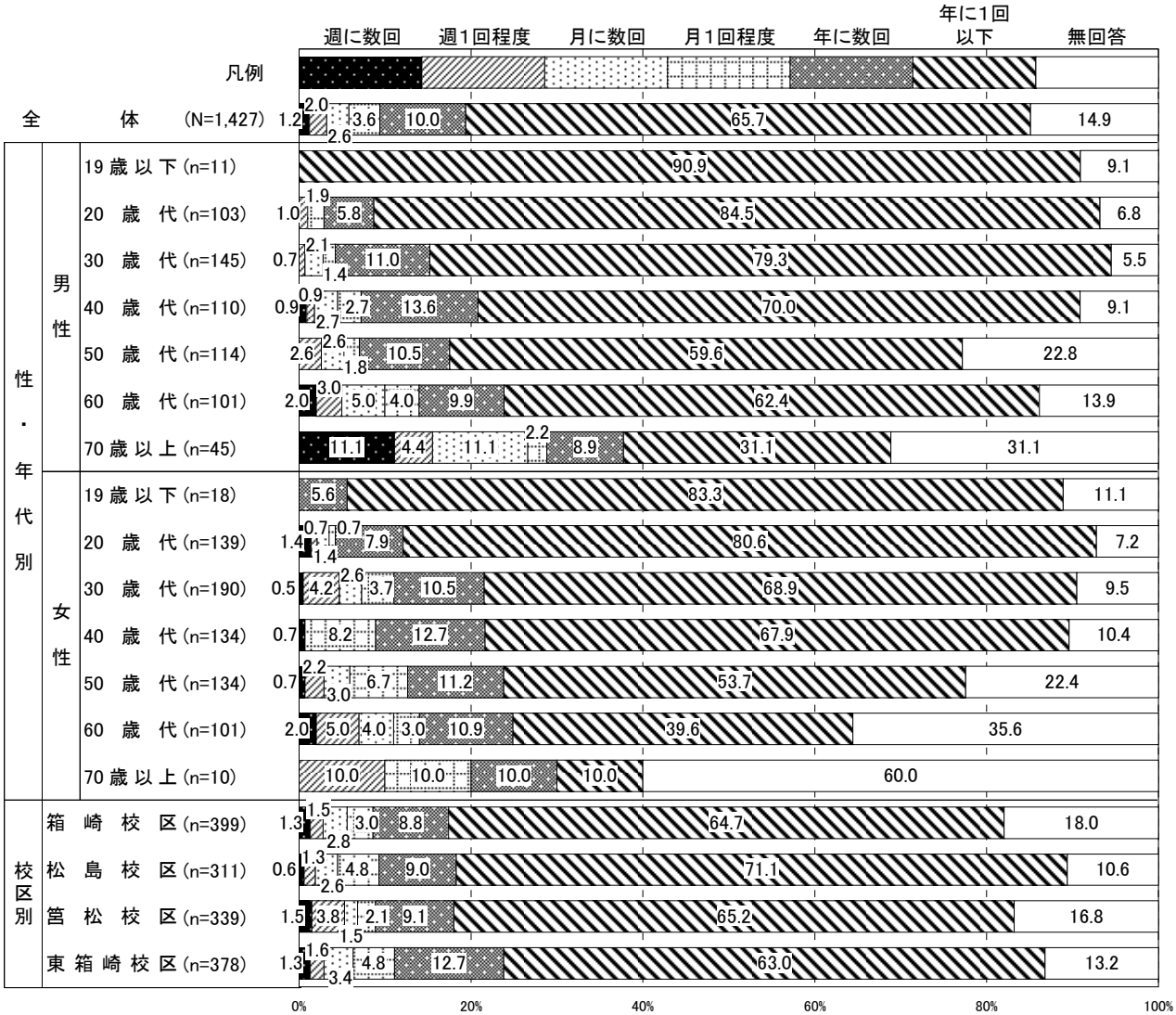
①校区内の公民館・会館など

性・年代別にみると、いずれの性・年代においても「年に 1 回以下」が群を抜いて多くなっている。月 1 回以上利用している人の割合が最も多いのは、男性は 60 歳代（14.0%）が最も多く、次いで 40 歳代（7.2%）、50 歳代（7.0%）などの順となっている。一方、女性は 60 歳代（14.0%）が最も多く、次いで 50 歳代（12.6%）、30 歳代（11.0%）などの順となっており、いずれの年代においても女性の利用率が男性の利用率を上回っている。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、いずれの校区も「年に 1 回以下」が 6 割以上で群を抜いて多い。月 1 回以上利用している人の割合が最も多いのは東箱崎校区（11.1%）、次いで松島校区（9.3%）、筥松校区（8.9%）、箱崎校区（8.6%）の順となっている。

図　公民館・会館などの利用状況【全体＋性・年代別、校区別】



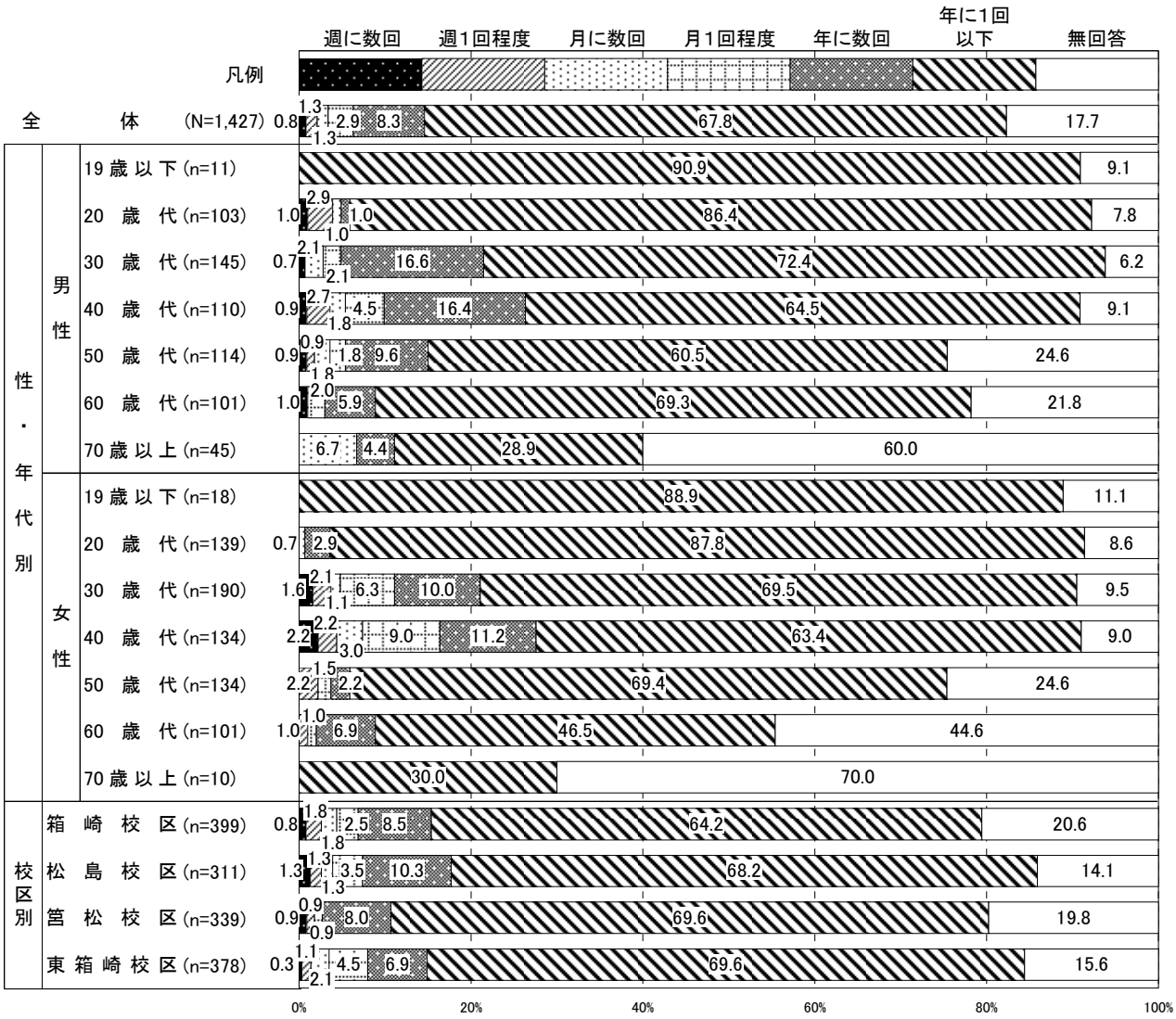
②校区内の小学校

性・年代別にみると、いずれの性・年代においても「年に 1 回以下」が群を抜いて多くなっている。月 1 回以上利用している人の割合が最も多いのは、男性は 40 歳代（9.9%）が最も多く、次いで 50 歳代（5.4%）、20 歳代（4.9%）などの順となっている。一方女性は 40 歳代（16.4%）が最も多く、次いで 30 歳代（11.1%）、50 歳代（3.7%）などの順となっており、小学生の保護者の年代の利用率が比較的高くなっている。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、いずれの校区も「年に 1 回以下」の割合が最も多くなっている。月 1 回以上利用している人の割合が最も多いのは、東箱崎校区（8.0%）、次いで松島校区（7.4%）、箱崎校区（7.0%）、筥松校区（2.7%）の順となっている。

図 校区内の小学校の利用状況【全体＋性・年代別、校区別】



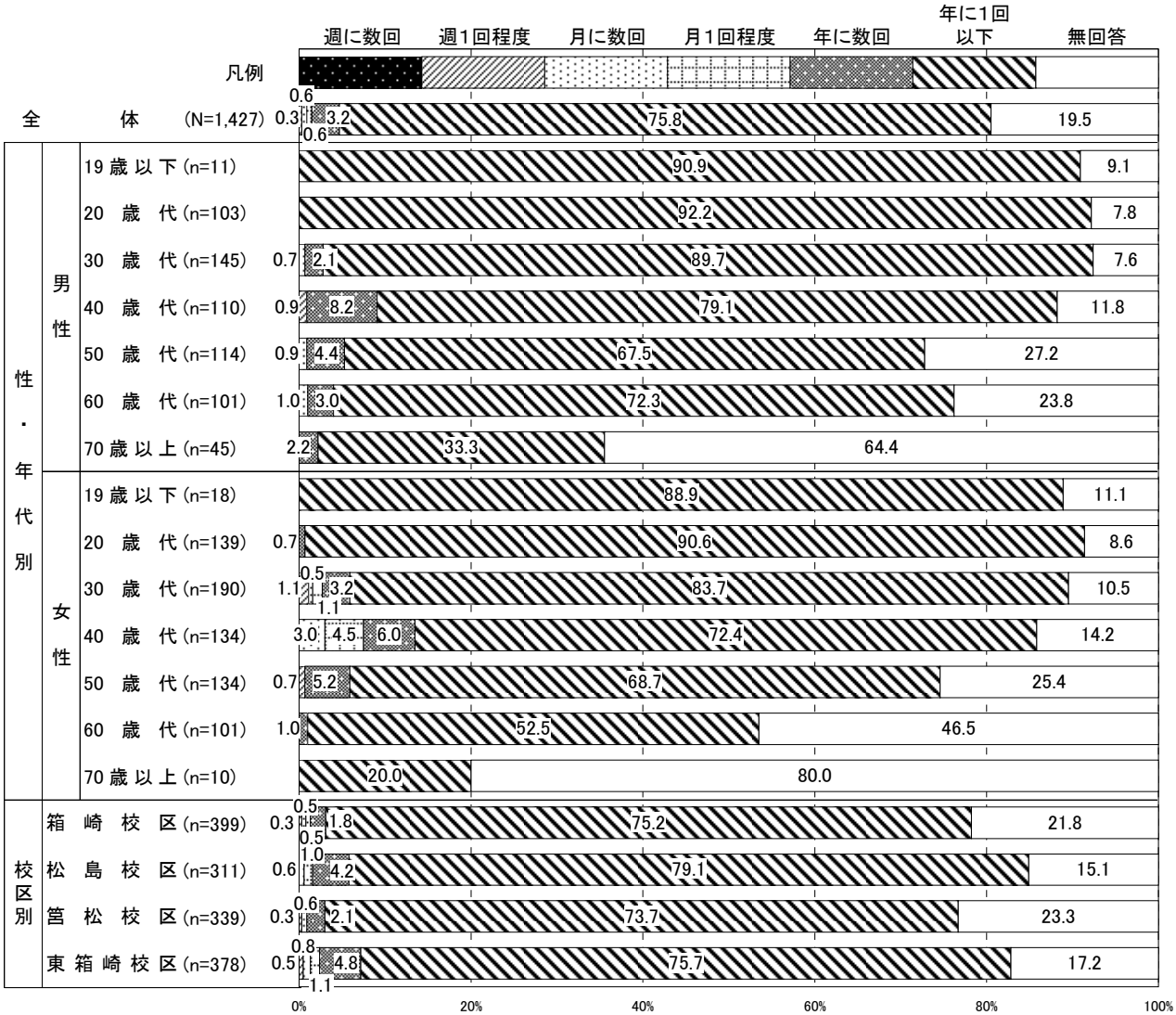
③校区内の中学校

性・年代別にみると、いずれの性・年代も「年に 1 回以下」が群を抜いて多くなっている。月 1 回以上利用している人の割合は、女性の 30 歳代で 2.7%、40 歳で 7.5%となっている以外は、いずれも 1%に満たず、利用率は低い。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、いずれの校区も「年に 1 回以下」の割合が最も多くなっている。月 1 回以上利用している人の割合も、いずれの校区も 1%程度となっており、差はみられない。

図 校区内の中学校の利用状況【全体＋性別、性・年代別、校区別】



④県立図書館

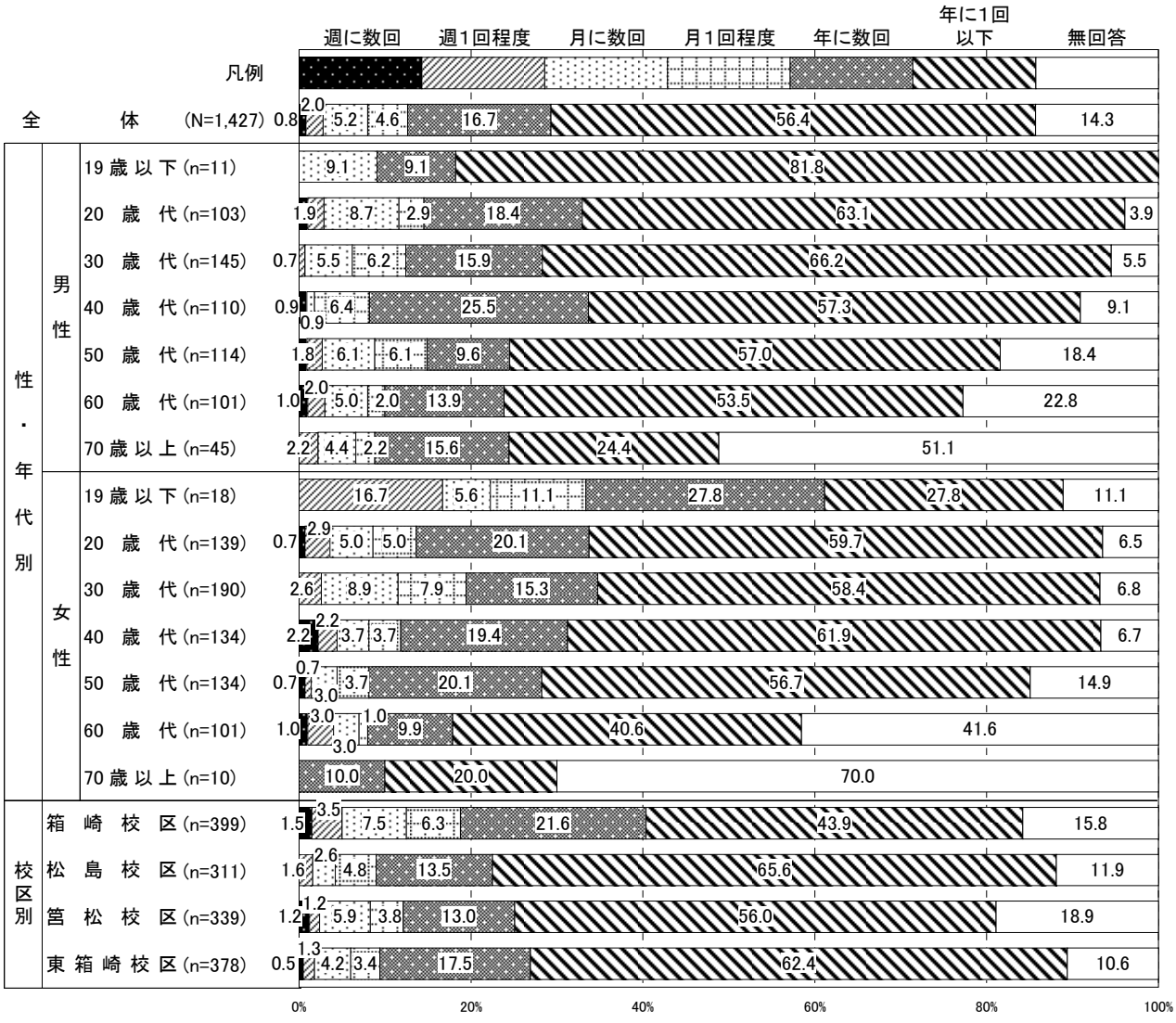
性・年代別にみると、いずれの性・年代も「年に 1 回以下」が群を抜いて多くなっている。

月 1 回以上利用している人の割合は、男性は 50 歳代(14.9%)が最も多く、次いで 20 歳代(14.5%)、30 歳代（12.4%）などの順となっている。一方、女性は 30 歳代（19.4%）が最も多く、次いで 20 歳代（13.6%）、40 歳代（11.8%）などの順となっている。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、いずれの校区も「年に 1 回以下」の割合が最も多くなっている。月 1 回以上利用している人の割合が最も多いのは、箱崎校区（18.8%）で、次いで筥松校区（12.1%）、東箱崎校区（9.4%）、松島校区（9.0%）の順となっている。

図 県立図書館の利用状況【全体＋性別、性・年代別、校区別】



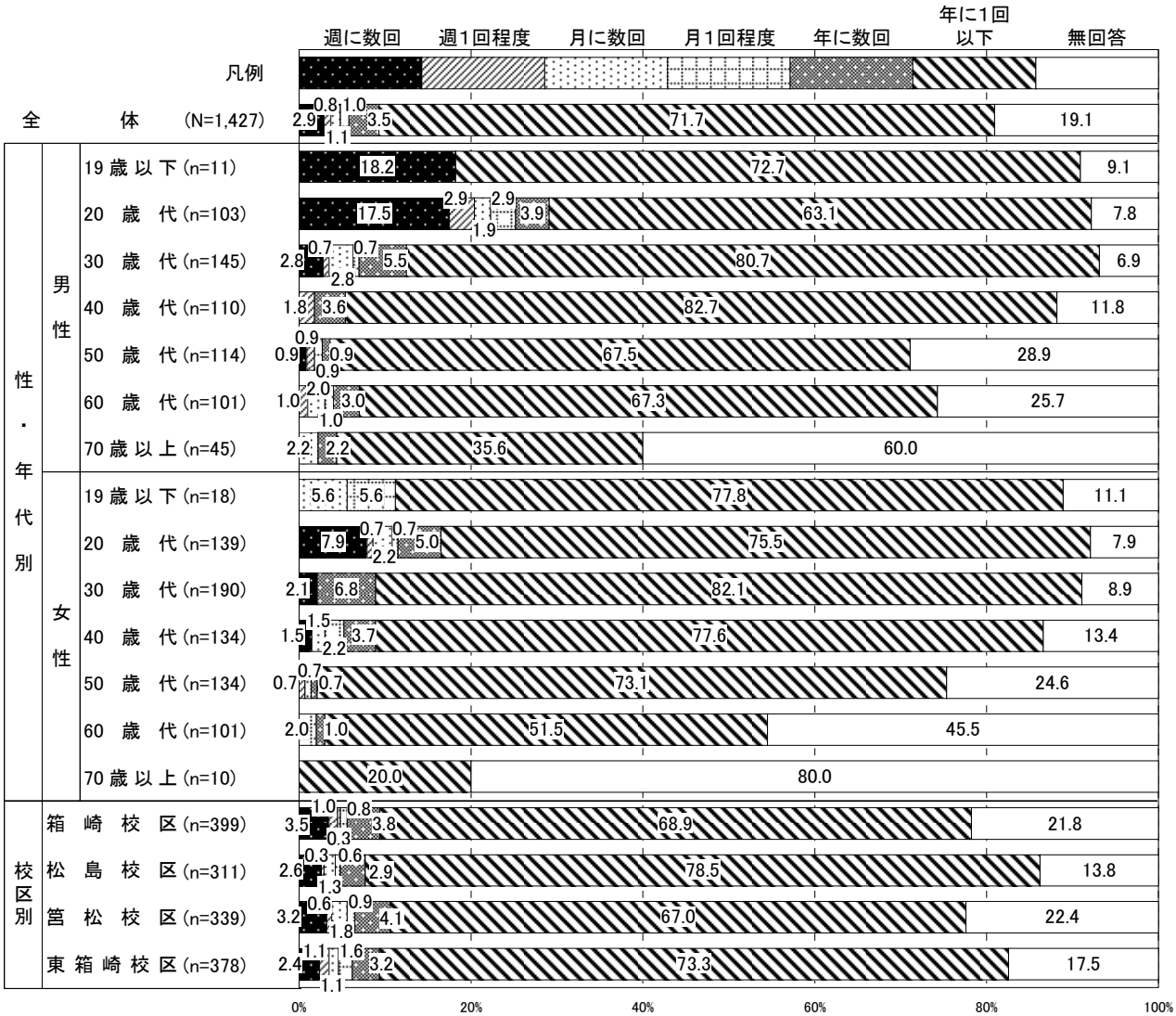
⑤九大・九大図書館

性・年代別にみると、いずれの性・年代も「年に 1 回以下」が群を抜いて多くなっている。月 1 回以上利用している人の割合は、男性は 20 歳代（25.2%）が最も多く、次いで 30 歳代（7.0%）、60 歳代（4.0%）などの順となっている。一方、女性は 20 歳代（11.5%）が最も多く、次いで 40 歳代（5.2%）、30 歳代（2.1%）などの順となっており、学生による利用が多いと考えられる。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、いずれの校区も「年に 1 回以下」の割合が最も多くなっている。月 1 回以上利用している人の割合が最も多いのは、筥松校区（6.5%）、次いで東箱崎校区（6.2%）、箱崎校区（5.6%）、松島校区（4.8%）の順となっている。

図　九大・九大図書館の利用状況【全体＋性別、性・年代別、校区別】



⑥その他の公共施設（自由記述）

その他、利用している公共施設としてあがってきたのは以下のとおり。

表　その他の利用公共施設

その他の公共施設	利用状況	属性	校区
東区役所	年に数回	男性20歳代	箱崎校区
保健所	年に数回	女性60歳代	
婦人会館	週1回程度	女性60歳代	
福岡障害者センター（あいあいセンター）	週に数回	男性20歳代	
合同庁舎	年に数回	女性20歳代	
貝塚公園	月1回程度	女性50歳代	
ナースプラザ	年に数回	女性30歳代	
長生園	月に数回	女性70歳以上	
筥崎宮	年に数回	男性20歳代	
東区体育館	年に1回以下	男性30歳代	松島校区
中央体育館	週1回程度	女性50歳代	
市博物館、市美術館	年に数回	男性60歳代	
市図書館	月に数回	女性60歳代	
粕屋町図書館	月に数回	男性40歳代	
東区役所、保健所	月1回程度	男性20歳代	筥松校区
東区役所、保健所	年に数回	女性40歳代	
ももちパレス、市民体育館	週1回程度	女性30歳代	
市民体育館プール	月に数回	女性40歳代	
東市民プール	年に数回	男性20歳代	
博多中央体育館	年に数回	女性60歳代	
筥松老人いこいの家	週に数回	女性20歳代	
いこいの家	週に数回	男性30歳代	
ちどり保育園	月に数回	女性20歳代	
筥崎宮	月に数回	女性50歳代	

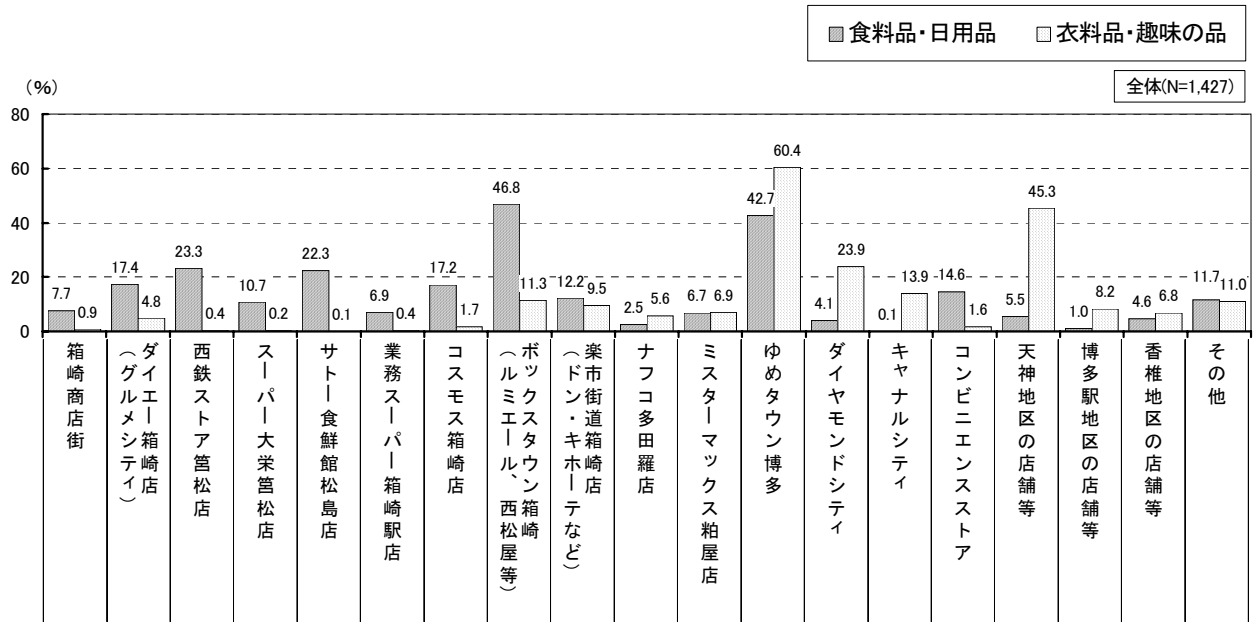
（7）食料品・日用品や衣料品・趣味の品の買い物でよく利用する店舗

7．食料品・日用品や衣料品・趣味の品の買い物の際、よく利用されるところはどこですか。それぞれ３つまで番号を記入してください。

食料品・日用品では「ボックスタウン箱崎（ルミエール、西松屋等）」（46.8%）をあげた人の割合が最も多く、次いで「ゆめタウン博多」（42.7%）、「西鉄ストア筥松店」（23.3%）、「サトー食鮮館松島店」（22.3%）の順となっている。

衣料品・趣味の品では「ゆめタウン博多」（60.4%）をあげた人の割合が最も多く、次いで「天神地区の店舗等」（45.3%）、「ダイヤモンドシティ」（23.8%）の順となっている。

図　食料品・日用品や衣料品・趣味の品の買い物でよく利用する店舗【全体】



①食料品・日用品

性・年代別にみると、女性の 50 歳代を除くいずれの年代も「ボックスタウン箱崎（ルミエール、西松屋等）」が最も多く、次いで「ゆめタウン博多」となっている。女性の 50 歳代も「ゆめタウン博多」（52.2%）が最も多く、次いで「ボックスタウン箱崎（ルミエール、西松屋等）」（49.3%）の順となっているため、この 2 店舗の利用がいずれの年代においても多いと言える。また、女性の 20 歳代では「楽市街道箱崎店（ドン・キホーテなど）」（22.3%）が、女性の 60 歳代では「箱崎商店街」（21.8%）と「ダイエー箱崎店（グルメシティ）」（30.7%）が、それぞれ全体値を 10 ポイント以上上回っており、利用率は高いと言える。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、箱崎校区は「ボックスタウン箱崎（ルミエール、西松屋等）」（66.4%）、松島校区は「サトー食鮮館松島店」（49.5%）、筥松校区は「西鉄ストア筥松店」（48.1%）、東箱崎校区は「ゆめタウン博多」（66.4%）の割合が、それぞれ最も多くなっている。また、「ダイエー箱崎店（グルメシティ）」は箱崎校区（46.6%）で半数近くと、群を抜いて多い。

表　食料品・日用品の買い物でよく利用する店舗【性・年代別、校区別】

数値：%

			サンプル数	1）食料品・日用品																				
				ボックスタウン箱崎（ルミエール、西松屋等）	ゆめタウン博多	西鉄ストア筥松店	サトー食鮮館松島店	ダイエー箱崎店（グルメシティ）	コスモス箱崎店	コンビニエンスストア	楽市街道箱崎店（ドン・キホーテなど）	スーパー大栄筥松店	箱崎商店街	業務スーパー箱崎駅店	ミスターマックス粕屋店	天神地区の店舗等	香椎地区の店舗等	ダイヤモンドシティ	ナフコ多田羅店	博多駅地区の店舗等	キャナルシティ	その他	無回答
全体			1,427	46.8	42.7	23.3	22.3	17.4	17.2	14.6	12.2	10.7	7.7	6.9	6.7	5.5	4.6	4.1	2.5	1.0	0.1	11.7	7.2
性・年代別	男性	19歳以下	11	54.5	36.4	－	－	9.1	－	27.3	18.2	－	－	－	－	－	9.1	－	18.2	－	－	－	36.4
		20歳代	103	51.5	35.0	23.3	15.5	8.7	20.4	32.0	24.3	10.7	1.9	11.7	5.8	1.9	2.9	1.0	1.0	－	－	8.7	5.8
		30歳代	145	44.1	40.7	21.4	21.4	11.7	24.1	22.1	8.3	11.0	2.1	9.0	8.3	2.8	6.9	7.6	2.1	2.1	0.7	12.4	6.9
		40歳代	110	43.6	41.8	30.0	28.2	12.7	13.6	18.2	13.6	7.3	4.5	8.2	8.2	5.5	5.5	7.3	1.8	－	－	10.0	4.5
		50歳代	114	41.2	41.2	25.4	25.4	21.1	15.8	17.5	7.9	13.2	8.8	6.1	5.3	3.5	3.5	5.3	2.6	2.6	－	6.1	7.9
		60歳代	101	43.6	41.6	30.7	27.7	16.8	10.9	17.8	7.9	16.8	14.9	4.0	5.0	8.9	3.0	－	5.0	－	－	5.9	7.9
		70歳以上	45	37.8	46.7	20.0	28.9	26.7	8.9	4.4	6.7	11.1	13.3	2.2	4.4	6.7	2.2	－	2.2	4.4	－	2.2	13.3
	女性	19歳以下	18	38.9	50.0	11.1	22.2	5.6	22.2	27.8	16.7	5.6	－	16.7	5.6	5.6	－	11.1	－	－	－	16.7	5.6
		20歳代	139	48.9	33.8	28.8	15.1	18.7	23.7	18.0	22.3	9.4	4.3	8.6	3.6	4.3	5.0	5.8	0.7	1.4	－	14.4	5.0
		30歳代	190	53.2	49.5	16.3	23.2	16.3	24.2	6.8	12.6	8.9	6.8	6.3	11.1	4.7	4.2	5.3	1.1	0.5	0.5	21.6	2.6
		40歳代	134	53.7	52.2	20.9	16.4	17.9	14.2	8.2	9.0	9.0	7.5	6.0	6.7	9.0	6.0	2.2	1.5	－	－	18.7	6.7
		50歳代	134	49.3	52.2	19.4	23.9	18.7	11.2	10.4	13.4	10.4	6.7	7.5	6.0	8.2	6.0	3.0	1.5	0.7	－	9.7	9.0
		60歳代	101	33.7	30.7	30.7	27.7	30.7	14.9	3.0	4.0	14.9	21.8	5.9	5.9	6.9	3.0	3.0	4.0	1.0	－	5.0	10.9
		70歳以上	10	50.0	40.0	40.0	20.0	60.0	－	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	－	－	－	－	－	－	－	－
校区別	箱崎校区		399	66.4	50.1	25.3	9.3	46.6	6.8	14.0	17.3	7.3	18.5	6.0	2.3	6.3	1.8	1.3	1.8	0.8	－	3.0	0.8
	松島校区		311	24.4	27.7	18.0	49.5	3.5	32.5	12.5	2.9	19.3	4.5	4.5	14.5	2.9	2.3	7.1	3.2	1.9	－	15.4	10.3
	筥松校区		339	26.3	21.5	48.1	29.5	8.0	27.4	13.9	4.4	15.3	4.7	15.6	10.6	1.2	0.6	5.9	2.7	0.3	0.3	12.7	12.1
	東箱崎校区		378	63.0	66.4	3.2	7.1	6.3	6.6	17.7	21.4	2.9	1.6	2.1	1.3	10.6	13.2	2.9	2.4	1.1	0.3	16.9	7.1

②衣料品・趣味の品

性・年代別にみると、男性の 20 歳代を除くいずれの性・年代も「ゆめタウン博多」が最も多くなっている。男性の 20 歳代は、「天神地区等の店舗」（55.3%）が最も多くなっている。また、男女とも 20 歳代で「キャナルシティ」（男性：31.1%、女性 24.5%）が、男性の 30 歳代で「ダイヤモンドシティ」（38.6%）が、女性の 60 歳代で「ダイエー箱崎店（グルメシティ）」（16.8%）が、それぞれ全体値を 10 ポイント以上上回っており、特徴的である。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、いずれの校区も「ゆめタウン博多」が最も多くなっている。また、「天神地区の店舗等」も、いずれの校区で 3 割から 5 割程度と割合が多くなっている。

表　衣料品・趣味の品の買い物でよく利用する店舗【性・年代別、校区別】

数値：%

			サンプル数	2）衣料品・趣味の品																			
				ゆめタウン博多	天神地区の店舗等	ダイヤモンドシティ	キャナルシティ	ボックスタウン箱崎（ルミエール、西松屋等）	楽市街道箱崎店（ドン・キホーテなど）	博多駅地区の店舗等	ミスターマックス粕屋店	香椎地区の店舗等	ナフコ多田羅店	ダイエー箱崎店（グルメシティ）	コスモス箱崎店	コンビニエンスストア	箱崎商店街	西鉄ストア筥松店	業務スーパー箱崎駅店	スーパー大栄筥松店	サトー食鮮館松島店	その他	無回答
全体			1,427	60.4	45.3	23.9	13.9	11.3	9.5	8.2	6.9	6.8	5.6	4.8	1.7	1.6	0.9	0.4	0.4	0.2	0.1	11.0	13.0
性・年代別	男性	19歳以下	11	54.5	27.3	9.1	27.3	9.1	18.2	−	9.1	9.1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	36.4
		20歳代	103	50.5	55.3	24.3	31.1	10.7	12.6	10.7	4.9	6.8	1.9	3.9	1.0	3.9	−	1.0	−	−	−	4.9	9.7
		30歳代	145	60.7	37.9	38.6	15.2	12.4	14.5	1.4	9.0	6.2	2.8	1.4	1.4	4.1	−	0.7	−	−	0.7	16.6	8.3
		40歳代	110	61.8	42.7	27.3	12.7	15.5	13.6	12.7	10.9	7.3	11.8	0.9	0.9	−	−	−	−	−	−	9.1	8.2
		50歳代	114	57.0	39.5	17.5	4.4	14.9	7.0	10.5	9.6	5.3	8.8	4.4	4.4	2.6	−	0.9	−	1.8	−	5.3	20.2
		60歳代	101	59.4	38.6	8.9	4.0	9.9	3.0	5.9	10.9	4.0	12.9	7.9	4.0	2.0	1.0	−	−	−	1.0	5.9	21.8
		70歳以上	45	33.3	33.3	8.9	−	13.3	−	6.7	13.3	11.1	22.2	17.8	−	−	2.2	−	−	−	−	−	31.1
	女性	19歳以下	18	72.2	55.6	27.8	27.8	16.7	27.8	16.7	5.6	5.6	−	−	−	−	−	−	−	−	−	5.6	5.6
		20歳代	139	61.2	59.0	36.7	24.5	7.2	13.7	9.4	2.9	7.2	1.4	1.4	0.7	0.7	−	−	0.7	−	−	10.8	7.2
		30歳代	190	67.9	50.0	37.9	18.9	14.2	10.5	7.9	3.7	8.4	3.7	0.5	1.1	1.6	−	−	0.5	−	−	17.4	3.7
		40歳代	134	73.1	44.8	20.9	14.9	8.2	6.7	9.7	9.0	8.2	1.5	3.7	1.5	−	−	0.7	0.7	0.7	−	20.9	11.9
		50歳代	134	67.2	46.3	14.2	5.2	10.4	7.5	9.7	7.5	9.0	7.5	3.7	3.0	1.5	2.2	−	0.7	−	−	9.7	11.9
		60歳代	101	49.5	46.5	11.9	4.0	7.9	1.0	5.0	5.9	3.0	5.0	16.8	1.0	−	5.0	−	−	−	−	7.9	20.8
		70歳以上	10	40.0	10.0	10.0	−	−	10.0	−	−	−	−	50.0	−	−	−	10.0	−	−	−	−	40.0
校区別	箱崎校区		399	65.7	51.6	14.8	16.5	16.8	12.0	7.0	4.0	5.0	6.3	8.5	1.3	2.0	2.0	1.0	−	0.3	−	5.5	12.3
	松島校区		311	56.6	37.0	38.9	14.1	7.1	7.4	8.7	10.3	4.2	7.7	4.5	2.3	1.3	1.0	−	0.3	0.3	−	12.9	12.9
	筥松校区		339	54.0	41.6	34.5	13.9	5.6	5.3	9.7	13.0	4.1	5.9	2.9	2.7	2.4	0.6	0.3	0.6	−	0.3	14.2	14.7
	東箱崎校区		378	63.8	48.7	11.6	11.1	14.0	12.2	7.7	1.9	13.2	2.9	2.9	0.8	0.8	−	−	0.5	0.3	0.3	12.4	12.4

3．まちづくり・九大跡地利用について

（1）区画整理、道路整備等による校区の変化

1．連続立体交差事業やそれに伴う区画整理、道路整備、JR 箱崎駅の移動等の後、今お住まいの校区において、各項目はどのように変化したと感じますか。

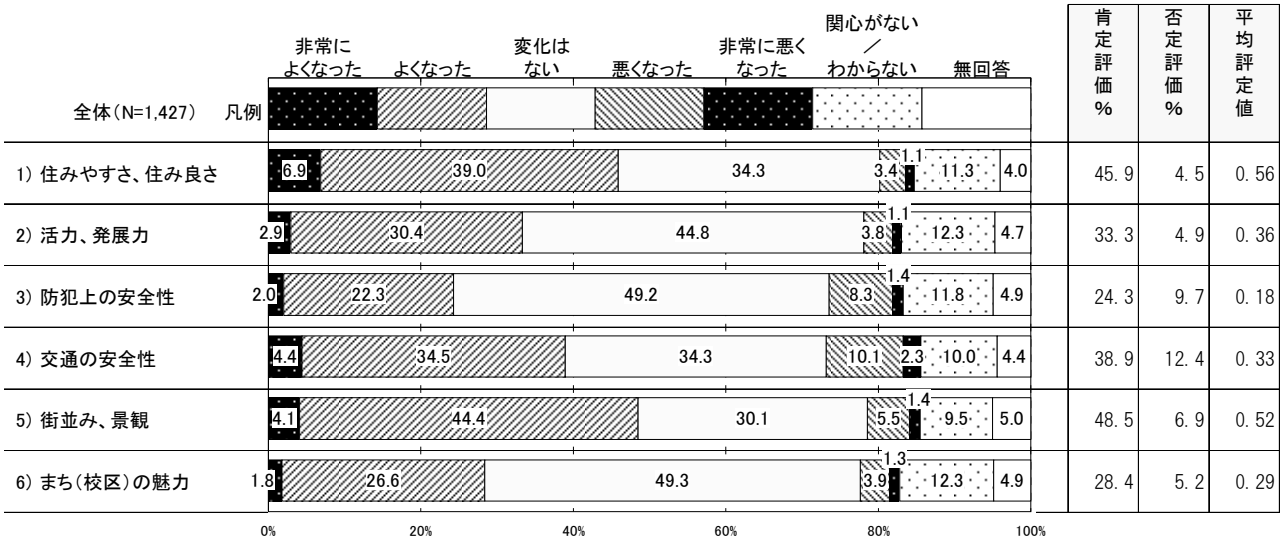
区画整理、道路整備等による校区の変化について６つの項目別にきいたところ、全体で『肯定評価』の割合が最も多いのは「街並み，景観」（48.5%）、次いで「住みやすさ，住み良さ」（45.9%）、「交通の安全性」（38.9%）の順となっている。なお、いずれの項目も「関心がない／わからない」が１割程度、「無回答」が 5%程度みられる。

平均評定値をみると、最も値が高いのは「住みやすさ，住み良さ」（0.56）、次いで「街並み，景観」（0.52）の順となっており、これらの項目は肯定的な評価が高いと言える。

注）
肯定評価：「非常によくなった」と「よくなった」の合計
否定評価：「非常に悪くなった」と「悪くなった」の合計

※平均評定値について
イメージ等、通常は数値的に評価できないものを定量的に評価するため、「非常によくなった」：+２点、「よくなった」：+１点、「変化はない」：０点、「悪くなった」：−１点、「非常に悪くなった」：−２点と回答を得点化し、この平均を求めたもの。ただし、「関心がない、わからない」は評価対象から除外している。

図　区画整理、道路整備等による校区の変化【全体】



	非常によくなった	よくなった	変化はない	悪くなった	非常に悪くなった	関心がない／わからない	無回答	肯定評価%	否定評価%	平均評定値
全体（N=1,427）										
1) 住みやすさ、住み良さ	6.9	39.0	34.3	3.4	1.1	11.3	4.0	45.9	4.5	0.56
2) 活力、発展力	2.9	30.4	44.8	3.8	1.1	12.3	4.7	33.3	4.9	0.36
3) 防犯上の安全性	2.0	22.3	49.2	8.3	1.4	11.8	4.9	24.3	9.7	0.18
4) 交通の安全性	4.4	34.5	34.3	10.1	2.3	10.0	4.4	38.9	12.4	0.33
5) 街並み、景観	4.1	44.4	30.1	5.5	1.4	9.5	5.0	48.5	6.9	0.52
6) まち（校区）の魅力	1.8	26.6	49.3	3.9	1.3	12.3	4.9	28.4	5.2	0.29

性・年代別にみると、『肯定評価』は、男性の 20 歳代と女性の 20 歳代、30 歳代、60 歳代で「住みやすさ、住み良さ」（男性 20 歳代：48.5%）（女性 20 歳代：44.6%、30 歳代：46.3%、60 歳代：56.4%）が、男性の 30 歳代以上と女性の 20 歳代、40 歳代、50 歳代で「街並み、景観」（男性 30 歳代：51.7%、40 歳代：54.5%、50 歳代：56.1%、60 歳代：50.5%）（女性 20 歳代：44.6%、40 歳代：48.5%、50 歳代：48.5%）の割合がそれぞれ最も多くなっている（女性 20 歳代は同率 1 位）。

平均評定値をみると、女性の 40 歳代は全ての項目で全体値を 0.1 ポイント以上下回っており、肯定的な評価が低いといえる。また、男性は 20 歳代で「街並み、景観」（0.40）と「まち（校区）の魅力」（0.17）、60 歳代で「街並み、景観」（0.41）が、女性は 60 歳代で「活力、発展力」（0.26）が、それぞれ全体値を 0.1 ポイント以上下回っている。一方で男性の 30 歳代では「交通の安全性」（0.44）が、全体値を 0.1 ポイント以上上回っており、比較的肯定的な評価が高いといえる。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

居住年数別にみると、『肯定評価』は、居住年数 2 年未満を除く全てで「街並み、景観」が最も多く、次いで「住みやすさ、住み良さ」の順となっている。居住年数 2 年未満も「住みやすさ、住み良さ」（49.8%）が最も多く、次いで「街並み、景観」（48.7%）の順となっていることから、居住年数に関わらず、この 2 項目に対する肯定的評価が高いといえる。

平均評定値をみると、居住年数 20 年以上 30 年未満で「住みやすさ、住み良さ」（0.46）と「防犯上の安全性」（0.07）が、居住年数 30 年以上で「交通の安全性」（0.21）が、それぞれ全体値を 0.1 ポイント以上下回っている。逆に、居住年数 2 年以上 5 年未満では「住みやすさ、住み良さ」(0.66) が全体値を 0.1 ポイント以上上回っており、居住年数によって差がみられる。

校区別にみると、『肯定評価』は箱崎校区と筥松校区で「住みやすさ、住み良さ」（箱崎校区：49.1%、筥松校区：56.6%）が、松島校区と東箱崎校区で「街並み、景観」（松島校区：54.3%、東箱崎校区：38.9%）の割合がそれぞれ最も多くなっている。また筥松校区でも「街並み、景観」が 56.0%を占めており、最も多い「住みやすさ、住み良さ」に拮抗している。平均評定値をみると、箱崎校区では「住みやすさ、住み良さ」以外の項目が、東箱崎校区ではすべての項目が、全体の平均評定値を下回っており、この 2 校区の肯定的な評価は比較的低いといえる。松島校区と筥松校区はいずれの項目も、全体の平均評定値を上回っている。

表　区画整理、道路整備等による校区の変化【性・年代別、居住年数別、校区別】

数値：%

			サンプル数	1)住みやすさ、住み良さ			2)活力、発展力			3)防犯上の安全性			4)交通の安全性			5)街並み、景観			6)まち（校区）の魅力		
				【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】	【肯定評価%】	【否定評価%】	【平均評定値】
全体			1,427	45.9	4.5	0.56	33.3	4.9	0.36	24.3	9.7	0.18	38.9	12.4	0.33	48.5	6.9	0.52	28.4	5.2	0.29
性・年代別	男性	19歳以下	11	27.3	−	0.43	−	−	0.00	18.2	−	0.29	18.2	−	0.29	27.3	−	0.43	9.1	−	0.14
		20歳代	103	48.5	2.9	0.58	35.0	1.9	0.44	26.2	7.8	0.22	40.8	13.6	0.35	41.7	7.8	0.40	21.4	5.8	0.17
		30歳代	145	50.3	1.4	0.67	33.8	2.8	0.42	25.5	8.3	0.23	43.4	10.3	0.44	51.7	6.2	0.56	30.3	3.4	0.33
		40歳代	110	50.0	4.5	0.58	33.6	6.4	0.35	24.5	12.7	0.15	43.6	17.3	0.29	54.5	8.2	0.53	30.9	6.4	0.28
		50歳代	114	51.8	7.0	0.58	43.0	7.0	0.44	34.2	10.5	0.30	45.6	16.7	0.36	56.1	12.3	0.54	36.0	8.8	0.30
		60歳代	101	43.6	5.9	0.51	32.7	8.9	0.29	22.8	9.9	0.13	41.6	13.9	0.30	50.5	13.9	0.41	26.7	9.9	0.20
		70歳以上	45	42.2	2.2	0.48	28.9	4.4	0.26	24.4	6.7	0.24	31.1	20.0	0.18	42.2	8.9	0.46	20.0	2.2	0.21
	女性	19歳以下	18	38.9	5.6	0.60	33.3	−	0.40	27.8	−	0.33	33.3	11.1	0.33	44.4	11.1	0.33	38.9	−	0.47
		20歳代	139	44.6	2.2	0.61	32.4	2.9	0.43	20.9	10.1	0.11	30.2	11.5	0.25	44.6	5.8	0.54	25.2	2.9	0.31
		30歳代	190	46.3	1.6	0.66	31.1	3.2	0.40	25.8	5.8	0.27	36.3	8.4	0.41	45.8	1.6	0.63	28.9	2.1	0.39
		40歳代	134	34.3	11.2	0.30	31.3	7.5	0.26	19.4	15.7	0.04	34.3	14.9	0.20	48.5	8.2	0.42	24.6	9.0	0.18
		50歳代	134	46.3	6.7	0.52	38.8	3.7	0.41	26.9	12.7	0.16	44.8	13.4	0.38	48.5	6.0	0.50	34.3	6.7	0.31
		60歳代	101	56.4	5.0	0.64	29.7	8.9	0.26	22.8	8.9	0.19	46.5	8.9	0.46	54.5	4.0	0.63	28.7	3.0	0.33
		70歳以上	10	50.0	30.0	0.33	20.0	10.0	0.14	10.0	20.0	−0.14	20.0	10.0	0.13	30.0	10.0	0.80	20.0	10.0	0.14
居住年数別	2年未満		304	35.2	3.6	0.52	25.3	3.3	0.36	17.8	5.9	0.19	30.3	8.2	0.36	35.5	4.6	0.52	22.4	3.6	0.32
	2年以上5年未満		279	49.8	2.9	0.66	32.6	4.7	0.38	28.0	6.5	0.26	40.9	13.3	0.36	48.7	6.1	0.51	28.0	5.4	0.26
	5年以上10年未満		216	55.1	3.7	0.63	41.2	4.2	0.41	27.3	13.0	0.16	41.7	14.4	0.31	56.0	5.6	0.55	29.6	5.1	0.28
	10年以上20年未満		278	45.0	4.3	0.52	34.2	4.0	0.38	29.1	9.4	0.24	42.1	10.4	0.38	52.5	7.6	0.52	33.1	4.7	0.34
	20年以上30年未満		186	45.2	7.0	0.46	37.1	7.0	0.33	21.5	15.1	0.07	41.4	12.9	0.32	51.1	9.7	0.49	26.3	8.1	0.20
	30年以上		127	52.8	9.4	0.51	33.9	9.4	0.27	22.8	15.0	0.10	43.3	23.6	0.21	55.1	12.6	0.50	35.4	6.3	0.30
校区別	箱崎校区		399	49.1	7.3	0.57	34.3	9.3	0.32	21.3	13.5	0.08	36.8	16.3	0.25	46.6	11.8	0.44	28.8	9.5	0.23
	松島校区		311	48.6	2.6	0.61	37.0	1.6	0.45	26.7	7.4	0.24	45.0	10.6	0.44	54.3	3.9	0.60	29.9	1.9	0.35
	筥松校区		339	56.6	3.2	0.75	39.8	3.8	0.47	33.3	8.6	0.33	44.8	12.4	0.45	56.0	5.3	0.67	35.1	3.2	0.40
	東箱崎校区		378	30.7	4.2	0.33	23.3	3.7	0.25	17.5	8.7	0.10	30.7	9.8	0.24	38.9	5.8	0.39	20.6	4.8	0.19

（2）九州大学の移転による校区の変化

２．平成 17 年度以降始まった九州大学の移転との関連で、今お住まいの校区では、ここ２～３年の間にどのように変化したと感じますか。

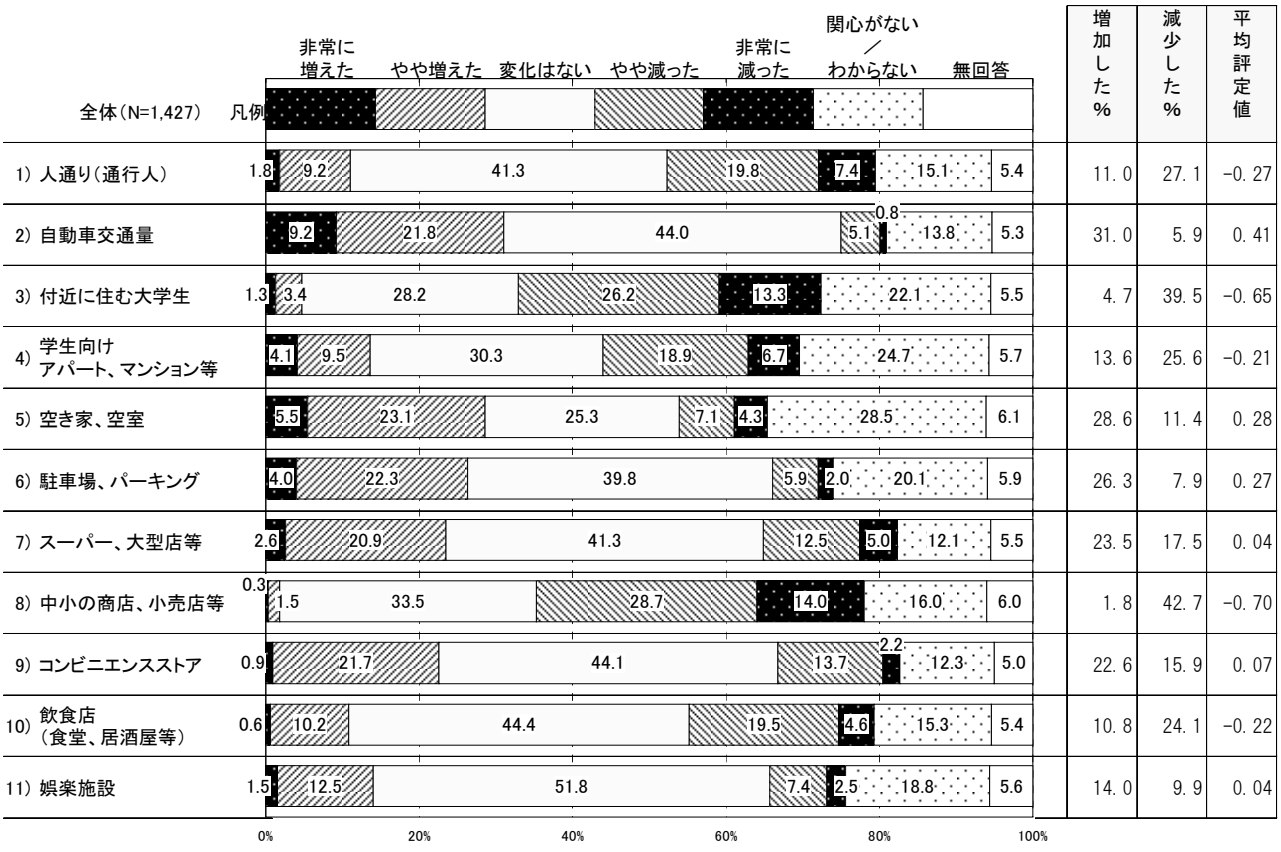
九州大学の移転による校区の変化について 11 の項目別にきいたところ、全体で『増加した』割合が最も多いのは「自動車交通量」（31.0%）、次いで「空き屋，空室」（28.6%）、「駐車場，パーキング」（26.3%）、「スーパー，大型店等」（23.5%）、「コンビニエンスストア」（22.6%）の順となっている。一方、『減少した』割合が最も多いのは「中小の商店，小売店等」（42.7%）、「付近に住む大学生」（39.5%）、「人通り（通行人）」（27.1%）、「学生向けアパート，マンション等」（25.6%）、「飲食店（食堂，居酒屋）」（24.1%）の順となっている。なお、いずれの項目も「関心がない／わからない」が 1 割から 2 割、「無回答」が 5 から 6%みられるが、特に「空き家、空室」、「学生向けアパート、マンション等」、「付近に住む大学生」、「駐車場、パーキング」といった、学生や不動産に関する項目などは、「関心がない／わからない」が 2 割を超えて多くなっているのが特徴的である。

平均評定値をみると、最も値が高いのは「自動車交通量」（0.41）、逆に値が低いのは「中小の商店，小売店等」（-0.70）、「付近に住む大学生」（-0.65）となっており、これらの項目はここ２～３年の間に変化したと感じた人が多いと言える。

注）
増加した：「非常に増えた」と「やや増えた」の合計
減少した：「非常に減った」と「やや減った」の合計

※平均評定値について
イメージ等、通常は数値的に評価できないものを定量的に評価するため、「非常に増えた」：+２点、「やや増えた」：+１点、「変化はない」：０点、「やや減った」：-１点、「「非常に減った」：-２点と回答を得点化し、この平均を求めたもの。ただし、「関心がない、わからない」は評価対象から除外している。

図　九州大学の移転による校区の変化【全体】



性・年代別にみると、『増加した』と答えた人の割合は、男性の 30 歳以上と女性の 50 歳代以上では「自動車交通量」（男性 30 歳代：32.4%、40 歳代：45.5%、50 歳代：36.8%、60 歳代：39.6%）（女性 50 歳代：35.8%、60 歳代：33.7%）が、男性の 20 歳代と女性の 20 歳代、40 歳代では「空き家、空室」（男性 20 歳代：25.2%）（女性 20 歳代：20.1%、40 歳代：34.3%）が、女性の 30 歳代と 60 歳代では「駐車場、パーキング」（女性 30 歳代：28.4%、60 歳代：33.7）が、それぞれ最も多くなっている。

平均評定値をみると、「人通り（通行人）」、「付近に住む大学生」、「中小の商店、小売店等」、「飲食店（食堂、居酒屋等）」は、全ての性・年代でマイナスとなっており、『減少した』と感じている人が多いといえる。同様に、「学生向けアパート、マンション等」も、女性の 20 歳代を除く全ての性・年代でマイナスとなっており、『減少した』と感じている人は多いといえる。また、「空き家、空室」では女性の 60 歳代（－0.05）が、「スーパー、大型店等」では男性の 60 歳代（－0.20）と女性の 40 歳代（－0.21）、60 歳代（－0.15）が、「コンビニエンスストア」では男性の 60 歳代（－0.10）が、それぞれマイナスとなっている。

注：サンプル数が少ない 19 歳以下と 70 歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

居住年数別にみると、『増加した』割合は、2年未満と20年以上30年未満で「空き家、空室」（2年未満：19.1%、20年以上30年未満：32.3%）が、それ以外の項目では「自動車交通量」（2年以上5年未満：32.6%、5年以上10年未満：35.2%、10年以上20年未満：32.4%、30年以上：49.6%）が、それぞれ最も多くなっている。また居住年数 30 年以上の人で、「自動車交通量」（49.6%）、「空き家、空室」（41.7%）、「駐車場、パーキング」（47.2%）が、それぞれ全体値を10ポイント以上上回っているのが特徴的である。

平均評定値をみると、「人通り（通行人）」、「付近に住む大学生」、「学生向けアパート、マンション等」、「中小の商店、小売店等」、「飲食店（食堂、居酒屋等）」は、居住年数に関わらず全てマイナスとなっており、『減少した』と感じている人が多いといえる。

校区別にみると、『増加した』割合は箱崎校区が「駐車場、パーキング」（37.8%）、松島校区と筥松校区は「自動車交通量」（松島校区：33.9%、筥松校区：39.8%）が、東箱崎校区は「娯楽施設」（23.3%）が、それぞれ最も多くなっている。一方、『減少した』割合は、箱崎校区と筥松校区、東箱崎校区で「中小の商店、小売店等」（箱崎校区：55.4%、筥松校区：40.1%、東箱崎校区：41.0%）が、松島校区と筥松校区で「付近に住む大学生」（松島校区：33.4%、筥松校区：40.1%）が、それぞれ最も多くなっている。これらの2項目は、いずれの校区においても3割から5割と割合が多くなっている。

平均評定値をみると、「人通り（通行人）」、「付近に住む大学生」、「学生向けアパート、マンション等」、「中小の商店、小売店等」、「飲食店」は、すべての校区で評定値がマイナスとなっており、『減少した』と考えている人が比較的多いといえる。また、「スーパー、大型店等」は東箱崎校区（－0.17）で、「コンビニエンスストア」は箱崎校区（－0.03）と東箱崎校区（－0.08）で、「娯楽施設」は箱崎校区（－0.01）と筥松校区（－0.06）で、それぞれマイナスとなっている。

表　九州大学の移転による校区の変化【性・年代別、居住年数別、校区別】

		サンプル数	1)人通り（通行人）			2)自動車交通量			3)付近に住む大学生			4)学生向けｱﾊﾟｰﾄ、ﾏﾝｼｮﾝ等			5)空き家、空室			6)駐車場、パーキング		
			【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】
全体		1,427	11.0	27.1	−0.27	31.0	6.0	0.41	4.7	39.5	−0.65	13.6	25.6	−0.21	28.6	11.4	0.28	26.3	7.9	0.27
性・年代別	男性 19歳以下	11	−	9.1	−0.17	9.1	−	0.17	−	18.2	−0.50	−	−	0.00	9.1	−	0.20	18.2	−	0.33
	男性 20歳代	103	6.8	23.3	−0.25	21.4	2.9	0.31	8.7	33.0	−0.36	12.6	15.5	−0.04	25.2	4.9	0.32	16.5	8.7	0.11
	男性 30歳代	145	9.7	20.7	−0.17	32.4	2.1	0.50	5.5	22.8	−0.37	11.7	20.7	−0.13	30.3	3.4	0.49	25.5	6.2	0.26
	男性 40歳代	110	19.1	20.0	−0.05	45.5	3.6	0.58	8.2	39.1	−0.49	16.4	27.3	−0.14	35.5	4.5	0.42	27.3	6.4	0.36
	男性 50歳代	114	10.5	36.0	−0.40	36.8	8.8	0.40	3.5	46.5	−0.81	15.8	28.9	−0.23	34.2	14.9	0.35	32.5	9.6	0.40
	男性 60歳代	101	14.9	42.6	−0.44	39.6	7.9	0.51	5.0	61.4	−1.00	14.9	42.6	−0.47	34.7	25.7	0.06	30.7	14.9	0.15
	男性 70歳以上	45	22.2	26.7	−0.17	42.2	8.9	0.59	2.2	53.3	−1.06	13.3	35.6	−0.42	17.8	17.8	−0.10	35.6	17.8	0.28
	女性 19歳以下	18	16.7	5.6	0.20	38.9	−	0.60	11.1	27.8	−0.14	27.8	22.2	0.29	11.1	5.6	0.17	16.7	−	0.36
	女性 20歳代	139	7.9	15.1	−0.14	18.0	2.9	0.27	5.8	24.5	−0.35	14.4	10.8	0.14	20.1	6.5	0.29	19.4	5.8	0.21
	女性 30歳代	190	10.5	20.0	−0.17	23.7	4.2	0.31	2.6	35.8	−0.64	12.6	22.1	−0.16	24.7	5.3	0.35	28.4	3.7	0.40
	女性 40歳代	134	6.0	30.6	−0.36	24.6	6.0	0.32	3.0	38.8	−0.67	11.9	22.4	−0.18	34.3	9.0	0.40	25.4	7.5	0.23
	女性 50歳代	134	9.7	36.6	−0.44	35.8	9.7	0.44	3.0	45.5	−0.78	10.4	32.1	−0.43	32.1	15.7	0.33	29.9	6.0	0.31
	女性 60歳代	101	9.9	42.6	−0.51	33.7	10.9	0.35	3.0	56.4	−0.94	17.8	41.6	−0.49	29.7	29.7	−0.05	33.7	12.9	0.31
	女性 70歳以上	10	20.0	40.0	−0.57	60.0	10.0	0.75	10.0	50.0	−1.17	10.0	20.0	−0.50	20.0	20.0	0.00	20.0	20.0	−0.40
居住年数別	2年未満	304	8.6	14.1	−0.14	17.8	3.3	0.36	6.6	21.1	−0.37	10.9	13.5	−0.04	19.1	6.3	0.29	15.5	4.6	0.22
	2年以上5年未満	279	11.8	23.7	−0.19	32.6	4.7	0.42	4.7	39.4	−0.57	16.1	24.0	−0.09	30.5	6.8	0.41	26.9	9.0	0.24
	5年以上10年未満	216	11.6	27.3	−0.23	35.2	4.6	0.43	2.3	38.9	−0.61	11.6	24.5	−0.22	34.3	6.9	0.42	28.7	5.6	0.32
	10年以上20年未満	278	12.6	28.4	−0.20	32.4	6.5	0.40	4.7	39.9	−0.60	10.4	29.5	−0.31	24.8	13.7	0.14	27.0	7.2	0.28
	20年以上30年未満	186	10.2	35.5	−0.45	31.2	9.7	0.34	6.5	47.3	−0.76	16.7	29.0	−0.24	32.3	16.7	0.22	26.9	10.8	0.23
	30年以上	127	11.8	52.0	−0.61	49.6	9.4	0.57	0.8	73.2	−1.16	22.0	44.9	−0.38	41.7	29.9	0.14	47.2	15.0	0.41
校区別	箱崎校区	399	9.0	40.9	−0.58	33.1	7.5	0.41	5.3	51.9	−0.92	19.0	26.6	−0.16	35.8	14.5	0.37	37.8	9.3	0.45
	松島校区	311	10.3	20.6	−0.16	33.8	4.2	0.51	3.5	33.4	−0.52	13.8	24.4	−0.14	26.4	10.0	0.26	24.1	6.4	0.26
	筥松校区	339	15.0	20.6	−0.09	39.8	5.6	0.58	6.5	40.1	−0.60	15.0	28.9	−0.23	28.6	11.2	0.30	29.5	5.3	0.34
	東箱崎校区	378	10.1	23.8	−0.20	18.5	6.1	0.19	3.2	31.0	−0.50	6.3	22.5	−0.31	22.8	9.8	0.19	13.0	10.1	0.02

		サンプル数	7)スーパー、大型店等			8)中小の商店、小売店等			9)コンビニエンスストア			10)飲食店（食堂、居酒屋等）			11)娯楽施設		
			【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】	【増加した%】	【減少した%】	【平均評定値】
全体		1,427	23.5	17.5	0.04	1.8	42.7	−0.70	22.6	15.9	0.07	10.8	24.1	−0.22	14.0	9.9	0.04
性・年代別	男性 19歳以下	11	27.3	−	0.50	−	18.2	−0.33	9.1	−	0.17	9.1	9.1	0.00	18.2	−	0.50
	男性 20歳代	103	17.5	10.7	0.11	3.9	23.3	−0.28	21.4	18.4	0.02	14.6	19.4	−0.06	14.6	4.9	0.13
	男性 30歳代	145	24.1	8.3	0.19	1.4	37.9	−0.58	21.4	13.8	0.09	8.3	22.1	−0.21	16.6	9.0	0.09
	男性 40歳代	110	29.1	15.5	0.15	1.8	43.6	−0.62	24.5	14.5	0.10	17.3	20.9	−0.04	17.3	8.2	0.16
	男性 50歳代	114	28.1	14.0	0.18	2.6	47.4	−0.71	29.8	14.0	0.18	13.2	32.5	−0.29	17.5	12.3	0.07
	男性 60歳代	101	21.8	29.7	−0.20	1.0	67.3	−1.13	18.8	23.8	−0.10	7.9	44.6	−0.59	8.9	23.8	−0.32
	男性 70歳以上	45	24.4	8.9	0.14	2.2	42.2	−0.69	13.3	15.6	0.03	8.9	44.4	−0.49	6.7	24.4	−0.28
	女性 19歳以下	18	27.8	−	0.33	−	22.2	−0.40	33.3	5.6	0.40	22.2	5.6	0.27	16.7	−	0.21
	女性 20歳代	139	18.7	13.7	0.03	−	25.2	−0.43	18.7	12.9	0.08	11.5	11.5	−0.03	12.2	4.3	0.06
	女性 30歳代	190	24.7	17.4	0.11	1.6	35.8	−0.60	24.7	14.2	0.12	7.4	17.4	−0.15	15.3	4.7	0.15
	女性 40歳代	134	18.7	28.4	−0.21	4.5	43.3	−0.65	23.9	15.7	0.04	10.4	20.1	−0.14	16.4	7.5	0.13
	女性 50歳代	134	26.9	20.1	0.03	1.5	56.0	−0.93	20.9	15.7	0.06	13.4	23.9	−0.21	18.7	6.7	0.15
	女性 60歳代	101	23.8	28.7	−0.15	1.0	61.4	−1.02	27.7	21.8	0.02	5.9	40.6	−0.56	5.9	19.8	−0.25
	女性 70歳以上	10	20.0	40.0	−0.50	−	60.0	−1.57	20.0	20.0	−0.25	−	20.0	−0.80	−	30.0	−1.67
居住年数別	2年未満	304	15.8	11.8	0.04	1.6	23.4	−0.49	17.1	9.5	0.12	8.6	12.2	−0.09	10.2	3.9	0.10
	2年以上5年未満	279	22.9	18.3	0.03	1.4	38.0	−0.56	22.6	19.4	0.02	12.5	24.7	−0.19	12.5	11.5	0.00
	5年以上10年未満	216	25.5	17.1	0.05	2.3	45.4	−0.65	29.2	15.7	0.13	10.2	25.0	−0.20	15.3	8.3	0.08
	10年以上20年未満	278	26.3	20.5	0.02	2.9	48.2	−0.73	20.5	16.2	0.03	15.1	24.1	−0.13	19.8	10.4	0.11
	20年以上30年未満	186	30.1	17.2	0.15	1.1	55.4	−0.89	22.0	19.9	0.01	9.1	31.2	−0.33	17.2	9.7	0.10
	30年以上	127	26.0	26.8	−0.04	0.8	64.6	−1.03	30.7	17.3	0.11	7.1	43.3	−0.56	8.7	22.0	−0.24
校区別	箱崎校区	399	31.8	17.5	0.17	2.3	55.4	−0.99	25.3	24.8	−0.03	12.8	33.8	−0.32	13.8	13.3	−0.01
	松島校区	311	19.0	5.8	0.17	0.6	31.2	−0.45	32.2	6.8	0.32	11.6	17.0	−0.11	10.3	6.8	0.04
	筥松校区	339	21.8	18.6	0.01	2.9	40.1	−0.60	25.4	15.6	0.10	8.6	21.5	−0.21	7.4	9.4	−0.06
	東箱崎校区	378	19.8	26.5	−0.17	1.3	41.0	−0.68	9.5	14.3	−0.08	10.1	21.7	−0.19	23.3	9.0	0.19

（3）校区の変化に関する意見

3．問1、2に関して、お気づきの点や感想等がございましたら、ご記入ください。

表 校区の変化に関する意見

＜箱崎校区＞

内容	性別	年齢
街灯が少なくこわい。学生のマナーが悪い。	女性	40歳代
九大移転に伴い、高齢化と、購買力の低下を感じ、商店街の存続等に不安を感じる。道路拡張はよいと思うが、生活の中の潤いやふれあいが少なくなる都会化の危機を感じる。	女性	40歳代
外国の方の利用も多いようなので、外国語の案内を増やすなどして、誰でもマナーを守って、お互いに楽しく過ごせるような工夫があればよいと思います。	女性	30歳代
公園、緑地を増やす計画は良いと思いますが、住宅地の中にぽつんと中途半端な広さの公園を作っても、夜中の騒音や、子供の落書き、ボール遊びで花を折ったりゴミを持ち帰らないなど、周りの住民がかなり迷惑しています。もし、九大跡地に緑化計画があるのなら、大濠公園のような、行政の目が行き届くようなきちんと考えられた公園を作って欲しいです。常識のない人、親が多いので･･･。	女性	30歳代
九大跡地は商業施設ではなく、緑の多い公園を中心に展開していってほしい。	女性	50歳代
中国人のマナーの悪さが目立ちます。自転車は2，3列で走らせるし、大きな声で喋る･･･マナーがなっていない！日本で暮らすのならばマナーを知ってほしい。	女性	40歳代
道路は整備されたかもしれないが、交通量が増え、騒音がひどい。商店街はシャッターが下りているところが多くなり、老人が目立ち、商店や住宅街の中に点々と高層マンションが建ちだんだん空が狭くなってきているような気がする。	男性	50歳代
楽市ができてから、夜明るいので、明るい道を通って帰宅するようになった。只、赤信号でも止まらない車がいるので、3号線を夜渡るときはいつも注意するようにしている。楽市、ボックスタウン等ができたので、自動車が多いのと、治安が少し悪くなったとは思うが、それはそれで仕方ないと思う。便利なので現状にとても満足している。	女性	20歳代
中国系の大学生らしき男女が自転車に多数乗っているが、非常にマナーが悪い。	女性	50歳代
出勤等で出かける際に時間帯が不規則な為、環境の変化を正直感じていません。只、今現在、自宅付近の道路工事において、今後の自動車交通量や人通り、それに伴う騒音等が気がかりです。	女性	20歳代
大学の移転により、人の流れが大きく変わった。商店街や飲食店などが減り、歩いて買い物に行ける所がなくなっている。車で買い物に行くような店ばかり。車がない人は生活しにくい。道路が広くなってかなり危険になった。歩いても怖いくらいの交通量。通り過ぎる人々には便利でしょうが、そこに住む者には迷惑な限り。	女性	40歳代
JR，高架下の近くの道は信号もないので抜け道になって車が多い。高架のコンクリートの天井（壁）は車の音や人の声が響いて大きく聞こえる。高架下の公園（？）を散歩する人の声がよく聞こえる。交通の便などは良くなったが、箱崎駅周辺は住宅地とは言えなくなった。ここまで落ち着かなくなるとは思ってなかったので、再開発の時に別の所に引っ越しておけばよかったと思っている。	女性	50歳代
道路はきれいになったが、マンションばかり増えて、店舗が少なくて活気がない。グルメシティ箱崎店も閉店してしまうので街が寂れてきてる気がする。	女性	30歳代
人の動きに多い所と少ない所の差がでてきたように思う。自動車の交通量が特に増した為に車の騒音で困っている。	男性	50歳代
空室が多く淋しい街になった。人が少なく活気がない。	女性	20歳代
箱崎周辺の個人経営の飲食店は、学生が減った事で客も減ったという事を伺った。アパート等は学生が減った分、社会人の数が増えたように感じる。	女性	20歳代
商店街の中にマンションが立ち並び商店が少ない。買い物が不便となり自然とスーパーに買い物に行くようになり、益々悪循環となった。買い物がしずらくなってきた。	男性	60歳代
老人、中国人がとても目立つ。	男性	30歳代
若者の通行マナーがよくない。	女性	20歳代
大きな通りが出来たことで、自宅前の九大西門の曲がり角の車の交通量が減り、車の事故も少なくなり、喜んでいる。夜も工学部がなくなった事と車の量が減った事で静かになった。	女性	60歳代
JR箱崎駅西口の道路は広くなりましたが、車の数が多くスピードが早くなり怖いくらいです。	男性	70歳以上

内容	性別	年齢
「理容、美容院」の数が連立後にやたらと増えたような気がする。新しい箱崎駅近辺にcaféなど人が長く滞在できるお店がもう少し増えれば活気も増すような気がします。駅広、駅前公園に屋台を定期的に出すとかも考えられる。駅に大きめの電光掲示板があってパブリックビューイングするとかも。	男性	40歳代
家の前の道路が広くなってから、大きなトラックが頻繁に通るようになりました。ドライバーにとっては便利になったかもしれないけど、大きなトラックが通るたびに家が揺れる感じがします。まるで地震みたいです。車道も歩道も広くなって良かった点もありますが、なんだか複雑・・・	女性	20歳代
天神、博多と中心地に近い土地柄を生かして土地開発したら良いと思う。	男性	20歳代
JR箱崎駅が東に移動した事により、博多までの運賃が160→200円に40円UPした。（乗る時間も、駅までの時間も長くなった）不満。	女性	40歳代
箱崎本通りは、夕方より人が通らなくなる。私は今年度の町内の組長をしているが、老人ばかりでこれから先どうやって生活をしていくのかが心配だ。町内会も1年周りで組長の役が回ってくるが、1組に3人とかしか実働できる人がいない。箱崎地区全体が老人の町になっている。この点を行政が考えてもらいたい。グルメシティも1月前半で撤退するとのこと。	女性	60歳代
箱崎の商店街、飲食店の数がどんどん減っている。外国人が増えた。	女性	30歳代
学生は減っているのに、マンション（主にワンルーム）が増えている。3LDKくらいのファミリータイプに賃貸住宅を探そうと思うと殆どない。もう少し3LDKの賃貸マンションを建ててくれればいいと思う。ワンルームマンションはもう必要ないほどいっぱいある。結局ワンルームが多すぎて古いワンルームは値段が安く入居できるので外国人が多くなる。そうすると治安が悪くなる。自転車で2台で並んで大きな声で話しながらいっている中国人らしき人が多い。非常に危ない。	女性	30歳代
10年近く前に住んだ経験があり、1年半前に同じ箱崎1丁目に住むことになりました。区画整備などで大通り沿いはきれいになりましたが、箱崎の商店街はさびれ、家族経営の店が少なくなり少し残念に思います。高層のマンションが増え、人口は増えたのかもしれませんが、箱崎の街の活性化にはつながっていないように感じます。単に博多駅や天神に行くのに便利な地区ということでの住人が増えたように感じます。	男性	30歳代
箱崎駅の高架化により、箱崎駅周りの町並みも大きく様変わり致しております。アクセスの良さによりマンションの建築ラッシュの様子です。今後、昔よりの住民と新しくマンション住まいの方たちとのコミュニケーションも必要ではないか。これが今後の町づくり発展の為、必要と思います。	男性	60歳代
九大移転後もやたらとワンルーム型アパートが建てられています。一方、空室も増えている気がします。防犯上も景観上も少し規制が必要と思います。	女性	40歳代
銀行など遠くになった。近くのスーパーが閉店になる。	女性	60歳代
娯楽施設が増え、青少年の非行等が気になります。	女性	50歳代
外国人の学生等が非常に増えた感がする。買い物に行っても会話を聞いていると異国かと思う時もある程である。家の裏のアパートは中国人のアパートみたい。	男性	50歳代
大学移転により学生が減った為か、ダイエー箱崎店が来年1月閉店になるとの事。衣料品その他ある程度日常的に使用するものが揃っている店は必要だと思う。特に高齢者の多い地域には一箇所で色々と揃う店は便利に思う。	女性	50歳代
①道路整備は歩道改築により歩きやすくなった。孫もご機嫌よく歩いています。つつじがよみがえって、良くなった。つつじとつつじの間にかわいい花が咲いているのも感じがよい。ずっと季節に合わせて咲かせて下さい。残念なのは犬の糞があちこちで見受けられます。街を汚さないでほしいと思います。 ②大学が減少して淋しくなり、街の活性化がなくなりつつある。又、身近なスーパーの閉鎖が惜しまれる。	男性	60歳代
埠頭へ通じる道路が出来たのは良いが、暴走族の出没が多くて困る。又、片側2車線の大きな道路が通っている為、昔からの町内は分断され「町」としてのまとまりが薄らいだ。	男性	60歳代
飲食店は九大移転に伴う学生、教職員減で売り上げが伸び悩んで大変困っている様です。	男性	20歳代
学生が外に出ない。もっぱらオタクの増か？昔はにぎやかだった。活気もあったが、時の流れかな。	男性	60歳代
大学生の通行マナーが非常に悪い。大学生の夜、飲んだあと、外で大声を出して迷惑です。	女性	20歳代
学生の姿が全く見当たらず、箱崎全体がゴーストタウンになったみたい。それに伴い、商店の数も減り、買いたい物が商店街の中で揃わず、ついつい大型店に出向かねばならない。高齢者になり自転車等使えなくなった時どこで買い物をすればいいのか今から心配しています。又、やたら中国人（中国、韓国系、見た目は我々と一緒）が急増。防犯の件で心配。自転車のマナーも悪いし。	女性	50歳代
自動車の交通量は変化なく多いと思いますが、歩道を通行する自転車のマナーが大変悪い。歩いている者が悪いような態度をする学生が多すぎる。	男性	40歳代
交通のバスの回数が非常に少ない。回送のバスが非常に多い。空のバスをどうにかしてほしい。	女性	60歳代
夜になると暴走族なのか、騒音で嫌な気持ちになることがしばしばあります。もっと取締りをキチンとできないものでしょうか？	女性	30歳代

内容	性別	年齢
箱崎本通周辺の商店の買い物客の減り方は、この2～3年で非常に淋しいものである。3号線沿いに大型店舗が増え、安いし、商品も豊富。冷暖房もよく、きれい等条件が揃えばそちらに足が向くのは当たり前だと思う。しかし、高齢者の方に対しては買い物がだんだん不便になっていくので、将来は不安な気持ちはいつも感じている。	女性	60歳代
時間帯（朝の通学時間と思われる）で一方通行になっている道路があるが何故なのか？理解できない。（人通りも少なく何故？車で通れず非常に不便）	女性	40歳代
若者が少なくなって活気がなくなった。中国人が増えた。大型店（ルミエール）ができ、遠方から車で来る人が増え、交通量が増えた。	男性	50歳代
JRを利用しないので、駅周辺の変化にはあまり気がつく機会がありません。学生向けワンルームの空室が増えると、治安面での不安が出てくるように感じます。	女性	20歳代
同居している母親、父親と話すのは、近くの商店街の閉店が進み、人通りは減り、マンションが増えてきたということです。	女性	20歳代
最近、中国語や韓国語を道を歩く際に聞かない日はありません。以前、箱崎埠頭で痛ましい事件が起きて以来、やはりどうしても留学生の方や外国の方に少しの恐怖を覚えます。ましてや箱崎は海の街です。海外に目を向けて開くことはとても大切ですが、それと同時に防衛という面も強化する必要があるのではないでしょうか。又、区画整理や道路整備などがよく目に留まりますが、箱崎という町は戦火をくぐりぬけ、焼けることなく古い町並みや昔ながらの道が残ったと聞いています。道の幅、それ自体が、当時のリヤカーの通る名残だとすれば、できるだけ歴史を肌で感じられるように遺していってほしいと願います。九大跡地にアミューズメントパークはいりません。もう二度と建てられないような建築物群を大切にしたいと願うばかりです。	女性	20歳代
3年位前にJR箱崎駅～埠頭に大きな道路が開通したので、車の騒音、排気ガスなどに侵され外壁はばい煙で汚れ、喉などを痛め、耳鼻科などに通う回数が増えた。3号線、交差点などの騒音、排気ガスなど生活環境が大幅に悪化した。	女性	60歳代
車の通りが良くなった分、歩行者が歩きづらくなった。3号線バイパス～箱崎埠頭までの大型車の通行も多く、環境には良くないと思う。	男性	30歳代
住人や通勤者含めマナーが悪い人が多い。	男性	30歳代
学生に依存度の高かった飲食店の経営が成り立たず先行が不安で、ひっそりした街並みとなり、ただただ淋しい限りであります。	女性	60歳代
箱崎九大前、筥崎宮前、貝塚駅前にコンビニエンスがないので、不便さを感じます。	女性	30歳代
上質の学生が減った分、常識に欠ける人が目立つような気がする。	女性	30歳代
平成19年3月に箱崎に引っ越してきたので、あまりよく分りません。けれど、地下鉄箱崎九大前駅前に以前、ローソンがあったようで、皆口々に便利だったと言っていますが、なくなってしまったので不便です。	女性	30歳代
箱崎商店街の店舗数の減少（シャッターが閉まっている）により、活気がない。	男性	60歳代
特定の時間帯と場所に、車と人の量が増え危険を感じながら歩いています。本当にどうにかして欲しいです。箱崎宮付近の「歩車分離式の信号＆横断歩道」も逆に交通ルールの無視が増える原因のような気がします。	女性	30歳代
商店街にマンションが建ち、代わりにお店の数がかなり減り、街の活力というものを感じなくなった。商店街がなくなるのは淋しく感じる。若い世代でも、気軽に利用出来る工夫を考えてほしい。	女性	30歳代
九州大学の移転に伴い、少し活力がなくなったように思える。人通りが少なくなった事で、夜道は危なくなったと感じる。九州大学の移転は九大生にとっても、周りにとってもあまり良い影響を与えていない気がする。	女性	20歳代
ワンルームマンションが多くなり、住人の顔がわからなくなった。以前学生が住んでいたアパートは高齢者の入居が多くなった。箱崎商店街から箱崎駅前通りに商店が多くなってきている。マンションは多くなっているのに、箱崎で買い物をする人が少ない。日中の人通りも少なく、随分淋しくなっている。	女性	60歳代
自転車が増え、事故が多くなってきている。前までは若い人のマナーが悪かったが、最近は若い人から年配の人まで当たり前のようにマナーが悪い！！動物を飼っている人も！！　住宅地に入ると街灯が少ない。	男性	30歳代
私の住んでいるところが、ルミエールの近くのせいか、車の出入りがとても多くて、困ります。それと、散歩に筥崎宮をよく利用していますが、歩道を自転車が我が道顔に通過していくのが怖くてたまりません。2列に並んで自転車が通ったりしている場合もあり、マナーの見直しをしてほしい。	女性	50歳代
箱崎住居地域を南北に分断する道路の増設により箱崎居住区の住民が住みにくくなった。トラック等、埠頭との関係で増大している。	男性	60歳代
街づくりを以前の文教地区からどの方向に持っていこうとしているのかわからない。学生さんが移転で減って活気がなくなった。大学どおりに店を出していますが、大学通りが一番淋しい気がします。いい通りなのにもったいない。ただ単に計画だからと道路を拡げるだけは反対です。	男性	40歳代
（中国人が多い）外国人の人が増え、道路での、特に自転車マナーが悪く、子連れには歩きにくくなった。箱崎商店街の規模が小さくて、あまり魅力を感じない。グルメシティが来年閉店するので、買い物が不便。特に小さな子供を持つ人や、年老いた方たち。	女性	30歳代

内容	性別	年齢
九州大学生がいなくなったので、町に活気がなくなった。マンションが建ちすぎて旧来の人の付き合いが少なくなった。網屋町付近の車の離合が出来ない。子供たちが皆、道路上で遊んでいる。遊び場が少ない。	男性	50歳代
学生が少なくなった事で夜など活気がなく、閉まっている店、早く閉めるところが多くなったので町自体暗い感じがする。交通量は道幅が広くなった事でとても多いです。もう少し信号機又は横断歩道を設置してほしいです。	男性	60歳代
大学生が減ったような感じはしない。外国人（韓国人、中国人）が増えたような気がする。	女性	20歳代
人通りが少ないため寂しい。活気がない。何故か車が多くて人身事故が多い。	女性	70歳以上
歩道が広くなったが、歩道に駐車する車が目立ちすぎる。歩道の意味がない。駐車する為の歩道になっている。	男性	30歳代
多少必要なものが減り、いらないものが増えた気もします。出来るだけ古い町並みは壊してほしくないです。	女性	30歳代
最近、外国人(中国人)が非常に増した。	男性	50歳代
箱崎は交通の便もよく、住みやすいのに、香椎、千早地区と比べ活力が劣っていると思われるので、もっとアピールしてほしいと思う。	女性	50歳代
九大の学生は減ってきたが、外国からの留学生がかなり増えていて通行のマナーなどが悪く、印象が悪くうつっているようです。新しいマンションが建って活気が出るか・・と思いきや、閉まったお店も多く、寂しい感じがします。	女性	30歳代
国道3号線側付近に居住している者は交通が便利なので、昔とあまり変わらないが、大学通り1丁目～3丁目付近に住んでいる者たちは人通りの少なさにビックリしていると思う。私は元々3丁目大学の側で育ったので、商店が減っていくのがすごく淋しい。たまに、魚屋肉屋と昔からある商店に行くと人が歩いていないので、今後九大が無くなったらどうなってしまうのかと不安です。考えがつきません。	女性	50歳代
区画整理や道路整備等で箱崎の町並みが大きく変わりましたが、魅力あるものかというとマンションが増えても、人が増えている(活気が出た)というイメージはありません。次は道路の拡幅ではなくて、今ある生活道路や路地の電柱の撤去等を進め、廻遊性を高め、商店街や街の辻々に人の姿のある町にして欲しいと思います。九大が箱崎を去るのは非常にマイナスだと思いますが、せっかく九大がありながら、文化的な学生街を形成できなかった旧世代の人々の努力と意識と計画性の無さを残念に思います。	男性	40歳代
古い街並みの保存は戸建て住宅(その地域)をいかにして残すかにかかっていると思う。今後は戸建て住宅地区のマンション建設を規制するなどして、戸建て住宅の居住者を守ってほしいと思います。道々に小さな神社や仏者、地蔵などがあり、ほっとします。これ以上マンション化しないことを望みます。	女性	60歳代
ルミエール等の安売店の関係？などでアジア系の外国人を良く見られます。以前はアジア系以外の外国人と思われる人たちで(多分留学生)マナーがとても良く、商店街で見受けられていたのが、そういうマナーの良い外国人の人たちを見ないようになったと思います。マナーの悪い人たちが多くなると街も、自分も防犯を考えなくてはいけない様な感じです。	女性	60歳代

＜松島校区＞

内容	性別	年齢
道路が大きくなったのに信号や横断歩道が少ないので危ない道が良くなった分スピードを出す車が増えた。	女性	20歳代
この地区での変化は箱崎駅移転、区画整理九大移転が大きな動きで街はきれいになり車の量も増えたが、通行の為で街としては分裂を生み九大移転で学生が減ったことによる空き部屋、閉鎖店が増え、街としては活気のない街になった。	女性	60歳代
外国人が増えた。3号線名島橋西信号から箱崎駅前通りに流れる車が増えた。	男性	40歳代
箱崎が立体になり、3号線から松田までがつながり交通量が増えた。渋滞が気になる。	女性	30歳代
便利な地区より移転することに大学のメリットはあるのかに加え共に歩んできた街を切り捨てること、その結果が上問につながってると思う。	男性	30歳代
個人商店がつぶれ空き地、空家が結構存在するので、公園にして木をいっぱい植えるとか考えてほしい。	男性	30歳代
道路が整備され、車の通行量は増えた、見た目はきれいになったが車のない人は不便になった。箱崎商店街は車ばかりで自転車、歩行者にとっては不便です。	女性	60歳代
マンションが増えた。昔ながらの良いものが消えていく感じがする。	女性	30歳代
道が広くなった分交通量が増え危ないと感じることが多くなった。	女性	50歳代

内容	性別	年齢
新しい道路ができて交通量が増え危険。	男性	20歳代
JR鹿児島本線が高架になり踏切で待つ時間は無くなったが、区画整理で九大東側道路が拡幅され交通量は大変増加した。しかし、筥崎宮の西側から九大正門までの道路は昔のままで箱崎・筥松の街並みが香椎地区に完全に圧されてしまった原因はここにある。九大の存在にあぐらをかき、旧態のまま都市計画がされなかったのは住民の再開発意識が薄かったのと同時に博多駅・福岡空港に近い立地をより良い方向に導かなかった行政側の工夫も無かったように思える。	男性	60歳代
吉塚駅前から馬出1丁目より西鉄吉塚バス営業所の間、現在1車線でマヒ状態。早急に2車線にしてほしい。	男性	70歳以上
箱崎校区は学生が減り、街が寂しくなった。老人ばかりのさみしい地区になる。グルメシティーも閉鎖になるようで箱崎校区の人は困っていると思う。本当に老人の多い地区なので買い物など不便だと思う。	女性	30歳代
学生は減ったと思うが大型マンションができて人口はむしろ増えている印象。学生の街から天神・博多駅地区などへのベットタウンへと変わりつつあるようにみえる。	男性	20歳代
九大正門前の道路が狭く、歩行者、車共危ない。	女性	30歳代
ワンルームマンションが多くいろんな人が居住しているため防犯パトロールを強化してほしい。	女性	30歳代
外人が増え治安が悪くなった、箱崎公園における駐車場の開放時間を長くしてほしい。	男性	40歳代
区画整理の恩恵は受けてますが狭い道路の抜け道利用として車の交通量が多く怖い。	女性	30歳代
横断歩道の設置	男性	60歳代
マンションは増えたが、スーパー等が少ない。	男性	30歳代
車道が広くなってトラックの通行が多くなり、黒い排煙を出して空気が汚い。居住地と大きな道路は離すべき。	女性	50歳代
学生が減り、外国人が増え治安が悪く、不安である。	男性	60歳代
近くのスーパーがなくなって不便になった。	女性	20歳代
JR箱崎駅の移転により渋滞が減った。	男性	20歳代
現在検討中の子ども病院の件は、九大跡地がよかったと思う。交通の便もいいし、街の活性化にもつながる。	女性	50歳代
交通量は増えたが信号機が少ない箱崎中の生徒が渡れず危ない。	女性	20歳代
JR箱崎駅の移転により渋滞が減り、景観が見違えるほどきれいになった。	女性	60歳代
大学周辺は確実にさびれている。	男性	30歳代
小路の街灯が少なく、安全面に不安。	女性	20歳代
箱崎駅周辺は道が広くなったため車が余計に増え、スピードも増している。	女性	30歳代
自転車のマナー、中国人のマナーが悪い。	男性	30歳代
中国人が増えマナー悪い、道路が整備され便利になったがその反面交通量が増え、運転マナーの悪い車が多い。	男性	50歳代
箱崎校区の活性、発展は跡地にショッピングセンター、映画館等の施設を造るといいと思う。	女性	50歳代
松島校区は公共交通機関がなく不便であるのに、パーキングが少ない。	女性	20歳代
九大前の交番が移転したので不安。	男性	50歳代
道路拡幅の為交通量が増えた。	男性	50歳代
箱崎通りの交通量が減った。3号線へ出やすくなった。	女性	50歳代

＜筥松校区＞

内容	性別	年齢
一部の道路だけが整備されているが、不自然な道路等もある（歩道の途中切れている所があったり）。駅付近が暗い感じがして（特に裏口）発展性がない（活気がない）。街路灯を店舗に頼っていた所等、筥松小学校正門前の通りが暗い。	女性	60歳代
原田地区は道路も拡幅され、明るい街並となってきたが、筥松小学校から筥松新町・二又瀬新町にかけては道幅が狭く、街づくりから忘れられている様に思われる。話題にも上らない。	女性	50歳代
家に帰るのに一方通行で遠回りをしたり、アパート前に大型トラックが駐車する為、駐車場入口に入るのが困難であったり、両側に駐車してあって車が通れなかったり。一時の一般の人の路上駐車取締りは何だったのかと思います。しっかりと取り締まりをしてほしい。	女性	60歳代
九州大学移転に伴い（工学部が伊都キャンパスに行ってからは）学生、企業関係者の激減、箱崎地区の衰退を危惧されている。東区役所、東保健所の千早への移転も箱崎地区への人の流れを変える要因にもなりかねない。JR箱崎駅快速停車も何年かけても実現出来なかった事も残念です。	男性	60歳代
歩道が広くなり、かえって危ない。	女性	60歳代
道幅が広がり暴走族（バイク）がうるさい。夜中（明け方）のゴミ収集車がうるさい。これから子育てするのに廻りの環境が不安である。小児科が近くにあるが前日から予約しないといけないらしく、病院が少ない（小児科）。	女性	20歳代
今まで車の通りの少なかった裏道に車がスピードを出し危ない。	女性	40歳代
原田バス停の大通りが3号線と接続になった為、浜の倉庫街からのトラックが非常に増加した。	男性	60歳代
連続立体交差によって道路環境は非常に良くなった。この地域の生活環境の最大の問題点は航空機騒音と航空機事故の不安が常にある事。この事で、イメージも良くない。空港の移転が成れば改善されると思う。九州大学の移転は地域の落ち着きの点では良かったと思う。	男性	50歳代
道が広くなって交通の便は良くなっていると思いますが、信号無視やスピードの出しすぎな車が増えて、前より交通事故をよく見るような気がします。小さい子供がいるので、気を付けて運転するように呼びかけてほしいと思います。全体としては道が広いと街灯もあるので夜は安心できますので良かったです。	女性	30歳代
箱崎商店街周辺の活気が弱くなったような気がします。	男性	30歳代
交通のマナーが非常に悪い（赤信号で行く人が多い）	女性	50歳代
ダイエー原田店がなくなり不便になった。ダイエー原田店の後に入店したリサイクルショップに物を売りに来る人（外人）が多く異様な感じがする様になった。盗難も増え治安が悪くなった様に感じる。（中国系の外人が多い）	男性	50歳代
JR箱崎駅が高架になり、踏切事故がなくなった反面、駅周辺にあった店がなくなりマンションなどが建ち並び味気ない街並になってしまったように思います。	女性	20歳代
どうしても便利であった中央区の良さから比較すると筥松新町は不便に感じる。バス、電車、共に駅まで15分は必要。防犯面においては地域の方、公番パトロールが毎日のように見るので安心感が以前よりも良く高まってきている。家賃の安さが不便な部分と切り離せないのは仕方がないのかも知れない。道をスムーズにしていても、どうしてもひずみや工事で管理が必要なので、出来るだけ段差の少ない道、街作りができたらと思う。	男性	30歳代
自転車が多い。交通量が多くうるさい。	女性	30歳代
九州大学の移転により学生の数が少なくなり、空き部屋が多くなり飲食店等も少なくなりつつある。	女性	19歳以下
線路跡に建てられたマンションに入居した家族連れがふえ、人通りが多くなったと思います。	女性	20歳代
JR箱崎駅が現在の場所に移動し、駅内部も以前よりきれいになって利用しやすくなりました。以前の場所では駅前に自転車が溢れていた印象がありますが、現在は駐輪場もあり毎朝駅前に人が立っていることで無断での路上駐輪もなく、景観も良くなったと思います。	女性	20歳代
ファミリーマート原田1丁目（坂本小児科そば）の前が横断歩道のみで、交通量（車の）が多く、子ども達が通学で待っていてもぜんぜん止まってくれず、ファミリーマート駐車場からの車の出入りもあり事実上5差路～6差路の様な状態にもかかわらず信号もなく、とても危ないと思う。メジャーな通りにばかり関心されて、他がないがしろにされていておかしいと思います。	女性	30歳代
近所にあったスーパーがなくなり非常に不便に思っています。	女性	60歳代
主要地方道福岡太宰府線（筥松小前二又瀬博多バイパスまで）都市計画街路の整備促進を願います。	女性	60歳代

内容	性別	年齢
九州大学の一学部の移転によって箱崎・筥松地区の人的衰退が如実に現れている。これから理系学部が逐次移転する状況が現実化した時には現在以上に箱崎周辺が寂れた街に変貌するのではと危惧するものである。これも、どの時期に箱崎キャンパスの跡地利用計画が明示され、実現するかが、4地域の活性化を左右する重要なキーとなる事は間違いない。現在のキャンパスは10年前の整備された学園から見て、大学自体が寂れた団地を形成されつつあるとしか思えないので完全移転までの最短10年間を思うとき、行政が負う責任の重大さが伺えるであろう。	男性	70歳以上
道路拡張、整備などで車社会にはプラス効果だと思うが、人間社会において立ち退きや高齢化、近所づき合いなどの変化により希薄化し不便だと思う。この校区だけではないとは思うが、車、交通より人に優しい街づくりが不可欠だと思う。又、道路整備で広くなったにもかかわらず信号待ちをしたくない為か細い道が抜け道として利用され歩行者が危険な目にあっている。	女性	30歳代
夜遅くに車の音がうるさいことがあります。人通りは変化ありませんが、やはり夜遅くにふざけたさけび声などがします。	女性	20歳代
九大生がいなくなって活気がない。特徴がない。箱崎らしさが色あせてきた。	女性	50歳代
ある時間帯に日本の方でない東洋系の若い人たちの自転車走行が団体にみえるのでたまに怖い。（小さい子供連れなので）難しいかもしれないけが、できるだけ縦列を心がけて走行してほしい。	女性	30歳代
深夜2～3時にバイク音に悩まされてます。バイパス添いの為ガマンしてます。	男性	50歳代
郊外店ができて校区内の活力は減っている。九大も移転するので老人の多い町になると思うので・・・。娯楽に関しては無いに等しい。	女性	20歳代
交通量（流れ）の変化が立体交差後にあり県道（福岡～太宰府線）の抜け道とし利用されていた道へ交通量が減った。	男性	30歳代
大型車の交通量が増え、交通面での不安が増えた。マンション等の空室が目立つ反面、中小の店が減って通りがさみしくなった。	男性	60歳代
道路整備などは行われているが犬を散歩させたあとの片付けをしない人が多すぎます。もう少ししっかり指導していただきたい。	男性	40歳代
アパート、マンションは移転後のJR箱崎駅周辺にどんどん建ちましたがまだまだ空室がありそうです。人が少ないと活気がなく防犯上もよくないと思います。	女性	40歳代
箱崎駅を中心に公共施設の充実。講演集会のできる場所が欲しい。原田→3号線に通じる路線バスがあると区役所への便がよくなる。	女性	50歳代
箱崎地区に九大生が減り朝の通勤が楽になった。松島地区は大きなバイパスに囲まれ、通学中に大型トラックが児童の横を通り恐い。箱崎地区は高齢者が多いので高齢者に優しい街にしてほしい。昔の住宅もありノスタルジックな空間は残してほしい。	男性	60歳代
交通面などに関しては利用しやすい地域だと思う。どの地域に関しても言える事は世の中の変化による生活環境など1人1人の思いやりがなくなり自分さえよければ・・・と考えの方が多い。人が変わらなければ地域も変わらないと思います。	女性	40歳代
箱崎駅附近は道路が広くなり自動車をよく利用する人にとっては、とても運転しやすくなりました。	女性	30歳代
歩行者用の横断歩道が増えて子供と歩いて外出する時にとても助かっています。自転車の交通が多いけれど、お互いよけ合ったりしてうまく交通している。通行しているのは多くは地元の人たちなので、お互いゆずりあいができているのではないか。道路を広くすると町内の交流が分断されるからあまりしなくてもいいように思う。	女性	30歳代
アパート、マンションの空室が多く、人通りが少ないのにこれ以上箱崎地区をさわることはないと思う。公園は明るくしてほしい。夜のJR高架下を一度行ってみて下さい。せっかくのウォーキングコースなのに歩いている人が1人もいません。もったいなく思います。	女性	40歳代
若い人が減って街の性質が変わってがらんとなった気がします。交通量はその他の関連で増えていますが何か無機質な気がします。文教地区という気がしない。箱崎地区はマンションは増えて道は広くなったが、しっとりとした特色はなくなった。どこにでもある小ぎれいな街という感じ。	女性	40歳代
駅がきれいになり、その周辺の外観は良くなったが、今の住まいに影響はない。大学がなくなった事で活気がないような印象を受ける。	女性	40歳代
外国人（アジア系）の方が最近非常に増えたと感じる。夜中に大声で話す、自転車のマナー、ゴミ等の問題が目立つ。外国人と地域の方との交流がない為、相互いに理解し合えない。年代別に交流があってもいいし、地域の祭り等に参加してもらいもっと交流を図りたい。例えば保育園や施設に訪問してもらい、母国のことについて教えてもらうなど。	男性	40歳代
よく行くお店のご主人によると学生さんや九大職員の来客が目立って減っているとのことであった。また、リサイクルショップの閉店があった。（H18春頃）	男性	30歳代
車ばかり多くなり、通行するには非常に気を使う。無灯火の自転車が非常に多く、先週もよけそこねてケガをして、未だに痛みがあります。（相手は逃げられた）	女性	60歳代
駐車場が少なく路駐が多い。	女性	20歳代

内容	性別	年齢
最近住み始めたので昔との差は分りませんが、駐車場は少ないし、暴走族はうるさいし、もう少し警察がきちんと巡回すべきだと思う。一般人の違反を取り締まるより、とにかく暴走族をどうにかしてくれないとうるさくて眠れない。	女性	20歳代
今さらですが、何で便利のいい九大が不便の悪い元岡の方に移ったのが今だにわかりません。里が西区の方ですが、移転の関係で猪が出てすごく困っています。	女性	50歳代
車の通行量が増え、危険が増えたと思う。	女性	30歳代
子ども病院の救急施設として九大跡地を利用してみる・・・など。	女性	30歳代
コンビニエンスストアの24時間営業は防犯面でよくない。	男性	60歳代
箱崎駅附近はよいけど、原田あたりは変わらない。	男性	60歳代
空き室が増えたことで、この地区に住んでいる人達は、防犯上の不安が多少なりとも大きくなっていると思う。「空き室」とすぐに分ってしまうのも同じアパートに住んでいる人には不安だと思う。	女性	20歳代
若い外国人が非常に増え、夜遅く大声で話して通るのが気になる。	男性	60歳代
九州大学の移転問題とJR箱崎駅等の区画整理の影響がどの様に関連しているかは不明ですが、区画整理を実施した事でJR箱崎駅の周辺は整理され、お店も増えて道も広くなり、運転しやすくなったし、新しい人が増え活気も以前よりはあるように思います。ただ、夜間は以前と同様に危険な感じは変わりません。	女性	40歳代
賃貸マンション増加のため、人口の急増があり、何にするにしても生活が気ぜわしい。	男性	40歳代
立体交差で渋滞がなくなって非常にありがたいです。九大前の交番も移ってきて安心な感じがとてもします。	女性	30歳代
ファーストフード、ファミリーレストラン等、飲食店が少ない（箱崎駅周辺）	女性	20歳代
箱崎駅が移動になって便利になりました。が、その反面道路が広くなった事で今まで通ってなかった大型車が通る事になり騒音、排気ガスが増えました。住むという観点からすれば4車線は必要ないのではと思います。あと、区画整理によってアパート、マンションが増え’人’が見えない事もあり防犯上少し心配です。	女性	40歳代
学校が移転するのにワンルームを建てる地主や行政のやり方が理解できないし防犯、防災が不十分駅前の公園は何をどうするか？まちづくりを誰がやっているのかマンション住人は地域の中に入れられてない。	男性	60歳代
交通には便利と思う点もあるが箱崎駅に快速が止まらないので少し不便。箱崎駅周辺に活気がない。箱崎駅に自転車を預けるのに100円かかる。だから放置する人も多い。九大に入っては（敷地内）いけないと思っていたので、入った事がない。でも学生さんがいる事で活気もあるし、こわすのはもったいないし、古い物がだんだんなくなり淋しい。箱崎に住んで7年経つが、地域の温かさはない。ホームレスの方が多くみられる。	女性	40歳代
3号線の方は、大型店や飲食店が増え、車でも行きやすい。箱崎の商店街やその他の路地は駐車スペースがなく、車での移動が不便。しかも車の通行量は多く、歩行者にも不便。商店街が通過点になっている印象がある。昔からある未整備な道路も、もっと外灯や歩道を増やして歩行者が安全に通れるようにしてほしい。	女性	20歳代

＜東箱崎校区＞

内容	性別	年齢
九大の移転は住む人には問題ない。商店、アパート管理などでは変わったかもしれないが、そもそも学生は外人が多く移転して不便なのは学生寮がこっちにある彼らなのでは？	男性	60歳代
人通りは大学付近はやや減か、交通量は変化なしと思うが、香椎方面とのつながりが出来、やや減かも。スーパーがなくなったことが不便になり、周辺の老人等の買い物が難しいか。	男性	60歳代
箱崎（バス通り）において、九大移転の影響か非常に車、人とも少なくなった。（休日には極端に少ない）	男性	60歳代
大学通りの活気が非常に少なくなった。空き店舗が増えた。	男性	60歳代
学生が減り、他からの客が増えた（ドンキ等）。ルミエールができ、箱崎商店街が崩壊した。筥崎宮近辺に昭和を思い出させる店構えの店が増えた。	男性	40歳代
路上駐車が多すぎる。警察交番人は遊んでいるのか取り締まれ。火災が起きたら大変だ（埠頭3丁目）	男性	60歳代
高齢化が進んでいる。	男性	60歳代
遅れがちだった区画整理、道路整備等が進み、それなりの利便性は向上したと思う。しかし、商業資本サイドの大型店か、マンション等の進出はかなり目立つが住民サイドに立ったインフラ整備の視点を欠いているため住民の福祉、生活利便性等は人口増加に反して劣化しつつあると思われる。街中の活性化、住みやすさを向上させていくのが基本であるはずなのに、辺鄙な人工島開発等に力を入れる市政の方向はおかしい。	男性	60歳代

内容	性別	年齢
スーパーMにしろ、娯楽施設にしろ、居抜き～で業者にとっては難しい校区と思っているのでは？	男性	60歳代
地下鉄駅周辺での人通りが少なくなったと感じます。迷惑車両が増えました。夜の騒音（マフラー音、クラクション、ホーン音）はもちろん、夕方や長期休暇時期も以前にましてうるさい。中央区の取り締まり強化で東区方面に走りに来ている印象があります。	女性	30歳代
区画整理よりJR箱崎駅周辺の道路交通渋滞が緩和されたように思います。また、駅周辺の街灯が多くつきとても用心が良くなったように感じます。しかし対象的に貝塚地区は3号線沿いに「007」や漫画倉庫等が出来、スーパーがなくなったため、日々の生活で不便になり、また、夜営業のため今後不良のたまり場になるのではないかと防犯上の心配が懸念されます。実際、連休の深夜周辺道路でのバイクの暴走運転が激しくなっています。警察署が近くても治安が心配です。	女性	40歳代
大学生向けのアパート等空き室が多くなり活気がないように感じる。	男性	50歳代
九大校内に立派な木がたくさんあります。跡地を利用するときにその木をうまく利用して緑を残していただきたい。この地で育った大きな木なので愛着もあり、姿も美しいと思います。この地区の人たちだけでなくほかの地区からも安らぎを求めてきていただくような所を作ってほしいと思います。	女性	60歳代
①治安が悪くなった。盗難（車・自転車）、ホームレスが住みついた。②街全体が明るい雰囲気が見られない→街灯を増やす。③外国人居住者が増え、うまくつき合う工夫が必要になった（主観の違い）。④ゴミの少ない清潔な街づくりをしてほしい。⑤漫画倉庫、インターネットカフェ、コンビニ等若者を不良化する不健全な設備が増えた。	男性	60歳代
九大の完全移転後（おそらく10年後）に大きな変化があると思います。	男性	30歳代
九大移転に関係あるのかわからないが学生に活気がないというか、全体的に静か。今後どうなるのか、移転の進行についてもあまり情報がないので発信してほしいです。	女性	20歳代
九大が移転した後、交通の便がとても良い立地なので、公共の施設を整備して活気ある場にしていただきたい。特に今あるグランド側の広大な土地は地下鉄と警察署とバス停とあって東区の玄関口なので東区役所と高齢者の施設（健康増進）と子供たちの施設（中央区の少年文化会館）をもってきて緑も配置して貝塚公園も加えて一層していただきたいと強く願っています。	女性	30歳代
近所にスーパーや銀行、郵便局がないので不便に思う。確か以前マルキョウがあったのに、他の店になっており、世帯数が多いのにスーパーがなくなったのが不思議に思う。	女性	30歳代
区画整理、道路整備がなされるほど、交通量は増えるようであり、通り抜け、暴走者が多出するように感じる。また車両は通過することが多くなり、地元の旧来の商店街を利用してないように感じる。結果としてこれらの商店街の灯が消えていっているように思われてならない。	男性	60歳代
もし九大跡地ができるのならば、家族や友達といけるスーパーマーケット的な服とかもあるやつを作ってほしい。	女性	19歳以下
東箱崎校区に関して言えばまったく発展がみられず、特に商業施設が少ないために他の地域に足を延ばさねばならず非常に不便である。公園等の緑地環境はまずまず確保されているので（実際利用者もそれほど多くなく、需要も少ないと思われる）、商業施設（スーパーやショッピングモール等）の充実を強く望む。	女性	30歳代
街並みはきれいになって便利に見えるが、日常生活に必要なスーパーが少なく不便。スーパーの大型化で近くの商店がない。	女性	50歳代
車を運転する個人として歩車分別の信号は一部は設置するのであればほとんどの交差点で設置してもいいのではと思う。	男性	20歳代
大型店が出来、地元の商店街がさびれたのがさびしい。昔の活気が欲しい。	男性	50歳代
JRが高架となり車の量とスピードが増加してますが名島橋西の交差点から筥松3丁目までの道路幅が狭いままで、大変危険を感じています。アベルネ貝塚駅前の踏切も中学生や通勤の歩行者は車や自転車の合間を縫って所かまわず横断しており、信号や道路拡張など早く対策を取ってほしいです。運転するのも大変ストレスで血圧の上がる思いですし、いつ事故がおきてもおかしくない状況だと思います。	女性	40歳代
近年娯楽施設が増え、校区外の人がよく通るようになり、ポイ捨てなども多くなり、治安が不安。	女性	40歳代
楽市楽座などの娯楽施設が増え人の質が悪くなった。	男性	60歳代
JR箱崎駅、吉塚駅への道は見違えるほど広くてきれいになりましたが、信号の数が多いので次々と信号に引っかかるのが朝夕のラッシュには特につらい。	女性	50歳代
九大跡地に大駐車場つきの県立図書館の移転が望ましい。大きな公園を造ることが望ましい。ゆめタウン級の商業施設がほしい。スポーツ施設がほしい。講演会などが開かれる文化施設がほしい。記念すべき建造物は是非残してほしい。緑は存在してほしい（植樹など、池なども）	男性	70歳以上
遊びの店が増え環境が悪くなりました。	女性	50歳代
箱崎地区は銀行、郵便局が少なく不便です。そのほかは住みやすいと思います。	女性	50歳代

内容	性別	年齢
①名島橋から箱崎に抜ける道が狭いので大型トラックの通行止めもしくは時間制限をしてほしい。歩道が狭いので危ない。マンション敷地外の駐車場に生きにくい。②近くに駐車場がないため、来客が来ても車を止めるところがないためコインパーキングを作ってほしい。③3号線沿いにマンガの専門店ができたり生活に必要ない店が多すぎる。団地やマンション、世帯住民が多いのに。ショッピングセンター等が近くにないことが不思議です。スーパーや大型店が車でしか行けないところにあるのでとても不便です。④バスの交通便がいいだけでJRも地下鉄も遠く住みにくいところです。⑤西鉄の踏切で渋滞し、通りも狭いので改善をしてほしいです。ベビーカーで通れない。	女性	40歳代
老人が歩いていける日用品や食料品を買う店が近くにない。	男性	20歳代
学生向けのアパートは確かに空き室が増えていると思う。これから不景気を伴い、ひどくなるのではないか。	男性	70歳以上
人通りというか自転車量が多く、自動車からみた場合、危険性が高く、マナーも悪い。道路幅が狭く西鉄電車の踏切のため渋滞が著しい。	女性	50歳代
日常生活に必要なスーパーが閉店し、代わりにゲームソフトを販売する店が二軒もでき、困るところです。	女性	40歳代
このところ娯楽施設が増えてきて、防犯上の安全性が気になるところです。	女性	50歳代
JRの高架化のおかげで3号線と旧3号線とのつながりは非常に良くなりました。しかし信号の連動がとても悪く、スムーズな移動ができてるとは言えない状態です。（箱崎ふ頭西入口～松田交差点）	男性	20歳代
まだ箱崎地区は治安が良くなく、安心して夜外出できない面があります。街の魅力はあまりないです。	女性	20歳代
自転車の交通の便が良いので自動車の数は多いが、人がたくさん集まりそうな魅力のある施設があまりないように思える。	男性	30歳代
九大移転に伴い活気がややなくなったように感じます。	女性	50歳代
3号線沿いにパチンコ屋ゲームセンターおもちゃ倉庫等が増加し、地域の子育て環境は著しく悪化していると感じる。	男性	60歳代
東箱崎小学校の校区はたくさんの住宅街があるのにスーパーがまったくないです。車を持ってる人はいいけれど、お年寄りや車を持たない方々は買い物に行くにも大変じゃないかと思います。	女性	30歳代
おもちゃ倉庫、007はいらない	女性	20歳代
マンションが増えているのに駐車場が少ないのか、路上駐車が多すぎ。	女性	50歳代
九大農学部正門を出たところですが、せっかく線路が高架になったのに歩道は途中で切れていて、歩いていていつも危険。拡張工事をするなら途中でやめず最後まで安全に歩ける歩道を整備してほしい。中途半端で余計危険です。	女性	40歳代
九大工学部が移転し荒れている。九大全体が移転したあと箱崎地区がどうなるのかとても心配しています。九大跡地を有効利用して（公園など）（公共施設希望）安全で活力のある箱崎になったらいいなと思います。	女性	40歳代
九大は箱崎地区を代表する地域資源だと考えていたため移転はとても残念です。	女性	30歳代
全体的に東区は3号線など大きな道路は明るいが一本中に入ると駅前でも薄暗く、（貝塚駅）女性一人では歩きづらい。3号線は交通量が多いので、信号が青でも歩行者が急いで渡らないといけないような感じなので子供だけで渡らせるのは不安がある。	女性	30歳代
九大文系キャンパス、理系キャンパスの緑は残してほしい。	女性	30歳代
JRは移動したがきれいで明るくなったのは良いと思う。夜の駅周辺はもう少し明るく影のないようにしてくれると女性は安心である。JR移動で新しい道も利用しているがとても歩行しやすいと思う。路地からの抜け道もあるが曲がり角で危険なところもあるので調査してほしい。駐輪場の置き方も注意してください。	女性	30歳代

（4）箱崎キャンパス跡地の利用方法についての関心度

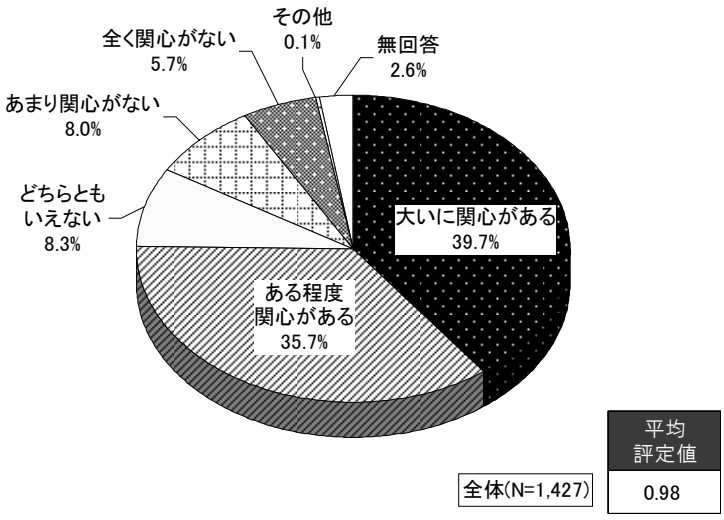
4，九州大学移転後の箱崎キャンパス跡地の利用方法について、あなたはどの程度関心がありますか。

全体では、『関心がある』割合は 75.4%で、特に強い評価である「大いに関心がある」と答えた人の割合は 39.7%となっている。一方、『関心がない』割合は 13.6%となっている。なお、平均評定値は 0.98 となっており、九州大学移転後の箱崎キャンパス跡地の利用方法についての関心度は比較的高いと言える。

注）
関心がある：「大いに関心がある」と「ある程度関心がある」の合計
関心がない：「全く関心がない」と「あまり関心がない」の合計

※平均評定値について
イメージ等、通常は数値的に評価できないものを定量的に評価するため、「大いに関心がある」：+2点、「ある程度関心がある」：+1点、「どちらともいえない」：0点、「あまり関心がない」：−1点、「全く関心がない」：−2点と回答を得点化し、この平均を求めたもの。ただし、「その他」は評価対象から除外している。

図　箱崎キャンパス跡地の利用方法についての関心度【全体】

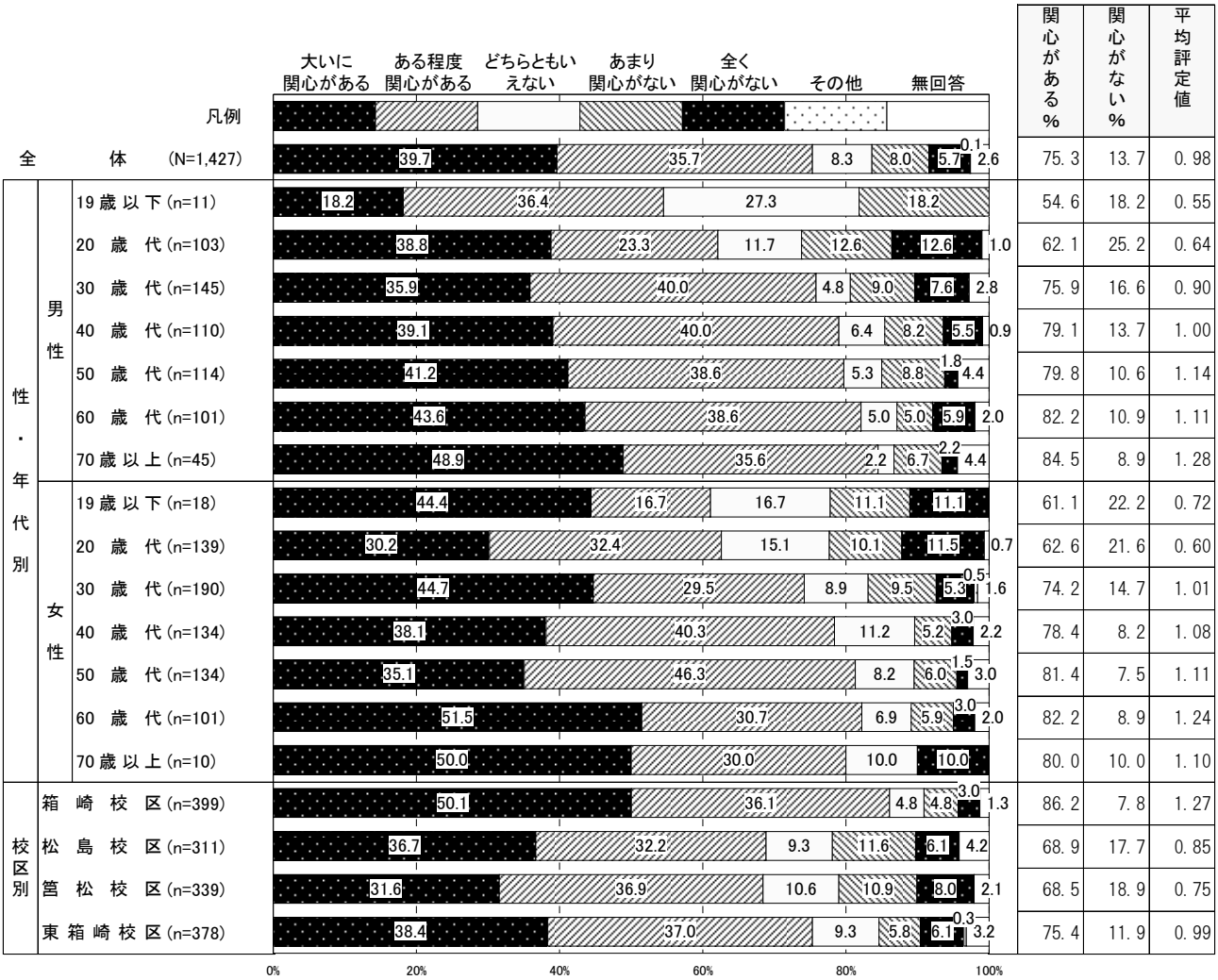


性・年代別にみると、『関心がある』割合は、男女とも年齢が上がるほど多くなる傾向がみられる。平均評定値をみると、男女ともに20歳代（男性：0.64、女性：0.60）は、他の年代に比べて値が低くなっており、『関心がない』人が比較的多いといえる。

注：サンプル数が少ない19歳以下と70歳以上は、男女いずれも分析に含めていない。

校区別にみると、『関心がある』割合は箱崎校区が86.2%で最も多く、次いで東箱崎校区(75.4%)、松島校区（68.9%）、筥松校区（68.5%）の順となっている。平均評定値をみると、箱崎校区が1.27、松島校区は0.86、筥松校区は0.75、東箱崎校区は0.99となっている。

図　箱崎キャンパス跡地の利用方法についての関心度【性・年代別、校区別】



（5）その他、自由意見

表　その他、自由意見

＜箱崎校区＞

内容	性別	年齢
私は今、九州大学文学部社会学研究室にて九大の記憶と街の景観保存プロジェクトを行っています。大学はこれまでお世話になってきた箱崎の街を残して去っていきますが、「大学があった」という記憶が風化してしまわぬようにとその保存を試みています。プロジェクトメンバーの一人として、これから箱崎がどうなっていくのかがとても気になります。学生の衣食住を支えてきて下さった小さな飲食店などはこれからも街の一部として残るのでしょうか？	女性	20歳代
私の家は昔より九大生の下宿などをしておりました。今は賃貸マンションを10年前に建て、生計を立てております。九大の移転に乗じてマンションの空室も目立っております。どうか九大跡地には大学等の誘致をお願いいたします。そうしなければ、今箱崎はご存知の通りマンションばかりで今後空室ばかりで大変なことが起こりうると心配しております。昔みたいに箱崎に人があふれ、活発な町が帰ってくることを切望致しております。よろしくお願いいたします。	男性	50歳代
わが町箱崎は昔よりお宮（箱崎宮）と大学（九州大学）により、栄えた町と思います。ロケーションとしましてもJR，地下鉄、バスの利便性があり、博多駅、福岡空港、天神へのアクセスのよさもあります。その中で、九州大学の移転があり、跡地利用は大きな関心事です。地下鉄の駅もあり、福岡市内では今後二度と出ない大きな広い土地利用になる事と考えます。箱崎地区の人びとはもちろん、福岡市内の方々のご意見を色々と尋ねる事も必要ではないかと考えます。今回のようなアンケート又意見の場等、今後もよろしくお願い申し上げます。	男性	60歳代
老人の施設。憩いの場所を作って下さい。	男性	70歳以上
緑地、10年とか20年とかではなく、毎年一定の樹を植え続けて100年も200年も続けて広大な森にしたい。木の苗を一本売りにして買った人の名前をつけるとかして、緑に対しての関心を強くする方法も一案かと思います。	女性	60歳代
来年の1月11日まででグルメシティさんの閉店でご近所に住む年配の方、特に一人暮らしや車等を所持されていない方の買い物をする場所が心配です。仕事の関係上、箱崎、馬出etcに住む方の声をよく耳にするのですが、私達世代はゆめタウンやルミエールでも、車に乗る事も自転車に乗る事も出きるので良いのですが、大型スーパーが増える一方で昔からの商店さんの閉鎖、グルメシティの閉店・・・。皆の住みやすい街づくりを目指すのであれば、その様な面も考えてほしいと思います。若い人たちにとっては車で移動するのもその他、交通機関の利用も当たり前で便利な環境かもしれませんし、実際私もすごく便利だと感じています。でも、お年寄りの人たちにとってもすごく便利だと感じられるような環境づくりをしていってほしいです。上手く文章にすることが出来ず、何も伝わらないかもしれませんが、どの世代にも満足のいく環境づくりをして下さい。	女性	20歳代
やはり跡地の面積の大きさからして、周辺の住人への影響は大きな物になると思います。十分検討のうえ、住みやすい街づくりを行って頂きたいです。例えば、大きなショッピングモールなどを作って活気ある第2の天神となるほどな街にしてほしいけど、それにより渋滞なども不安に思います。安全で明るい街にしてほしいです。	女性	30歳代
森の公園（アジアの木々を植える）花の公園を造る。	男性	60歳代
昔は西鉄ストアが箱崎にあり、箱崎商店街ももう少しにぎわっていた気がするが、今は西鉄ストアが移転し、グルメシティまで閉店してしまうので、近くのスーパーか、ショッピングモールなどができて欲しい。ルミエールは安いけど、買い物客が中国人や韓国人が多く、少しマナーが悪く、また客や店員のレベルが低いので、ディスカウントストアではなく普通のスーパーができてほしい。（サニーやマックスバリューなど）	女性	30歳代
妙見のつながる箱崎駅前道路拡幅の意味がわからない。歩道が広すぎるので、違法駐車があったり、進入禁止の車止めが壊されていたりする。自転車も超スピードで走り危ない。車は事故が増えた。戦後すぐの都市計画も時代変化に対応すべきだ。	女性	40歳代
皆が楽しめる施設を作って欲しい。ホール、体育館等。	女性	60歳代
緑豊かな街づくりをして欲しい。環境に配慮し、廃材ソーラーなど無駄なものに金を使わず、自然を活かし自然にやさしい、ゆとり、安らぎをテーマに考えてほしい。	女性	40歳代
緑の多い公園とかにすると、ホームレスが増えそうで嫌だ。よっぽどマンションとかを建ててくれたほうが良い。車の交通量も多い割に道が狭すぎて困る。子供が小学生なんですが、通学路が狭すぎる！！いつ車と接触するかと不安だ！どうにかしてほしい。	女性	20歳代
緑の多い公園と大型商業施設を作って下さい。	男性	60歳代
マンション等はたくさんあるので、住宅地にはしないでほしい。人工島に建設予定のこども病院を九大跡地に建設してもいいのではないでしょうか。地下鉄沿線だし、便利だと思う。回りに元学生用のアパート、マンションもたくさんあるし、遠方の患者さんの家族が借りたりする事も困らないと思う。あと、箱崎に足りないのは映画館とも思うので、それができれば個人的にはうれしいです。とにかく、税金の無駄遣いはやめて欲しいです。住民にとっても良いものを考えてほしいです。	女性	20歳代
街の発展、活力がない。若い人が少なくなった。九大跡地にマンション、アパート等街おこしが大切と思う。	女性	60歳代
町の活性化に役立ててほしい。	男性	20歳代

内容	性別	年齢
町全体が活気付く様なものにしてほしいですね。これからは、どうしても老人が多くなると思うので、その事も考慮してほしい。	女性	60歳代
町が活力のある場所にしてほしい。	女性	60歳代
本通りを広くするよりバス通りを広くしてもらいたい。自宅の横にマンション（15階建て）ができ、日当たりが悪くなり日中も真っ暗である。投資用のマンションみたいで、住む人が自分の持ち物じゃないとの感じでいい加減に生活しそうで怖い。マンションの乱立で住みにくい街（箱崎）になっていくのが悲しい。	男性	50歳代
歩分離信号について、箱崎の歩分離信号は試験的にしていると聞いているのだが、これはいつまで続くのでしょうか？必要である交差点と不必要な交差点があると思う。お年よりも多い地区なのでその点考慮して、必要な所に歩分離信号をすべきである。 箱崎は住みやすいところであるが、以前に比べると町全体の活力に欠けると思う。夏のお祭りなどでは、若いパワーを感じるので、そのパワーを商店街等に活かせるとよいのではないか。 放生夜の稚児行列において、子供の参加の少なさに驚いた。衣装のこともあるので、参加しにくく、又あまり、地域に広まっていない（特に新しい人たち）お宮もどうすればよいのかを考えるべきだ。	女性	30歳代
歩道分離信号が良くありますが、歩行者、自転車の意識が全くないように感じられます。歩行者信号の時と変わらず、車の信号が青でも平気で渡り、ひどい時には文句まで言われます。どうにかならないですかね？	女性	30歳代
他地域から箱崎に移ってきたが、付近の公園などをもう少し充実させて欲しい。安全上のため、公園の植え込みなどを切り込んで、見晴らしをよくしているが、その分公園としての魅力は半減してしまったと思う。又、図書館の老朽化が進んでいるので、もう少し改築などして、環境整備してほしい。古い街並みはそのまま保存して欲しいと思うが、不便なところは直してほしいと思う。	女性	40歳代
暴走族を取り締まってほしい。	男性	60歳代
変な娯楽施設は勘弁してほしいです。	女性	50歳代
文教区として永年、存在があった。できれば、国際大学とかどうかと思います。民間に売却して訳のわからない建物ばかりの殺風景な街には反対します。緑豊かなゆとりある街づくりをしてほしい。	男性	60歳代
古い商店街が魅力でこの街に住むようになったが、それがどんどん無くなって、マンションだらけになっているのが残念な限りである。時代の流れとはいえ、どうにかならないのかと思う。又、3号線あたりの傍若無人な中国人連中には漠然とした不安を感じる。	女性	30歳代
埠頭の倉庫郡があるせいか、早朝から大型車の出入りが激しく、騒音がひどく空気が悪い！飛行機の音よりダンプの騒音、地響きが勝っている。一般常識で考えるなら、大学地区というのは、静寂と高質というイメージ及び安全安全、なごやかさ！人が人として安心して住める空間に・・・不満があるとすれば、あまりに広い学校なので、遠回りして目的地まで行かなければ・・・区画整理は不可欠だと感じる。	女性	30歳代
人の流れが箱崎側から原田松島に移っているような気がします。福BKも駅の移転と一緒で大学通りからはずれ、益々不便。世代交代、大型スーパー自宅にいる人たちは少なく、働いている人たちが多くなり、仕事帰りに買い物。それと箱崎は100円パーキングが少なく、昔からよく話をしていたが、思っていた通り香椎と同じ様な道をたどっている様な気がします。	女性	50歳代
箱崎の街をいい街にして下さい。	女性	70歳以上
人に優しい環境づくりと住みやすい町づくりを考えて下さい。若い人が定着しない（企業等働く場所がない）環境にやさしい企業誘致を希望若者が定着し活気ある町づくりを目指す。九大が移転して当地区が年毎に淋しくなってきている。マンションが乱立しているが入居者がいるのだろうかと心配。	男性	60歳代
人が集まるような施設や公園にしてほしいですが、公園にする際には治安が悪くならないような配慮をしてほしいと思います。住宅は供給過多気味の為必要ないと思います。買い物をするようなところもできればいいと思います。特色のある街づくりを期待します。	男性	30歳代
東区のイメージとして治安が悪いというものが根強く残っています。それらを増長するような施設への利用だけは避けて頂きたい。公園であったり、家族や友人との憩いの場になればいいと考えています。	男性	20歳代
箱崎はよく治安が悪いと言われます。実際暗い道は多いし、人気のない道も多いです。もっと街灯を明るくして、たくさんつけてほしいです。	女性	20歳代
箱崎はとても利便性がよく、住んでいて良かったと思いますが、歩道が広いのは良いが、人が優先というのをはっきりさせて頂きたい。自転車はここのレーンしか乗れないというふうにしてほしい。	男性	40歳代
箱崎はとても便利のよい場所だと思います。しかし、子供を育てるにあたって非常に危険な地区だと思います。車の交通量の多さに対し、信号が少ないように思う。子供がマンションから出ると車がスピードを出して走っている。自転車は2台、3台並んで話しながら走っている（主に中国人）とてもとても迷惑。昔の箱崎はもっと子供が外で遊べる環境があった。今は小さな路地にまで車が通っている。何とかしてほしい。子供を育てる母親としては、のびのび子供が遊べる環境のよい地区になればいいと願う。そうすれば利便性のよい箱崎はもっともっと良い街になるだろう。	女性	30歳代
箱崎は公園、広場、緑地が少ないので、九大跡地には緑を残し、皆が安心して集まれる場所にしてほしい。子供が思いっきりボールを投げたりして遊べる場所が欲しい。	男性	50歳代

内容	性別	年齢
箱崎は九州大学の移転が決まり、人通りが減り、今まで大学生向けのレストランやコンビニなどがつぶれて空き家になってしまった。この状態はあまりよくないので総合的な跡地利用を早急に進めるべきだと思います。又、九州大学の建物や植栽は残して頂きたく思います。特に植栽については現状維持が好ましいです。人が集まる美しい街として例えばカルチャーセンターなど又は、スポーツ施設などを希望します。九州大学の跡地にふさわしい中高一貫校とかもいいなぁと思いました。とにかく、自然の美しさを残した文化施設を望み、再び活力、発展力のある箱崎として生まれ変わってほしいです。	女性	30歳代
箱崎の街の事を誰が決めているのか、住民でありながら全くわからないし、一部の昔からの自治会の人が勝手にしている。年寄りに牛耳られているというイメージしかありません。公開のヒアリングや説明会も全く無いし、今更街づくりのアンケートと言われてもピンときません。せっかく九大がありながら、文化的な学生街を形成できなかった事も、もともと箱崎に街づくりの意識が無かったからだと思います。箱崎駅が新しくなっても、住民は全く関知していません。一部の人々の私見や利害で決められているとしたら、その他多勢はただそこに住んでいる限り勝手に街が変わっていくのを傍観しながら生きていくだけでしょう。学生が減っても、単身者用のアパートしか作らない為に街に参加しない若者か外国人が増えるばかり。老人世帯が増えるのに、大型量販店が増え、少量でも融通が利く個人商店が減る。商店街も店を潰してマンションが建つばかり。いつの間にか交通の便のいいだけの街になって、箱崎という街ではなくなりつつあると思います。音頭とりがいない、青写真が無いまま行政は箱崎をどんな街にしたいと思っているんでしょうか。もちろん、限界はあると思います。が、このまま機械的な開発が続けば個性の無い生活感の無い街になるのではないかと心配しています。	男性	40歳代
箱崎の街がより良くなるようにと思います。九大跡地利用は出来るだけ早く利用方法など知りたいものです。	男性	40歳代
箱崎の治安が良くなるようにしてほしい。	女性	30歳代
箱崎中学校を九大の跡地に（現在あるところは人気がない、暗い）。	女性	50歳代
箱崎中学校がとても遠く、場所も環境が良くないと思います。是非、跡地の利用に考えて頂きたい。	女性	30歳代
箱崎にとり、九州大学移転は大きな岐路となると考えます。私は5年前からここ箱崎に住むようになり、自然と街が共存している感じや昔からの街並みが好きです。大切にしたいと思います。したがって、箱崎キャンパス跡地の利用やこれからの箱崎の街づくりがとても気になります。私から、計画を調べるまではしていなかったので、なんとも言えないところがありますが、この機会を頂いたので、よかったら計画などの公開を（方法が今は思いつかないのですが）私達住民にわかりやすくしていただけたら有難く思っております。この箱崎が素敵に存在していける事を心から願っております。どうぞよろしくお願いいたします。	女性	20歳代
箱崎中学校の移転を強く希望します。箱崎の一番すみにあり、線路を渡っての通学はとても危険です。防犯上もよくありません。九大跡地の一部は箱崎小、東箱崎が合同になった小学校（両校とも生徒数が少ない）と。箱崎中学校を建設して頂きたいです。	女性	30歳代
箱崎地区は天神、博多駅、空港への距離など、生活面の施設において、大変便利で、福岡市内では最高の立地条件ではないかと思います。より便利に開発して頂くのもよいのですが、人が留まる生活しやすい街にして欲しいと思います。箱崎商店街の近くに30台ほどの駐車場（2ヶ所と分かれていてもよいので）など、街の良い所を利用しやすく、お年寄りとのふれあいを多くできるつくりにしてほしい。九大跡地の利用方向がこれからの箱崎を大きく変えていくと思います。決してダイヤモンドシティのような商業オンリーの施設にはしないで下さい。文化的な街で人が住みよい街、やさしい街、思いやりのある街になるよう、緑の多い、人が育つ街にして下さい。一度箱崎商店街で買い物をして下さい。自然に笑顔がこぼれる素敵なお買い物ができるやさしい街です。車さえ停めれれば毎日でも行きたい、人情のある、人が人らしく生活できる街と思います。	女性	40歳代
箱崎地区は学生の為の街？発展性が感じられず九大跡地に図書館が入るなどコミュニティのある施設を造ってほしいと思います。	女性	40歳代
箱崎小学校を移転したらいいかもしれません。校舎が古くなり、新しい校区として、東箱崎小学校と合併してもいいと思います。	男性	20歳代
箱崎小学校の近辺に住んでいますが、小学生の通学を見ていると歩道が確保できていない道路がたくさんあるように思います。一方通行規制を増やすか、ガードレールや段差のついた歩道を整備してほしい。	女性	40歳代
箱崎校区に住んでいますが、マンションが増え、緑も少なくなり車や自転車、多国籍の方のマナーも悪く家の前にゴミを置いていく人もいます。又、公園や広場も少なく子供が遊べない。あったとしてもホームレスの人や変質者がいたり、公衆トイレが汚いため、安心して子供を遊ばせることが出来ない。	男性	30歳代
箱崎校区3号線からJR箱崎駅までの裏道は狭く、暗く、防犯上好ましくない。九大跡地がどうなるのか関心がある。	男性	40歳代
箱崎宮もあり、環境もよく、住みやすいところなのに、どんどん街の元気がなくなってきてるように思います。地元意識が強い地域なので、もっと外からの人たちを呼べるような施設が出来たらいいと思います。九大跡地に期待しています。	女性	50歳代
箱崎駅を中心に箱崎は大きく変わっているが、「街の景観」は良くなってほしいと思っている。放置自転車、バイク等はどんどん撤去してほしい。ゴミの散らかし、タバコの吸殻等もなくなって欲しい。住民のマナーの向上が一番大切と思う。（歩きながらの喫煙、食堂内の喫煙。子供がいるのに吸っている人がいる等）「思いやり」のある街になってほしい。どんなに街並みが変わろうと豊かになろうと、人と人との思いやりが一番大切と思う。無理のない行事を一つ一つしていけばいい。	男性	50歳代
箱崎駅に快速が止まってほしい。	男性	50歳代

内容	性別	年齢
博多駅に阪急百貨店ができると、博多駅から2駅目の箱崎駅がある箱崎の街もさらに魅力が増すと思います。箱崎はとても良い街だと思いますが、他地域の人たちによって「住みたい街」という様には映っていないようです。治安面での不安等があるようです。書店の「kubric」さんのような、オシャレで文化的な香りのする店が増えることで「住む街」としての箱崎の魅力も増すのではないかと思っております。	男性	30歳代
とにかく町全体が暗すぎる！ひったくりや、痴漢が多いのに、ほったらかし！！何の手立ても考えていない！活気がない！！	女性	50歳代
道路ばかり造らないでほしい。昔ながらの街並みや緑をもっと大切にしてほしい。	女性	19歳以下
土地の細切れ利用ではなく、50年100年後を見通しして、活用してほしいと思います。外国のきれいな街並みを参考にしてほしい。その為には色や高さの規制等も必要と思います。	女性	40歳代
どう利用すれば良いのか全く考えがまとまらない。建物とか古いものとかは残してほしいし、緑も確保してほしい。	女性	50歳代
できるだけ広く、樹木の多い散歩やジョギングのできる緑地として利用してほしい。	男性	50歳代
駐車場を多めに！テーマパークとか（大型店）商業店。	女性	40歳代
駐車場、駐輪場を増やしてほしい。	女性	20歳代
中学校を九大跡地に移転してほしい。市の体育館やスポーツ施設等にしてほしい。	女性	20歳代
地下鉄沿線を利用した施設としてほしい。公園はたくさんあるのでやめて下さい。アイランドシティの失敗を繰り返さないで下さい。	男性	30歳代
単なる商業施設、マンションを誘致するのではなく、文化の香りのする街づくりを。アジア国際化を意識した教育、情報関連の施設を中核としてはどうか。アジアの人々を受け入れる研修施設、語学教育、職業訓練学校とか。	男性	50歳代
多々良川沿いの自然を残してほしい。	女性	50歳代
大学通りは、往来が激しいので、道路整備をしっかりしてほしい。	男性	20歳代
大学通りの拡幅については反対です。今でも歩いて参道から境内へと渡るので、道路が2車線になり交通量が増えると危険がもっと増します。交通規制のほうが安全、安心が増してより良いと思います。	女性	50歳代
絶対放置してほしくないです。最悪公園にしてほしい。	女性	30歳代
税金の無駄遣いといわれないようなものを作ってもらいたい。	女性	30歳代
人工島シティアイランドへの子ども病院移転に反対されている方も多いので、九大跡地への移転は考えられないのでしょうか。	女性	40歳代
商店街の活力発展力が非常に悪くなった。	男性	70歳以上
小学校校区を選択式にできないでしょうか？（東箱崎までは300m、箱崎小までは900mあり、明らかに東箱崎小の方が近い。現在の所、箱崎小校区内です。）	男性	30歳代
主人が箱崎2丁目生まれで、ずーと箱崎が好きですが、私は交通が便利なのが好きです。ルミエール等の大型店ができて良かったと思います。子供たちが独立、家も新宮の方に建てましたが、緑地はそこらで遊び（新宮）私らは住まいはずーと箱崎でと思います。外国人の方が多く、少々不安もありますので、夜間の外出はしていません。	女性	60歳代
住民の意見を聞いて箱崎が発展するようにして下さい。	男性	60歳代
住宅をこれ以上増やす必要はありません。事業所等、JR，箱崎駅の乗降客数が増える施設の設置を目指し、箱崎駅に快速電車を停めて下さい。	男性	40歳代
自転車や老人が通行しやすいような道になってほしい。	女性	30歳代
仕事上、夜帰宅することがありますが、街灯が暗いため、明るめの外灯にして欲しい。警察の方の巡回をもっと増やして欲しい。特に夜間（0：00すぎ）空き缶をゴミ置き場（マンションの）の所から、盗む人が多い。警察の人が注意してほしい。怖いです。	女性	20歳代
敷地が十分確保できるなら、子供病院を。アイランドにこども病院を移転すれば、交通便の為、高速道、地下鉄の延線などで、多額の負債を抱え込むことは目に見えている。	女性	60歳代
汐井公園の野良猫をどうにかしていただきたい。	女性	40歳代
市営住宅、団地等できれば良いと思います。	女性	70歳以上
財政に余裕があれば公園。無ければマンションが理想。無駄遣いはやめてほしい。「はこもの」とか。	男性	30歳代
これから九大が全面移転された後の問題として、箱崎校区にたくさんの人、いろんな国の人間が入ってこられる思いますが、今でも治安的な問題があります。良い町箱崎、住み良い町、そして子供たちがのびのびと遊べる娯楽施設や学習できる場所などを確保していただけたらと思います。	男性	30歳代
娯楽施設はやめてほしい。大型ショッピングセンター、刑務所、ホテル（ガラが悪くなる）、大学（私大）の移転。若者の活気のある街を望む。テニスコート10面くらい作ってほしい。	男性	50歳代

内容	性別	年齢
子供を安心して遊ばせられる施設や、家族で休日に過ごせる施設ができることを期待しています。それに併せて便利なショッピングモール、飲食街があれば、周辺地域の方は、必ず利用するようになるかと思います。その中に子供向けの習い事、塾があればよいなとも感じます。	女性	30歳代
子ども病院の移転先に九大跡地の方が人工島より利便性が良いと思いますが。	女性	40歳代
子ども病院がアイランドシティに移転するのは反対です。九大病院が近くて、病院間の路離、バランスが悪くなりますが、九大跡地に子ども病院を移転した方が便利性が良いのでは？商店街の活気がなくて淋しいです。グルメシティが閉店されると益々活気がなくなりますね。	女性	30歳代
子供からお年寄りまで安心して暮らせる街づくりにしていってもらいたいと思ってます。九大が移動した後の土地は一体どうなるのかが大変気になります。大学病院はそのまま残してもらいたいです。九大跡地には病院を残し、お年寄りのための福祉施設や、子供の教育に関わる場（例えば美術館、博物館、科学館等）などを設置し、教育の向上につながれば良いと思います。あと、和みの場としてカフェなどが増えればいいなと思います。	女性	20歳代
子供が遊べる、子供を大切にする町づくり。親子が自由に安心して過ごせる施設を作ってほしい。子供を連れて買い物しやすいスーパーができたらうれしい。緑を多く残して欲しい。自転車のマナーが特に悪い。	女性	20歳代
校区の分け方がやや不自然。東箱崎小が目の前の箱崎6丁目の子が箱崎小に通っている。	男性	30歳代
公共施設や史跡、大きな施設などが集中しているせいなのか、大きく回り道をしないと行きたい場所にたどり着けなかったり、迷ったりしやすいように思います。案内板とか地図とか、分りやすいように表示があると便利だなと思います。	女性	30歳代
公園が一番よいと思います（地震、災害の土地確保）。	男性	60歳代
公園か、小中学校ができるといいなと思います。	女性	20歳代
現在のこの下町チックな街並みは今後も残してほしいです。近所の商店の人たちも非常に親切にしてくれて、非常に気に入ってます。交通については、道路拡張よりもまずは狭い道路の交差点にミラーを設置するだけでもかなり安心して人も車も行き来できるようになるはずです。現状ではそれが少なすぎるように感じています。又、一方通行道路を増やすと街が迷路と化してしまいそうなので、その点に関する案内標識を充実させてほしいです。（今でもベンツ等の大きな車は通行できない通りがあって付近をうろついてしまう状態なので）しかし、その分この地域に住む人間としては静かに暮らせて良かったりもするのですが。一方大学通りの箱崎宮より馬出側の車両（バス以外）通行止めはなんとかならないものだろうか？	男性	20歳代
現在JR箱崎駅は普通しか止まらず、町の過疎化が予想される.よって九大跡地等はやはり学校等の設立が望ましいと思います。	男性	40歳代
行政の為ではなく、その地に生活する人の為に納得のいく街づくりをお願いします。	女性	20歳代
九大を移転すると学生が九大に来たがらず、九州から人が流出してしまうと思う。移転がしょうがないなら移転先を開発し、学生が楽しめる（行きたいと思える）土地にすべきだ。	男性	20歳代
九大箱崎キャンパスは、留学生が多く、多国籍地区となっていて、生活習慣の違いから地元住民とのトラブルが無くならない。近日、コーラン完成に伴い同国籍人の多数流入も見込まれることから、不安があるところと考えられる。留学生に対する受け入れ側（大学、専門学校等）のきちんとした指導を徹底しなければトラブルのみならず、事件事故の発生も十分に考えられるところである。	男性	40歳代
九大の古い価値のある建物を有効利用して、文化的レベルの高い街づくりを望みます。又、箱崎ならではの門前町の下町のよさはなくさないでほしい。谷中、根津、千駄木のような街になればいいと常々願っています。箱崎商店街も産直の野菜や加工品を扱うなど消費者が安心して買える品揃えで、対面式の昔ながらの商店とのつきあいができればうれしい。箱崎校区では、マンション建設が進み、昔の街並みが失われようとしています。筥崎宮周辺に景観条例を設け、規制する事も必要かと思われます。	女性	40歳代
九大の中の木々や古い建物は残しつつ、人々が楽しめる施設が出来る事を望みます。	女性	40歳代
九大の跡地は是非、緑の多い公園にしてほしいです。商業施設はもう不要です。（大型ショッピングセンター）	男性	40歳代
九大移転後の跡地については、箱崎地区（4校区）の活性化に繋がる開発を願っています。県立福岡女子大学の新学部開設等の改革が検討されていることに伴い、移転計画も進められているように聞いていますが、移転先として是非九大跡地を入れてください。	男性	70歳以上
九大跡地を利用し、区画整理し、百道の様な街づくりをしてほしい。博物館、図書館、教養、娯楽、全てに楽しい街づくり。	女性	20歳代
九大跡地をマンションにしたり、パチンコ店などにするのはやめてほしい。出来れば医療施設としてほしい。子ども病院もアイランドシティに行く様なので、交通の便でとても不便な気がする。箱崎校区はお年寄りが多いので、医療などに重点を置いてほしいと思います。	女性	30歳代
九大跡地を全てを使って大きな公園にしてほしい。遊具などを設置せずに緑豊かなセントラルパークのような公園にしてほしい。	女性	19歳以下
九大跡地利用は新しい大学が入る事がいいと思います。箱崎商店街は今、人がいません。もっと活力ある町になれば良いと思います。	男性	40歳代
九大跡地利用について。福岡は文化的なイベントが少なく、それを催せる場所が少なすぎる。跡地をもっと文化的な施設やホールにして、多くの緑地を作って頂きたい。NYのセントラルパークのように皆がジョグや散歩の出来るスペースを作ってほしい。	女性	40歳代

内容	性別	年齢
九大跡地利用について、人が集まって箱崎の活力、発展につながる様な施設が出来ればと思っています。九大の歴史のある建物を活用できればと思います。	女性	50歳代
九大跡地利用について、例えば事務棟＝赤レンガ館、工学部本館、旧文学部、図書館など古い建造物は残してほしい(利用方法は住民と九大関係者の話し合いで決める)。大きな樹木、並木道はそのまま残してほしい。九大の原型を可能な限り保ち、地域に欠けているもの＝高齢者住宅や福祉施設、小ホール、会議場、公園などを建設してほしい。	女性	60歳代
九大跡地利用について、近隣住居にマンション、公団等たくさん立ち並んでますので、広大な敷地を生かしてイオン、ゆめタウン系のショッピングセンターが参入すると箱崎地区がもっともっと活性化されるのではないかと期待しています。近々、箱崎ダイエーの閉店が決まって、いよいよ買い物の不便さを感じております。3号線をまたいでルミエールがありますが、出来れば交通量の多い所を越さずに買い物できる所があればいいなと思うことがあります。	女性	30歳代
九大跡地へ、こども病院を移転させる方が理想ではないかと思います。辺鄙な埋立地より、交通便や九大医学部に近く緊急時に先生方の行き来にとても便利ではないかと思います。それに、あんな場所へ建築されるなんて税金の無駄遣いではないでしょうか！！	女性	60歳代
九大跡地は緑地公園にすべきだ。	男性	50歳代
九大跡地は美術館や博物館のような施設が良いです。大幅に人の流れや出入り口が変わったり、元々の住人が住みづらくならない様にしてほしいです。グルメシティがなくなるのは困ります。箱崎商店街も活気がなくなって淋しいです。大通り以外は街灯が少なく暗いところが多い。特に九大周辺。	女性	30歳代
九大跡地は箱崎小、中学校を移転、それと球技場施設が欲しい。	男性	40歳代
九大跡地は是非それにふさわしい、知的な空間（施設）になることを強く望みます。	女性	40歳代
九大跡地は公園等にして頂きたい。今までが学生町で静かだったのがマンション等が建つと人及び車が多くなるので静けさが取り戻せない。マンション反対です。	女性	60歳代
九大跡地はこども病院の移転先に適していると思う。国としても地元の意見を優先するだろうし。本当に病院の移転が必要ならアイランドシティはあまりにも不便だ。しかし少子化や小児科医不足が言われている今、本当に必要なのか。	男性	50歳代
九大跡地は大型の商業施設など、人が集まり、町が活気づくような物を作ってほしい。また、筥松地区は道路が片側通行（歩道）だったり、非常に狭かったりということがあるので、安全の為拡張などの対策が必要であると思う。また、箱崎駅は利用者が多いので、快速を停車させるべきである。	男性	19歳以下
九大跡地は赤レンガの建物等は残して公園等にしていただきたい。	女性	60歳代
九大跡地は40万ヘクタールの広大な土地であり、その様な土地が街の内にある所はあまりないと思います。これは総合的な一つの街づくりが出来る所だと考えます。住居、公共機関、病院、大型スーパー、公園、図書館etcを含むすばらしい街づくりができると思います。ただ、現在ある建物の内には十分に使用できうる物件が多々あると思われ、それらも利用しつつ計画を立てていただきたい。又、こども病院移転に関しても交通機関や九大病院との連絡．．．etcを考えると九大跡地への移転も一つの案件ではないかと考えます。	男性	20歳代
九大跡地は、現在ある緑を活かした活用方法があればと思います。騒がしい地区なので、落ち着ける空間が欲しいです。	女性	20歳代
九大跡地には福岡運転免許試験場を誘致しよう。今の場所は公共交通手段がバスしかなくとても不便です。福岡空港方面へバスをお願いします。	男性	50歳代
九大跡地には子供や地域活性の為に利用してほしい。3号線沿いの歩道は、通学路でもあるし歩行者も自転車も多いので歩行者が安全に歩けるようにしてほしい。	女性	30歳代
九大跡地には一戸建ての住宅街を作ってほしい。この辺は（マンションばかりなので）県立図書館は駐車場は狭いし、建物は古いし、書物は1冊ずつしか置いてなく、常に貸し出し中で読みたい本がなかなかすぐに読めない。なので九大図書館は残してほしい。	女性	30歳代
九大跡地には、福岡女子大を誘致したらいかがでしょうか。民間に売却したら、乱開発される恐れがある。	男性	60歳代
九大跡地には、公園及び子供が遊べ学べる場所を作って頂きたいと思う。もしくは、子ども病院等今後減少していく子供達の為に何か利用出来るものをお願いしたい。	男性	40歳代
九大跡地については、貝塚公園の老朽化に伴う公園の移転、及び箱崎小、中学の新築を希望します。大型店舗など入らないし、住宅は？？？必要な人がいるのであればどうぞ。	男性	40歳代
九大跡地に中学校を持ってきてほしい。今の場所は少し遠いので通学時間がかかります。	女性	50歳代
九大跡地に中学校を移転（あるいは新設）してほしい。校区の端っこに中学校があり、通学が大変。	女性	30歳代
九大跡地に市営住宅を建ててほしいです。	男性	40歳代
九大跡地に関しては、地域の声を最も重視して頂きたい。公園は小規模を望みたい。住環境に最も適した場所でもあり、都市づくりの一環として大掛かりなプロジェクトを組んでほしい。	女性	60歳代
九大跡地に関して、商業施設ではなく、文化的な施設又は、市民の憩い場となるような施設にしてほしい。	男性	30歳代

内容	性別	年齢
九大跡地がどうなるか毎日の散歩コースなので、死ぬまでに街づくりが完成するか大いに興味がある。年を取っても安全に散歩の出来る木々の多い美しい街並みを作ってほしいと願っている。	女性	60歳代
九州大学の跡地は住民がのびのび遊べるような公園になったらいいなと思います。	女性	60歳代
九州大学の跡地については市役所がよし。周囲の話を聞いて早く決めてほしい。	男性	50歳代
九州大学移転後の箱崎キャンパス跡地利用！（緑のある公園等）	男性	60歳代
九州大学は移転すべきではなかった。莫大なお金を掛けて、不便な田舎にわざわざ移転せず、交通の便のよい今の場所に建て替えて背の高いビルにすべきだったと思います。学生の事を一番に考えるべきだったと思います。今後は箱崎の町がすたれる事のないように、しっかりと考えてほしい。学生が減ったにもかかわらず、ワンルームマンションが次々建つのが不思議です。自転車や歩きながら、中国か韓国の人かしらと思える言葉で大きな声で話していますが、本当に留学生なのかと不安な気になります。何でこんなに多くいるのでしょう。悲惨な事件の事がいつも頭を過ぎります。	女性	60歳代
九州大学の跡地は、国のものなので、色々と弊害はあると思いますが、色々な意見を聞いてよりよいものが出来上がってほしい。小学校や中学校を移転させるのも良いし、公園や何か公共施設を造るのもいいが、公園にして家のない人たちが住んでしまったりして問題になることはよくない。今はどの公園もそういう状況にあるような気がします。今は、子供も大きくなっているので地域との接点がなくなってしまいましたが、もっと地域との接点を誰でも持っていけるような環境を作って頂きたい。	女性	50歳代
九州大学がなくなったのが、残念でならない。跡地は香椎地区のような整然とした住宅街、広い道路、飲食店街、公共施設、公園、第2箱崎地区を作るべきである。網屋町地区を根本から作り直すべきである！	男性	50歳代
九州大学移転後どのように利用されるか分りませんが、校舎等の建物が解体される場合、アスベストの使用有無を充分調査の上処理を行ってほしい。九大跡地は公園等として残してほしいと思う。	男性	60歳代
九州大学跡地利用については、多くの意見を聞いてほしい。これ以上アパートマンションの建設は不要である。箱崎校区民に限らず、周辺住民の為の施設等を考えてほしい。例えば総合運動公園として子供から高齢者まで気楽に利用出来る施設が望ましい。不動産業者が勝手に跡地を使って建物等にだけ利用することがないよう希望する。	男性	60歳代
キャンパス跡地は安価な販売店が望ましい。現代50代半ばだが、年金への不安があり、尚且つ消費税が上がるのが一番恐ろしいが、全てが破壊されている。特定の業種より、個人への被害が少ないのは消費税を上げないこと。（個人的には春に上がりそうだが、上げれば購買意欲が減る）	女性	50歳代
気軽に散歩できる緑が多い公園等あればいいと思います。	女性	50歳代
環境や教育上よい物としてできることを切に願います。	女性	30歳代
活気あるまちづくりをお願いします。	女性	40歳代
学生さんがたくさんいた時は、職員の方もいっぱいいらっしゃったと思います。学生さんは4～6年に一度卒業があり、毎年それを繰り返して転出の後に転入があり、毎年箱崎地区の経済の活性化の役割があったと思います。卒業式のイベントもそうです。そういう地域経済の活性を次に何でやっていこうとしているのか見えないものがもってわかればと思います。今ただ、学生さんたちや大学のお陰で地域もあったのだという感謝！！せめて、研究施設を残すなんてないんでしょうか？	男性	40歳代
学生、職員の減少で地域商店街が危機に瀕している。人が集まる公共施設の導入が望ましいが、一般的には小、中学校、公園コミュニティセンター等といいたいが、何ら地域の活性には結びつかないと思われる。といってマンション系の建物は環境面又人は増えても買い物するには大型ショッピングに出かけるので活性化に結びつかない。地域の生活面における活性化には結びつかないですが、やはり、文教施設（高齢者が利用出来る運動施設他、芝一面の運動公園）を跡地利用出来ればと思います。	男性	60歳代
貝塚公園敷地の利用について、子供さんだけの遊び場としては広すぎるのではないでしょうか。飛行機等は必要ないと思います。篠栗駅にある、老人福祉の温泉や舞台などを整備していただければ多くの老人がよろこぶのではないでしょうか。	男性	70歳以上
外国人が増えている。マナーが悪い。	男性	50歳代
東区役所、橋の下にホームレスの方が、住んでいらっしゃいます。ゴミ増やし、トイレの件、家の前を通っている際とてもうるさい音（例：物干し竿を杖代わりで歩く）夜中でも、眠れない日々が続きます。	女性	50歳代
ウォーキングのできるような公園（四季を感じる）ができたらうれしいですね。	女性	50歳代
ウォーキングなど夕方運動をしたい。どうしても平日は仕事が終わってなので18：00～19：00から始めようと思うが、不審者のような人、酔っ払い、マナーのできていない自転車の通行など近隣を利用して運動も出来ない。（友人はひったくりにもあっているし）交番も東警察署もあるのだから、シートベルトとか点数になる違反ばかり取り締まるのでなく、地域の安全を守ってほしいと思っている。巡回や夜のパトロールでも頻繁にしてほしいです。そうでないと良い街づくりなどはできないし、ここからがまず町づくりの基本だと思います。大濠公園とまでは望まないが、安心してウォーキングできるような町にしてほしいです。	女性	30歳代
今でも利便性の良い街なので、静かな住宅地を目指さず、今以上に徹底的に利便性を求めた街が良い。いろんな商業施設、公共施設をそろえ、にぎやかなおしゃれな街がよい。	女性	40歳代

内容	性別	年齢
いまだに九大がなぜ不便な伊都に移転したのかわからない。とても学生の為を思って移転したのだろうか？	男性	60歳代
今ある自然を活かした街づくりに期待します。数年前、楽市楽座、パチンコ店が同じ時期に建って治安が悪化しました。これ以上娯楽施設は必要ないです。ルミエールの影響か、コンビニ、スーパーが姿を消していっているので、欲しいです。跡地が住宅地区になるなら必要だと思います。現在でも貝塚周辺のスーパーがなくて不便なので。	女性	30歳代
安易な開発をせず、箱崎の歴史文化を尊重し、地域資源を生かすまちづくりをお願いします。体系的な案内表示やまち歩き図など、末永く価値のあるものを。車は排除し、箱崎全てが「歩いて楽しいまち」になれば、すばらしい町になると思います。現実的に、車を完全に排除することは難しいかもしれませんが、車社会、道路行政は時代に逆行します。JR、西鉄、地下鉄が集う箱崎の良さを見据えて下さい。	男性	30歳代
網屋町の商店街の野菜屋さんでよく買い物をしていたが、４年前頃より店が少なくなり、今はルミエールなどで買い物しないと買うものが揃わない。商店街の活性化を望んでいます。グルメシティも1月11日で店じまい。お年よりはどこで買い物すればよいのでしょうか。	女性	50歳代
あまり大きな道路を造らないでほしい。小さな目立たない神社と社寺林をいつまでも残してほしい。九大キャンパスは野鳥の宝庫でもあるので、跡地利用の際も、野鳥のことを考えてほしい。	女性	40歳代
アパートマンションは、ここ数年で非常に増えてきています。九大跡地は、アパート以外の目的（公共機関、公園等）に利用して頂きたい。外国のアジア人（日本以外）、イスラム教徒等多い地区です。偏見ではありませんが、防犯対策、治安対策は強化する必要があります。	男性	50歳代
跡地は子ども病院にするべきだと思う。	女性	40歳代
跡地は公共施設等、人口が増加する建物を建設される事を望みます。	男性	60歳代
跡地に県立図書館を新築してほしい。あまりにも狭いです。古くなっているし、県立なのに・・・。	女性	30歳代
新しく道路が出来たのは良くなったと思いますが、緑が少なく、又街灯があまりなく、夜は暗いです。道路側に大きな木を植えてほしいです。	女性	60歳代
空き地や駐車場はやめて、有効利用をお願いします。今さらかもしれませんが、交通の便が良いので、子ども病院を移転できなかったものでしょうか？人工島より良いと思いますが。広い東区はどんな公共施設を作っても、住んでる市民に不公平感があると思います。近いと利用しますが、遠いと行きません。アクセスが良いか悪いかは最重要です。交通アクセスが比較的良いこの地区をどうぞ空洞化させず、皆が集う場所にして下さい。	女性	40歳代
JR箱崎駅前をもっと便利（大型スーパーや飲食店）にしてほしい。九大跡地→大型スーパー。夜暗いので明るくしてほしい。	女性	20歳代
JR箱崎駅前のミニストップがある側の道で、高須磨団地へ向かう道がとても狭く危ない。特に九州大学の出入り口がある所が人や自転車が飛び出してきて危ないと思います。道を広くしてもらいたいです。	男性	20歳代
JR箱崎駅から貝塚に伸びる道路が途中まで新しく出来てから、交通量が増して貝塚駅からJRの踏切を通る中学生や通勤者がとても危険で、いつも人で詰まっている状態です。九大移転後に是非、大きな公園と、小中学校の移転も考えてほしいです。小学校（箱崎）中学校は学校も古く、考えてほしいと思います。	女性	40歳代
JR博多駅～香椎駅の5駅間で箱崎だけ快速が停車しません。現状から見て停車しないのは当然ですが、現在の千早を香椎駅として箱崎～千早間で名島付近に快速の停車しない駅があるのが、人の動きの活性化に良いと思います。（現香椎駅は廃止か新しい普通電車しか停車しない駅とする）又、小中高校において安全性を含めて登下校の道中安全確保及び校内治安レベルを高めてほしいです。	男性	30歳代
3号線沿いの若者の暴走族が毎夜のごとく、大きな音をたて、深夜目を覚ます事が多い。派出所があるんですが、取り締まる事もなくどうなっているのでしょうか？迷惑な話です。ドンキホーテに集まっているみたいです。	女性	50歳代
2007年11月1日付けの西日本新聞での九大遺産の特集記事をご覧になったことがありますでしょうか？（私はスクラップで取っています。）貴重な芸術品や歴史遺産そのものの建物など、決して失くしてはいけないものが数多くあり、中には文化財級のものまであります。箱崎に生まれて育ち、姉も九大へ通い、これほど貴重なものが残されている事は知りませんでした。移転後このようなものはどうなるのでしょうか？戦時中を物語る建物、レンガ造りの事務本館など、取り壊すにはもったいないものばかりです。移転は仕方ないのですが、その跡を全く失くしてしまうのだけは反対です。都市公団が土地を買われたのでしょうか？今後住宅地になるのでしょうか？大切なものを簡単に切り捨てるだけではいけないと思います。貴重な財産として何らかの形で残すわけにはいかないのでしょうか？とても疑問に思っています。	女性	40歳代
①箱崎地域は埠頭に物流関係、焼却場等があり、空気が汚れている。現在の九大には多くの植物があり、大変美しい景観である。九大の植物を絶対に伐採する事のないようにしてもらいたい。 ②地域の防犯が非常に悪くなった。警察と住民の会合が必要。（高齢者が多くなっている） ③箱崎地区は東は多々良川、西は箱崎宮で遮断された狭い地区であり、現在は箱崎を南北に分断する道路が無計画に作られて町の様子が悪くなっている。福岡西部地区に見られるような文化施設が必要である。一部九大の建物を残し植物を残した計画を立案してもらいたい。 ④九大跡地は箱崎に残された唯一の財産。将来に向けた計画を。	男性	60歳代

内容	性別	年齢
①箱崎町づくり協議会の存在がはっきりわからない。現在天ケ瀬等と交流しているが、一部の者しか活動していない。皆が自由に入会して活動できるようにして頂きたい。(活動新聞も発行してほしい)②九大跡地は、住宅、コンベンションセンター、公園、ショッピングモールの複合施設等を希望する。③子ども病院も跡地を利用したらどうでしょうか。交通の便も良い。(市民病院も良いと思います)④今年11月で引退した0系新幹線を譲り受けて展示してほしい。(後世の教育の為に役立ちます)⑤JR箱崎駅に何本か快速を停車してほしい。列車本数が少ないし、次の駅で乗り換えたりして大変です。⑥箱崎宮参道でのフリーマーケットは大変よいですが、地元直産の野菜、魚介類の販売もお願いします。皆さんが大いに助かると思います。(1ヶ月で1回開催で結構です)	男性	60歳代
(九大周辺地区のまちづくり)箱崎地区はアンケートの設問にもあるように、昔ながらの味わい深い家屋や街並み、路地、小路が残る地区なので、従来の雰囲気を壊さないような「町づくり」をしていくべきだと思います。 (九大跡地利用)歴史的な価値がある様式を持つ建築物の保存。緑地保全。周辺地域の住民(特に長年住んである本来の地元の人々)の意見を大事にしてほしい。	男性	40歳代
(悪)帝大前のリサイクルボックスも広い道路沿いに置かれるようになったので、遠くの住人が車で来てゴミなどを出して行くようになった。(関係ないかもしれないが)かつての狭い道だった頃の町内の良さが薄れてしまった気がする。(良)3号線に出るのは便利になった。かつてJRの線路によって分断されていた地域に行きやすくなった。JRによる朝の渋滞もなくなった。(良)田の地蔵付近にはゴミを捨てる人もいる反面、近所の人が花をあげたり、毎朝掃除をしている人(美容室art innの人)がいて、お陰できれいに保たれている。感謝。	女性	50歳代

＜松島校区＞

内容	性別	年齢
九大跡地に店を作って住みやすい所にしてほしい。	女性	20歳代
公園、県立図書館みたいでなく久山図書館のような図書館がある高いビルのない住宅地が希望です。出来れば電線が上を走らない風が通り水がある風景が希望です。駐車場は地下。	女性	50歳代
子ども病院の移転問題が話題になっていますが、場所的にもいいのではと思っています。	女性	50歳代
九大のサテライトオフィスのような空間が残ればいいと思います。九大の歴史ある建築群を残すべきで、それが今後の街のシンボル、発展へ活用できる。九大の建築を活用した公園、オープンスペースづくり。なんとか九大のものを残せれば. . . 。	男性	30歳代
大きな店、デパートなどの前に年寄の一人住まいが多く通院など大変な姿を目にします。年寄りの入所の出来るところを作ってほしい。病院にも長く入院することもできず、若い人の生活を助けるためにも、年寄りのことを考えてください。	女性	60歳代
多くの人に役立つ跡地利用を考えてほしい。	男性	20歳代
箱崎本通りの拡幅工事が遅れているにもかかわらず車両通行が多くなり、地下鉄貝塚駅まで歩くのに歩道がなく非常に危険である。早急に歩道設置拡幅工事の着工を望む。	男性	60歳代
九大跡地について、自然を取り入れた公園、グラウンド等、体を動かせる様な使用を望みます。大型ショッピング施設を造るのは反対です。	男性	30歳代
特に今住んでいる所は殺風景なので景観を良くしてほしい。	男性	30歳代
九大跡地は今ある建物や、植物などをなるべく残して、皆が利用できるようにしてほしい。	女性	60歳代
松島校区はマンションの集中で小学校の人数が増える一方なので校区を変更すべき。マンションが建ちすぎないように制限すべき。	女性	30歳代
大きな公園や居住区がいいです。	女性	30歳代
九大が移転した後、街が閑散となるのではないか不安です。レンガ壁や並木道等保存してほしい、跡地の利用、計画など分かりやすく住民に報告してほしい。	女性	30歳代
区画整理に伴い箱崎から筥松に転居を余儀なくされた。永年九大周辺に居住しており近親者も九大卒がいる為、九大が全面移転する実感がない。筥松地区は貝塚公園等もあるので緑地ばかりでない方がいいが、マンション等も多いので活気があるハコモノもほしい。中国系の流入が多く、自転車走行、信号機等の安全が守られていないように強く感じる。	女性	40歳代
道路でのゴミ、犬の糞が多く非常に汚い。	男性	30歳代
松島校区は広く、マンション等が多いため小学校の児童数が多く、校舎が増築され運動場は狭くなり、学童保育も常に満員で入会できない人もいる。跡地に住宅等が出来ると児童数が増え大変になりそう。	女性	30歳代
九大が移転するのなら、その広大な敷地の一部に市民病院の移転などは考えられないか。"おらが街"といえる九大に替わる各となるようなシンボル的な存在の何かの誘致なりが必要と思う。公園ばかりあっても街そのものの活力はでかい。九大東側道路が拡幅され交通量が多くなった状況を鑑み、この道沿いに活気ある「街おこし」ができないかを工夫してみては。	男性	60歳代

内容	性別	年齢
九大医学部、病院があること、移動がないことは安心材料となる。通院者のための施設があってもいいと思う。	女性	60歳代
筥松周辺から3号線方向への公共交通が不便。	女性	19歳以下
区役所を移転すればいいと思う。公園の緑を残してほしい。また建物の古くていいものは記念に残すべき。イベントなどもしてほしい（文化祭など）。	女性	60歳代
九大門の曲がり角は危険。朝の時間は一方通行の交通規制があるし、他の時間帯も道が細い。	女性	40歳代
跡地について緑はそのまま残してほしい。又、土の広場も残してほしい。	女性	30歳代
松島1丁目からゆめタウン博多までのバスの本数を増やしてほしい。全体的に、緑を壊さない街づくりをしてほしい。九大跡地に美術館や動物園など文化・教養施設を作ってほしい。福岡にはプラネタリウムが少ないので作ってほしい。	女性	19歳以下
九大周辺は交通の便が大変よいので生活拠点としては人気が高いと思うが、学生がいなくなると残った人々は昔から住んでいる人ばかりで、高齢化が進んで子供も少ない。住みたくても土地がなく、このままではさびれてしまいそうでもったいない。跡地は箱崎校区よりに居住区として利用したらいい。	女性	30歳代
歩道、自転車道を確保してほしい。樹木のある公園がほしい。ただしホームレスが住まないよう管理してほしい。	女性	60歳代
松島大橋東の五叉路は大変危険。特に朝は自動車のマナーが悪く、赤信号に変わっても右折してくる車が多い。子供達の通学の時間帯は特に危ない。九大跡地については税金の無駄使いをしないように。	男性	40歳代
跡地の利用は子ども病院を建てたらいいと思う。人工島は交通が不便で地震のことを考えると立地にふさわしいか疑問。福岡市は西区や早良区等は開発が進んでいるのに対して東区は整備が遅れている。九大が移転したら人の流れも変わり、アパートも空き室が出て防犯上よくないと思う。箱崎駅の移動で街並みがきれいになり道路も広くなったがマンション等を壊して立て直す必要があったのか。反対側の街並みは変わらず、バランスがとれていないと思う。	女性	40歳代
清松中学校から博多方面へ向かう途中の橋は吸い殻等のポイ捨てが多くとても汚い。博多バイパス沿いの歩道は街灯が少なく暗くて危険なので街灯を設置してほしい。松田バス停からは博多方面のバスが1時間に1本位しかないので本数を増やしてほしい。	女性	30歳代
跡地をマンションなどせず、緑や公共施設の場所にしてほしい。	男性	30歳代
ワンルームマンションが多いためか、ジュース缶等の投げ捨てが多く、道を歩くのによい気持ちになれない。宇美川の川沿いの歩道には犬の糞が多く、飼い主のマナーが悪い。筥松・箱崎の古きよきものはなるべく残してほしい。	女性	60歳代
跡地の利用にアジア各国の人達と交流（会議、語学研修）できる施設ができるといいと思う。	男性	70歳以上
跡地の利用は箱崎の歴史や文化を引き継ぐような、九大跡地他たくさんの空き地の跡地利用を舵取りする必要を感じている。どこにもない、街のアイデンティティの獲得がゆくゆくは街を豊かにしていくと思う。	男性	20歳代
跡地の利用は単なる住宅地や大型商業施設でなく、文化、教養、市民の憩いの場としての性質を残した利用をしてほしい。	女性	30歳代
移転後は廃虚になった建物は犯罪の場所にならないように早く取り壊してほしい。又、地下鉄貝塚駅付近は商店街がなく不便なので、1か所で何でも揃う大型スーパーができればいい。	女性	40歳代
九大横の道路が狭いので、危なくないよう広くしてほしい。跡地の利用はショッピングモールができるといい。	男性	20歳代
跡地の利用は誰でも利用できる多目的施設（野球場やグラウンド）などにするのがいいと思う。	男性	20歳代
跡地利用は樹木を残して、緑の多い利用をしてほしい。赤レンガも壊すのはおしい気がする。できるだけ古いものを残してセントラルパークみたいな自然な空間にしてほしい。	女性	50歳代
跡地は公共施設になると聞きましたが、広い緑地空間を確保してほしいです。	男性	30歳代
跡地は緑地を作ってほしい。	男性	50歳代
学校の送迎時、校門近くに10～15台の車が並び通行妨害になっている。	男性	50歳代
箱崎公園の駐車場近くの横断歩道の押しボタン式の信号機を設置してほしい。子供がたくさん利用しているし、カーブで見通しが悪い。	女性	30歳代
地下鉄貝塚駅へ行くところは車の交通量が多いのに信号機がなく、とても危険です。安全に渡れるようにしてほしい。	女性	30歳代
九大の歴史的価値のある建造物はなるべく残すようにしてほしい。	男性	30歳代
松島1丁目は駐車禁止が多い割にもかかわらずコインパーキングがないのは非常に不便だと思う。	男性	20歳代

内容	性別	年齢
県立女子大学等、短大、専門学校等、学校を設置してほしい。	男性	60歳代
跡地にマンション等建てるべきでない。図書館、病院、市民運動施設等を建てるべき。	女性	50歳代
筥松4丁目付近はよく不審者がでます。跡地も整備して明るい地域作りを望みます。交番も増やしてパトロールを強化してほしい。	女性	30歳代
箱崎駅前は道路、マンションなど増え美しくなったが、それに伴う大型スーパーやレストランなど人が集まる魅力ある駅周辺であってほしい。	男性	50歳代
歩行者に優しい街にしてほしい。	男性	30歳代
跡地は娯楽施設か、ショッピングモールを是非作ってほしい。箱崎地区が活気ある地域にしてほしい。	女性	19歳以下
貝塚駅周辺にはスーパー、コンビニがない。貝塚駅裏側のJR鹿児島本線脇は交通量が増えたが道幅が狭い。	男性	30歳代
住宅地に関しては空港移転問題が決まってから跡地利用は検討すべき。	男性	50歳代
外国人（特に中国人）に対する公徳心教育をすべきだと思う。道路、建物を整備しても交通の安全性、住みやすさはそれだけでは向上しない。	男性	60歳代
跡地利用は大商業施設、中に公園や、安らげる場所、映画館等があればいいと思う。	女性	50歳代
地域の活力UPに重点を置いてほしい。跡地に箱崎中学校を移転してほしい。	男性	60歳代
夜間の道の暗さに怖くてなかなか外に出れない。	女性	20歳代
緑地公園、市民の憩いの場所づくり。跡地利用として介護施設。	男性	50歳代
なるべく緑が残る形で残してほしい。	女性	30歳代
商店街の発展、大型店舗との共存。	女性	20歳代
JR箱崎駅と地下鉄貝塚線の箱崎宮前駅を近づけた方が交通の利便性が良くなると思う。低料金で利用できるスポーツ施設やスポーツジム（公共運営）を跡地に設置してほしい。	男性	20歳代
深夜の暴走やコンビニに集団が溜まっていて治安が悪い気がする。	女性	20歳代
キャナルのような大型商業施設、バスセンターと一体化した建物がほしい。松島地区は非常に交通の便が悪すぎ。バスやJRが遠いし少ない。	男性	30歳代
交通便もよく公共施設が整備されればいいと思う。図書館などの文教施設もそのまま活用して、公園を含めて東区だけでなく糟屋郡の住民も利用される施設として整備すべき。筥崎宮を中心とした街並みを保存すべきと思う。	男性	50歳代
道路等整備されたが都会のへき地的イメージは拭えない。	女性	50歳代
松島小学校区の松田地区は歩道の整備がほとんどされてない。子供の為にも住みよい環境を作ってほしい。	男性	30歳代
跡地にはショッピングモールができるといい。	男性	20歳代
跡地にはスポーツ公園や緑地公園等、住民がコミュニケーションを広げ、安心かつ憩いの場としての利用。又商業施設や文化施設など。	女性	40歳代
跡地に老人と子供の福祉施設（併設）がいいと思う。	男性	20歳代
跡地に公共施設を作ってほしい。	女性	60歳代
跡地利用は公園、室内競技場などがいいと思う。	女性	60歳代
百道浜のような公園や図書館のある街にしてほしい。	男性	30歳代
子供から老人まで幅広く利用できる施設ができるといい。	男性	30歳代
九大の門や建物は残してほしい。	女性	30歳代
九大の建物は残してほしい。できれば移転しないでほしかった。	男性	30歳代
九大周辺はとくに道幅がせまく危険。跡地利用は道路の整備を第一にしてほしい。交通安全、治安が一番必要です。	女性	30歳代
朝、松田～百年橋通りに出る時渋滞して困る。	男性	20歳代
跡地には小学校や公園をつくってほしい。	男性	30歳代
九大を遠回りしないといけないので真中に道を通してほしい。使っていない建物をいつまでも残す意味がわからない。もっと防犯に力を入れてほしい。	男性	30歳代
総合運動公園が欲しい。	男性	50歳代
柚須駅付近の街灯が少ないので怖い。	女性	20歳代

内容	性別	年齢
個人利用できる体育館が欲しい。	女性	20歳代
防犯面が悪化するような施設や建物は造らないでほしい。	女性	30歳代
跡地は歴史ある建物が無くなるのは寂しい。図書館など有効利用するといい。	女性	30歳代
公園、図書館	女性	50歳代
マンション、デパートなどはいらない。	女性	20歳代
娯楽施設だけは必要ない。自然を残して、その中で学び、心を癒せるような場所にしてほしい。	女性	50歳代
文化施設、公園をもっと増やしてほしい。もう少し交通の便が良くなるとよい。	女性	30歳代
跡地周辺の道路整備をして皆が利用できる施設を作ってほしい。九大は移転してほしくなかったのが希望だったので残念。	女性	50歳代
治安が悪くならないようにしてほしい。	男性	30歳代
松島4丁目～貝塚の橋があればいいと思う。	男性	40歳代
地下鉄貝塚駅裏側の道路を整備してほしい。松島の中にバスを通してほしい。	女性	40歳代
松田から松島小は遠すぎる。松島小は人数が多すぎる。松島小周辺の歩道を整備してほしい。夏や冬に子供を安心して遊ばせてあげられる屋内施設を作ってほしい。	女性	30歳代
跡地は基本的には残してほしい。特に正門あたりの建築物は文化財的価値がうかがえる。	男性	20歳代
跡地利用は公園とホールのようなものと気軽に利ようできる体育館等がよい。	女性	20歳代
東区民が憩える場にしてほしい。	男性	30歳代
広くてきれいな公園ができるといい。	女性	30歳代
老人が気軽に利用できるレクリエーション施設が欲しい。	男性	50歳代
準工業地帯なので居住環境は良くない。ひったくり等があり防犯面に不安。交番が近くにないので、もう少し身近に欲しいと思う。	女性	50歳代
小売店、コンビニがもっと増えたらいい。	男性	50歳代
地下鉄貝塚駅周辺は道幅が少なく交通量が多く危険。自転車が通れるスペースを確保すべき。早く改善してほしい。	男性	19歳以下
九大の名だたる建物は記念棟として残してほしい。	女性	50歳代
跡地は公共施設（病院）等を誘致してほしい。古い街並みは寺社等と関連した形で地域住民のつながりが強いので、防犯や教育的な理由からも伝統を残す方向で考えてほしい。	男性	40歳代
若い人中心の街づくりではなく、年をとっても楽しめる街づくりをしてほしい。	女性	50歳代
自転車用レーンを設置してほしい。名所、史跡は地域の財産だから大切にしてほしい。 ウォーキングなど気軽に楽しめるよう歩道の整備を希望する。	女性	40歳代
松島小から松島大橋の途中の五差路がとても危険に感じる。旗当番で朝、子ども達を送る時、中間のエリアで立っていると信号機を見間違えて車が進入したり、自動車のマナーが悪く何度も危険だと感じる事があった。	女性	40歳代

＜筥松校区＞

内容	性別	年齢
箱崎の中心部のスーパーも閉鎖と聞きゴーストタウン（オーバーですが）化しそうで心配です。	女性	60歳代
交通の便の悪い筥松新町・二又瀬・社領から見て、九大跡地は身近に感じられない。只、福祉や医療に役立ち、緑多い場所として残してほしい。	女性	50歳代
子供達が安心して遊べる公園になったらいいとずっと願っております。昔のように大きい子と小さい子が一緒にかくれんぼをしたり、ドッジボールをしたり。そこに行くと誰かが居て寂しい思いをしなくてもすむような、素敵な遊び場を作って下さい。	女性	60歳代
将来増えるであろう老人、九州大学病院入院される他県からの患者さん親族、術後にホテル泊、再度家に帰って又大学病院へ足を運ぶ方の施設及び末期患者のホスピス等の病院関係の施設をと思っていますが。飛行機の騒音を考えると困難かと考えますが、緑地は広いし患者さんの散歩にも最適ではないでしょうか？他県からの患者さんも再度九州大学で手術する方も費用が少しは減るのではないでしょうか？	男性	60歳代
今から子供産んで育てて行くので、九大跡地には、子供の病院施設や体づくりの出来る施設等がほしい。ワンルームマンションは少なくしてもらい、子育てを共に出来る家族ぐるみのおつき合い出来るご近所を作りたい。道路、歩道は自転車、自動車、歩く人、ベビーカーが安心して通れる様にしてほしい。	女性	20歳代
社領はとても夜が暗く、電灯をふやしてほしいです。犯罪がとても多く、私も一度、怖い経験をしております。また、中国系の人達の交通マナーが悪すぎる。かなりジャマだし、マナー悪いし、とてもムカついています。中国系の人の犯罪もTVでよく流れているし、あまりいい気がしません。	女性	20歳代
筥松小学校への小学校の通学路は交通量が多く危ない3号線バイパスを横断する際特に危険を感じます。歩道橋の設置は必要！！（餃子の王将前の交差点）反対している人もいるそうですが、何とか押し切って下さい。	男性	30歳代
古い街並を残してほしい。九大跡地は歴史のある建物は残し、緑の多い公園、図書館を作ってほしいと思います（百道にある様な図書館、ミニシアターが理想です）。筥崎宮での蚤の市は続けてほしい。最近若い人達の参加が多く古い物を大切にするのはとても良い事だと思います。	女性	40歳代
九大跡地に県立図書館を移転して百道の市民図書館のような広くて明るい施設にしてほしい。子ども病院の移転先が未定ならば九大跡地でもいいと思う。九大医学部にも近くて都合がいいのではないかと思う。	女性	50歳代
子供がいる家庭にとって利用しやすい施設など、有効利用して頂きたい。	女性	20歳代
ある程度は仕方ないと思いますが、あまり階数の多いマンションの建設を許可しないでほしいです。人が増えていい事もありますが、景色が悪くなったり近くの住民とのトラブルなどで嫌になります。	女性	30歳代
九大内の歴理的建物は積極的に保存、活用すべきだと思います。	男性	30歳代
是非、子ども病院、市民病院を九大跡地に移転して下さい。	女性	40歳代
福岡にディズニーランドの屋内施設が出来ると喜んでましたが、中止になるとニュースが有り残念に思いました。災害非難場も必要ですが、子供達にも夢のある施設も作ってほしいと思います。	女性	40歳代
箱崎キャンパス跡地に子ども病院などの施設をもってくれば中央区の人も通いやすいと思う。線路沿いの狭い道路にぜひとも信号をつけて下さい。	男性	30歳代
跡地は学校および文化施設が好ましい→福岡女子大などの移転。娯楽施設や大型ショッピングセンターは交通量の増加等好ましくない。	男性	30歳代
JR箱崎駅に快速電車が止まらないのはおかしいと思う。千早よりも利用客数が多いのに止まらないのはどうしてなのか。	男性	50歳代
区画整理前に一度、整理後にも一度空巣に入られました。防犯に力を入れてほしいと思います。	男性	60歳代
キャンパス内には古くからある歴史的に重要な建造物も多くあるかと思います。何らかのかたちで残して頂けたらと願います。又、子ども病院の問題を耳にしますが、六本松跡地ではなく、むしろ箱崎キャンパスの方が地下鉄、JR共に利便性が良く適していると思います。広い敷地ですので病院も建てることができるのではないかと思います。	女性	20歳代
子供が多いこの地区で、子供達が安全に遊べる場所がほしい。緑が適度にあり大濠公園のような所がほしい。	女性	30歳代
九大跡地利用ですが、すばらしい建物がたくさんあります。木々も見事なのがたくさんあります。それを残し再利用。ギャラリー、図書館、福祉関係の施設、個性ある店、若者達も老齢者も集まれ散歩も出来るひとつの街のように利用してほしいと思います。いい知恵が集まり楽しい空間出来るのを楽しみに致します。この周辺の行事、知らない事が多いです。あそこに行けば街の事が分る場所があるといいと思います。	女性	60歳代
九大が移転する事になり学生さんの数もだんだん減少して活気がなくなりつつあるので、今一度箱崎に活気がよみがえる様な施設が出来ると良いと思います。	女性	60歳代

内容	性別	年齢
少し前にNHKの番組で「グリーンスポーツ鳥取」の芝生化運動について知りました。ニュージーランド産の芝生でスポーツやイベントなどができる公園をつくっていました。日本の芝生と違いとても安く、短期間で成長するそうで、鳥取ではこの芝スポーツの普及が進んでいるそうです。子どもたちが伸び伸びと走り回れるような地域の人が集えるような場所があったらよいなと思います。	女性	30歳代
約1年前に松田3丁目から箕松1丁目に転宅（マンション購入）。JR、飛行場、地下鉄、福岡ICと交通アクセスは抜群です。唯一不満はほぼ真上を通過する飛行機の音です。春、秋期に窓を開けられないのが残念です。九大跡地利用については、現在ある沢山の緑を出来うるだけ残すか再利用して下さい。最高なのは”福岡市には東区内に素晴らしい緑の大公園がありパリの〇〇公園、NYのセントラルパークに匹敵する”と言われる「森の公園」にして下さい。勿論周辺に駐車場も用意して全市民が訪れて大自然を楽しめる森の公園にしてほしいものです。又、その一画にはスポーツ振興を兼ねて公営のスポーツジムを運営願いたい。	女性	50歳代
九大跡地に子ども病院を移転させるのが利便性を考えて最適だと思います。	女性	20歳代
10年ほど前からこの校区で暮していますが、近所に空き巣が入ったりということも何度かあり、防犯上の不安がありました。近年は自警団の方々が夜に見廻って下さったり、パトカーが巡回されていて、住民にとっては有難いことだと感謝しております。九大跡地の利用に関しては、何か人々や生活の役に立つものを作ってほしいと思います。	女性	20歳代
九大跡地→緑化してほしい。まちづくり→小さく、個性的な店が増えたらいいと思う。（KUBRICやパンのナガタなど、増えているが、もっと増えたら箱崎が活性化して面白い町になると思う）	女性	30歳代
九大跡地はマンションにはしてほしくないです。	女性	30歳代
九大があっての箱崎だったのでとっても寂しい思いでいっぱいである。	女性	60歳代
人工島に移転となって反対の多い「子ども病院」を建設しては。飛行機が上空を飛行して騒がしい。博多駅前等市内に点在する、国の合同庁舎を全て跡地に集約して下さい。そうすれば、福岡空港の拡張案はなくなると思う。（この建設時に窓は2重ガラスの防音型でない窓にして下さい）	男性	50歳代
子供の為に想う未来が一番ではないかと思います。	男性	30歳代
スーパーを増やしてほしいです。	女性	60歳代
福岡空港に近く航空航路の直下であり早朝深夜の騒音がつらい。早く新宮沖の海上に移転計画の早期実現に取組んでほしい。	女性	60歳代
九州大学跡地利用を考えるとき、九大100年の伝統的歴史を尊重する意味から学術研究都市圏の再構築として公共大学の誘致、現在の狭隘な県立図書館の移設、総合美術館の新設など、九大に現存する建物と広範な土地の有効利用を考えてほしい。	男性	70歳以上
子供達が自由に野球やサッカーができる無料のグラウンドがあったらいいと思う。	男性	30歳代
跡地は大濠公園のように広大で湖があり、それぞれの人が思い思いに自分の時間を楽しんでいる公園があればいいなと思う。大学通りは本当に交通量が多く、通るたび身の危険を感じる。	女性	20歳代
貝塚公園内の施設が老朽化しているので、できれば九大跡地に一部でもいいので公園を整備してほしい。	男性	30歳代
①小さな公園では浮浪者がいるので近寄りたくない。どうにかしてほしい。②県立図書館の駐車場がとても少ない。かなりの人が車を利用していると思うが多くの人が断られ有料駐車場にとめたり、あきらめて帰ったりしている。とめる人はだいたい決まっているのではないかと思ってしまことをある。一度調査をして車の利用者が多ければ増やすか九大跡地に移してもいいのではないかと思う。③今の所に引っ越して20年になるが途中で利用数が少なくバスの便がなくなった。大通りまで出ればバスが通っているが本数も少なく不便である。④九大跡地は文化的な建物や歴史がある所なので、スーパーや娯楽施設を入れるべきではないと思う。宗像ユリックスの様な公共の人に利用される様にしてほしい。	女性	40歳代
3号線に面し、あれだけ広い敷地なので跡地利用はよく検討していただき、地域住民にとってプラスになるようにしていただきたいと思う。又、幼児やお年寄の方が交流できる施設があったらよいと思っています。	女性	30歳代
空港買い上げ後が空き地になっているのでとても治安が悪い。	女性	60歳代
綿打川通りが夜になるとすごく暗いのでもっと街灯をつけてほしいです。そこの道路もできればもう少し広くしてほしいです。JR箱崎で快速が箱崎駅に止まるようにしてほしい。	女性	20歳代
箱崎がもっと栄えたらいいと思います。でも、なくなってほしくないのは地域の人のつながり。自分はもともと福岡の人間ではありませんが、箱崎に住んで、とても地域の人がすごくあったかくて、だれにでも声をかけ（いい意味で）あいさつなどもまったく知らない人からされることがあります。そこは箱崎のよい所なのでもっと地域の人たちと、たくさんのつながりを持って仲よくなっていけたらいいなと思います。	女性	20歳代
昔から評判が悪い箱崎地区のイメージ改善の為、大規模商業施設やマンションの建設及び道路整備を早急に進めていただきたいと思っております。	男性	30歳代
九大周辺は暗くて歩けないし怖い。	女性	50歳代
子どもが遊べる空間がほしい。室内。児童館が遠いので歩いて行ける所に。公民館は週1回なので、毎日行ける所が希望。保育所数は多いのかもしれないが入所が困難なのでもっと保育所を増やすか、入所人数を増やしてほしい。	女性	30歳代

内容	性別	年齢
東区、粕屋町の境目で準工業地区ですがJRの柚須駅があり利便性で住んでますが、緑が欲しいと思ってます。九大跡地は東区を代表する緑地公園が望ましいと思います。	男性	60歳代
大学の歴史ある建物や緑など歴史がきざまれたものを安易になくさないで大切に守りながらの利用方法を。多くの学生の青春がつまった想い出の場所は何らかの形で残すようにした方がよい。公園の中に小さなホテルやジョギングコース、レストラン、地域の方の集まれる場所。小さな村のようなもの。九大で育った人達も集える街。	女性	50歳代
筥松小学校～筥松新町につながる道（くもんの通り）の朝の交通量はすごく多く感じます。一方通行にするのは無理でしょうか？たまたま子供を後ろに乗せて自転車で走行していたのですが、スムーズに通り抜けるのがむずかしかったです。片道だけ歩道があった記憶がありますが、狭いのと、そこに乗り上げて路駐している車もありました。	女性	30歳代
安くて安心のできる老人の施設が出来てほしいです。	女性	50歳代
若い人が集まって来るような魅力あるものを1つでも跡地にもってきてほしい。学生をあてにした店も多いので、移転してしまうとそういった店もなくなり寂しい所になりそう。裁判所などという話も聞くがそういったものばかりでは周りに人が住んだり・・・といったことにはならないような気がする。	女性	20歳代
九大箱崎キャンパスが移転する事が残念。	男性	30歳代
九大跡地に県立図書館を移転してほしい（Pが少ない為）。子供サロンを作ってほしい。商業施設より公園を作ってほしい。	男性	60歳代
箱崎商店街昭和レトロな街造り。飛行機の航路上の住宅の防音対策をしてほしい。	男性	40歳代
跡地利用については役に立ちそうなもの（商業施設、又は公共施設（ムダでないもの。病院とか）が良い。マンション等はやめた方が良いと思う。現にこの附近のマンションは売れていない。（たぶんイメージが良くない）跡地を公園とかにするのも良くない。（もういらないと思う）あってもロクなことにならない。（いろんな意味でムダ）跡地利用について、コンペ等で利用方法から考えてみたらどうか。（あせって決める必要は無いと思う）	男性	30歳代
暴走バイクがうるさいです。警察がつかまえる事が全くないし、なくならないので子供ができたら引越ししたい。原田は大きなトラックが通るたびにマンションが揺れる（響く）。小さい道でも普通に大きなトラックが通るのに歩道は狭いし、ガタガタで整備されていない。8階に住んでいますが住んでみて音（トラックやバイク）はうるさいし地響きはするし、子供を育てる環境ではないと思った。	女性	20歳代
九大から名島へ抜ける道は交通量が多い割りに道が狭く、また歩道がないため、とても危険です。	女性	30歳代
原田に片倉工業の土地があります。そこに2月より老人ホーム建設が始まりますが、土地の一画に「タカス様」という祠があり（多々良の合戦の時のものらしいです）少し樹々も植わっています。ここを残してほしいです。	女性	60歳代
人間と自然が共存できるような街作りができたらよい。	男性	50歳代
校区には外国人の居住者が多いが、地域住民との交流が少ないように思える。昔ながらの小路が町内の交流に深く結びついているので、そういった道を広くすることによって町内を分断してしまうのは残念に思う。昔ながらの良さを残しながらも交通の安全性を向上させる街づくりにしてほしい。新しく居住してきた人たちと昔からの地域の人たちが全く知り合わないような街になっているように感じる。大学通りは時々子供をベビーカーにのせて行くが歩道がないので怖い。歩行者用の色分けをしてもらいたい。電柱のところをよけて通る時がとくに危ない。道路をはさんだ町並みは昔ながらで保存すべきだと思うが、電柱はなくしてほしい。	女性	30歳代
マンションなどが多く建設されている一方、小さい公園などはゴミが多く（弁当かすや割れたビン）、小さい子供を持つ私としては、とても住みやすいとは思えません。九大跡地がいこいの場になるような、みんなの興味をそそるような場所になってほしい。	女性	20歳代
JR箱崎駅に快速電車が停車するようにしてほしいです。その方が箱崎校区の活性化につながると思います。九大跡地利用については文教地区のイメージを壊さないようにしてほしいです。	女性	19歳以下
九大が移転したらあの土地はどうなるのだろうと思う。子ども病院を作ったらみんな喜ぶと思うが、どうしても市長がアイランドシティにしたいので、それは無理というもの。じゃあ何になるのか？ショッピングモールはいらない。公園ももういい。子供～老人迄何か役に立つ事業に使ってほしい。「鉄道記念館」とかあったらいい。	女性	40歳代
子供から大人が使えるいこいの場所。人が集まって来る場所。	男性	40歳代
天神地区にも程良く近く、学校、公園、駅、商店街等もあり住むには便利な所とは思いますが、便利な分、交通量も多く排気ガスや飛行機や車の騒音（毎日のように鳴り響く救急車、パトカーのサイレン音を含め）がとても気になります。実際こちらに転居してきて2ヶ月程で鼻炎になりました。窓ガラスもすぐに汚れサッシも砂ボコリですぐにジャリジャリとなるのには驚きです。	女性	30歳代
九大箱崎キャンパス跡地を利用し、子ども病院建設を検討して頂きたい。周産期センター（九大病院）にも近いため、連携もしやすく利便性が向上される。反対されている人工島では子ども病院が孤立してしまうし、交通の便が非常に悪い。	男性	30歳代

内容	性別	年齢
公園はホームレスの人の住み家と化し全く使えない。何のための場所かわからない。吉塚から二又瀬、ダイヤモンドシティへ抜ける道の工事を早く終えてほしい。大学通りや筥崎宮附近の情緒ある感じを残してほしい。二又瀬新町附近は公共交通機関の便も苦く緑も少なく空気も悪い。吉塚附近など交通の便もよく道路も整備されとてもうらやましい。全体に緑をこれ以上減らさず、むしろ増やしてほしい。社領の辺りでしょうか、日がくれるととても不安で恐いという話も聞きます。筥松小学校附近はだいぶ整備され、見通しも良く、子供達も安心して通学させられるのではないでしょうか。	女性	40歳代
安心、安全で住みやすい魅力ある街づくりを望んでいます。	女性	60歳代
西鉄バス路線を原田から3号線に抜ける路線を作っていただきたいです。東区役所（今のバス路線で降りる所にバス停がありません。危ないです。）、ゆめタウン方面、香椎方面などに利用が便利になります。九大跡地は箱崎、筥松地区が発展、活性化出来る様な公共の施設、娯楽、公園等々が出来ればよいと思います。それと赤レンガの塀は残してほしい。すべて新しい物が良いとは思いません。	女性	60歳代
九大の跡地に関心はあります。古いものを残してもらいたい。緑の少ないこの地に商業的なものを入れないでほしいとの思いはあります。ただ、福岡市内において活気ない東区ですので、何か、新しいものを、とも思います。	女性	40歳代
九州大学の移転後は緑いっぱいの環境づくりを目指し、魅力ある街にしてほしいと思う。九大の移転で伊都は活性化するだろうが、箱崎界隈はどうしてもさびれた感がある。URが後に入るのも、これ以上住家を増やしても飽和状態を加速させるだけだと思う。魅力的なショッピングモール作りなどはどうだろうか。	女性	20歳代
九大跡地の利用方法次第でこの歴史ある箱崎の街が死ぬか生きるかがかかっていると思う。	男性	40歳代
九州大学跡地利用性について、福祉関係の集りにする。高齢者専門病院、リハビリ施設、高齢者福祉施設、保健施設、通所施設、認知症専門施設、介護用品関連施設、ケアプランセンター、これらすべての施設を敷地内に、民間も含めて集める。	女性	60歳代
地域住民の為によりよい町作りをお願いします。もっと住民同士、地域に住む外国人との交流が欲しいです。	男性	40歳代
箱崎地区は古くからの街路や建物が残っていた地域だったのに、最近のマンション建設ラッシュや道路の新設、拡幅などにより、街の風情が最近急速に失われているのが大変残念。九大が移転してしまうのは、街にとって大きな打撃だと思うが、跡地活用に関しては箱崎地区の歴史や伝統を損なわずに生かしていけるようなプランで進めてほしい。	男性	30歳代
緑地にしてほしい（新宿御苑のような）。道路拡張、植物園	男性	20歳代
空室が多くあるのなら、生活に困ってる者に安く貸しては。年長者（70才前後）は大変苦しい毎日です。	女性	60歳代
福岡女子大を跡地に移転させる。それには男女共学化も必要であろう。	男性	60歳代
大学生等が大幅に減少することが予想されるので残った商店街の人々が少々心配。跡地に人が集まるような利用をしてほしいと思う。	男性	20歳代
市民体育館より大きい体育館が出来たらいい。	女性	50歳代
新幹線高架下が緑地化になれば薄暗い雰囲気が無くなるので夜も少しは安心して歩けるなと思いました。九大跡地利用ですが、あれだけの広大な敷地を無駄にしてほしくないです。マンションや大型団地は不要。公園や憩の広場等、公共性の高い物が良いと思います。現在3才と8ヶ月の子供がいます。この子達にとって「筥松、箱崎地区が好き」と言える環境作りを期待しています。	女性	30歳代
千早駅近くは香椎の中心地になっています。箱崎も生活空間として九大跡地は公園化がよいと思います。今ある石建物を残し、大正、昭和の時代も残し、市民皆が利用出来る場所がよいと思います。	男性	60歳代
九大移転に伴い箱崎地区は活気がなくなります。私は福岡女子大学が移転してきて高校との一貫教育が良いのではないかと思います。	女性	60歳代
大きな空間を有効に使ってほしいと思います。九大の自然と古い歴史のある建物を上手く使える方法が見つかると思います。	女性	20歳代
県立図書館。研究資料等の本はたくさんあると思うが、エッセイや小説、雑誌を充実させてほしい。もう少し明るい雰囲気だと利用数も増えるのではないか？	女性	30歳代
緑をもっと増やしてほしい。	男性	20歳代
箱崎本通りは年々さびしくなってるようです。交差する商店街もどんどんマンションが建ったりして、九大移転がなくてもさびれていくようです。九大の古くからある昔の建物は是非壊さずに再利用してほしいです。先日も筥崎宮前の福岡銀行が駅前に移転したので、旧行が取り壊されていました。以前の建物は古い古い感じでしたが、中二階のある天井の高いすてきなところでした。きっと、喫茶店とかレストランとかギャラリーとかになったら、とても人が集まったと思います。古い街並とか建物をむやみに壊さないでほしいです。九大の建物も壊さずに近隣住民に見学させたりして、利用する道をいっしょに考えていってほしいです。あと、忘れずに緑も残して下さい。ただの野原でもいいです。	女性	30歳代

内容	性別	年齢
道路整備により歩道が広くなったのはよいのですが、夜間、歩道が暗いので歩道にも灯りがあればいいのにと思います。区画整理に関しては'車'にはよいかもしれませんが、'歩く'という観点から、自動車の交通量が増え排気ガスが増えた事によりあまり身体によくないような気がします。スピードも出ますし。九大跡地にはそんな点も含めて街づくりをしてほしいと思います。人が集まって、人に優しい街づくりをお願いします。あと、大型店ばかりでなく、中小の商店や小売店が増えるようにしてほしいです。	女性	40歳代
住人の認知度が低いのは誰が街づくりをしているのかわからないことが多い、意見集約があってないと感じている。道路、ワンルームマンションばかりが目立ち、生活を楽しむ街づくりでない。もっと年寄りが集まりやすい店がほしい。スーパーも大型は必要ない。年寄りは歩いて買い物に行ける場所を望む。その点コンビニは身近でありがたい。	男性	60歳代
安全な歩道の確保を第一にお願いします。犬の鳴き声や暴走族による騒音で不快な思いをしている人が多いです。	男性	20歳代
東公園を潰し県庁・県警を造ったので貝塚公園の整備も兼ねて大規模な公園を作ってほしい。	男性	50歳代
筥松校区は子育て世代が多いと感じている。小さな子供が安全で遊べるような街づくりを行ってもらいたいと思います。公共の乗り物をみんなが使用しやすくなるようにしてもらいたい。車がないと子育てしにくいと感じている人が周囲に多くいる。地下鉄の定期券の値段が高いと思う。バスはベビーカーだと乗りづらいので使用しにくい。	女性	30歳代
大学跡地については、建物は古いがもったいない。淋しい。あれはあれで何か利用し、残せないのだろうか。仮に跡地に大型店のスーパーの様な物、娯楽施設の様な物が出来たとしたら、よく考えて作ってほしい。安心して住める、遊べる、暮せる物にしてほしい。新しくきれいであれば良いというものではないと思う。なぜこの地に九大が出来たのか、どういう事があったのか、残してほしい。商店街も、えっ？どこ？という感じである。もう少し活気を。高齢化社会となり高齢の方が近所にもたくさんいます。スーパーも近い様で遠い。安い所へと思っても歩いては難しいと良く聞きます。(治安が良くないというか)変わった人が多いと感じる時があります。子供達も注意できない位、怖いと感じる子供達が多いです。福岡は家賃が(土地)高いです。交通にそこそこ便利だから住んでいますが、住みやすくはありません。昔が消えていく様な街に感じます。	女性	40歳代
近所づきあいが少なくなり非常に残念です。外国人の方が非常に増えてマナーが悪い方が多いので困っています。夜遅く大声で話して歩く、つばをはく、自転車の方が多い。交通マナーが悪く困っています。	男性	60歳代
箱崎の商店街は、車の通行が多く歩行者も運転車も危険です。交通規制や歩道の整備をお願いします。また、道路の拡幅に伴って商店や景観が大きく変化することを心配しています。箱崎の良さを残したまま整備されることを望みます。九大の建物も歴史の風格があって壊されるのは寂しく思います。いくつかの建物だけでも残して、市民に開放されるとよいです。建物や景観がきれいになることも大切ですが、地域の人々の個性のようなものを残した街になるとよいと思います。	女性	20歳代

＜東箱崎校区＞

内容	性別	年齢
移転後の九大跡は税金掛けずにお願いします。この地区は県営、市営の団地が多く、低所得層の人間が住んでおり、治安も悪いです。外国人、母子家庭云々棟長など任されたのではたまったもんではありません。そちらには全く関係ないことなのでしょうが、県営、市営団地の運営を見直すことから(治安・町並みはあとからついてくる)はじめてはいかが？お金には全く縁のない人たちが住む地域。移転問題よりも生活が先で、そんなことに感想を言ってる場合ではないのです。とにかく作り進めるなら無駄にならぬ税金の使い方を。東区は結構便利ですが、他の区の人間が「治安悪い」と口をそろえて言う現状に目をむけては？	男性	60歳代
跡地利用はいろいろな意見があるでしょうが、緑と共に買い物もできればありがたい。	男性	60歳代
交通の便は良いのですが、大型スーパーが近くにありません。また、駐車場も少なく、あまり住みやすいとは言えません。	女性	50歳代
現在、貝塚から箱崎に行く時、九大農学部から正門まで通らせてもらっているが、(徒歩)緑も多く非常に快適だ。(車も通るが安全だ)今後の跡地利用の際もこの環境を維持してもらえればありがたいと思う。多々良川の名島側は散歩道が整備されているが左岸(杉島側)は未整備であるので、下水処理場から杉崎橋間の整備をお願いしたい。宇美川を渡ってすぐ下水処理場裏へ下りる階段を設置してほしい。	男性	60歳代
九大箱崎キャンパス近くで事業を営んでいるため、現在の九大が非常にもったいなく感じる。移転するのであれば早くしていただきたいし、移転しないのであればもう一度生徒を戻してほしい。経済的(福岡市)にみてもこの状態を続けるのは良くないと思う。一番よいのは大学に生徒を戻すことが経済的であるように感じる。	男性	30歳代
箱崎地区の路地が多い雰囲気はいいので今のままがいいです。箱崎キャンパスは母校なのでなるべく今のかたちのまま残してほしいと切に願います。いろいろ壊したりしてほしくない。貝塚駅周辺にはありえないほど店がないと思います。箱崎－香椎にはあるのに。貝塚駅にコンビニくらいあってもいいのに。買い物は天神とかで済ますしかありませんし。貝塚公園は良いとは思うけれど、いかんせん周辺の状況とあいまって防犯上はよくない感じで怖い(警察署があるから大丈夫なのかな)。貝塚って警察署があっても日没後が怖い感じなので(店が少ないから人が少ない)長くは住まないかも。その点、箱崎のほうが良いです。	女性	30歳代

内容	性別	年齢
大型商業施設は必要ないかと思いますが、広さや立地を生かした文化施設、商店があるといいです。今ある緑は残してほしいです。増やすのなら大歓迎です。	女性	30歳代
九大跡地にスーパー（食料品の販売）を出店してほしい。毎日の食料品の買い出しで困っています。	女性	50歳代
外国人、特に中国人のマナーが悪い。特に自転車の通行では横に並んで道をふさいで困っている。	男性	60歳代
近くに食材販売店がほしい。空港やJR貨物駅の移転で騒音が除去されることを希望します。JR箱崎駅の新設。最優先は箱崎中、および箱崎小の九州大学跡地への移転により勉学環境を改善すること。	男性	70歳以上
貝塚駅近くの九大グラウンドに子ども病院をもってくると、交通の便もよくいいのではないかと考えます。	男性	40歳代
数10年、数100年と育ってきた記念的木々が九大内には多数存在しており、緑地、公園などとして残してほしいと思います。また東区東箱崎校区として地域の住民が利しやすい会議室等が少ないで、コミュニケーションのものを作ってほしいと思います。また、マンション等が増えることになると思いますが、木々の中に立つよう緑を増やして温度調節を検討してほしいと思います。	男性	50歳代
樹木の多い九大キャンパスに好感を持っていますので、なるべく樹木を残してほしいです。	女性	50歳代
箱崎ふ頭は夜暗く、防犯上の不安があるので街路灯を増やしてもらえると安心して生活ができそうです。九州大学移転後は九州大学の図書館がどのようになるのか不安です。図書館は残しておいてほしいです。	女性	20歳代
公営団地に住んでいます。外国人の方が入居されてますが、団地、清掃等に協力が少ないと思います。	女性	50歳代
ディズニーランドみたいな遊園地施設や温泉施設を造ってほしいです。サイクリング道路とかも良いと思います。犯罪のない明るい街をつくってください。障害者、高齢者、子供たちが住みやすい街にしてほしいです。	女性	40歳代
九大跡地にはショピングモールなどを建築し、多くの人が働ける場所を作ってほしいです。また子供が安心して遊べるような治安対策も考えてほしい。	男性	30歳代
九大周辺の町づくりは現在進行中の空洞化を直視すべきと思う。周辺を含む、地域の活性化、住みやすさ、そして住民の健康福祉の向上を根底においてプランニングすべきである。周辺市町村のそれと比較して福岡市は明らかに30年以前の水準で劣っている。公民館等の施設、市民のための運動教養施設、老人各種施設・・・etc。政令指定都市として恥ずかしいレベルではないか、少なくとも西新今川地区並のまちづくり（公園、商業施設、住環境）を目指すべきである。ここ最近、町中の老人の散歩や着物姿が目立って少なくなり、逆に老人介護のデイサービスの送迎の車が町中を走りまわっている状態である。このままでは当地区は老人とワンルームの住民になってしまうものと思われる。	男性	60歳代
今の状態では当地区の大きな発展は望めないと思う。最終的には九大キャンパス跡地の再利用の案件にかかっていると思います。	男性	60歳代
貝塚公園はペット不可なのでドッグランなどを作ってほしい。（西部運動公園のような）。九大の建物を一部保存してほしい。（煉瓦造）。地下鉄駅の近くにパーク＆ライド用駐車場と広い駐輪場があれば利用しやすいと思う。体育館が遠いので九大の体育館はそのままでスポーツ施設として残すとよいと思う（グラウンドも然り）。遊技場が増えているので商業施設に関して一定の規制を設けて跡地利用してほしい。	女性	30歳代
地下鉄貝塚駅の前再開発を願います。	男性	60歳代
3号線は夜も明るいが中に一本入ると街灯が一気に減るのでいつもひったくり等の心配をしながら歩いています。ふ頭は工場が多く、正直住宅街ではありませんがせめてマンション周辺は明るくないと。コンビニなどもないので危険だと思います。	女性	20歳代
九大移転後は防犯等に注意した街づくりをお願いします。楽市街道は防犯上特に危険を感じますので移転をしてほしい。	男性	30歳代
スーパーマーケットができれば少しは生活がしやすくなると思います。また東箱崎校区は居住スペースが狭いため小学校の児童数が減少しています。せっかく近くに公園もあり、環境的にも通学路的にも恵まれているのですから子供がふえればいいと思います。そのためには、一部は居住できるマンション等になってほしいと思います。また、緑はそのまま残してほしいとも思います。以前子どもと親子ふれあい学習で九大探検ということで色々と中を散策させていただきました。学術的にも珍しい植物もあり緑は残してほしいと思いました。	女性	40歳代
九大跡地の問題は地域の住民に大きな関心であります。現在の九大の中にはここにしかない重要貴重建築物や樹木などが多数あり、なくしてしまうのは今後の子供たちや住民にとってマイナスになると思います。大型娯楽施設等は絶対たてないように願います。子供やお年寄りが安全、安心な利用の方法を願います。	男性	50歳代
九大の前の道がすごく狭いため広くしてほしいです。子供を連れての散歩が歩道がないため、いつも怖く思っています。ガードレール等もあると安心して子供が小学校に通うことができますのでぜひ改善していただきたく思います。	男性	20歳代

内容	性別	年齢
今現在娘が九大の中の保育園に通園しております。移転の問題が常に心配されております。九大は自然が多く、季節をすごく感じることができます。是非自然を多く残したままでの利用を願っています。建築物もすごく味がありぜひ残してほしいです。	女性	40歳代
この地区は筥崎宮があるので、それを中心にして遠い昔、この辺は歴史的にいろんなことがあったのではないかと思います。それを大切にしながら福岡の人々が楽しめる場所になってほしいと思いますし、九大跡の広さ、その統一された広さを楽しめる場所が少ないと思います。箱崎の良さをよく考えて箱崎にしかできない跡地の利用を考えてほしいと思います。	女性	60歳代
ハローディを持ってきてほしい。今住んでるところで徒歩で（自転車で）いける、地下鉄貝塚駅を拠点にしているので（通勤等）スーパーに不便を感じている。	女性	40歳代
箱崎中学校が跡地へ移転するようなことを聞きました。箱崎7丁目は校区の最も先端で小学校が遠いだけにせめて中学校だけでも今の位置にあってほしいと思います。	女性	30歳代
跡地は芝生公園、図書館、文化ホール、箱崎中を移転し、健全な生徒を育てる。マンション、老人施設、商店街、食堂ほか。犯罪の少ない箱崎地区であってほしい。中学生、高校生の犯罪防止に努める。	男性	60歳代
九大跡地に箱崎中がくると聞いています。九大跡地ならちょうど通学区域の中心でいいと思います。	女性	50歳代
もし九大が完全になくなると、その跡地には何ができるのか。住宅地？商業施設？どちらにしても、今後人の出入りが多くなる可能性が強いため、３号線以外の基幹道路は必須と感じます。さしあたっては、九大とJRの間の道は現在の「交通量増加」と車幅が全く合っていないため拡張は急務と考えます。いつか大事故が発生します。あと、福岡東署がある割に彼らは「取締り」に熱心で、「地域パトロール」の概念が全くない。「締め付ける」ことより、「安心＋安全」を最優先にすべき。組織とは思えず地域に役立ってない。	男性	30歳代
公団やマンションが多く、高齢者もたくさん住んでいるのに、近くにスーパーがなく、大変不便である。数年前に唯一のスーパーがなくなってしまい、マイカーのない老人はバスに乗って日用品を遠くまで買いに行かねばならず大変苦労されている。若い人は車や、仕事帰りに買い物することができるが、高齢者の生活のことを考えると、とても住みづらい地域だと思う。	女性	30歳代
箱崎駅の立体交差などの発展で住みやすい環境を作ることによって住民が増加したとしても、保育園や幼稚園が少なくて不安になるのではないでしょうか。東区は西区や早良区に比べると発展（利便性）が遅れているような気がします。海側はコンテヤードやら貨物ヤードやら工場が多く暗いイメージがあり、多々良川も暗いイメージ。街灯をたくさんつけて、明るいイメージにしてもらいたいと思います。とにかく、東区全体に暗いイメージがあります。	男性	30歳代
九大跡地利用への意見として、小さい子供から高齢者が一か所で、保育園、病院、デイケア、リハビリ施設、子供も高齢者も一緒に触れ合えるような施設や公園ができるといいなと思います。ボランティアの活動がしやすい環境づくりをし、高齢者がいきいき活躍の場が持てたらいいと思います。（ボランティアをしたい人はたくさんいます）	女性	50歳代
駅周辺から街は発展していく気がするが箱崎校区は地下鉄の駅があるにもかかわらず店舗が少なく暗いイメージです。九大跡地は住民が利用しやすい生活面に比重を置いた施設等を希望します。	女性	30歳代
大学のスペース分どちらへ行くにも不便だったのでなんとかスムーズにJRに行けるようにしてほしい。	女性	40歳代
代々木公園（東京）みたいに広くて大きな公園を造ってほしい。	女性	60歳代
貝塚公園がなくなると聞いたことがあります。あれだけ広い公園、しっかり整備してもっとみんなが集まる憩いの場になったらいいなと思います。	女性	30歳代
近くにスーパー（遅くまで開いている）があると便利です。	男性	30歳代
もう少し娯楽施設を増やしてほしい（たとえばツタヤなど）。	女性	20歳代
保育所作ってください。買い物できる施設作ってください。	女性	30歳代
九大が移転されることはとてもさみしいです。活気（若い）が減ります。学生さんが昔よりは自転車でくわえタバコの人も見るように（朝ですが）なって変化してしまったことは残念ですが、友達や知り合いの九大の学生さんのおかげで九大のイメージはとても良いし、地域に特にJR箱崎付近にはなくてはならない存在だと思います。建物のアカデミックな良いものは開かれた学習の場としてあそこに残していただいて、貝塚公園－グラウンド側－箱崎松原までの広大な敷地に高齢者～子供までつながるモデルケースのような「明るい」再生をしていただきたいと強く思います。安藤忠雄さんが六甲震災あとのまちづくりのテーマに緑と人間のつながりを重視してありましたが、本当に災害がなくても今の福岡市は人情味が時代とともに薄くなってきてしまって和の場が激減して冷たい、妙にこぎれいな表面だけの町になっていってると思うので、「生きる」をテーマにした街のようになっていってほしいです。	女性	30歳代
九大跡地についてですが、できれば個人の戸建て用の土地にしてほしいです。決して業者（建設会社など）にまとめて売らずに現在、東区に住んでいる人間に対し、抽選などで安く個人に土地購入をさせてほしいです。子供がいるのでマンションは迷惑かけてしまいます。箱崎は（安い）土地がなくマイホームを持つにはこの土地を離れなければならないのです。それから関東にある子どもが職業を学ぶテーマパークのようなものを作ったりキャナルシティのところに予定されていたディズニーランドも白紙になったようなので九大跡地にディズニーランドはどうでしょうか。絶対最高です！貝塚のバス停付近の歩道が狭いです。バス降りたとき自転車とぶつかりそうになってしまいました。貝塚の九大と警察署の間の道も歩行者は通りづらいと思います。大きな歩道が欲しい。	女性	30歳代

内容	性別	年齢
大学は緑地を広大な空間を有していることから都市における癒し効果があった。もちろん、学生や集合する人たちとの交流から地域社会のコミュニティ形成に絶大な効果があった。地域はこのおかげで心豊かに日常を生きてきたのである。このことを忘れての利用計画は考えられない。	男性	60歳代
子ども病院または専門学校	男性	70歳以上
貝塚駅周辺がさびしい。銀行のATMくらいは設置してほしい。スーパーができることを望んでいる。貝塚公園の開園時間が短い。飛行機の騒音は想像以上に大きくてテレビの音が完全に消えるので窓など防音にしたい。	女性	30歳代
跡地は服とか売っているモールを作ってほしい。この辺には近くにそういう店がないため困っている。自転車で行ける範囲で作ってほしい。	女性	19歳以下
九大跡地利用は地域の重大関心事である。地域住民の意見を聴くことは大切なことではあるが、聞きすぎると無駄が多い中途半端な構想になりかねない。是非このチャンスを最大に生かす斬新な利用法を行政主導で進め、早めに青写真を示してほしい。	男性	40歳代
東箱崎校区では唯一営業していた「アパンダ貝塚店」が閉店し、スーパーがなくなり、食料品や日用品の買い物が大変不便になりました。箱崎校区のボックスタウンのような商業施設を強く望みます。	女性	30歳代
地下鉄1号、2号、3号とあるがすべて寸断しているので、せっかくの地下鉄が生かされてない。子ども病院移転の件も交通便をもっと考えて実行してほしいと思います。	女性	50歳代
健康のため歩いたり、ジョギングしたりする人が多いと思うが安心してできる運動コースがあればよいと思います。たとえば粕屋町の「かよい丁公園」みたいな。足にもやさしい道づくりをしていただきたいです。	女性	50歳代
この4校区内にキャパ500名ほどの観劇用（または向け)施設がほしいと思う。（東市民センター3Fでは舞台荷の搬入等いくつかの面で使いにくい）	男性	20歳代
緑の公園	男性	70歳以上
現在東箱崎地区に住んでいますが、交通の便はとても良いのですが、近くに（徒歩圏内）食品などのお店がないのでとても不便です。また校区全体が暗いイメージがあります。転居も考えたいのですが子供のことや仕事のことを考えると簡単に転居できないのが現状です。	女性	40歳代
九大移転反対！少子化の中移転の必要があったでしょうか？箱崎キャンパスは残してほしい。	男性	50歳代
九大の桜や銀杏、かえでなどの緑は箱崎という町にとっては唯一にといっていいほどの憩いの場ですので、ぜひ商業施設などではなく、市民の憩いの場となるように残していただきたい。小学校、中学校が極端に外れ、（校区）の部分にあるので敷地の一部を活用して学校を移転するといいと思う。（特に中学校は踏切など危険個所も多く、交通マナーもなってないと思うので）。筥松3丁目から名島橋西の狭い道路を早く整備してほしい。とくに歩道が狭く、歩くにも自転車に乗るにも危険で小学校の子どもを一人で出かけさせるのがとても怖いです。箱崎7丁目東のあたりには子供を安心して遊ばせられる公園がない。来客時の駐車場もなくせまい道路に路駐するしかない状況なのでコインパーキングなどを設置してほしい。	女性	40歳代
ちまちました街づくりはしてほしくない。広大な公園を作ってください。	女性	50歳代
九大内の植木などかなり大きく古いものもあります。九大跡地利用ではぜひこれらの木を利用していただきたいと思います。3号線では車の排気などの問題が多くありますので。年配の方々がゆっくりと散歩できるような公園がほしい。スポーツ（トレーニング）センターが欲しい。	女性	50歳代
公園や分譲マンションが立ち並んでる場所なので、九大が移転してきてもさほど影響のない場所ですが、年々お年寄りが増える一方でスーパーなどが近くになく、小さい子供がいる家でも不便さがあるようです。また中学校が奥まった場所にあるため、これから子供たちの安全面を考えると心配です。周りに一軒家が全くないので定着性がなく街づくりにおいても宅地等も検討していただきたいです。駅も近く便利の良い場所ではあるのですが、貝塚駅のイメージが暗く目立たない印象です。千早のようにいろんな世代の人が住みやすい明るい街になるよう九大の跡地を有効活用してほしいと思います。	男性	30歳代
学芸的なことに利用してほしい。文化施設（音楽室、ホール）・児童館・植物園・博物館	女性	40歳代
ランニング、ウォーキング、運動ができる公園を造ってほしいです。	女性	19歳以下
商業施設や公園、図書館などの公共施設ができると良いです。	男性	40歳代
子供の数が減少していると聞きます。また、子供会に入会しない子も増えてるらしいです。子供達にとって活気のある住みやすい街になればいいと思います。	女性	50歳代
子供たちが安全に遊べる環境を作ってほしい。	男性	40歳代
トンボや蝶が舞い小鳥が遊ぶ自然散策ができる公園ができないものか。	男性	70歳以上
日常品、生活雑貨がそろってるお店が少ないので作ってほしい（普段車が使えないのでとても不便）。九大跡に箱崎中ができると聞いている。もし本当であるならば早急にしてほしい。九大跡地（工学系）には人が少なく、物騒な感じ。ただ建物内に入れなくするなどのやり方ではなく、広くみんなが使えるような商業施設（パチンコ、ゲームセンターなどではなく買い物や子供が安心して使える施設）や子供と高齢者が共に使えるような施設があればよいと思う。	女性	30歳代

内容	性別	年齢
箱崎5丁目11番でもここ2～3年変質者が出没しています。広くて四季の花や木々が美しい公園と思いますが、防犯のことを思うと、声を大にして要望できない気がします。見通しの良い街づくりを心掛けてほしいです。風通りの良い街（海からの風を遮断しないように）20年前引っ越してきてたときは窓を開けるといつも風が気持ちよく室内に入ってきましたが、次々と建つ高いマンションや建物で風の流れが今は止まってしまいました。	女性	50歳代
私は車がなく（夫が使うので）買い物をするのが不便だと感じています。近くに小さいものでもよいのでスーパーがあれば（徒歩でもいけるような）住みやすさはぐっとあがります。	女性	20歳代
名島橋手前から九大裏を通り箱崎駅方面へ行く道路が狭すぎる。朝夕の時間帯の交通の量はかなり多い。安全面を考えるべきである。	男性	50歳代
公共施設（レクレーション）	男性	60歳代
子供と一緒に遊べる施設ができればよいと思います。	女性	40歳代
東区は文化施設が少ないので図書館を作っていただきたいです。貝塚には買い物する場所がなくお年寄りが大変困っています。是非スーパー等も作っていただきたいです。	女性	40歳代
地図上の22あたりの3号線からJR貨物の下をくぐり、西鉄の線路を渡る道路はあまりにも狭く、交通量も多い。雨の日など傘をさしては車にあたりそうで歩けない。中学校の通学路なのになぜ改善されないのか。不思議である。	男性	19歳以下
箱崎5丁目はアニメ関係などの施設が増えてきており、高齢者などのことを考えると近くにスーパーのような施設がほしいと考えます。（数年前まではスーパーがありましたが）できれば跡地の一角を利用してスーパーを作ってもらえたら嬉しいです。	女性	20歳代
九大の跡地は文化的な施設やイベント会場など東区には少ない施設を作ってほしいです。	女性	50歳代
九大周辺は道路が狭く、車通、人通りが多く危険。街灯が少なく暗い。一通や線路で道路が複雑。	女性	20歳代
①九大跡地を筥崎宮と一体となった、又は箱崎通りと一体となった安全で安心なレトロな街づくりをしたらどうか。②東の大濠公園として大きな池のある井の頭公園みたいな洒落た安全で安心な散歩道もできる街にしたらどうか。③隣の国のように跡地の一部を遊園地兼勉強の町として英語村をつくったらどうか。国際人をつくるため、この場合は若人の町となる。若人と老人の町が隣り合わせ。④街づくりとは関係ないが3号線沿いに住んでいるため騒音がたまりません。排気ガスやスピード等取締等で改善されたが音がまだまだ。特にバイクの音は許せない。何とかしてほしいと思う。⑤これもあまり関係ないが、毎日の買い物にバイクに乗って行っている。考えてみれば好ましくない。配達のマーケットが尊重される時代になった。⑥デイサービスセンター、大きな老人の憩いの家、老人病院を作り、福岡周辺の老人を送迎して、また楽しんでもらえるものとして簡単な老人向け劇場を造り1日楽しんでもらえて集中的にサービスして経済的に経営するセンターはどうか？	男性	60歳代
九大の緑、建築物など残せるものは残してほしい。	女性	60歳代
芸術家、工芸家の制作活動の場にしたらいいと思います。「ひがまの里」みたいな場所	男性	20歳代
東区箱崎にスーパーが欲しい。	女性	20歳代
九大跡地利用については環境に配慮した緑あふれる街づくりを目指していただきたいと思います。	女性	30歳代
近所に食料品・日用品等を購入する店舗等が少ないので九大移転後の跡地に建設してもらいたい（地下鉄貝塚駅近く）。	男性	60歳代
東区はほかの区に比べても文化施設が非常に劣っていると思う。市民センター一つをとってみても、交通の便が悪く、年をとって車に乗れないものは行くのでも不便でつい足が遠のく。図書館も然り。県立は専門書が多く、一般の読者には敷居が高い。音楽や芝居を楽しみたいと思っても、中央区か早良区、他の区まで出かけなければならないのがさびしい。ぜひ小さくてもいいから便利な所に楽しめる施設をお願いします。	男性	70歳以上
もう少し、子供や子連れにやさしい街づくりを求めます。少子化は本当に深刻ですよ！もっと街全体、社会全体で子育てするくらいの意識改革が必要では！！	女性	30歳代
①3号線沿いということもあり便利な場所のようではありますが、西鉄の踏切によって渋滞し、スムーズに3号線にはでられず、通りもかなり狭いので、車でも徒歩でも通りにくいです。いつ人身事故が起きてもおかしくない場所と言えます。②西鉄もJRも夜遅くまで走るので騒音に悩まされています。廃止できないのであればもうすこし騒音防止対策を考えていただきたいです。③マンション住まいですが、敷地内に来客用の駐車スペースがないため来客が来ても車をとめられず、困っています。近くの空き地がコインパーキングになれば大変助かり、利用ができるのですが。貝塚の都市高下の高架下のスペースに不法投棄のように物が置かれてます。景観もなく夜人が通るには不気味な場所ともいえます。そういった場所を整備して、コインパーキング等をつくってほしいです。④名島橋から箱崎に抜ける裏道を広くしてほしいです。大型トラックもスピードを落とさず、おかまいなしに通り危険です。途中まで広くなっていますが、それから先が狭いです。自転車バイクも走り、走りにくい道路だと言えます。九大跡地ですが、貝塚駅の裏道から3号線に抜ける車道を作ってほしいです。名島橋の踏切で渋滞し、すぐそばが3号線なのにスムーズに3号線に出れない。3号線に出るには箱崎駅手前の交差点までいかないと出れず、大変不便です。途中で3号線に出れる車道があるといいと思います。⑤一番の希望は九大跡地に大型スーパーができることを望みます。（イオン・ゆめタウン・マルショク等）跡地に小学校ができたらこの校区には住み続けたいと思います。（東箱崎小は住んでるところから3号線を渡り、通わせなくてはならないので危険なので通わせたくありません）	女性	40歳代

内容	性別	年齢
九大跡地に中学校の移転を希望します（暗く危険な通学路と感じます）。スーパーが近隣になくて困ります。サニーなど食品・日用品のみのスーパーが貝塚地区に必要です。子育て世帯、高齢者世帯が多く暮らす貝塚地区を長く住みやすい地区になることを願います。九大跡地は今後も学問の発展拠点に。公園やグラウンド、公共施設、文化施設に。もうパチンコ店や娯楽施設は必要ありません。貝塚公園をいきいきと美しくきれいな公園になるように願います。	女性	30歳代
緑の樹木は残し、桜の花、つつじ、藤の花と季節の花の咲く、子供も大人も一緒に集う運動公園や図書館、地域の文化、スポーツ活動の施設、年寄りがリハビリ運動のための施設、地区民の公共会館をぜひ要望します。貝塚地区は食品スーパーもなくダイエー箱崎店も来年一月で閉店で、とても不便な思いをしていますので、近隣地区の生産された物産品、食品販売の道の駅のような店もぜひ必要です。貝塚から箱崎商店街やルミエールまで歩いて30分くらいかかり疲れます。箱崎商店街方面に行くバスも必要です。	男性	60歳代
ふ頭の周辺は不便です。箱崎の古い街のほうが防犯上も利便性もよいと考えます。九大跡地も路地や小路でつくる「歩きで全ての用事が済む」街を目指すべきと思います。車社会は持続的発展性はないと思っておりますので。	男性	30歳代
貝塚駅周辺の落書きが目立ちます。特に公園近くの高架下。夜になると暗くて怖い。照明を明るくしてほしい。	女性	40歳代
箱崎7丁目周辺から徒歩圏内にスーパーが必要と感じる。おもちゃ倉庫→スーパー希望。九大跡地公共性の高い建物（公園、図書館、文教的なもの）	男性	30歳代
大学はなくなりますが都心へのアクセスはよい地域なので住宅地としての需要はあると思います。静かな住宅地になればいいなと思います。	男性	20歳代
子ども病院や総合病院を跡地にしたほうが良いと思います。照葉周辺に子ども病院を造るよりも都心に近いですし、先ほど述べたように箱崎地区筥松は非常に治安が悪いので、これ以上ガラの悪い場所にはしたくないので、楽市街道のような娯楽施設は建ててほしくないです。あとテーマパークなどの施設もお客さんがこないと思うので建てるべきではないと思います。実際箱崎地区には学生が多かったので、まだヤンキーが少なかったのですが、今後増えることが懸念されます。ショッピンクセンターもゆめタウンやボックスタウンがあるのでお客はあまり来ないと思います。	女性	20歳代
（九大跡地）緑豊かな子供から老人まで利用できる公園や施設（無料）をつくってほしい。図書館など（県立図書館は本がすくなすぎる）（3号線）側なので防音設備を強化してほしい。暴走族の強化等	男性	20歳代
仮に九大跡地に大型マンションや住宅を計画するなら学校（小・中）の再編も考えるとよいと思う。	男性	30歳代
タカスマ歩道橋の周りを子供が安全に遊べるようにしてほしい。	男性	30歳代
飛行機の離発着の爆音に悩んでいます。九大跡地は広大な森林公園に。	男性	70歳以上
九大は箱崎の重要な施設であったので移転して失ってしまうのは寂しいです。何か箱崎を代表するような大きな施設を作ってほしいです。ただし、娯楽施設は子供たちに悪影響ですのでもっと地域性にあふれるものにしてほしいと思います。個人的には大規模なショッピングセンターができると助かりますが。（近くに徒歩で行けるスーパがないので）	女性	30歳代
九大移転は本当に必要だったのでしょうか？歴史ある建物や年代物の樹木のことを考えると心が痛みます。せめて跡地利用の際もそれらのものを保存していただけたらと思います。	女性	50歳代
道路に駐車するのが当然のようになってて車から出たごみを平気で捨ててある。町内清掃時に拾ってもまたすぐ元のように汚くなる。また車を止めてあるため道路幅が狭い。暴走族は夏の夜に限らず冬もうるさい。また都市高速を耐震工事するとき夜中や年度末にされるのは安眠妨害。また、受験生にも影響する。とにかく車の音には悩まされる。東区はなにかと事件が多く、印象悪いですが、ひとりひとりが生活の中できをつければ良くなると思います。	女性	50歳代
大濠公園のように住民が安心して憩える場所になったらと思います。九大のような歴史ある建物や日本に何本しかないような木々など保存しなければいけないと思います。	女性	50歳代
貝塚駅前をにぎやかな町並みにしてほしい。貝塚団地、周辺にスーパーが無く、日用品の買い物に困る。都市高速道路の高架下が薄暗く不安。3号線のデイリーヤマザキの前を貝塚公園に向けて横断歩道がなく道路を横切る人が多い。九大の跡地は公園ではなく人が集まり、にぎわう場所、となるよう商業施設のほうが良いと思う。街の活力を！貝塚公園の3号線側の立木は背がすぐ伸びて公園の見通しが悪く死角となりやすいので気をつけて切ってほしい。立木は九大も同じ。見通しをよくしないと危険だと思う。九大の図書館などの設備利用はできるのか？利用できるならさせてほしい。JRのコンテナの音で不眠。九大跡地を整備して美しい街道にしてほしい。	女性	50歳代
貝塚団地の周辺は地下鉄・バスが整備されマイカーを持たなくても移動が便利ではありますが、食料品等の毎日の買い物に徒歩で行く店が極端に少なく、いずれ自分で運転できなくなる年齢になると今以上に不便になるだろうろ不安になる。3号線沿いにはいわゆる「オタク」のイメージを持つ店が次々と進出し、このままでは西区～糸島のような「明るくおだやかなドライブにもいい街」といった良いイメージの街には将来的にならないだろうと失望感でいっぱいになる。車がなくてもこの先ずっと便利に暮らせるように九大跡地の利用を考えていただきたい。東警察署周辺は夜はかなり暗く、「警察がいるのに怖くて歩きたくない」道になっている。	女性	40歳代

内容	性別	年齢
家の周辺にスーパーがないので跡地に総合的なショッピングモール等できたらいいなと思います。	女性	30歳代
ガーデンシティがそれだけで一つの町のよう様子であり、完成されたものと思います。九大跡地が住宅地になるのか商業施設になるのかで生活が大きく変化するものと思われます。どう利用するのか具体的な策を早く知りたいものです。箱崎の町はもっと活性化できると思うのですが商店街に無計画にマンション建設を許可するなど町のあり方などポリシーがあるとは思えません。成り行き任せの街づくりじゃ人を引きとめる、あるいは集めることなど到底できることはないと考えます。	女性	50歳代
歴史的価値のある古い建物はできるだけ残すようにしてほしい。	女性	30歳代
九大跡地にショッピングセンターを造ってほしい。	男性	60歳代
JR貨物列車の音がうるさいです。音が静かになる方法はないでしょうか。	女性	50歳代
九大跡地について関心があるのでもっと情報がほしいと思いました。箱崎地区は歴史もあり、地下鉄沿線で天神や博多都心部までのアクセスもよい静かで住むには良い場所であると思います。九大の歴史を残した自然多い（公園なども多い）カフェやパン屋さんなど商店ができる明るい住宅地にしてほしいです。天神で買い物することが多いのですが家の近く（駅前など）で買い物やお茶ができたら嬉しいです。また図書館や公園など住民がくつろげる場所を充実してほしいです。大濠公園のようなウォーキングができるような明るい公園が理想です。	女性	30歳代
九大跡地も関心あるがそれ以前に東箱崎会館周辺の線路、特に踏切を整備してほしい。607号線（二又瀬からイオンモールに行く通り）の車線を増やしてほしい。	男性	30歳代
九大跡地ですが、是非文化的施設をお願いします。遊戯施設などには絶対しないでください。県立図書館など跡地に移転して蔵書数を増やして多分野にわたって閲覧できるような、幅広い年齢層が利用できるような施設も組み合わせて大規模な図書館を作っていただきたいです。（たとえば佐賀市内の「どんの森」にある図書館女性センターなど）	女性	50歳代
九大の建物の保存もしくは移築してほしいです。すべてではありませんが歴史的価値のある工学部、土木学部などTVでも紹介してましたが利用してほしいと思っています。	女性	40歳代
ここ数年落書きが目立ちます。消すことを改善してほしい。	女性	40歳代
路上駐車が多く大変迷惑します。マンション内で空き駐車場があるにも関わらず駐禁の標識がないのをいいことに自分の場所のように当たり前に同じ場所に駐車してあります。警告の張り紙を張られても殆ど無視状態ではないでしょうか。私たち高い料金を払って駐車場を確保しているものからすると大変腹立たしく思っています。	女性	50歳代
九大跡地について次の点を要望したい。①跡地を一体として市民が良好な環境を享受し、散歩やランニングなどの運動を楽しむことができる緑地などの公園とする。②その中に必要な文化活動施設や教育施設を点在させる。③その施設には極力既存の建築物を活用し箱物の新設は必要最小限に止める。（文化的に価値のある施設や貴重な植物資源は保存し残して活用する）	男性	60歳代
九大跡地にプールや図書館、ミニコンサート、シアターなどの施設があれば人が動くと思います。	女性	30歳代
九大跡地にプールや図書館、ミニコンサート、シアターなどの施設を希望します。	男性	60歳代
九大跡地には野生のタヌキもいて自然も森も多く古い建物を壊してきれいにすればNYのセントラルパークのようにできると思います。中にはドッグランやカフェを作ったりして誰でも散歩できるような憩いの場にしてほしいです。野生のタヌキがこのまま生息できるようによろしくお願いします。	女性	40歳代
東区は市内でも（特に博多区、中央区、西区とくらべ）活気がないような気がします。特に代表すべき地域資源がないからでしょうか。他の地域から人が流れ込んでくるようなアミューズメントスペースなどではなく、地域住民の住みやすさにつながるような九大跡地の利用方法を考えて頂きたいです。貝塚公園は子供たちにとってはとても使いやすい公園です。しかし大人や老人が使いやすいスペース、過ごしやすい場所がほしいです。筥崎宮はとても良い環境ですがゆっくり休めるスペースがあるわけではないので、大濠公園のような公園、ショッピングモール、駐車場、美術館、図書館、映画館、喫茶、飲食店、このようなものが近くに来ると便利で大変うれしいです。	女性	30歳代
私は小さい時は東区に住んでいて、まだできて間もない貝塚公園でよく遊んでいました。最近、又東区に住み始め公園を通りかかったのですが、遊具が私が遊んでいた時のものとほぼ同じでした。予算の都合もあるのでしょうが私も含め小さな赤ちゃんづれが気持ちよく楽しめる公園づくりをしていただけたらと思います。又西区などに比べてどうしても良い街の部分があまり感じられず全体的に暗いイメージがあります。最近ではアイランドシティイなどきれいに整備された街づくりがされていますが、東区全体が今よりも明るい街になり、小さい子供が安心して遊べる楽しい場所が一つでも増えれば良いと思います。キャンパス跡地の土地はぜひ有効的に利用していただきたいと思っています。	女性	30歳代
七帝大の一つの九大の存在感をしめされるような跡地利用。たとえば建物の一部を残して活用するなど。	男性	70歳以上
できれば九大周辺に今後マラソンコースを作っていただければよい街づくりに貢献できるのではと思います。	女性	40歳代
大人も子供も老人も安全、安心して楽しめる環境の良い公園や文化施設を造ってほしい。	女性	50歳代
東区しかわからないが自転車の通行量がとても多い街だと思う。他の地域にあるような歩道に自転車と歩行者のライン分けした道を増やしてほしいと思う。工事区域がある時は通行者が多い時間帯はガードマンをつけてほしい。子供達、高齢者にやさしくあってほしい。九大の敷地内に入ることはないが、グラウンドの木々やバス停前の花の手入れは通行者にとって季節感を感じさせてくれてとても良いと思う。九大跡地はとにかく緑をなくさないようにして、グラウンドも一般の人も利用できるとか、教育的な建物であるのがいいと思う。住みやすい環境や安全面を重視してほしい。よりよい社会のために街づくりを期待します。	女性	30歳代

宮崎県庁ヒアリングおよび跡地現地視察

１．宮崎県庁ヒアリング

先方：宮崎県県土整備部建築住宅課･藤原課長、同都市計画課･田河主査

当方：野口（記録作成）

日時：平成 21 年 2 月 9 日（月）13:30～14:30

※　藤原課長は、宮崎大学移転当時、実務に直接携わられた方。

- 大学移転に関し、跡地周辺地区において顕在化した悪影響は特になかったと思う。
- 大学移転は県と市が一体的な取り組みとして進めた事業だったが、どちらかというと県が中心であった。
- 大学移転のプラン自体は、分散したキャンパスを集約することを目的に、もともと文部省から出てきたもの。
- 宮崎大学側は、県･市主導で進む移転計画に沿って動いたとの印象である。
- 移転計画をつくるにあたり、アンケートや説明会など地域住民の意見集約は特に行っていない。
- 跡地には総合文化公園および宮崎公立大学が導入されたが、特に反対運動などはなくスムーズに計画は進行した。
- 総合文化公園は、農学部跡地に図書館、美術館、劇場と芝生公園を一体的に整備したもの。当時、図書館や美術館は手狭で老朽化が進んでおり、新しく建設する必要性が高まっていた時期だった。また都心部に近くもともと緑地が少ない場所であったことから、この計画に対し地元からは歓迎の声も聞かれた。
- 宮崎公立大学は、宮崎市議会で昭和 63 年に初めて表明されるにあたり、それ以前から事前調整等が進んでいた。
- 大学跡地については、土壌汚染、遺跡の出土といった課題は特になかった。
- 建物は木造のものも多く老朽化が進み、またこれと言った歴史的建造物もなかったので、建物の建替についても反対はなかったと記憶している。また土壌汚染や遺跡の出土という問題も特に起きていない。
- ただし唯一大学内の樹木についてのみ、なるべく活用するべきとの市民の意見が宮崎大学を通じて聞かれたこともあり、敷地内での移植等により極力活用した。
- 当地区の街路等の区画はすでに整備されており、大学移転の時期に特に区画整理などは行われていない。路地が多く、また鉄道高架事業なども実施された箱崎地区とは、この点性格がだいぶ異なっている。
- 跡地周辺地区の用途規制も、大学移転前後で特に変更されていない。

・ 大学移転に際して、跡地周辺地区への影響は特に想定しなかった。また大学移転後も周辺地区において特に問題が生じてはおらず、対策等も特段行っていない。
・ 跡地やその周辺は宮崎市中心部に近い便利な場所なので、大学移転後も周辺地区の人口が大きく減ることはなかった。宮崎公立大学を導入したことも、大学移転による周辺地区への影響を軽減したと思われる。また、大学移転した後もそのまま居住し新キャンパスまで通っていた生徒も相当数いたようだ。市中心部から木花キャンパスまでは約 6km 程度と近く、通学圏内である。
・ 当時はバブル経済期以前の「右肩上がり」の時代。宮崎市も人口が増加を続けていたこともあり、跡地周辺で人口減少などが顕在化することはなかった。日本全国で大型開発が行われ、また大学の郊外移転も宮崎だけではなかったこともあり、特に反対意見や移転による悪影響などがはっきりとは生じなかったのではないか。

２．現地視察

農学部跡地は県立総合文化公園に、工学部跡地は宮崎公立大学になっている。宮崎公立大学の隣接地には宮崎大学附属の中学校、小学校、幼稚園が今も立地している。

総合文化公園、公立大学とも周辺に学生街や商店街らしきものは存在していないようだった。宮崎公立大学の事務掛で、喫茶店や飲食店などが集まる学生がないか尋ねたが、窓口の方もとくに心当たりはない様子。「学生たちは比較的近い国道 10 号線沿いや中心市街地のお店まで出ているのではないか」とのこと。

たしかに大学があるからといって必ずしも近くに学生街が形成されていない事例もあると思われ、旧宮崎大学の場合には市中心部からそれほど遠いわけではないため、わざわざ大学街が形成されるほどではなかったとも言えるかもしれない。ただし、以前九州大学・東江氏が修士論文でまとめていたように、飲食店や商店等の実数が大学移転後大きく減少したとのデータもあり、現在よりはよりはっきりと学生街らしきものが存在したのではないかと思われる。

（１） 総合文化公園

・ 総合文化公園の周囲は閑静な低層住宅地。図書館、美術館、劇場が整然と並んでおり、また芝生広場も広々としていて、散歩やウォーキング等を楽しむ周辺の住民にはありがたいものと感じた。
・ 周辺には商店や飲食店はほとんどみられない。バス通りである平和台通り（公園敷地の西側を南北方向に走っている）沿いには商店がちらほらとみられた程度。

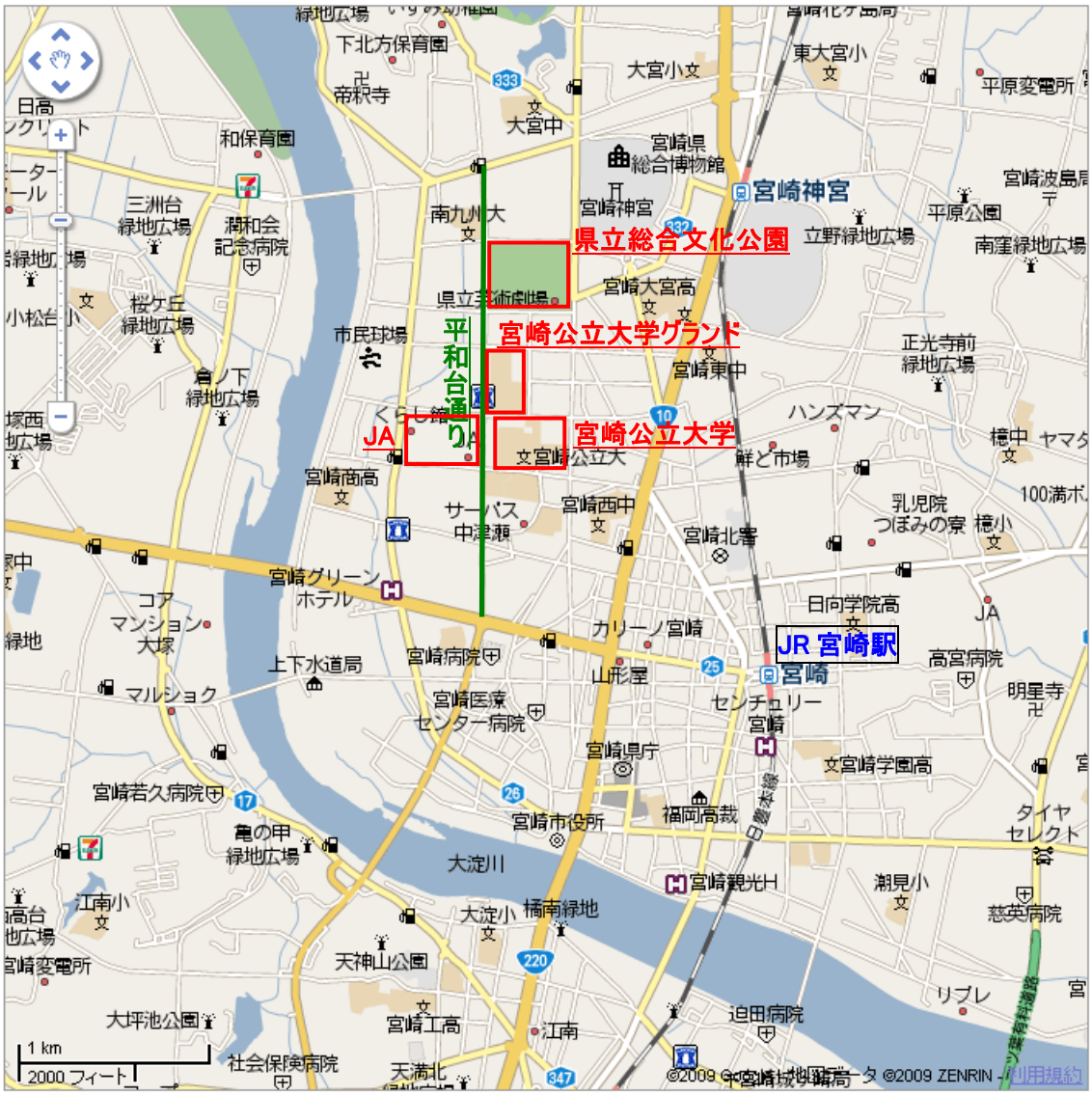
・ 公園敷地を取り巻く道路は、もっとも広いものでも上下 2 車線ずつで、それほど広くはない。
・ 公園の北西隅に隣接した敷地には、南九州大学健康栄養学部と南九州短大とが立地。

（2） 宮崎公立大学

・ 公立大学と総合文化公園の間の旧宮崎大学グランド等は、現在公立大学のグランド･スポーツ施設として利用されている。
・ 建物は全て建て替えられたらしい、新しい建物となっている。
・ 大学の敷地はそれほど広くなく、簡単に歩いて 1 周できた。
・ 敷地周辺は、総合文化公園と同様、低層の住宅地がほとんどである。ただし、近くの平和台通りは、総合文化公園の周辺と比べ商店、食堂、病院などが多くみられた。とはいえ「学生街」といえるほどのものではなく、ほとんどは低層住宅地であった。

以上

■　宮崎大学跡地　地図



Google map: http://maps.google.co.jp/

宮崎大学跡地（宮崎市）、宮崎産業経営大学跡地（都城市）に関するヒアリング、現地視察

3. 宮崎大学跡地（宮崎市中心部近く。P218 に地図を掲載）

（1） 藤本廣･宮崎大学名誉教授ヒアリング

先方：藤本廣先生

当方：九州大学　坂井教授，鶴崎准教授，宮崎助教

福岡市大学移転対策部　安部係長，　URC 梶返主査，野口（記録作成）

日時：平成 21 年 2 月 16 日（月）9:30～11:30

※ *藤本廣先生は、宮崎大学移転当時 の 工学部長で、移転に直接携わった方。*

①大学移転までの沿革･経緯

- 昭和 37（1962）年頃、文部省は全国の国立大学に対し、ソフト･ハード双方の整備計画の提出を求めた。
- 宮崎大学は、農学部はその前身が大正 6 年創立の宮崎高等農林学校，教育学部は明治 4 年創立の師範学校が前身，工学部は昭和 19 年創立の県立工業学校が前身。
- 当時全国的に、高等商業学校を高等工業学校（機械，電気等）に切り替えようという動きがあった。滋賀大学経済学部は、高等商業学校がそのまま残ったかたち。
- ただし宮崎の場合、高等工業学校がなかったため、県立商業学校を宮崎県立高等工業学校と改組して航空工学科、機械学科、化学科を設置した。
- もっとも昭和 20 年の敗戦後、マッカーサーの命令により航空工学は廃止となり、流体力学、応用力学のみが存続、のちの宮崎大学土木工学科となった。同時に、県立宮崎高工等業学校は工業専門学校に改められた。農業専門学校も同様の流れで同時期に誕生した。
- 昭和 24 年、新制大学の施行により、宮崎大学が誕生した。農、工、学芸学部があったが、学芸学部はのちの教育学部、現教育文化学部にあたる。
- 昭和 37 年頃、文部省が宮崎大学移転の話を持ち上げた。
- 農学部、教育学部はすでに十分な敷地を持っていたため、移転に反対。農学部は「農場の土が変わると研究に支障を来たす」として反対。教育学部も「いろんな理屈をつけて」反対の立場であった。このように、移転計画への反対は、大学周辺の住民からは聞かれず、むしろ学内で起こった。
- 一方工学部は、敷地が狭かった（3.4ha）ため、将来構想として学科の増設、敷地の拡張の意向を持っており、移転に賛成であった。工学部だけが牧場用地へ単独移転してはどうかとの話もあったが、この話には牧場側が反対で実現しなかった。

・ こうして移転が決まらないうち、文部省から早く移転の可否について結論を出すよう督促があった。
・ 昭和 38 年 2 月、文部省の評議会で、今後設置する各県の医学系学部は単科大学とする旨の発表があった。佐賀、大分、愛媛、宮崎の各医科大学は、この発表により設置された大学である。宮崎医科大学は、宮崎市郊外（南西）の清武町に設立となった。
・ 当初、宮崎大学移転と併せ医学部を設置したいと考えていた宮崎大学は、この発表を受けて大学の将来構想の練り直しを迫られ、医学部を設置しない 3 学部構想（農，工，教育）を取ることとなった。
・ そのうち、宮崎県選出の国会議員であった江藤隆美氏が「移転反対を継続するなら、農学部に金をやらないぞ」と圧力（？）をかけたこともあり、農学部も移転に賛成することとなった。
・ 昭和 49 年度、移転を含んだ「学園都市構想」を持っていたのは宮崎大学、広島大学、筑波大学の 3 大学。移転計画を持っていた宮崎大学に関しては、地域振興整備公団（当時）側から黒木知事（当時）に対し、「学園都市構想」を用いて移転をしてはどうかと打診があったようだ。これに知事も乗り、「宮崎学園都市開発整備事業」が開始されることとなった。
・ 文部省は、「用地取得は地方行政が先行取得し、国は後から支払う」旨を通知。「建物の新設は、既存の用地を売ったお金を充て、不足分を国が出す」という、今考えると国に都合のよい勝手な論理であった。
・ もともと宮崎大学は、キャンパスが分かれているといっても数百 m の範囲内であり、あえて統合する必要はないとの考え方があったことから、広島大学や筑波大学の「統合移転」という言い方と区別して、一貫して「移転統合」と呼んだ。

②跡地利用に関して

・ 跡地の処理自体は、比較的スムーズにいったと言える。農学部跡地は県立総合文化公園に、教育学部跡地は宮崎公立大学になり、工学部跡地に現在 JA が立地している。
・ この間、市民からの跡地利用に関する要請･要望は特に聞かれなかった（ある意味不思議なことだが）。アンケート調査などの意識調査も行っていない。
・ まず宮崎公立大学については、昭和 50 年代の宮崎市議会において「宮崎大学には法文系がない。市でつくってはどうか」という話が出ていた。当時宮崎大学の文系は教員養成コースである教育学部だけで、法文系の機能を全く持っていなかった。せめて市主導で法文系の大学をつくらねば、という機運が市議会にあった。
・ その後長友市長（当時）が、宮崎市と周辺 6 町（清武町，田野町，佐土原町，国富町，高岡町，綾町）とともに「宮崎東諸方広域市町村圏」という事務組合をつくり、宮崎公立大学設置構想を進めた。
・ 宮崎公立大学の学生数は 1,000 名弱と、宮崎大学の人数の半分かそれ以下くらい。

・ 農学部跡地 16.3ha（農場含む）は県が購入し、「置県 100 周年記念事業」として県立総合文化公園にすることが決まった。キャンパス内の立派な樹木は公園に残すこととした。
・ 県立総合文化公園の施設としては、県立の美術館、図書館、文化ホールを建設した。当時宮崎市には美術館、および演劇等を上演する文化ホールがなく、また博物館も設備が貧弱であったので、まとまった敷地である跡地をこれら文化施設に利用する案はスムーズに決まった。
・ 県立総合文化公園の残りの敷地は芝生広場としている。特別なスポーツ施設（陸上競技場、球技場などの類）は造らないこととし、農学部時代の樹木を残した。現在は市民の憩いの場となっている。
・ 県立総合文化公園の周辺は宮崎市内でも環境が良いことで評判で、地価も市内で一番高い。
・ うち工学部跡地ははじめ買い手がみつからなかったが、JA が購入してくれた。
・ なお、跡地には歴史的建造物、遺跡等の類はなく、また土壌汚染もなかったので、これらは移転に関して特に問題にはならなかった。（ただし新キャンパスには遺跡があり、これによって移転が 1 年半ほど遅れた。）

※ なお、藤本廣先生から後日、教育学部について遺跡に関する情報が寄せられた。

移転跡地について、「遺跡等の対策」の項で何も無かったと答えておきましたが、所謂「考古学的な遺跡」は確かにありませんでした。しかし、教育学部の旧女子師範学校のコンクリート塀に、第二次大戦敗戦直前１９４５（昭和２０）年３月のアメリカ空軍による宮崎市空襲で機銃掃射の弾痕が残っている事が分かり、教育学部としてその弾痕のある塀を「第二次大戦の遺跡」として保存することにしました。現在もその塀が公立大学と側の市道との間に保存されています。

以上､遺跡と言うより､移転計画時の一つのエピソードとして思い出されましたので、取り急ぎ一報しておきます。

③学園都市構想（新キャンパス）に関連して

・ 一方学園都市構想については、宮崎大学は当初 306ha を要望したが、県から広すぎると言われ、徐々に面積を削減した。まず牧場、附属小中学校は移転しない形で 180ha の案を提出、その後 108ha、84ha と徐々に削減されて落ち着いた。
・ 大学の将来構想と整備計画については、文部省に報告し折衝しなくてはならなかった。私は学部長として（昭和52年から 3 期に亘り務めた)、学長とともに何度も文部省に足を運んだ。文部省は「口は出すが金は出さない」ところ（予算がないからやむを得ないが）で、30 歳代の担当者（課長？）が我々をずっと立たせたまま説明させるような横柄さ。同じ課の係員に「学長が高齢であることを考慮し椅子には座らせてはどうか」と言った

ことがあったが、「この種の陳情が毎日次々と来るなか、座ると話が長くなってしまうので立ったままでお願いしたい」と言われた。

- 現在は大学がある木花地区は、デパートなどがある市中心部から約 10km 離れている。移転当時はマイカー通学を禁止していた。キャンパス中心部の自転車も禁止した。
- 当時は学園都市内の住宅地（木花台団地）に U ターン者、I ターン者に住んでもらう「シルバータウン構想」があり、平均 100 坪という広い敷地を安価で販売したことで、90 年代には東京などからの U ターン、I ターンがたくさん流入してきた。しかしその後、再び宮崎を出て都会へ戻ってしまった人が増えた。これは、宮崎には東京などのような文化（コンサート、演劇等）が少ないことが第一の理由ではないかと思う。また交通基盤も貧弱で不便であることも大きな理由だろう。バスや鉄道は頼りにならず、かといってタクシーを利用すると市中心部まで片道￥2,500 もかかるのでは、やはり都会の生活に慣れた人はこの地を離れてしまう。
- 宮崎学園都市には、サンテクノポリス構想に基づく工業団地も造られた。当時宮崎県では、旭化成の立地する延岡市から日向市にわたる地区をテクノポリスの候補地とし、その際日向市の細島港を活用しようと考えていた。しかし、鉄道や高速道路のインフラの整備が遅れていたためテクノポリスの対象地に選定されず、宮崎市の方に候補地を変更したという経緯がある。現在では細島港よりも宮崎港のほうが規模も大きい。

④跡地と周辺地区との関係に関連して

- 移転前の宮崎大学と周辺地区とは「一心同体」でつながりが深かった。宮崎大学の名物に「演劇祭」というのがあったが、これは農･工･教育の各学科から演劇を出すコンクールで、うち農学部の演劇は、当時演劇に明るい青木先生という方が指導していたため完成度が高く、「早稲田か宮大農か」と言われたほど。毎年 6/29，30 の両日に開催され、市民の恒例行事として大変な人出だった。
- 私も宮崎大学の学生や教員としてこの地で過ごしてきたが、宮崎大学周辺には、昔から学生街といえるような商業の集積は以前からなかった。江平（えひら）商店街という小さな商店街は今も残っているが、お店がそれほど集まっているわけではなく、ごく小規模の商店街である。宮崎大学は市中心部に近かったことから、飲食や買い物の際には学生は中心部まで出ていた。橘通りのひとつ西側に西橘通りというのがあるが、この通りには学生がよく集まっていたと記憶している。
- 移転による周辺地区への影響や変化は、特に事前には想定していなかった。また事後的にも影響があったとは聞かれなかった。跡地に宮崎公立大学が入ったことで、移転の影響が大きく緩和されたのではないか。学生向けのアパート、食堂、飲食店などの下支えにはなっただろう。逆に、もし宮崎公立大学は入っていなかったら、何か影響が見られたかもしれない。

（2）　宮崎大学　吉武准教授との面会

先方：宮崎大学工学部　吉武准教授

当方：九州大学　坂井教授，鶴崎准教授，宮崎助教

福岡市大学移転対策部　安部係長，　URC 梶返主査，野口（記録作成）

日時：平成 21 年 2 月 16 日（月）12:00～13:00

※　*吉武先生は、坂井先生のお知り合い。訪宮のご挨拶かたがた、以下の点をお話しした。*

- やはり大学が街なかにないと、学生が社会から隔絶されてしまうように思う。学園都市だとキャンパスが街から分離されてしまうので、買い物、バイト、その他日常生活を通じて社会と接する機会が少なくなってしまう。
- 学生は比較的近くに住んではいるが、丘の上に大学が位置し坂道が多いので、バイク通学者が多い。マイカー通学者もいる。このため、授業やゼミが終わった後、その場の雰囲気で「近くで一杯」ということは少ない。前もって日時を設定した飲み会が圧倒的に多い。
- 市中心部への交通は不便。宮崎交通バスでは 40 分程度かかる。
- 比較的近いところを JR 日南線が走っているが、1～2 時間に 1 本という頻度であるため、アクセス交通としては使い物にならない。
- （藤本先生の説明で、U ターン、I ターン者が再び木花台団地を離れていった理由を「文化の少なさ」と言っておられたことに対し）それもあるが、やはり交通など生活の不便さが第一だろう。
  - ･･･　なお、宮崎大学から都心へ向かう際に路線バスを利用したが、時刻表をみると運行頻度は 1 時間に 1 本で、最終バスの時刻も 18 時半頃と早く、かなり使いづらそうに思えた。
- 最近になってようやく学生街らしいものが形成されつつあり、なかには学生がバイトに入ったりする店もあるようだ。大学から坂を下ったところにあり、一応徒歩圏内ではあるが、学校に来る際は登り坂でもあり、悪天候時には歩いて往来するのは困難だろう。

（3）　現地視察

出張者 6 名全員で、宮崎公立大学（教育学部跡地）→宮崎公立大学グランド横（旧宮崎大学グランド）→宮崎県総合文化公園（農学部跡地）→平和台通り→JA 敷地（工学部跡地）と徒歩で視察。周囲の状況についての印象は 2/9（月）で記したが、他に加筆すべき点は以下のとおり。

①宮崎公立大学

・ 大学は新しい建物ばかりで、宮崎大学当時からの歴史的建造物はみられなかった。
・ 建物の屋上階（6F ）に上ったが、周囲にはあまり高い建物（マンション等）はみられず、閑静な住宅地との印象だった。

②総合文化公園

・ 公園南東部の一角には、農学部跡地であることを記す立派な石碑が建立されていた。
・ 美術館前の広場（マウンド）はコンクリート張り。藤本先生によると、「東大の建築の先生に設計してもらったが、夏はコンクリの照り返しがひどく歩くのも大変」で、「地元のことを知らない人が設計するとこういうことになる」との評。

③JA の敷地

・ 重厚なつくりの大きく高い建物（10 階建て程度？）で、駐車場も広い面積を確保している。藤本先生によると、JA の建物内にあるホールは、講演や会合、セミナーなどで利用されているようである。

４．宮崎産業経営大学跡地（都城市郊外）

（１） 都城市役所都市計画局ヒアリング

先方：都城市役所都市計画局　丸山氏
当方：福岡市大学移転対策部　安部係長，　URC 梶返主査，野口（記録作成）
日時：平成 21 年 2 月 17 日（月）10:30～11:00

- 宮崎産業経営大学は 2004 年に撤退、9.4ha の跡地利用が決まらないでいたが、本年 4 月に南九州大学の一部学部が移転してくることが決定。ヒアリングでは、主に宮崎産業経営大学撤退以降の、周辺地区に対する影響や変化を尋ねた。

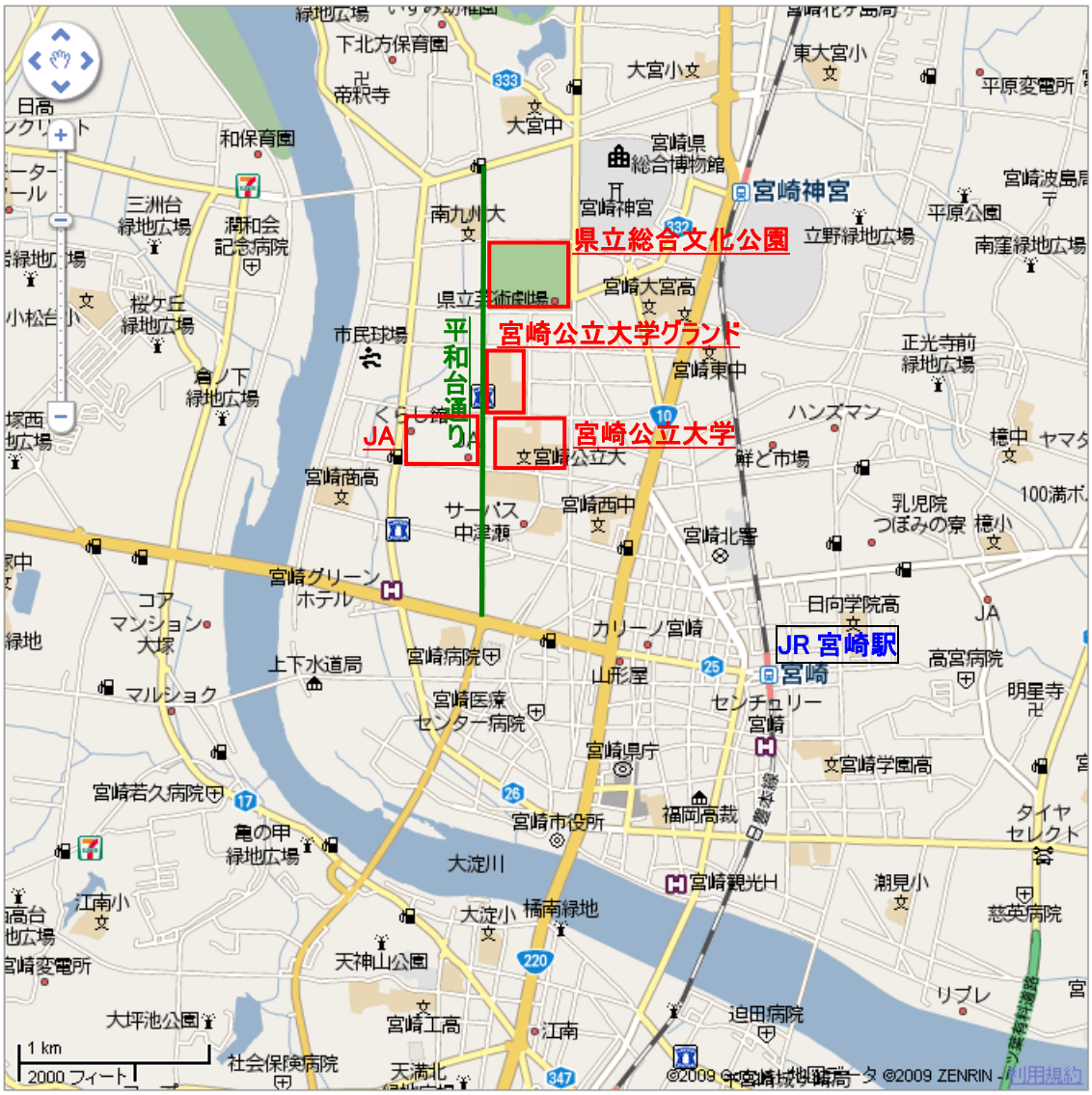
・ 宮崎産業経営大学跡地は、大学が来る前は大した開発もなく白地の地区だった。大学立地後、県道沿いにロードサイド系の商業施設が立地するようになった。コンビニやラーメン店、弁当屋が多いと思う。併せてアパートやマンションも立地が進み、都城市内では比較的高層といえる建物も建った。多くは学生向けのワンルームマンション･アパートで、ファミリー向けではなかった。
・ 大学撤退以降、コンビニや弁当屋などの撤退も進んだと思う。
・ 撤退当初、専門学校を誘致するなどの話もあったが、誘致活動の結果南九州大学が一部移転してくることになった。ただし学生の人数規模は南九州大学のほうが小さい。

（２） 現地視察

- 現地は都城市のほぼ東端に位置し、敷地のすぐ隣は三股(みまた)町が接している。都心部からは 3km 程度あると思われ、都心部からの徒歩移動は困難。バスの本数が 2～3 時間に 1 本と少ないためタクシーで移動したところ、西都城駅～跡地は￥1,120、跡地～都城駅は￥820 であった。
- 西都城から県道を東へ向かうと跡地。沿道はチェーン店の食堂や商店が並んでいる。ラーメン店も数件みられ、タクシーの運転手によると「ラーメン街道と呼ばれている」。
- 跡地の周辺は学生向けと思われるアパートが数多く立地しているが、「入居者募集」、「空き家」といった看板が目立った。タクシーの運転手によると、大学撤退後こうした学生向けアパートは苦境に陥り、家賃を下げるなどの対応をしたという。また「2004 年の撤退の直前にアパートを建てた家主さんがけっこう大変そう」とのこと。特に、わざわざと地を新たに購入してアパートを建てた家主もいるとのこと。
- アパートに混じり、農地と思われるところも周囲に目立った。
- 跡地内では、建物のリニューアルとともに、駐車場と思われる大きな構築物が建設中で、背の高いクレーンが跡地内に据えられ稼動していた。

以上

■　宮崎大学跡地　地図



Google map: http://maps.google.co.jp/

報告書作成担当者
主任研究員　野口　誠
研究主査　　梶返　恭彦

「大学移転に伴う箱崎地区の変容と地域づくりに関する研究Ⅰ」
報告書

２００９年３月

財団法人福岡アジア都市研究所
〒810-0001 福岡市中央区天神 1 丁目 10-1
Tel 092-733-5686　　Fax 092-733-5680
E-mail　info@urc.or.jp
URL　 http://www.urc.or.jp